

# 仙台市 下水道施設構造等標準図

令和4年3月

仙台市建設局

1.	下水道布設一般図（分流式・合流式）	1
2.	管製品詳細図	
○	下水道用鉄筋コンクリート管	4
○	下水道用硬質塩化ビニル管	7
○	下水道用可とう支管継手	17
○	下水道用強化プラスチック複合管	18
○	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	20
○	下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管	24
○	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管	26
○	下水道用ダクタイル鑄鉄管	29
○	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	33
○	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管可とう支管継手	40
○	鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手	41
3.	管渠の基礎	
○	管渠基礎工の種類	42
○	砂基礎（可とう性管）	43
○	まくら土台基礎（剛性管）	44
○	はしご胴木基礎（剛性管）	45
○	コンクリート巻立基礎（剛性管）（90°・120°・180°）	46

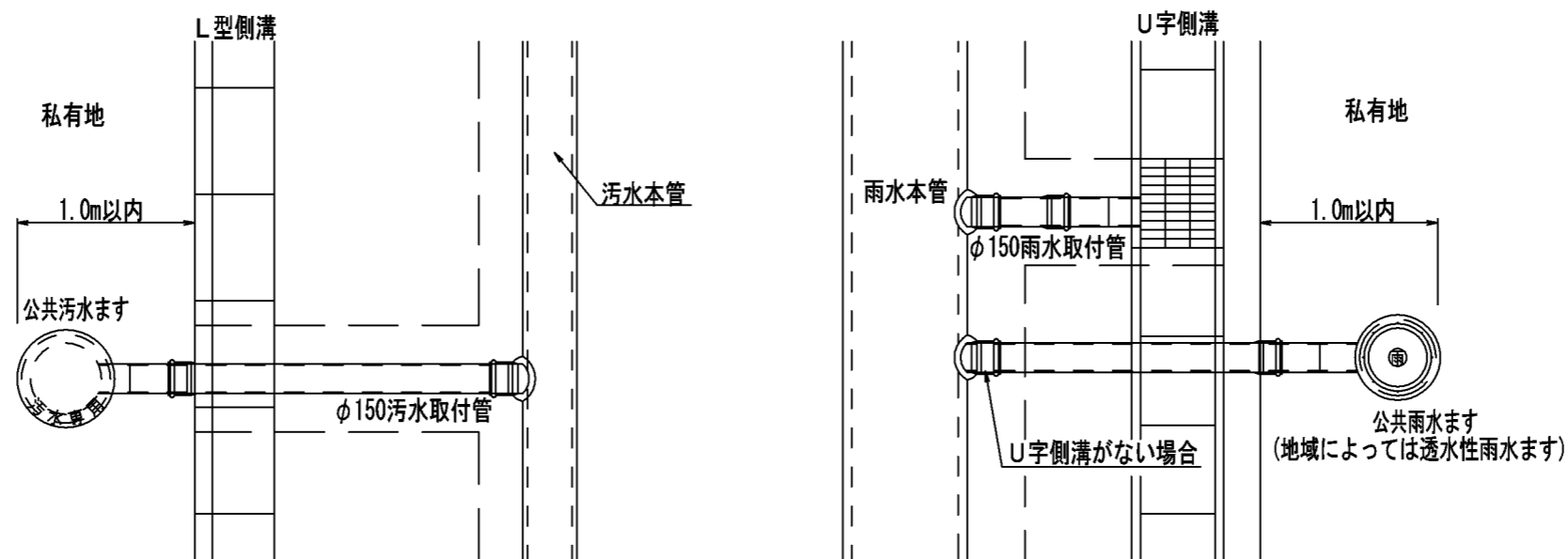
#### 4. マンホール

○ 形状別使用基準	50
○ マンホール構造標準図（1～7号）	52
○ 特殊マンホール構造標準図（A型、特1号～特4号）	59
○ マンホール頂版鉄筋数量表	64
○ 壁立ち上がり鉄筋数量表	65
○ 組立マンホール形状別使用基準	66
○ 組立マンホール構造標準図及び使用数量表	67
○ 副管取付構造図	88
○ 貼付型内副管取付構造図	90
○ 飛散防止板取付構造図	92
○ マンホール内インバート設置標準図	93
○ マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図（T-25・T-14・化粧蓋）	95
○ マンホール側塊詳細図（直壁・片斜壁）	101
○ わく据付図（調整リング用）	103
○ 足掛金物設置位置標準図	104
○ 足掛金物取付図（側塊用・現場打用・後付け）	105
○ 埋設表示テープ標準図	108
○ マンホール可とう継手	109

○ 中間スラブ付組立マンホール図	-----	110
5. 汚水ます及び雨水ます		
○ 公共汚水ます構造図 (330用・400以上)	-----	111
○ 公共汚水ます用底版ブロック構造図	-----	113
○ 公共雨水ます構造図 (330用・400以上)	-----	114
○ 公共雨水ます用底版ブロック構造図	-----	116
○ 公共ます蓋 (丸型密閉防臭形) 構造図	-----	117
○ 透水性公共雨水ます構造図	-----	121
○ 雨水浸透ます構造図 (330・400・450・600用)	-----	122
○ 仙台市型浸透防臭二連ます構造図	-----	126
○ 下水道用硬質塩化ビニル製ます構造図	-----	127
○ 取付管撤去・閉塞工標準図	-----	129
6. 参考図		
○ 下水道用陶管 (参考図)	-----	130
○ わく据付図 (調整レンガ用) (参考図)	-----	135
○ 公共雨水ます構造図 (角型) (参考図)	-----	136
○ 露出配管設置例 (参考図)	-----	137
○ 内副管取付構造図 (参考図)	-----	138

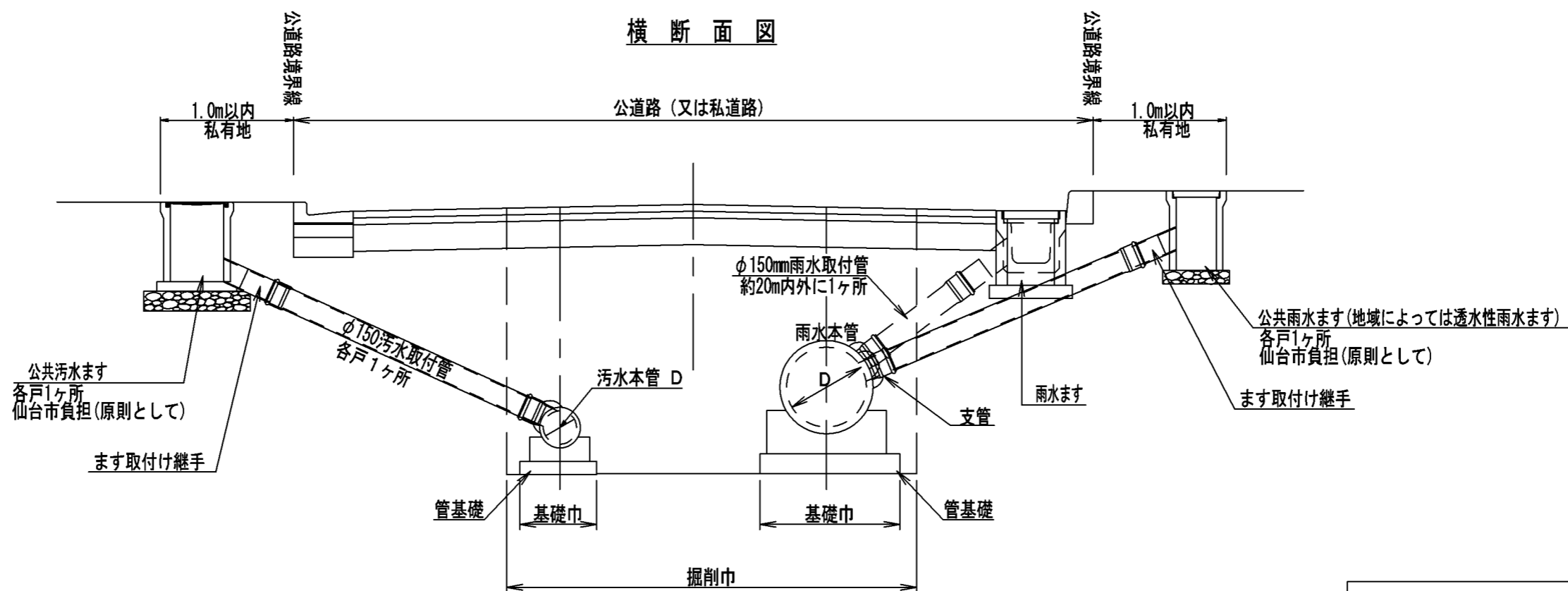
# 下水管布設一般図（分流式）

## 平面図



注) 下水道管理者以外が所管するU字側溝に接続する場合には各管理者との協議すること。

## 横断面図

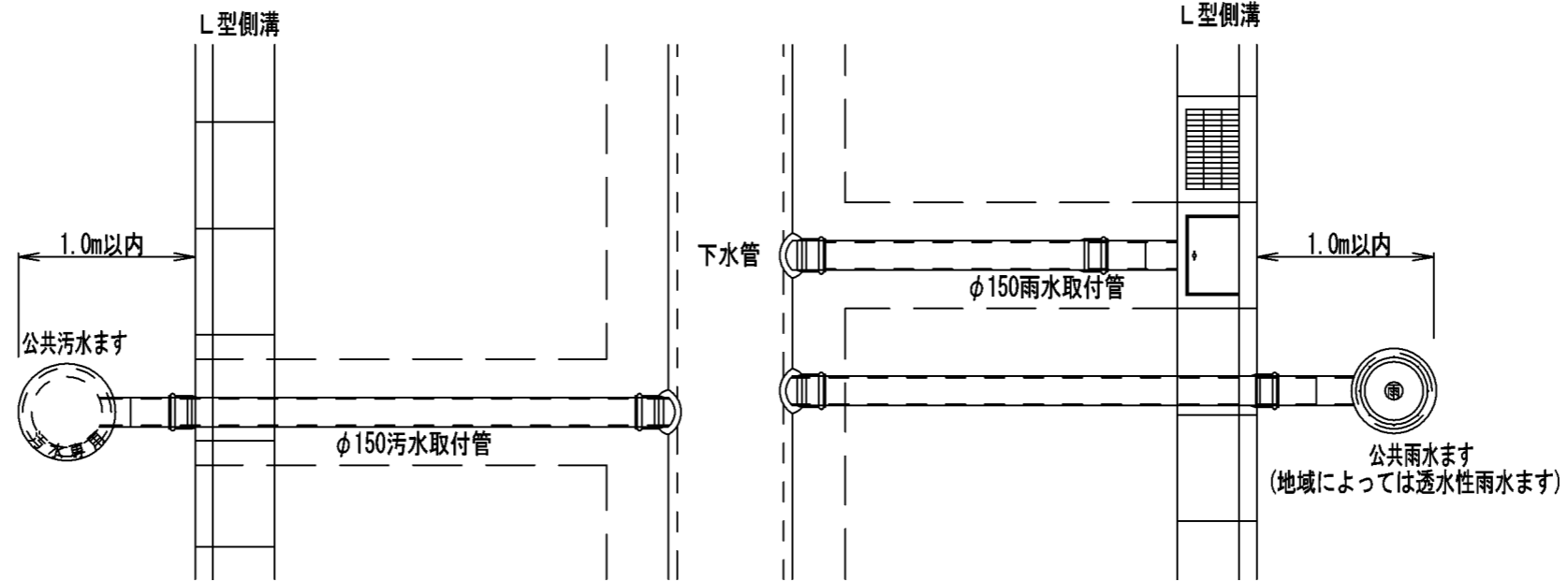


注1 本管の基礎形式は、「3. 管渠の基礎」を参照。  
 2 曲線箇所への取付管の接続はしないこと。

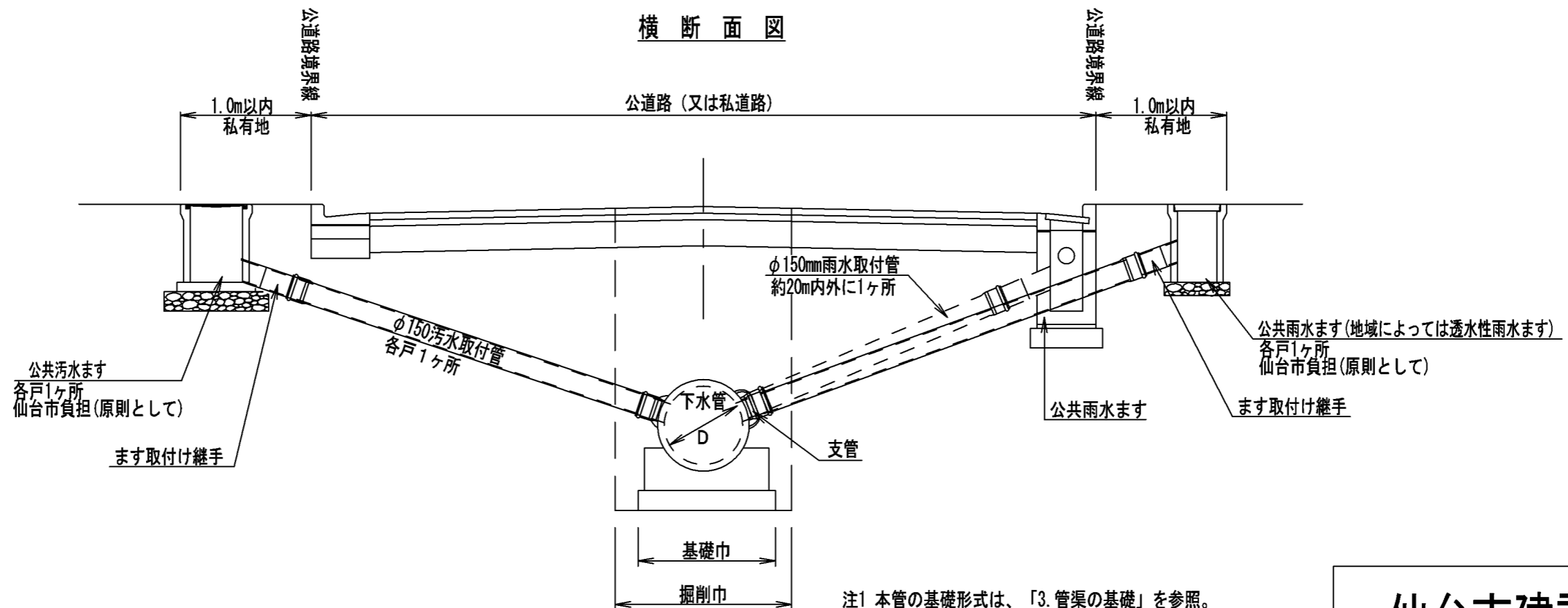
仙台市建設局

# 下水管布設一般図（合流式）

平面図



横断面図

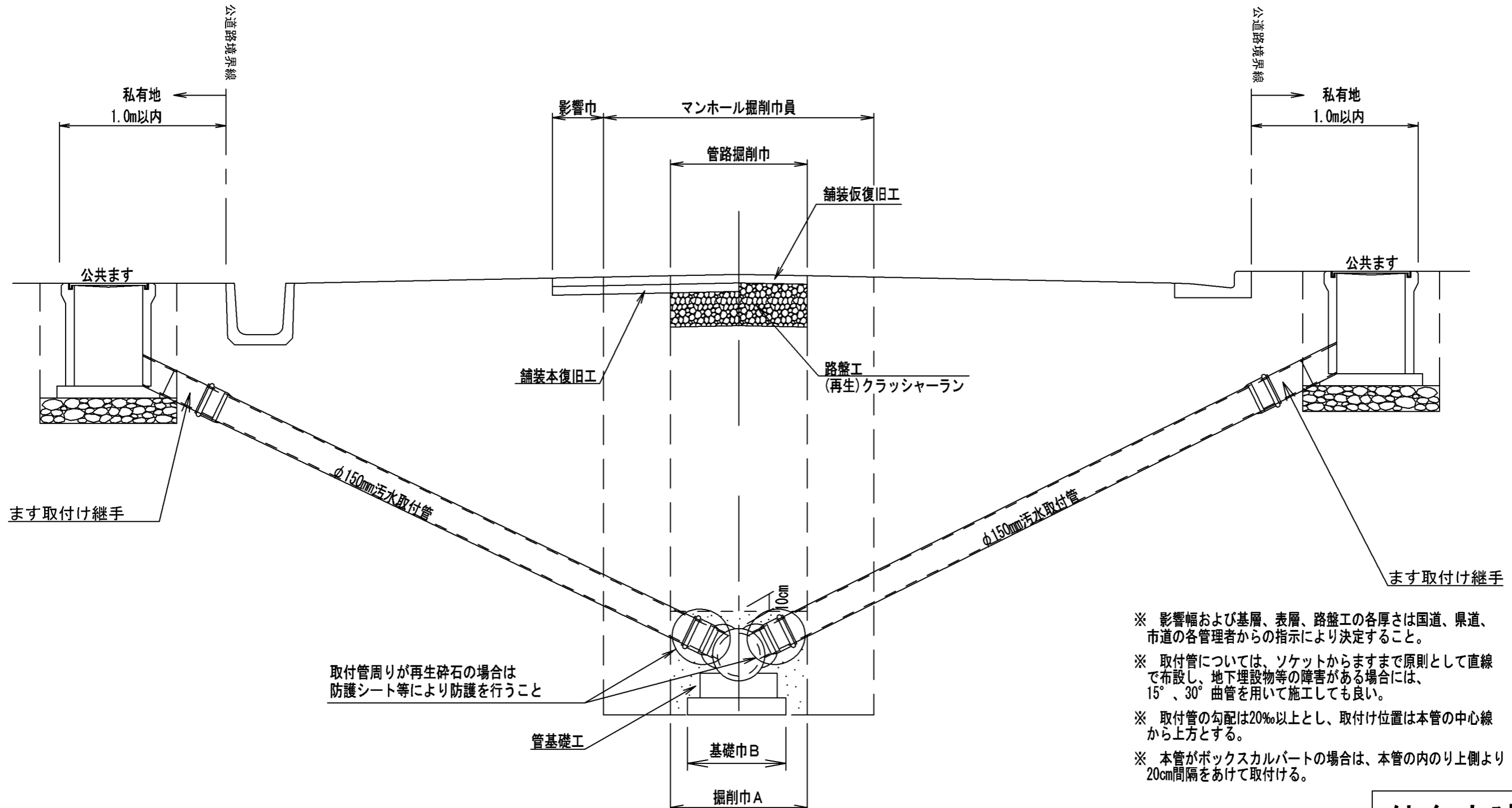


注1 本管の基礎形式は、「3. 管渠の基礎」を参照。  
 2 曲線箇所への取付管の接続はしないこと。

仙台市建設局

# 管 布 設 標 準 断 面 図

縮尺 1 : 25



取付管周りが再生碎石の場合は  
防護シート等により防護を行うこと

- ※ 影響幅および基層、表層、路盤工の各厚さは国道、県道、市道の各管理者からの指示により決定すること。
- ※ 取付管については、ソケットからますまで原則として直線で布設し、地下埋設物等の障害がある場合には、15°、30°曲管を用いて施工しても良い。
- ※ 取付管の勾配は20%以上とし、取付け位置は本管の中心線から上方とする。
- ※ 本管がボックスカルバートの場合は、本管の内のり上側より20cm間隔をあけて取付ける。

注) 本管の基礎形式は、「3. 管渠の基礎」を参照。

仙台市建設局

下水道用鉄筋コンクリート管詳細図(1)

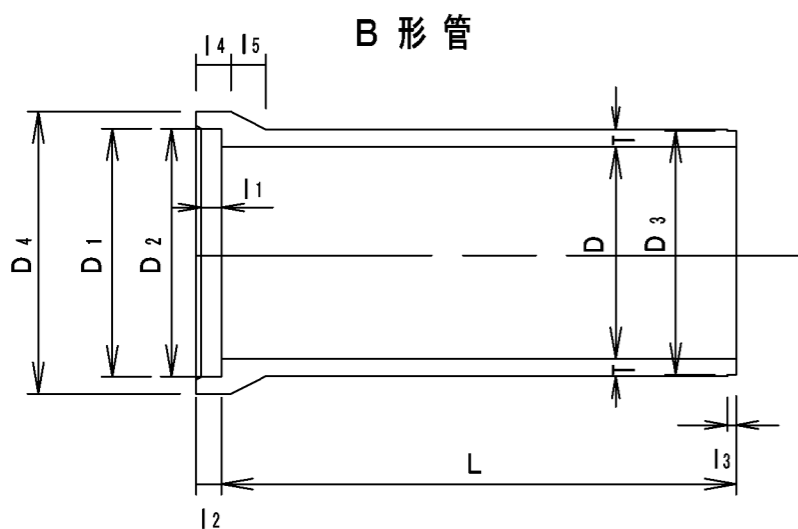
日本下水道協会規格  
J S W A S A - 1  
平成23年12月1日改正

B形管

管の両端がソケット部とスピゴット部になっており、  
ゴム輪を用いて接合する管である。

B形管寸法

(単位: mm)



呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	厚さ T	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	l <sub>4</sub>	l <sub>5</sub>	有効長 L	参考重量 kg	参考市単コード	
														1種	2種
150	150±3	210 ±2	206	194 ±2	262	26 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	65	90 ±5	32 ±4	115	50	2,000 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	77	Z002500001	Z002500026
200	200±3	262 ±2	258	246 ±2	316	27 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	65	90 ±5	32 ±4	115	55	2,000 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	103	Z002500002	Z002500027
250	250±3	314 ±2	310	298 ±2	370	28 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	65	90 ±5	32 ±4	120	60	2,000 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	131	Z002500003	Z002500028
300	300±4	368 ±2	364	350 ±2	424	30 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	65	90 ±5	36 ±4	120	60	2,000 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	165	Z002500004	Z002500029
350	350±4	422 ±2	418	404 ±2	482	32 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	65	90 ±5	36 ±4	120	65	2,000 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	204	Z002500005	Z002500030
400	400±4	478 ±2	474	460 ±2	544	35 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	70	95 ±5	36 ±4	125	70	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	306	Z002500006	Z002500031
450	450±4	534 ±2	530	516 ±2	606	38 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	70	95 ±5	36 ±4	125	75	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	373	Z002500007	Z002500032
500	500±4	592 ±2	588	574 ±2	672	42 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	70	95 ±5	36 ±4	130	85	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	459	Z002500008	Z002500033
600	600±4	708 ±2	704	690 ±2	804	50 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	75	100 ±5	36 ±4	135	100	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	660	Z002500009	Z002500034
700	700±4	824 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	820	802 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	936	58 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	75	105 ±5	40 ±5	140	115	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	899	Z002500010	Z002500035
800	800±4	940 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	936	918 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,068	66 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	80	110 ±5	40 ±5	150	130	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	1,170	Z002500011	Z002500036
900	900±4	1,058 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,054	1,036 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,204	75 <sup>+4</sup> / <sub>-2</sub>	85	115 ±5	40 ±5	160	150	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	1,520	Z002500012	Z002500037
1,000	1,000±6	1,172 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,168	1,150 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,332	82 <sup>+6</sup> / <sub>-3</sub>	96	120 ±5	40 ±5	165	165	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	1,850	Z002500013	Z002500038
1,100	1,100±6	1,286 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,282	1,260 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,458	88 <sup>+6</sup> / <sub>-3</sub>	100	125 ±5	42 ±5	175	175	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	2,190	Z002500014	Z002500039
1,200	1,200±6	1,400 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,396	1,374 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,586	95 <sup>+6</sup> / <sub>-3</sub>	104	130 ±5	42 ±5	185	190	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	2,600	Z002500015	Z002500040
1,350	1,350±6	1,566 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,562	1,540 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	1,768	103 <sup>+6</sup> / <sub>-3</sub>	108	135 ±5	42 ±5	195	205	2,430 <sup>+10</sup> / <sub>-5</sub>	3,190	Z002500016	Z002500041

注 呼び径150及び200の管の有効長(L)は500mm又は1000mm、呼び径250~350の管の有効長(L)は1000mm、  
呼び径400~1350の管の有効長(L)は1200mmとすることができる。

仙台市建設局

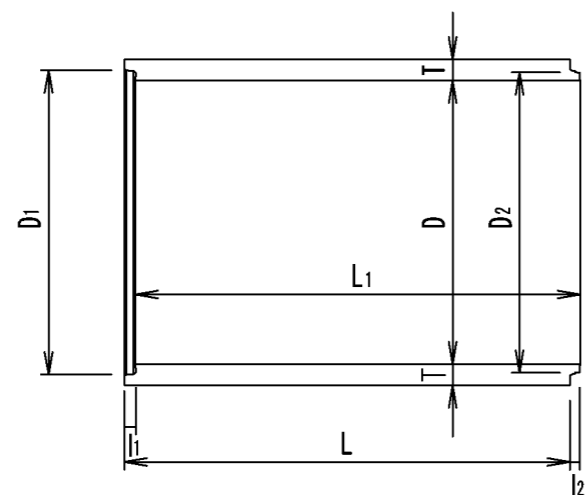


## 下水道用鉄筋コンクリート管詳細図（２）

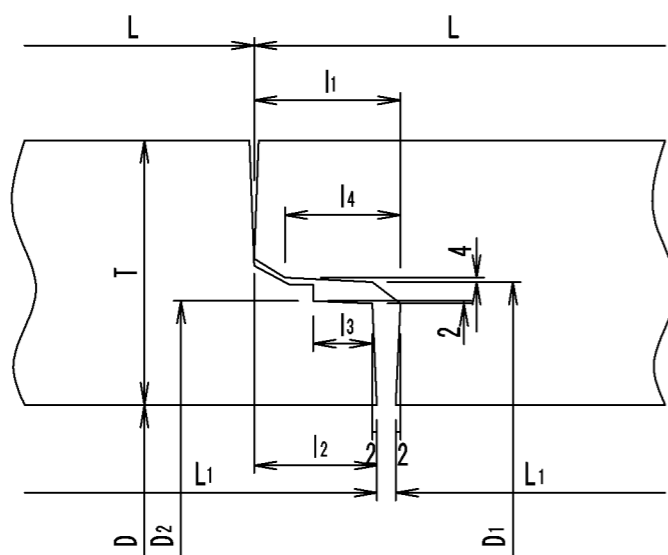
日本下水道協会規格  
J S W A S A - 1  
平成23年12月1日改正

### NC形管

管の両端がそれぞれ雌雄部になっているいんろう管で、  
ゴム輪を用いて接合する管である。



### (継手部詳細図)



### NC形管寸法

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	厚さ T	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	l <sub>4</sub>	有効長 L	L <sub>1</sub>		
1,500	1,500±8	1,632 ±3	1,598 ±2	140 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>					2,300 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	2,295		
1,650	1,650±8	1,792 ±3	1,758 ±2	150 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>								
1,800	1,800±8	1,950 ±3	1,916 ±2	160 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>	120 ±2	115 ±2	55	105				
2,000	2,000±10	2,164 ±3	2,130 ±2	175 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>								
2,200	2,200±10	2,378 ±3	2,344 ±2	190 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>								
2,400	2,400±10	2,594 ±3	2,550 ±2	205 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>					135 ±2	130 ±2	65	120
2,600	2,600±12	2,808 ±4	2,764 ±3	220 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>								
2,800	2,800±12	3,022 ±4	2,978 ±3	235 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>								
3,000	3,000±12	3,236 ±4	3,192 ±3	250 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>								

注 平成23年12月1日に「C形管を削除しNC形管に統一」された。

仙台市建設局

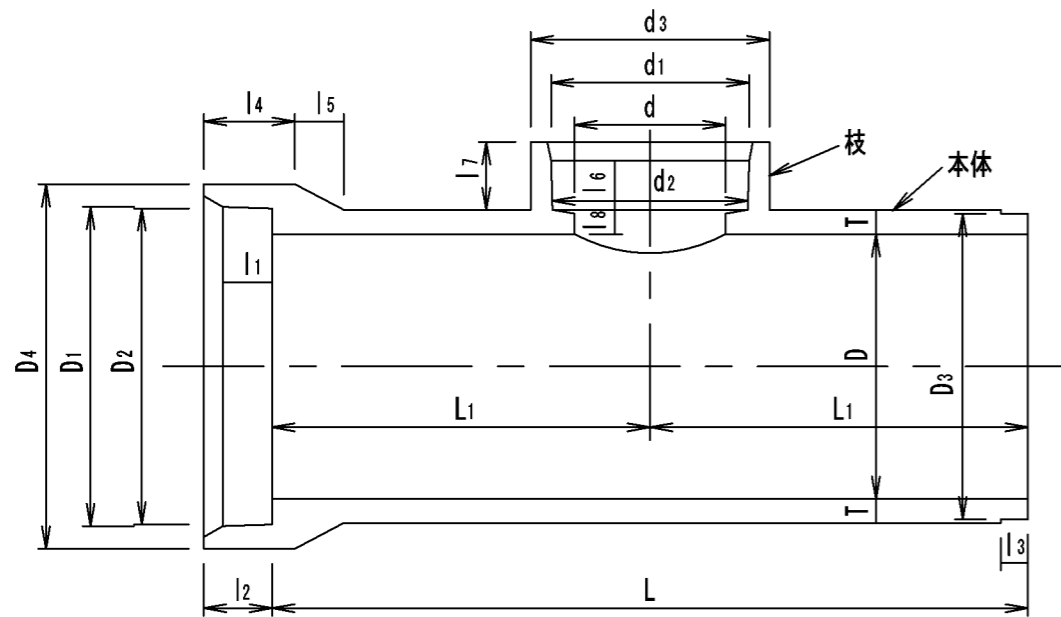
下水道用鉄筋コンクリート管詳細図 (3)

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 1  
平成23年12月1日改正

B 形 T 字 管 寸 法

(単位: mm)

B 形 T 字 管



呼び径	呼び	本 体												
		内径 D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	厚さ T	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	l <sub>4</sub>	l <sub>5</sub>	有効長 L	L <sub>1</sub>
200	200 × 150	200 ±3	262 ±2	258	246 ±2	316	27 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	65	90 ±5	32 ±4	115	55	600 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	300
250	250 × 150	250 ±3	314 ±2	310	298 ±2	370	28 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>				120	60		
300	300 × 150	300 ±4	368 ±2	364	350 ±2	424	30 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			36 ±4	65			
350	350 × 150	350 ±4	422 ±2	418	404 ±2	482	32 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	70	95 ±5	36 ±4	125	70	800 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	400
400	400 × 150	400 ±4	478 ±2	474	460 ±2	544	35 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>				75	75		
450	450 × 150	450 ±4	534 ±2	530	516 ±2	606	38 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>							
250	250 × 200	250 ±3	314 ±2	310	298 ±2	370	28 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	65	90 ±5	32 ±4	120	60	600 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	300
300	300 × 200	300 ±4	368 ±2	364	350 ±2	424	30 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>				36 ±4	65		
350	350 × 200	350 ±4	422 ±2	418	404 ±2	482	32 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>							
400	400 × 200	400 ±4	478 ±2	474	460 ±2	544	35 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	70	95 ±5	36 ±4	125	70	800 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	400
450	450 × 200	450 ±4	534 ±2	530	516 ±2	606	38 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>				75	75		

呼び径	呼び	枝						
		内径 d	d <sub>1</sub>	d <sub>2</sub>	d <sub>3</sub>	l <sub>6</sub>	l <sub>7</sub>	l <sub>8</sub>
200	200 × 150	150 ±3	210 ±2	206	262	65	90 ±5	27
250	250 × 150							28
300	300 × 150							30
350	350 × 150							32
400	400 × 150							35
450	450 × 150	38						
250	250 × 200	200 ±3	262 ±2	258	316	65	90 ±5	28
300	300 × 200							30
350	350 × 200							32
400	400 × 200							35
450	450 × 200							38

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管 (1)  
(呼び径 75~600)

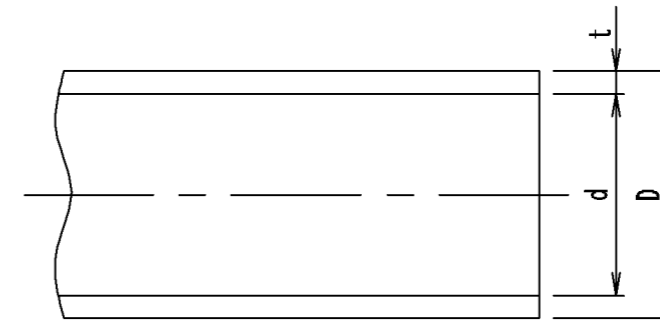
日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1  
平成22年3月1日改正

表-1 直管及び異形管の種類

種類		用途	直間又は異形管と 接合する側の形状	呼び径範囲											
直 管	プレーンエンド	全般	差し口	75~600											
	片受け	本管 取付け管 排水設備	ゴム輪受口又は 接着受口	100~600											
	両受け	本管 排水設備	ゴム輪受口	100~600											
曲 管	15度 30度 45度 60度	取付け管 排水設備	ゴム輪受口又は 接着受口	100~200											
					90度	副管 排水設備	接着受口	75~300							
									90度 管軸60度 副管90度	取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100~200			
					90度 管軸60度 A形90度 枝付管	取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100~200							
	副管90度	副管	差し口	125~300											
異 形 管	支 管	硬質塩化ビニル管用	90度	取付け管	ゴム輪受口	100~200									
			管軸60度	排水設備											
			副管90度	副管			差し口	100~300							
	鉄筋コンクリート管 及び陶管用	90度 管軸60度 A形90度 枝付管	取付け管 排水設備	ゴム輪受口	100~200										
						鉄筋コンクリート 管用	副管90度	副管	差し口	125~300					
											マンホール継手及び ます取付け継手	上流用	本管	ゴム輪受口	100~600
												下流用	取付け管	差し口	
	副管分岐用	排水設備	ゴム輪受口	150~600											
					ます取付け用 (短管)	取付け管 排水設備	差し口	100~200							
	カ ラ ー	全般	取付け管	接着受口	75~300										
ゴム輪受口				100~200											

備考1. ゴム輪受口は、ゴム輪及び差し口外面に滑剤を塗布して、挿入接合される受口をいう。  
2. 接着受口は、受口内面及び差し口外面に接着剤を塗布して、挿入接合される受口をいう。

直管部共通寸法



(単位: mm)

呼び径	外径 D		厚 さ t		参 考	
	基準寸法	平均外径の 許容差	最小	許容差	内径 d	1m当りの 質量 (kg)
75	89.0	±0.3	2.7	+0.6	83.0	1.159
100	114.0	±0.4	3.1	+0.8	107.0	1.737
125	140.0	±0.5	4.1	+0.8	131.0	2.739
150	165.0	±0.5	5.1	+0.8	154.0	3.941
※ 200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
※ 250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
※ 300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
※ 350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
※ 400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
※ 450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875
500	520.0	±1.6	14.6	+2.0	488.8	35.346
600	630.0	±3.2	17.8	+2.8	591.6	52.679

備考 本表は、JIS K 6741のVU (呼び径75~600) と同一である。

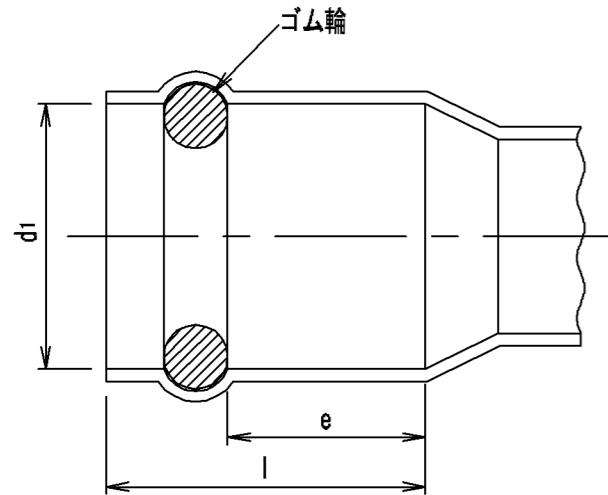
- 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値 (平均外径) と基準寸法との差をいう。
- 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm<sup>3</sup> で算出したものである。
- 内径は、管の厚さをt (最小) +  $\frac{\text{許容差}}{2}$  として算出したものである。
- ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

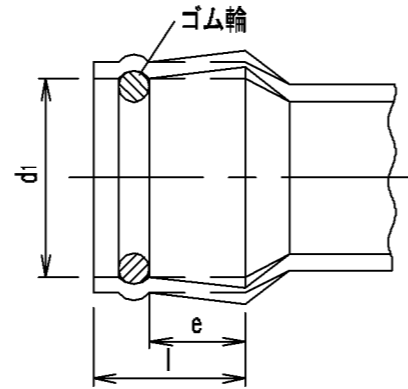
下水道用硬質塩化ビニル管 (2)  
(呼び径 75~600)

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正

本管ゴム輪受口共通寸法

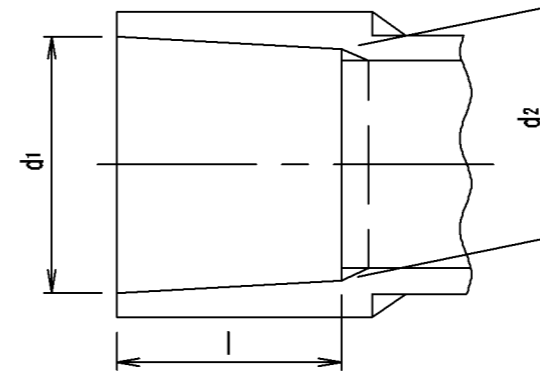


取付け管ゴム輪受口共通寸法

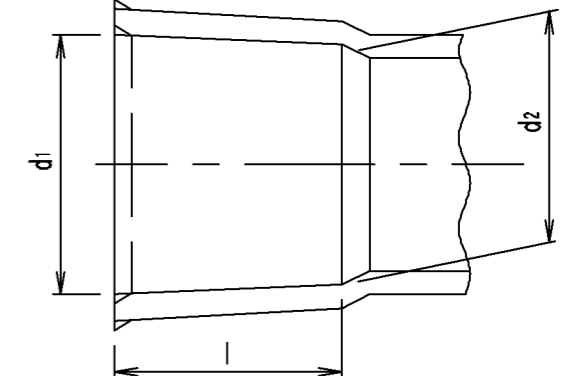


接着受口共通寸法  
(一般的には使用しない)

接着受口A形



接着受口B形



(単位: mm)

呼び径	受口内径 d <sub>1</sub> (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)	参考市単コード	
				片受け	両受け
100	114.5	42	145	ZM50080150	ZM50080370
125	140.6	44	155	ZM50080160	ZM50080380
150	165.7	53	165	ZM50080170	ZM50080390
※ 200	216.9	54	185	ZM50080180	ZM50080400
※ 250	268.1	59	205	ZM50080190	ZM50080410
※ 300	319.3	62	225	ZM50080200	ZM50080420
※ 350	371.5	67	240	ZM50080210	ZM50080430
※ 400	421.7	72	260	ZM50080220	ZM50080440
※ 450	471.9	77	285	ZM50080230	ZM50080450
500	522.1	82	305	ZM50080240	ZM50080460
600	633.8	93	355	ZM50080250	-

- 注1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。  
2. 受口内径 d<sub>1</sub> は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。  
3. ※印の呼び径については、リップ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d <sub>1</sub> (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
※ 200	218.0	69	126

- 注1. 破線で示す形状にすることもできる。  
2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。  
3. 受口内径 d<sub>1</sub> は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。  
4. ※印の呼び径については、リップ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	受口内径				受口長さ		参考市単コード
	d <sub>1</sub>	許容差	d <sub>2</sub>	許容差	l	許容差	
75	89.6	±0.3	88.3	±0.3	40	±5	-
100	114.8	±0.4	113.2	±0.4	50	±5	ZM50080260
125	140.9	±0.4	139.1	±0.4	65	±5	ZM50080270
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	±5	ZM50080280
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10	ZM50080290
250	268.6	±0.6	265.4	±0.6	140	±10	ZM50080300
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	±10	ZM50080310
350	372.0	±0.7	368.7	±0.7	200	±10	ZM50080320
400	422.3	±0.8	418.4	±0.8	220	±10	ZM50080330
450	472.6	±0.9	468.1	±0.9	250	±10	ZM50080340
500	522.8	±0.9	518.2	±0.9	280	±10	ZM50080350
600	634.3	±1.1	626.7	±1.1	330	±10	ZM50080360

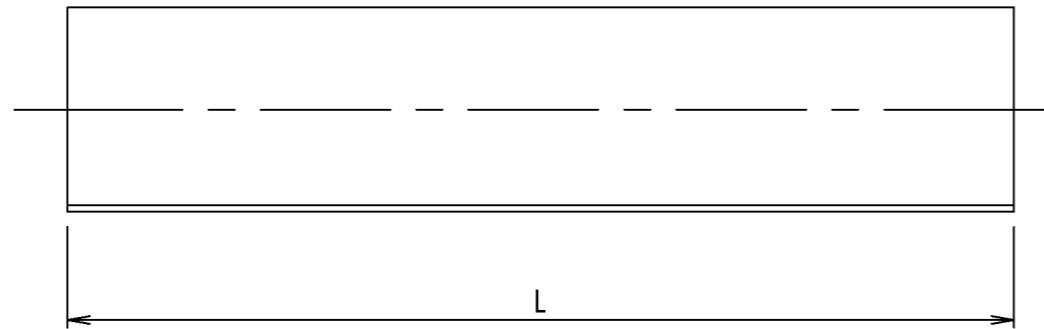
- 注1. 破線で示す形状にすることもできる。  
2. 受口内径 d<sub>1</sub> 及び d<sub>2</sub> は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。  
3. 接着受口A形の受口長さを、呼び径250は l=125±10、呼び径300は l=140±10とすることができる。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管 (3)

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正

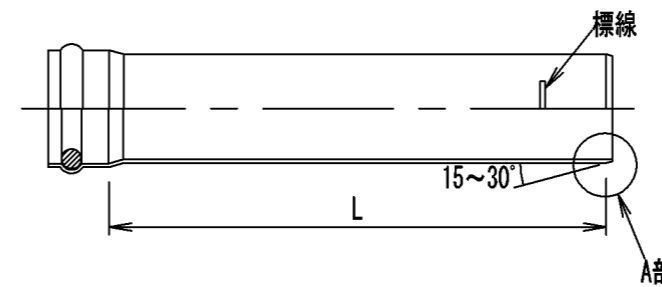
プレーンエンド直管



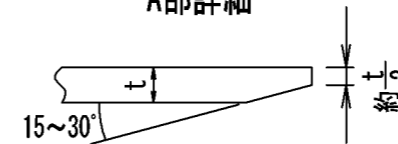
ゴム輪受口片受け直管

本管形 (略号 SRA)

取付け管形 (略号 SRB)



A部詳細



(単位: mm)

呼び径	L	参考市単コード
75	4,000 ±10	-
100		ZM50080040
125		ZM50080050
150		ZM50080060
※ 200		ZM50080070
※ 250		ZM50080080
※ 300		ZM50080090
※ 350		ZM50080100
※ 400		ZM50080110
※ 450		ZM50080120
500		ZM50080130
600		ZM50080140

注 ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	L	参考市単コード
100	4,000 ±15	ZM50080150
125		ZM50080160
150		ZM50080170
※ 200		ZM50080180
※ 250		ZM50080190
※ 300		ZM50080200
※ 350		ZM50080210
※ 400		ZM50080220
※ 450		ZM50080230
500		ZM50080240
600		ZM50080250

注 ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	L	参考市単コード
100	800 ±10 4,000 ±15	ZM50080910
125		ZM50080920
150		ZM50080930
※ 200		ZM50080940

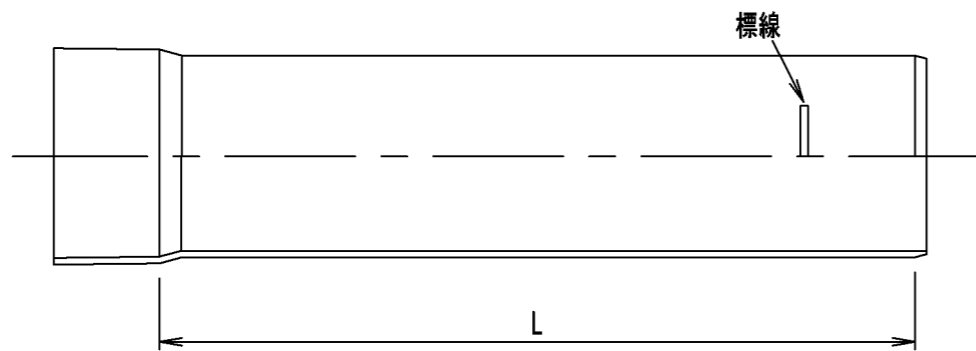
- 注1. 面取りの形状は、規定しない。
- 2. ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。
- 3. 市単コードは、L=800mmについて示す。

仙台市建設局

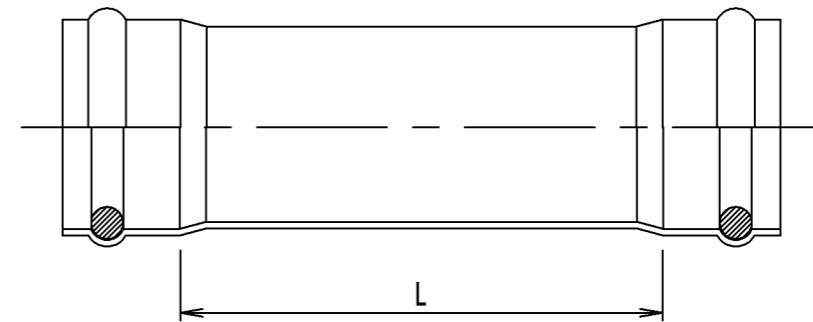
下水道用硬質塩化ビニル管（４）

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1  
平成22年3月1日改正

接着受口片受け直管  
(略号 ST)  
(一般的には使用しない)



ゴム輪受口両受け直管  
(略号 WSRA)



(単位：mm)

呼び径	L	参考市単コード
100	4,000 ±15	ZM50080260
125		ZM50080270
150		ZM50080280
200		ZM50080290
250		ZM50080300
300		ZM50080310
350		ZM50080320
400		ZM50080330
450		ZM50080340
500		ZM50080350
600		ZM50080360

注 面取りの形状は、規定しない。

(単位：mm)

呼び径	L (最小)	参考市単コード
100	3,500	ZM50080370
125		ZM50080380
150		ZM50080390
※ 200		ZM50080400
※ 250		ZM50080410
※ 300		ZM50080420
※ 350	3,000	ZM50080430
※ 400		ZM50080440
※ 450		ZM50080450
500		ZM50080460
600	-	

注 ゴム輪受口は、本管形とする。

※印の呼び径については、リップ付を使用することを標準とする。

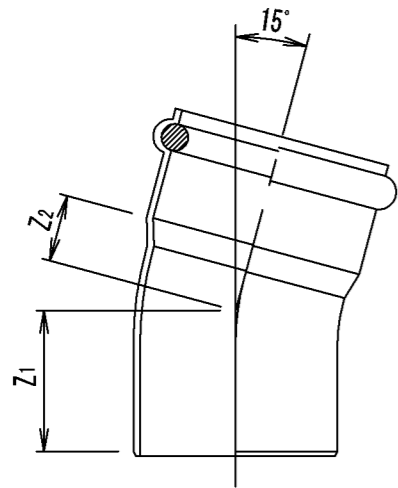
仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管 (5)

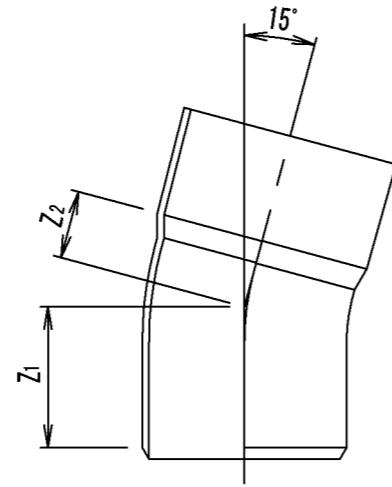
日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1  
平成22年3月1日改正

15度曲管

ゴム輪受口 (略号 15SR)

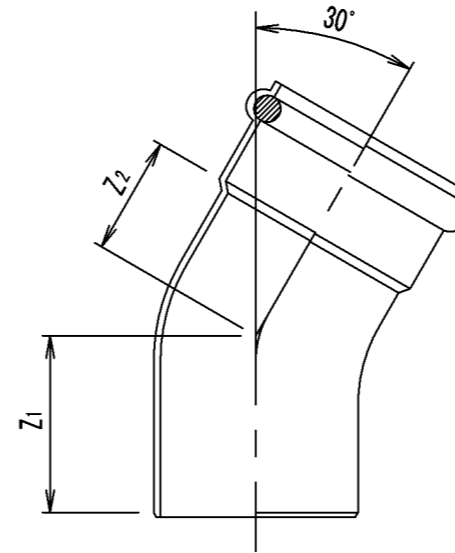


接着受口 (略号 15ST)  
(一般的には使用しない)

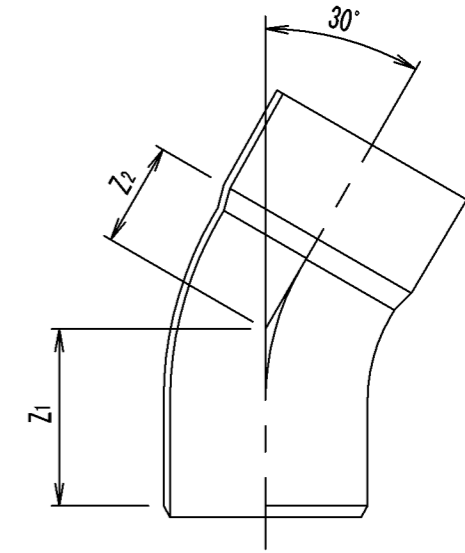


30度曲管

ゴム輪受口 (略号 30SR)



接着受口 (略号 30ST)  
(一般的には使用しない)



(単位: mm) 参考市単コード\*

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub> (最小)	ゴム輪受口
100	110	5	ZM50080470
125	118	10	ZM50080480
150	129	15	ZM50080490
200	149	25	ZM50080500

- 注1. Z<sub>1</sub> の許容差は、±15mmとする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

(単位: mm) 参考市単コード\*

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub> (最小)	ゴム輪受口
100	138	5	ZN50080030
125	146	10	ZN50080040
150	159	15	ZN50080050
200	187	25	ZN50080060

- 注1. Z<sub>1</sub> の許容差は、±15mmとする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

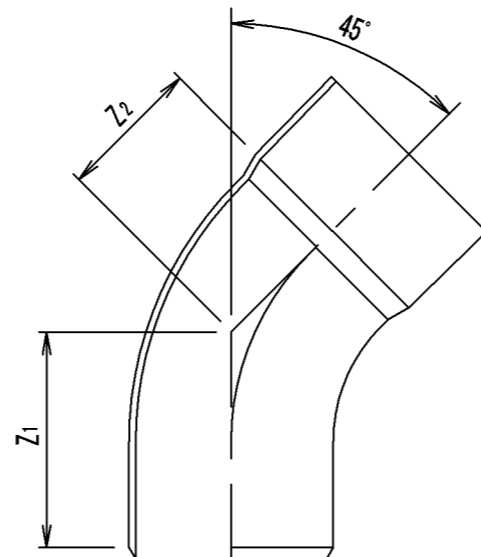
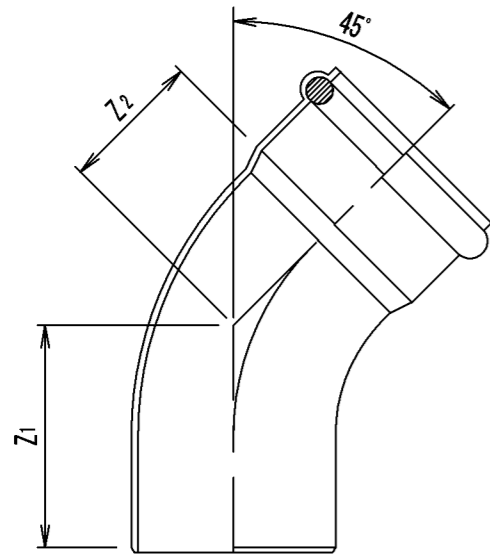
下水道用硬質塩化ビニル管 (6)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1  
平成22年3月1日改正

45度曲管  
(一般的には使用しない)

ゴム輪受口(略号 45SR)

接着受口(略号 45ST)



(単位: mm)

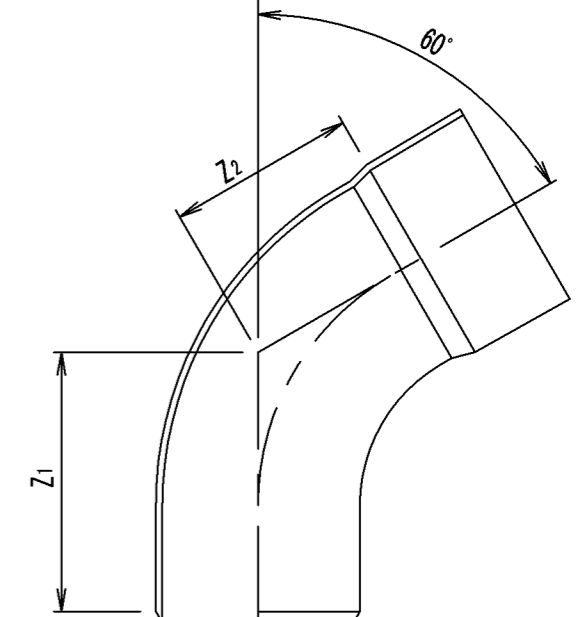
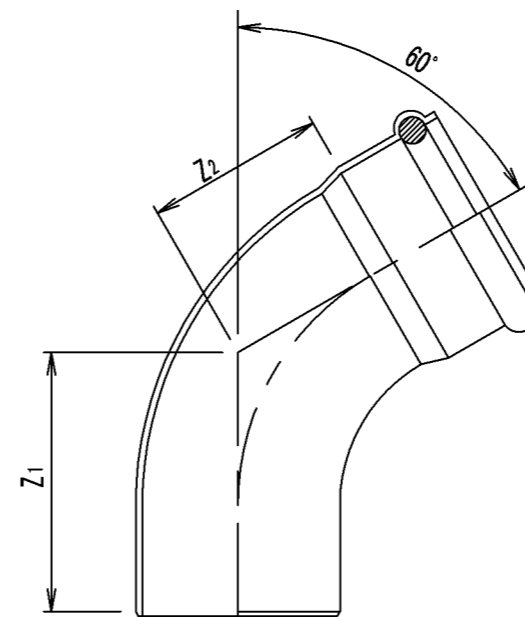
呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub> (最小)
100	167	35
125	175	35
150	191	40
200	228	55

- 注1. Z<sub>1</sub>の許容差は、±15mmとする。  
 2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
 3. 面取りの形状は、規定しない。

60度曲管  
(一般的には使用しない)

ゴム輪受口(略号 60SR)

接着受口(略号 60ST)



(単位: mm)

呼び径	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub> (最小)
100	199	55
125	207	55
150	227	60
200	274	75

- 注1. Z<sub>1</sub>の許容差は、±15mmとする。  
 2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
 3. 面取りの形状は、規定しない。

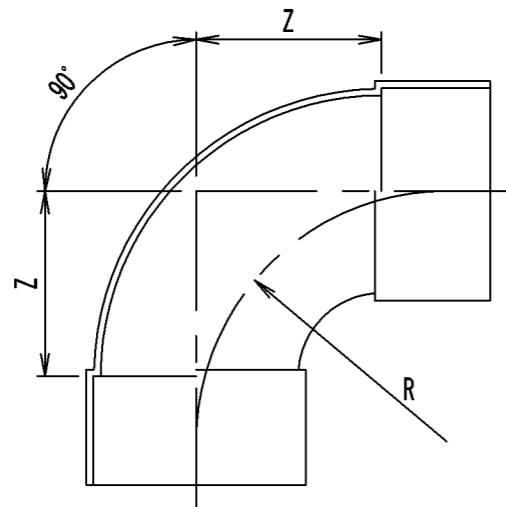
仙台市建設局



下水道用硬質塩化ビニル管 (7)

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正

90度曲管  
(略号 90ST)



(単位: mm)

呼び径	Z	R (参考)	参考市単コード
75	100	100	-
100	128	128	ZM50080570
125	140	140	ZM50080580
150	170	170	ZM50080590
200	196	196	ZM50080600
250	225	225	ZM50080610
300	250	250	ZM50080620

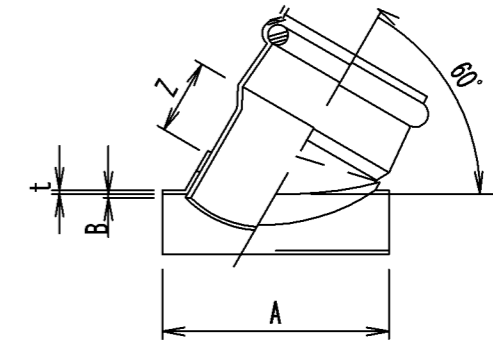
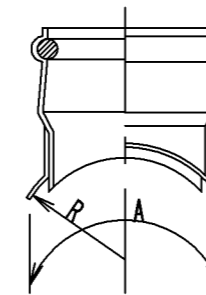
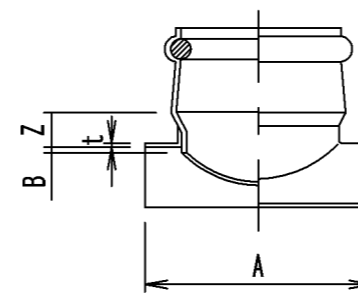
- 注1. Zの許容差は、±15mmとする。  
2. 主に副管用に使用。

硬質塩化ビニル管用90度及び管軸60度支管

90度(略号 90SVR)

管軸60度(略号 K60SVR)

(一般的には使用しない)



(単位: mm)

(単位: mm)

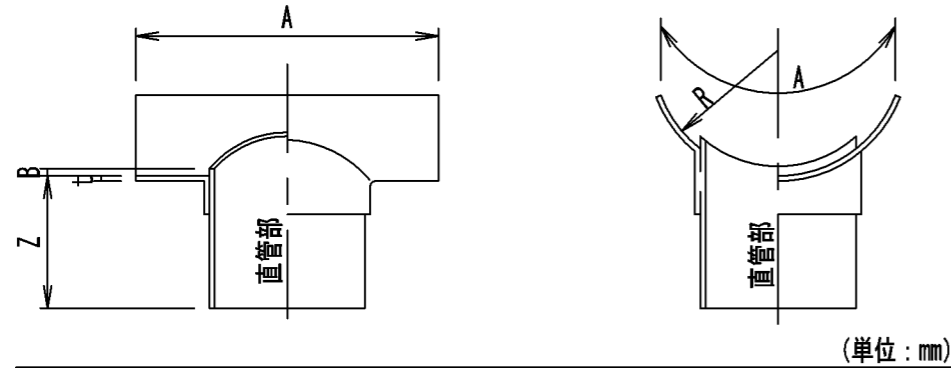
呼び径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考市単コード	呼び径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
	90度	60度							90度	60度				
150 - 100	45	80	4	230	5.1	82.5	ZM50080670	400 - 100	45	80				
※ 200 - 100	45	80	4	300	6.5	108	ZM50080670	400 - 125	45	85	4	300	11.8	210
※ 200 - 125	45	85					ZM50080680	400 - 150	50	95				
※ 200 - 150	50	95					ZM50080690	400 - 200	50	110				
※ 250 - 100	45	80	4	300	7.8	133.5	ZM50080670	450 - 100	45	80	4	300	13.2	235
※ 250 - 125	45	85					ZM50080680	450 - 125	45	85				
※ 250 - 150	50	95					ZM50080690	450 - 150	50	95				
※ 250 - 200	50	110					ZM50080700	450 - 200	50	110				
※ 300 - 100	45	80	4	300	9.2	159	ZM50080670	500 - 100	45	80	4	300	14.6	260
※ 300 - 125	45	85					ZM50080680	500 - 125	45	85				
※ 300 - 150	50	95					ZM50080690	500 - 150	50	95				
※ 300 - 200	50	110					ZM50080700	500 - 200	50	110				
※ 350 - 100	45	80	4	300	10.5	185	-	600 - 100	45	80	4	300	17.8	315
※ 350 - 125	45	85					-	600 - 125	45	85				
※ 350 - 150	50	95					-	600 - 150	50	95				
※ 350 - 200	50	110					-	600 - 200	50	110				

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
2. t、A、B、Rは、90度及び管軸60度支管に共通の寸法とする。  
3. Zの許容差は、±15mmとする。  
4. Rは、標準値を示す。  
5. 破線で示す形状にすることもできる。  
6. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
7. ※印の呼び径については、リップ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル管 (8)

硬質塩化ビニル管用副管90度支管  
(略号 VS)

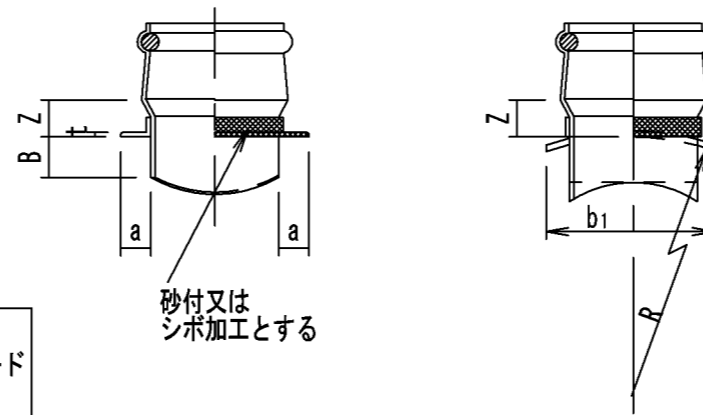


(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考市単コード
150 - 100	120	4	250	5.1	82.5	ZM50080750
※ 200 - 125	120	4	300	6.5	108	ZM50080760
※ 200 - 150	140					ZM50080770
※ 250 - 125	120	4	300	7.8	133.5	ZM50080760
※ 250 - 150	140					ZM50080770
※ 250 - 200	160					ZM50080780
※ 300 - 150	140	4	300	9.2	159	ZM50080770
※ 300 - 200	160					ZM50080780
※ 350 - 150	140	4	300	10.5	185	-
※ 350 - 200	160					-
※ 400 - 200	160	4	300	11.8	210	-
※ 400 - 250	200					-
※ 450 - 200	160	4	300	13.2	235	-
450 - 250	200					-
500 - 250	200	4	350	14.6	260	-
500 - 300	220					ZM50080800
600 - 300	220	4	350	17.8	315	ZM50080800

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-副管呼び径」である。  
 2. Zの許容差は、±10mmとする。  
 3. Rは、標準値を示す。  
 4. 破線で示す形状にすることもできる。  
 5. 直管部の寸法は、7ページによる。  
 6. ※印の呼び径については、リップ付を使用することを標準とする。

鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90度支管  
A形90度(略号 A90SHR)

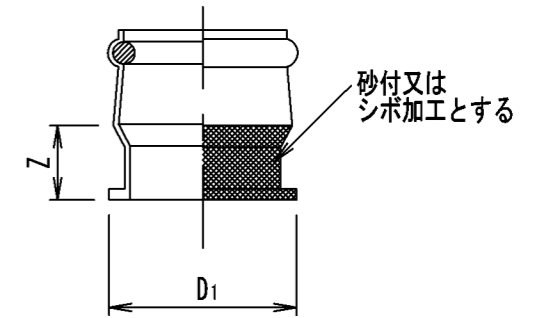


(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	a (最小)	b1 (最小)	B (最大)	参考市単コード
100	45	4	35	70	25	ZM50080950
125	45	4	35	90	25	ZM50080960
150	50	4	35	100	25	ZM50080970
200	50	4	35	140	25	ZM50080980

- 注1. Zの許容差は、±15mmとする。  
 2. Rは、本管の呼び径500以下は200mm、呼び径600以上は600mmを標準値とする。  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
 5. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正  
枝付鉄筋コンクリート管及び陶管用支管  
(略号 RH)



(単位: mm)

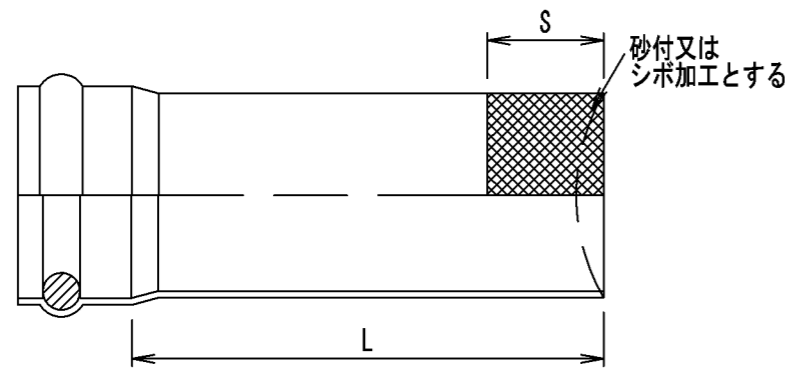
呼び径	D1	Z
100	138	70
125	168	70
150	198	80
200	248	80

- 注1. D1の許容差は、±5mmとする。  
 2. Zの許容差は、±15mmとする。  
 3. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
 4. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

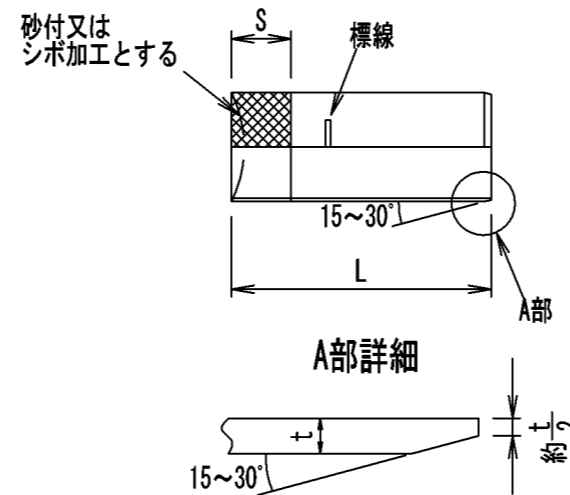
下水道用硬質塩化ビニル管 (9)

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正

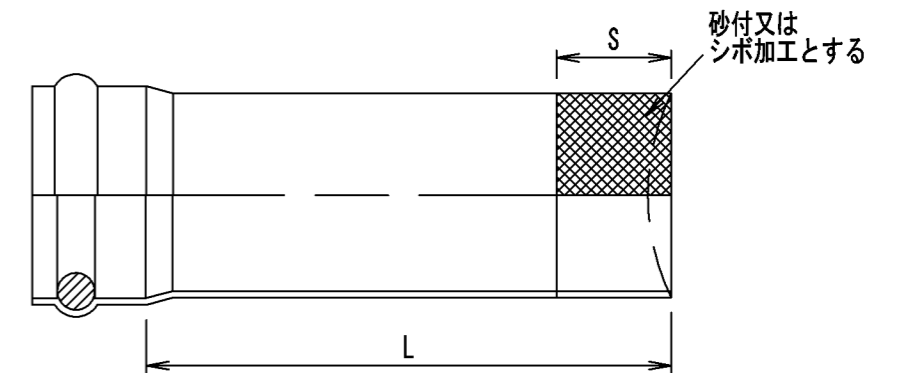
上流用マンホール継手  
(略号 MR)



下流用マンホール継手  
(略号 MSA)



副管分岐用マンホール継手  
(略号 MRL)



(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)	参考市単コード	
100	500±15	200	-	
125			-	
150			ZM50510010	
※ 200		250	ZM50510020	
※ 250			ZM50510030	
※ 300			ZM50510040	
※ 350			ZM50510050	
※ 400			300	ZM50510060
※ 450				ZM50510070
500				ZM50510080
600	ZM50510090			

- 注1. マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。  
 2. ゴム輪受口は、本管形とする。  
 3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。  
 4. ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)	参考市単コード		
100	500±15	200	-		
125			-		
150			ZM50510170		
※ 200	750±15	250	ZM50510180		
※ 250			ZM50510190		
※ 300			ZM50510200		
※ 350			ZM50510210		
※ 400			1000±15	300	ZM50510220
※ 450					ZM50510230
500					ZM50510240
600	ZM50510250				

- 注1. マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。  
 2. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。  
 3. ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)	参考市単コード
150	1000±15	200	ZM50510350
※ 200			ZM50510360
※ 250		250	ZM50510370
※ 300			ZM50510380
※ 350			ZM50510390
※ 400			300
※ 450		ZM50510410	
500		ZM50510420	
600		350	

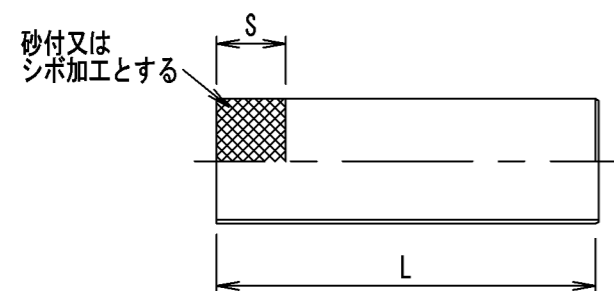
- 注1. マンホールの内径にあわせて、破線で示す形状にすることもできる。  
 2. ゴム輪受口は、本管形とする。  
 3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。  
 4. ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

仙台市建設局

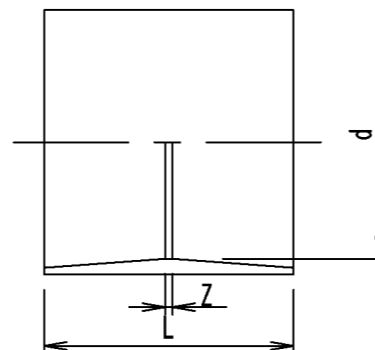
下水道用硬質塩化ビニル管 (10)

日本下水道協会規格  
J S W A S K-1  
平成22年3月1日改正

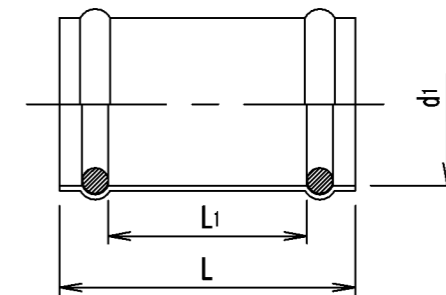
まず取付け継手  
(略号 MSB)



接着受口カラー  
(略号 WTB)  
(一般的には使用しない)



ゴム輪受口カラー  
(略号 WR)



(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)	参考市単コード
100	500±15	200	ZM50080870
125			ZM50080880
150			ZM50080890
200			ZM50080900

- 注1. 面取りの形状は、規定しない。  
注2. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

(単位: mm)

呼び径	L	Z	d (参考)	参考市単コード
75	84	4	83	-
100	105	5	107	-
125	135	5	131	-
150	165	5	154	ZM50510275
※ 200	235	5	202	ZM50510280
※ 250	276	5	250	ZM50510290
※ 300	307	5	298	ZM50510300

- 注1. Lの許容差は、呼び径75~150は±10mm、呼び径200~300は±20mmとする。  
注2. Zの許容差は、±2mmとする。  
注3. ※印の呼び径については、リブ付を使用することを標準とする。

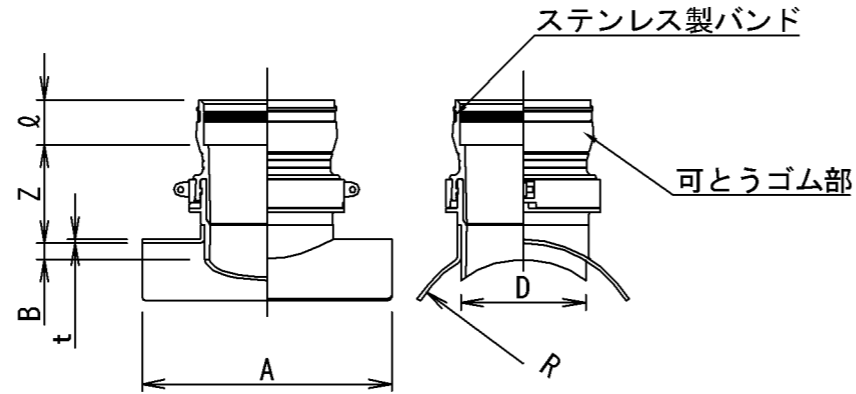
(単位: mm)

呼び径	L (最大)	L1 (最小)	d1 (最小)	参考市単コード
100	180	66	114.5	-
125	200	76	140.6	-
150	220	86	165.7	ZM50510260
200	250	107	216.9	ZM50510270

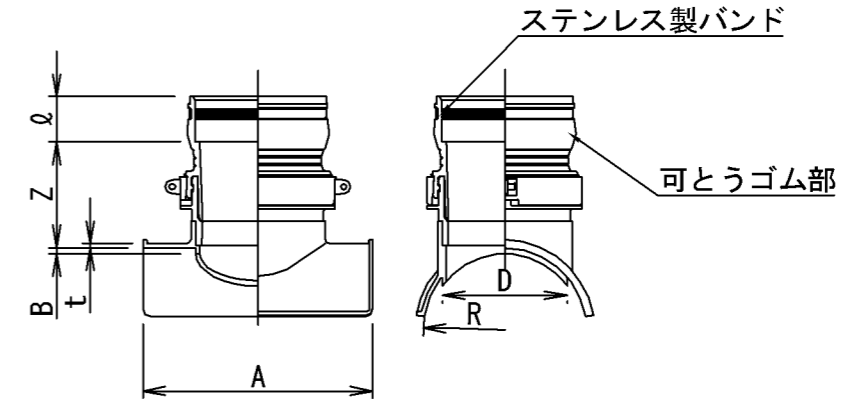
注. d1の寸法は、本管形と同一である。

## 下水道用可とう支管継手

本管鉄筋コンクリート管・陶管用



硬質塩化ビニル管用



(単位: mm)

呼び径	Z	φ	t (最小)	A (最小) (最大)	B	D	R	呼び径	Z	φ	t (最小)	A (最小) (最大)	B	D	R
200 - 150	130	60	5	300	25	165	133.5	250 - 200	163.5	73.5	5	300	26	216	159.0
250 - 150					26		159.0	300 - 200					28		180.0
300 - 150					28		180.0	350 - 200					30		210.0
350 - 150					30		210.0	400 - 200					33		235.0
400 - 150					33		235.0	450 - 200					36		260.0
450 - 150					36		260.0	500 - 200					40		315.0
500 - 150					40		315.0	600 - 200					48		350.0
600 - 150					48		350.0	700~900 - 200					56		408.0
700~900 - 150					56		408.0	1000~1350 - 200					79		582.0
1000~1350 - 150					79		582.0	1500以上 - 200					108		862.0
1500以上 - 150					108		862.0								

(単位: mm)

呼び径	Z	φ	t (最小)	A (最小) (最大)	B	D	R					
200 - 150	130	60	5	300	6.5	165	108.0					
250 - 150					7.8		133.5					
300 - 150					9.2		159.0					
350 - 150					10.5		185.0					
400 - 150					11.8		210.0					
450 - 150					13.2		235.0					
500 - 150					14.6		260.0					
600 - 150					17.8		315.0					
250 - 200					163.5		73.5	5	300	7.8	216	133.5
300 - 200										9.2		159.0
350 - 200										10.5		185.0
400 - 200	11.8	210.0										
450 - 200	13.2	235.0										
500 - 200	14.6	260.0										
600 - 200	17.8	315.0										

名称・規格	参考市単コード
下水道用可とう支管継手 本管HP φ200~φ1800×150	ZN20220001
下水道用可とう支管継手 本管CP φ200~φ600×150	ZN20220002
下水道用可とう支管継手 本管VU φ200~φ600×150	ZN20220003
下水道用可とう支管継手 本管HP φ250~φ1800×200	ZN20220004
下水道用可とう支管継手 本管CP φ250~φ600×200	ZN20220005
下水道用可とう支管継手 本管VU φ250~φ600×200	ZN20220006

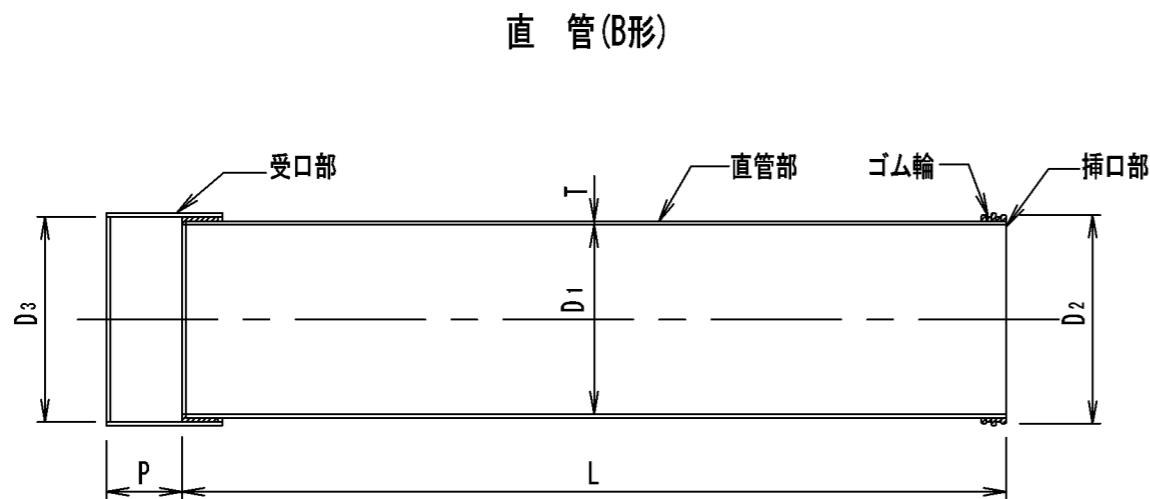
- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
- 注2. Rは、標準値を示す。
- 注3. Zの許容差は、±15mmとする。
- 注4. 性能上支障のない構造であれば、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
- 注5. 可とうゴム部分での曲げ配管は行わないこと。

仙台市建設局

下水道用強化プラスチック複合管（1）

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 2  
平成29年7月1日改正

(単位：mm)



呼び径	厚 さ		有 効 長		内 径		挿 口 部		受 口 部			参考市単コード		
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	D3	許容差	P	許容差	1種B形	2種B形
	200	7.0				200		229		230.5		140		ZN50540001
250	7.5				250		280		281.5				ZN50540010	ZN50550010
300	8.0	+3			300		331		332.5		150		ZN50540020	ZN50550020
350	8.5	-0			350	±1.5	382	±1.0	383.5	±1.0		±5	ZN50540030	ZN50550030
400	9.0				400		434		435.5		160		ZN50540040	ZN50550040
450	9.5				450		485		486.5				ZN50540050	ZN50550050
500	10.0				500		541		542.5				ZN50540060	ZN50550060
600	12.0				600		645		646.5		200		ZN50540070	ZN50550070
700	14.0				700		749		750.5				ZN50540080	ZN50550080
800	16.0				800		856		857.5				ZN50540090	ZN50550090
900	18.0	+5			900		960		961.5				ZN50540100	ZN50550100
1,000	20.0	-0	4,000	+30	1,000		1,068	±1.5	1,069.5	±1.5	220		ZN50540110	ZN50550110
1,100	22.0			-10	1,100		1,172		1,173.5				-	-
1,200	24.0				1,200		1,276		1,277.5				-	-
1,350	27.0				1,350		1,432		1,433.5				-	-
1,500	30.0				1,500	±3.0	1,588		1,589.5		250	±10	-	-
1,650	33.0				1,650		1,748		1,749.5		300		-	-
1,800	36.0				1,800		1,904		1,905.5				-	-
2,000	40.0				2,000		2,112		2,113.5		330		-	-
2,200	44.0	+7			2,200		2,320	±2.0	2,321.5	±2.0			-	-
2,400	48.0	-0			2,400		2,532		2,533.5		400		-	-
2,600	52.0				2,600		2,740		2,741.5				-	-
2,800	56.0				2,800		2,948		2,949.5		430		-	-
3,000	60.0				3,000		3,156		3,157.5				-	-

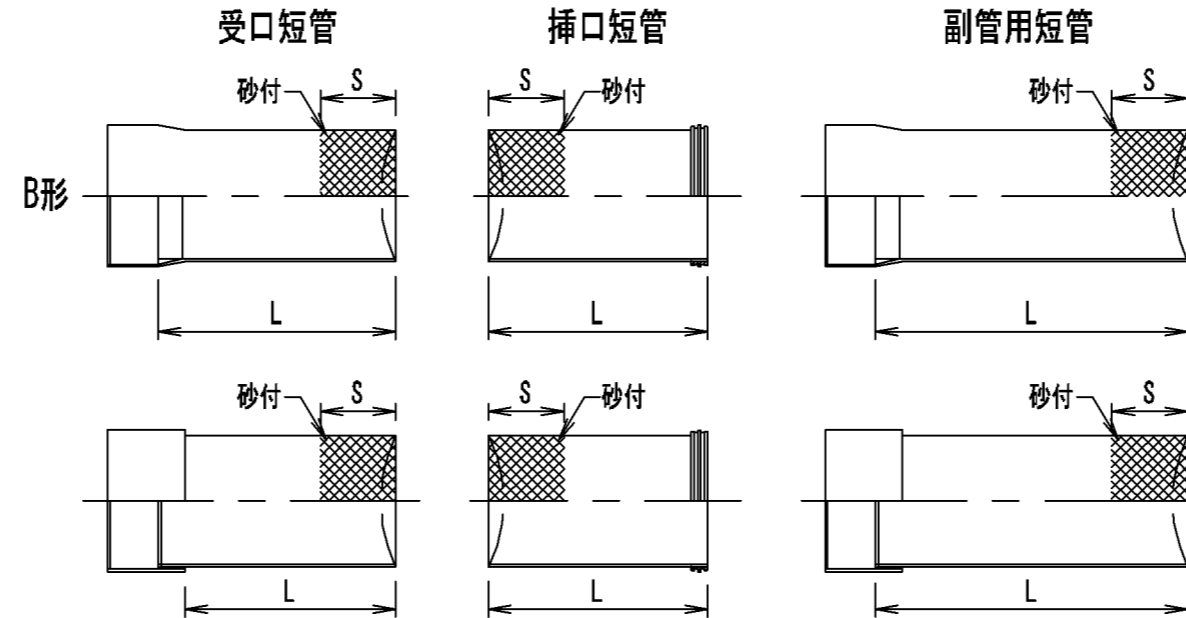
- 注1. 有効長（L）は、4000mm以下の他の長さとする事ができる。  
 2. 内径（D1）及び受口部内径（D3）は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。  
 3. 挿口部外径（D2）は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

仙台市建設局

## 下水道用強化プラスチック複合管（2）

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 2  
平成29年7月1日改正

### マンホール短管



（単位：mm）

呼び径	受口短管		挿口短管		副管用短管	
	有効長 (標準) L	砂付長さ (参考) S	有効長 (標準) L	砂付長さ (参考) S	有効長 (標準) L	砂付長さ (参考) S
200 - 350	500	250	500	250	1,000	250
400 - 700	750	300	750	300	1,250	300
800 - 1,350	1,000	400	1,000	400	1,500	400
1,500 - 2,000	1,500	600	1,500	600	2,000	600
2,200 - 3,000	2,000	800	2,000	800	-	-

注 厚さ（T）、内径（D）、挿口部外径（D<sub>2</sub>）、受口内径（D<sub>3</sub>）および受口部長さ（P）は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

呼び径 × 有効長	参考市単コード			
	受口短管		挿口短管	
	1種B形	2種B形	1種B形	2種B形
200 × 500	ZN50540002	ZN50540005	ZN50540003	ZN50540006
250 × 500	ZN50540120	ZN50550120	ZN50540230	ZN50550230
300 × 500	ZN50540130	ZN50550130	ZN50540240	ZN50550240
350 × 500	ZN50540140	ZN50550140	ZN50540250	ZN50550250
400 × 750	ZN50540150	ZN50550150	ZN50540260	ZN50550260
450 × 750	ZN50540160	ZN50550160	ZN50540270	ZN50550270
500 × 750	ZN50540170	ZN50550170	ZN50540280	ZN50550280
600 × 750	ZN50540180	ZN50550180	ZN50540290	ZN50550290
700 × 750	ZN50540190	ZN50550190	ZN50540300	ZN50550300
800 × 1,000	ZN50540200	ZN50550200	ZN50540310	ZN50550310
900 × 1,000	ZN50540210	ZN50550210	ZN50540320	ZN50550320
1,000 × 1,000	ZN50540220	ZN50550220	ZN50540330	ZN50550330

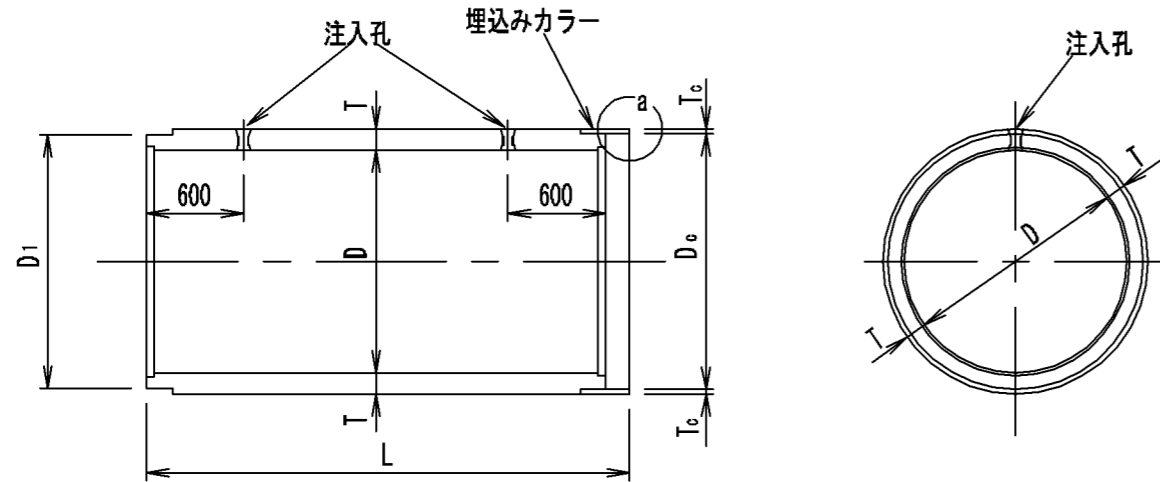
呼び径 × 有効長	参考市単コード	
	副管用短管（1種B形）	
	1種B形	2種B形
250 × 1,000	ZN50540340	ZN50550340
300 × 1,000	ZN50540350	ZN50550350
350 × 1,000	ZN50540360	ZN50550360
400 × 1,250	ZN50540370	ZN50550370
450 × 1,250	ZN50540380	ZN50550380
500 × 1,250	ZN50540390	ZN50550390
600 × 1,250	ZN50540400	ZN50550400
700 × 1,250	ZN50540410	ZN50550410
800 × 1,500	ZN50540420	ZN50550420
900 × 1,500	ZN50540430	ZN50550430
1,000 × 1,500	ZN50540440	ZN50550440

仙台市建設局

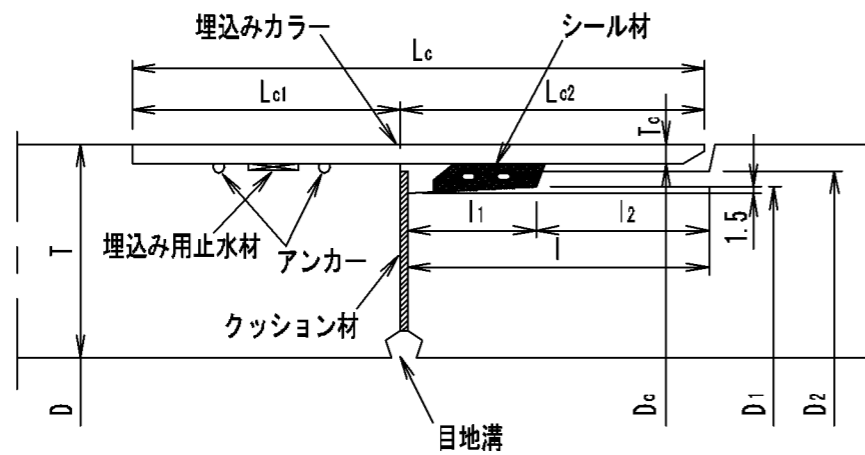
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（1）

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 2  
平成30年7月1日改正

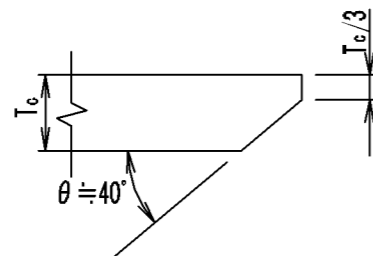
標準管の形状、寸法及び寸法の許容差  
(単位mm)



継手部詳細



a部詳細図



(単位: mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	π D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	厚さ T	有効長 L	I	I <sub>1</sub>	I <sub>2</sub>	参考市単コード				
										E形1種50N/mm <sup>2</sup>	E形2種50N/mm <sup>2</sup>			
800	800 ±4	933 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2,931 ±3	942	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2,430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	132±2	60	72	ZM05640010	ZN05640110			
900	900 ±6	1,053 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3,308 ±3	1,062	90 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>					ZM05640020	ZN05640120			
1,000	1,000 ±6	1,173 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3,685 ±3	1,182	100 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>					ZM05640030	ZN05640130			
1,100	1,100 ±6	1,283 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4,031 ±3	1,292	105 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>					ZM05640040	ZN05640140			
1,200	1,200 ±6	1,403 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4,408 ±3	1,412	115 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>					ZM05640050	ZN05640150			
1,350	1,350 ±8	1,563 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4,910 ±6	1,577	125 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>					ZM05640060	ZN05640160			
1,500	1,500 ±8	1,743 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5,476 ±6	1,757	140 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>					ZM05640070	ZN05640170			
1,650	1,650 ±8	1,913 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6,010 ±6	1,927	150 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>					ZM05640080	ZN05640180			
1,800	1,800 ±10	2,083 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6,544 ±6	2,097	160 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>					ZM05640090	ZN05640190			
2,000	2,000 ±10	2,313 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7,267 ±6	2,327	175 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>					ZM05640100	ZN05640200			
2,200	2,200 ±10	2,543 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7,989 ±6	2,557	190 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>					ZM05640010	ZN05640210			
2,400	2,400 ±12	2,763 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8,680 ±9	2,779	205 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>					152±2	70	82	ZM05640020	ZN05640220
2,600	2,600 ±12	2,993 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9,403 ±9	3,009	220 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>								ZM05640030	ZN05640230
2,800	2,800 ±12	3,223 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10,125 ±9	3,239	235 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>								ZM05640040	ZN05640240
3,000	3,000 ±12	3,453 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10,848 ±9	3,469	250 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>	ZM05640050	ZN05640250							

仙台市建設局



下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（2）

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 2  
平成30年7月1日改正

(単位：mm)

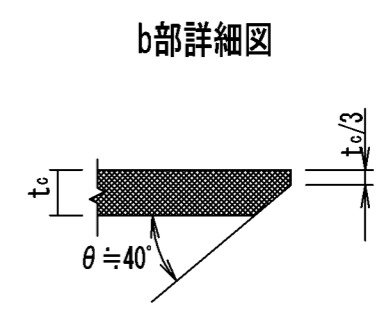
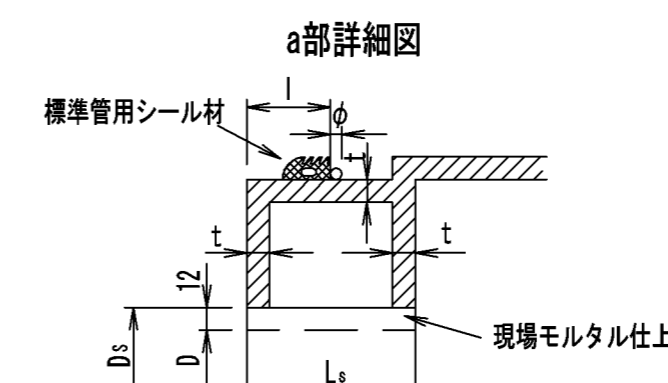
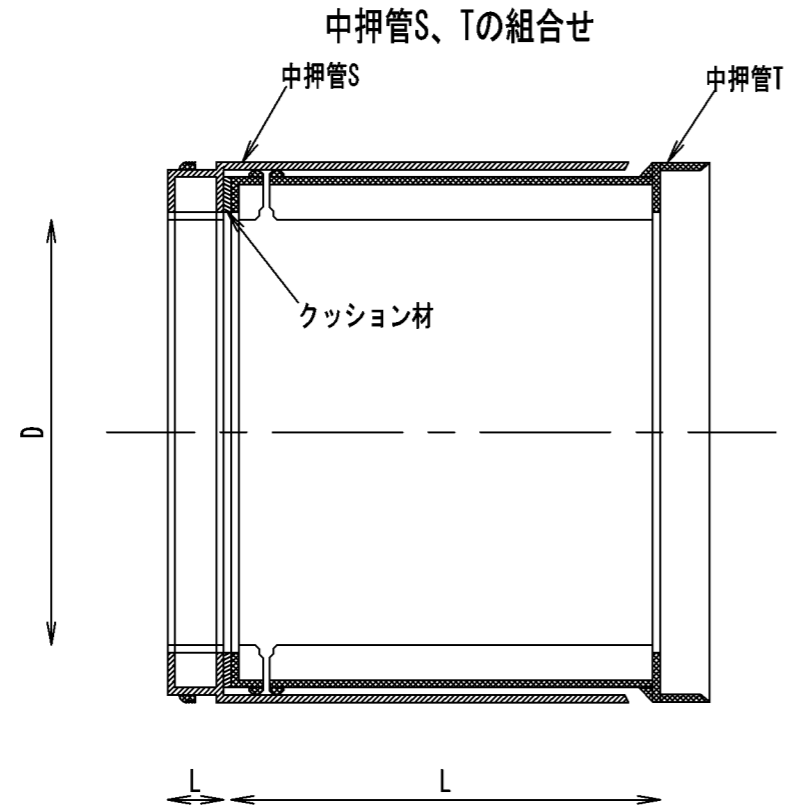
呼び径	L <sub>c1</sub>	L <sub>c2</sub>	L <sub>c</sub>	T <sub>c</sub>	D <sub>c</sub>	$\pi(D_c + 2T_c)$		
800	120	130 ±2	250 <sup>+5</sup> / <sub>-2</sub>	4.5	951	3,016 ±3		
900					1,071	3,393 ±3		
1,000					1,191	3,770 ±3		
1,100					1,301	4,115 ±3		
1,200					1,421	4,492 ±3		
1,350				6			1,588	5,027 ±5
1,500							1,768	5,592 ±5
1,650							1,938	6,126 ±5
1,800							2,108	6,660 ±5
2,000							2,338	7,383 ±5
2,200		2,568	8,105 ±5					
2,400	150	150 ±2	300 <sup>+5</sup> / <sub>-2</sub>	9	2,792	8,828 ±5		
2,600					3,022	9,550 ±5		
2,800					3,252	10,273 ±5		
3,000					3,482	10,996 ±5		

- 注1. 標準管の有効長は、 $1200 \frac{+10}{-5}$  とすることができる。
2. 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は $2430 \frac{+10}{-20}$ 、 $1200 \frac{+10}{-20}$ とする。
3. 有効長の最大と最小との差は、3mm以内とする。
4. 呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。
5. 注入孔の数及び位置は、必要に応じて変更することができる。

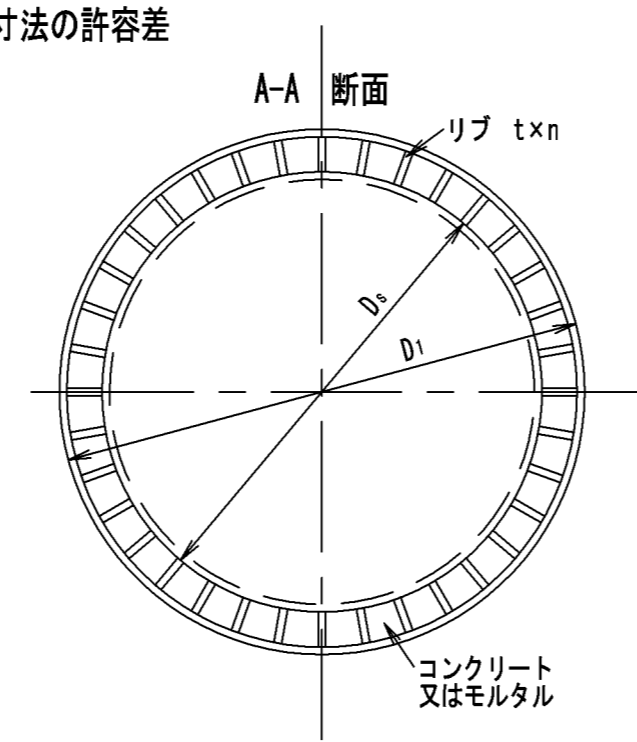
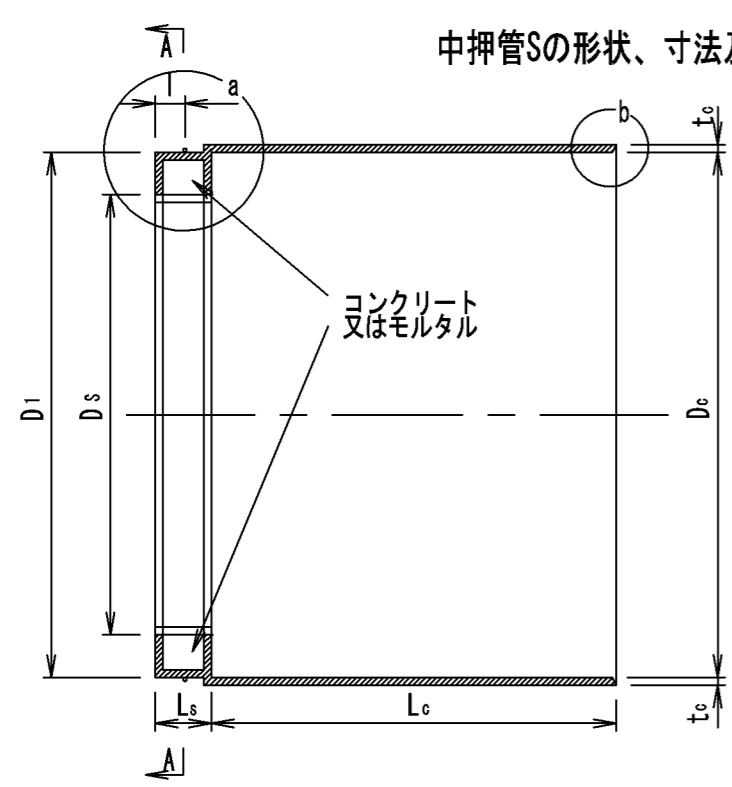
仙台市建設局

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 (3)

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 2  
平成30年7月1日改正



注) 現場条件に応じて、水膨張性シーリング材の使用を検討すること。



(単位 : mm)

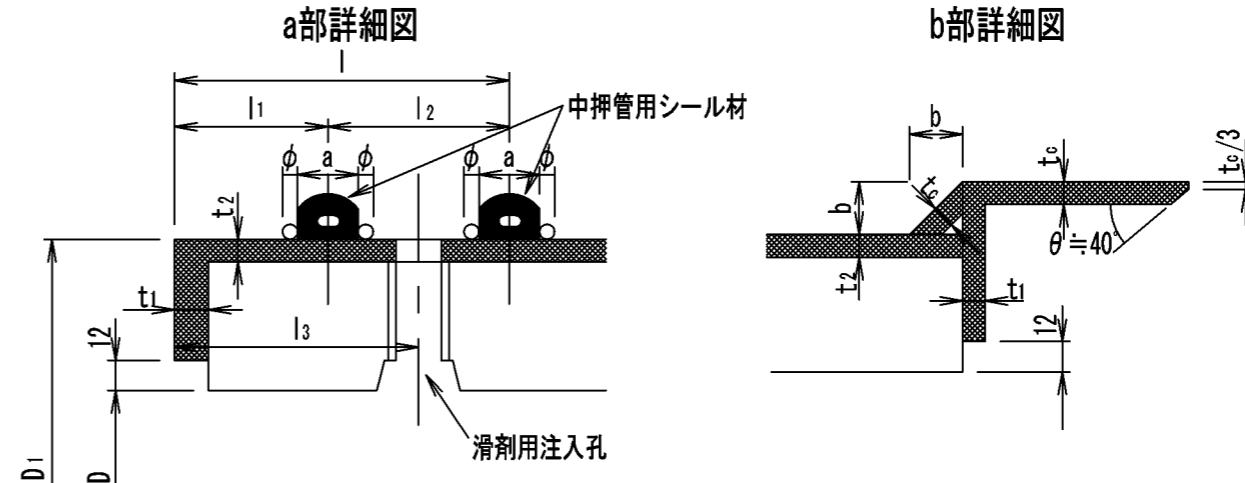
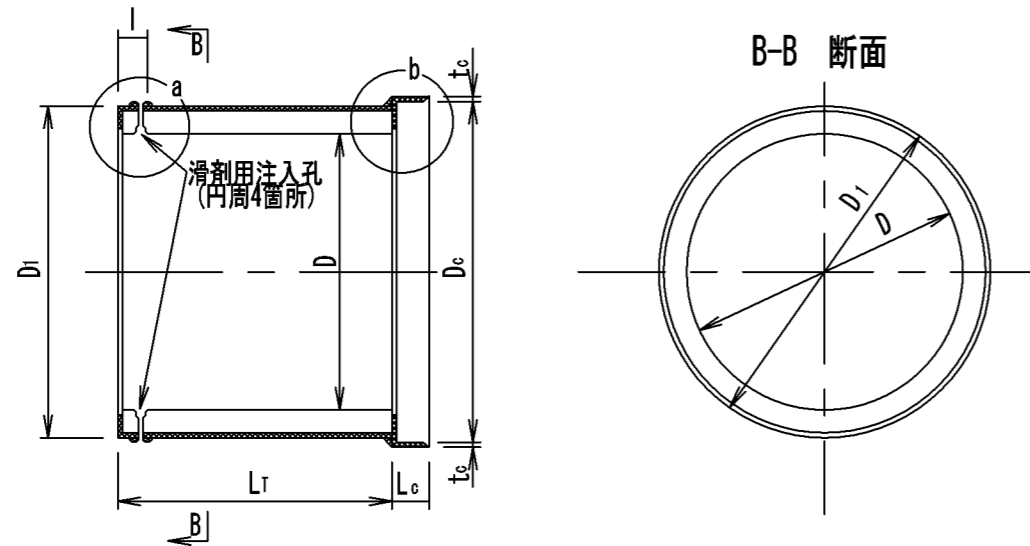
呼び径	内径 D	D <sub>s</sub>	D <sub>1</sub>	$\pi \cdot D_1$	D <sub>c</sub>	$\pi (D_c + 2t_c)$	有効長 L <sub>s</sub>	L <sub>c</sub>	l	t <sub>c</sub>	t	φ	リブ n(枚)
1,000	1,000	1,024	1,173 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3,685±3	1,182	3,770±3	150±2	1,100 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	60	9	16	6	28
1,100	1,100	1,124	1,283 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4,031±3	1,292	4,115±3							32
1,200	1,200	1,224	1,403 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4,408±3	1,406	4,492±3	155±2	60	12	19	9	36	
1,350	1,350	1,374	1,563 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4,910±6	1,576	5,027±5						40	
1,500	1,500	1,524	1,743 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5,476±6	1,756	5,592±5	160±2	1,150 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	12	22	9	44	
1,650	1,650	1,674	1,913 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6,010±6	1,926	6,126±5						48	
1,800	1,800	1,824	2,083 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6,544±6	2,096	6,660±5	160±2	1,150 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	12	22	9	52	
2,000	2,000	2,024	2,313 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7,267±6	2,326	7,383±5						58	
2,200	2,200	2,224	2,543 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7,989±6	2,556	8,105±5	180±2	1,200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	64	
2,400	2,400	2,424	2,763 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8,680±9	2,778	8,828±5						72	
2,600	2,600	2,624	2,993 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9,403±9	3,008	9,550±5	180±2	1,200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	78	
2,800	2,800	2,824	3,223 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10,125±9	3,238	10,273±5						84	
3,000	3,000	3,024	3,453 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10,848±9	3,468	10,996±5	180±2	1,200 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	70	16	25	90	

仙台市建設局

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（４）

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 2  
平成30年7月1日改正

中押管Tの形状、寸法及び寸法の許容差



注) 現場条件に応じて、水膨張性シール材の使用を検討すること。

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	$\pi \cdot D_1$	D <sub>c</sub>	$\pi (D_c + 2t_c)$	有効長 L <sub>T</sub>	L <sub>c</sub>	
1,000	1,000 ±6	1,164 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	3,657 ±3	1,191	3,770 ±3	1,150 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	130 ±2	
1,100	1,100 ±6	1,274 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	4,002 ±3	1,301	4,115 ±3			
1,200	1,200 ±6	1,388 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	4,361 ±3	1,421	4,492 ±3			
1,350	1,350 ±8	1,551 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	4,873 ±6	1,588	5,027 ±5	1,200 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>		
1,500	1,500 ±8	1,731 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	5,438 ±6	1,768	5,592 ±5			
1,650	1,650 ±8	1,901 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	5,972 ±6	1,938	6,126 ±5			
1,800	1,800 ±10	2,071 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	6,506 ±6	2,108	6,660 ±5			
2,000	2,000 ±10	2,301 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	7,229 ±6	2,338	7,383 ±5	1,250 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>		150 ±2
2,200	2,200 ±10	2,531 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	7,951 ±6	2,568	8,105 ±5			
2,400	2,400 ±12	2,749 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	8,636 ±9	2,792	8,828 ±5			
2,600	2,600 ±12	2,979 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	9,359 ±9	3,022	9,550 ±5			
2,800	2,800 ±12	3,209 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	10,081 ±9	3,252	10,273 ±5			
3,000	3,000 ±12	3,439 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	10,804 ±9	3,482	10,996 ±5			

(単位: mm)

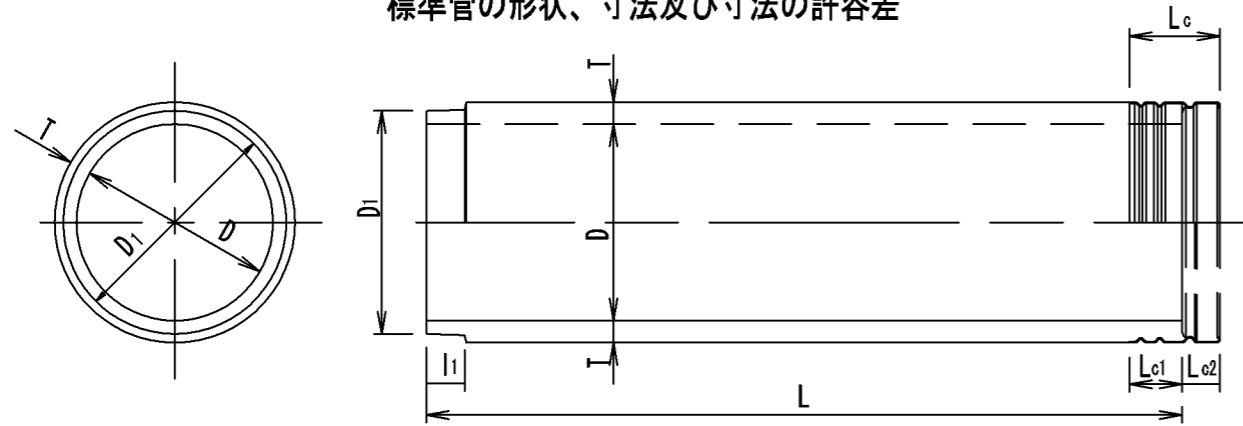
呼び径	l	l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	l <sub>3</sub>	a	b	t <sub>c</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	φ	
1,000	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	6	
1,100						21					
1,200						21					
1,350	140	65	75	102.5	30	24	6	6	9		
1,500											12
1,650											
1,800									150		70
2,000											
2,200											
2,400											
2,600											
2,800											
3,000											

仙台市建設局

下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（1）

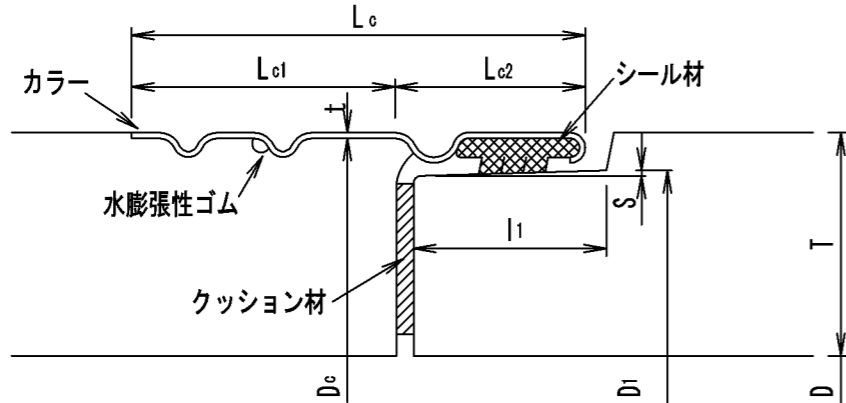
日本下水道協会規格  
J S W A S A - 6  
平成12年12月1日改正

標準管の形状、寸法及び寸法の許容差



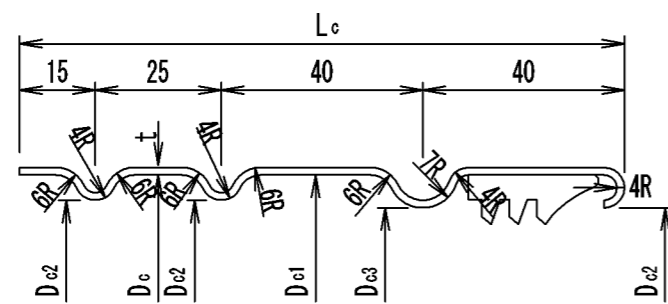
注)現場条件に応じて、水膨張性シール材の使用を検討すること。

継手部詳細

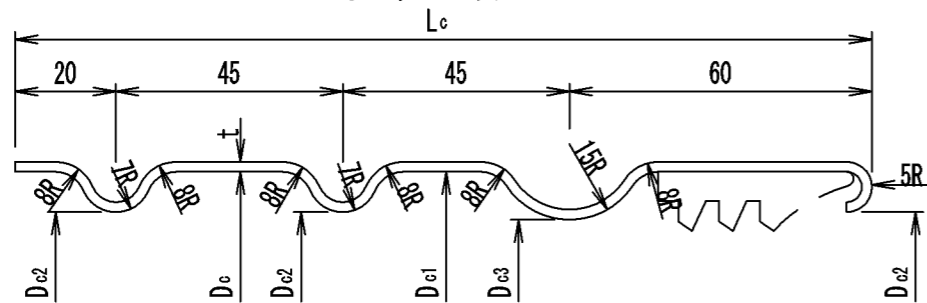


カラー詳細

呼び径 250~500



呼び径600及び700



(単位: mm)

呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	π D <sub>1</sub>	厚さ T	有効長 L	L <sub>1</sub>	S
200	200 ±3	298 ±2	936 ±3	59 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2,000 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	1.5
250	250 ±3	340 ±2	1,068 ±3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			
300	300 ±4	394 ±2	1,238 ±3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			
350	350 ±4	450 ±2	1,414 ±3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2,430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>		
400	400 ±4	506 ±2	1,590 ±3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			
450	450 ±4	564 ±2	1,772 ±3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			
500	500 ±4	620 ±2	1,948 ±3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	81 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	2.5	
600	600 ±4	736 ±2	2,312 ±3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			
700	700 ±4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2,689 ±3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			

呼び径	L <sub>c</sub>	L <sub>c1</sub>	L <sub>c2</sub>	t	D <sub>c</sub>	π (D <sub>c</sub> +2t)	D <sub>c1</sub>	D <sub>c2</sub>	D <sub>c3</sub>	参考市単コード	
										I類	II類
200	120 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	70	50 ±2	1.5	313	993 ±3	316	300	297	-	-
250					355	1,125 ±3	358	342	339	ZM05650010	ZM05650090
300					409	1,294 ±3	412	396	393	ZM05650020	ZM05650100
350					465	1,470 ±3	468	452	449	ZM05650030	ZM05650110
400					521	1,646 ±3	524	508	505	ZM05650040	ZM05650120
450					579	1,828 ±3	582	566	563	ZM05650050	ZM05650130
500					635	2,004 ±3	638	622	619	ZM05650060	ZM05650140
600	170 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	90	80 ±2	2.0	754	2,381 ±3	758	738	735	ZM05650070	ZM05650150
700					874	2,758 ±3	878	858	855	ZM05650080	ZM05650160

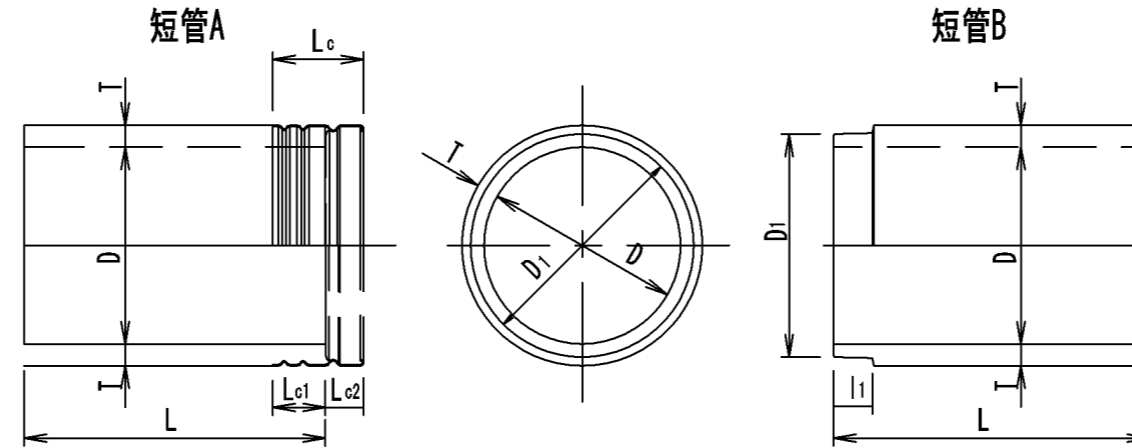
- 注1. 有効長 (L) は、呼び径200~300については1,000<sup>+10</sup><sub>-5</sub>mm、呼び径350~700については1,200<sup>+10</sup><sub>-5</sub>mmとすることができる。
2. 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。ただし、有効長は呼び径200~300については2,000<sup>+10</sup><sub>-20</sub>mm、呼び径350~700については2,430<sup>+10</sup><sub>-20</sub>mmとする。
3. 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。

仙台市建設局

下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（2）

日本下水道協会規格  
J S W A S A - 6  
平成12年12月1日改正

短管の形状、寸法及び寸法の許容差



(単位：mm)

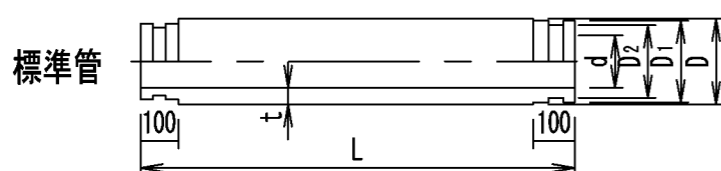
呼び径	内径 D	D <sub>1</sub>	$\pi D_1$	厚さ T	有効長 L	l <sub>1</sub>	S	L <sub>c</sub>	L <sub>c1</sub>	L <sub>c2</sub>	t	D <sub>c</sub>	$\pi (D_c + 2t)$	D <sub>c1</sub>	D <sub>c2</sub>	D <sub>c3</sub>
200	200 ±3	298 ±2	936 ±3	59 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	990 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>							313	993 ±3	316	300	297
250	250 ±3	340 ±2	1,068 ±3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								355	1,125 ±3	358	342	339
300	300 ±4	394 ±2	1,238 ±3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								409	1,294 ±3	412	396	393
350	350 ±4	450 ±2	1,414 ±3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	1,200 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	1.5	120 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	70	50 ±2	1.5	465	1,470 ±3	468	452	449
400	400 ±4	506 ±2	1,590 ±3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								521	1,646 ±3	524	508	505
450	450 ±4	564 ±2	1,772 ±3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								579	1,828 ±3	582	566	563
500	500 ±4	620 ±2	1,948 ±3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								635	2,004 ±3	638	622	619
600	600 ±4	736 ±2	2,312 ±3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		81 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	2.5	170 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	90	80 ±2	2.0	754	2,381 ±3	758	738	735
700	700 ±4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2,689 ±3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								874	2,758 ±3	878	858	855

仙台市建設局

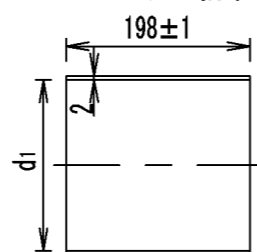
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（1）

日本下水道協会規格  
J S W A S K-6  
平成21年3月1日改正

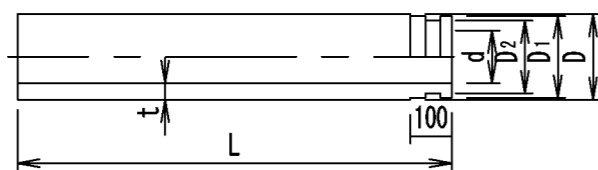
SUSカラー付直管(略号 SUSR)



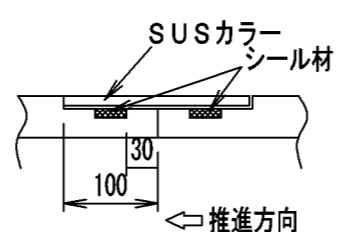
SUSカラー詳細図



先頭管  
兼用  
最終管



接続部参考図



(単位：mm)

呼び径	D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	d (参考)	d <sub>1</sub>	t	L	参考市単コード		
								標準管	先頭管	最終管
150	165 ±0.5	160 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	154 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	146	161.3 ±0.5	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1,000 ±3	-	-	-
200	216 ±0.7	211 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	205 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	194	212.3 ±0.5	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	1,000 ±3	ZN50530010	ZN50530090	ZN50530170
250	267 ±0.9	262 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	256 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	240	263.3 ±0.5	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>		ZN50530030	ZN50530110	ZN50530190
300	318 ±1.0	313 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	307 <sup>+0.6</sup> <sub>-0.3</sub>	286	314.3 ±0.5	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>		ZN50530050	ZN50530130	ZN50530210
350	370 ±1.2	365 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	359 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	339	366.7 ±0.5	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>	2,000 ±5	ZN50530070	ZN50530150	ZN50530230
400	420 ±1.3	415 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	409 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	385	416.7 ±0.5	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>		-	-	-
450	470 ±1.5	465 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	459 <sup>+1.0</sup> <sub>-0.5</sub>	431	466.7 ±0.5	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>		-	-	-

- 注1. D、D<sub>1</sub>及びD<sub>2</sub>は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 注2. 先頭管とは、先導体に接続する管で、最終管とは、推進時の最後に使用する管である。また、標準管とは、その間の推進時に使用する管をいう。  
 注3. 差し口先端部は、糸面取りとする。  
 注4. シール材の形状及びシール材周辺部の形状は、規定しない。

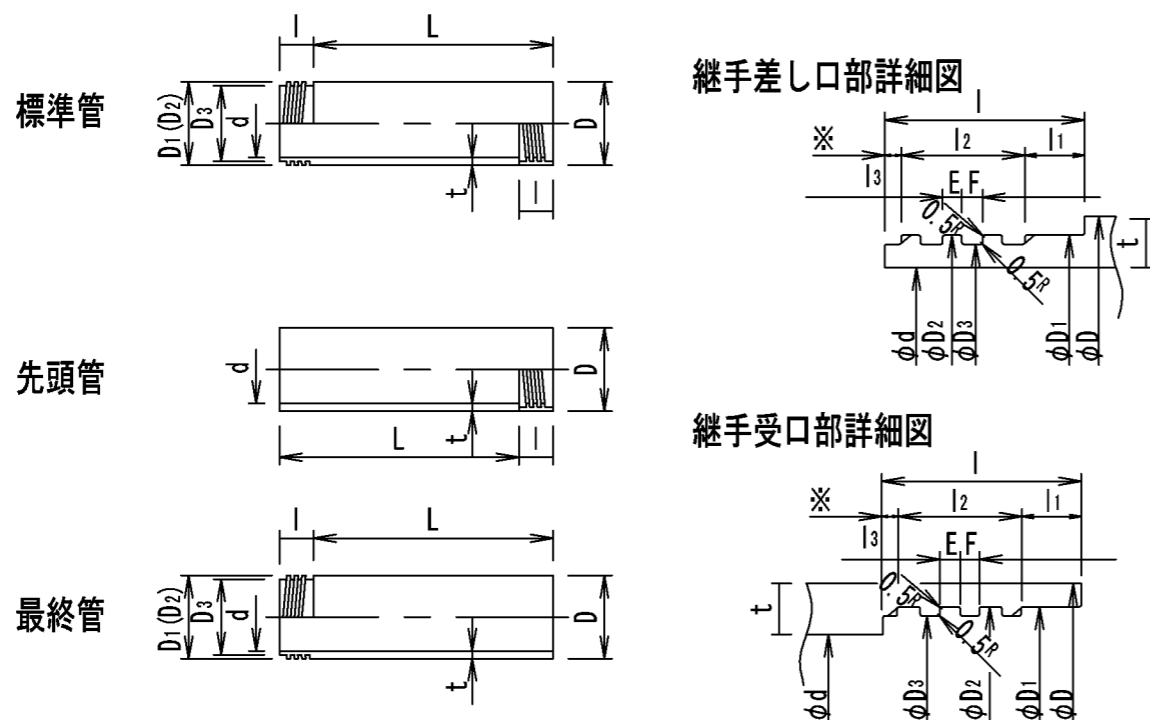
仙台市建設局

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（2）

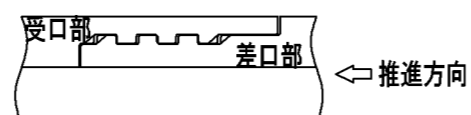
日本下水道協会規格  
J S W A S K - 6  
平成21年3月1日改正

スパイラル継手付直管(略号 SSPS)

(単位: mm)



接続部参考図



※は、差し口先端部が受口最奥部に当たる寸法にて加工すること。

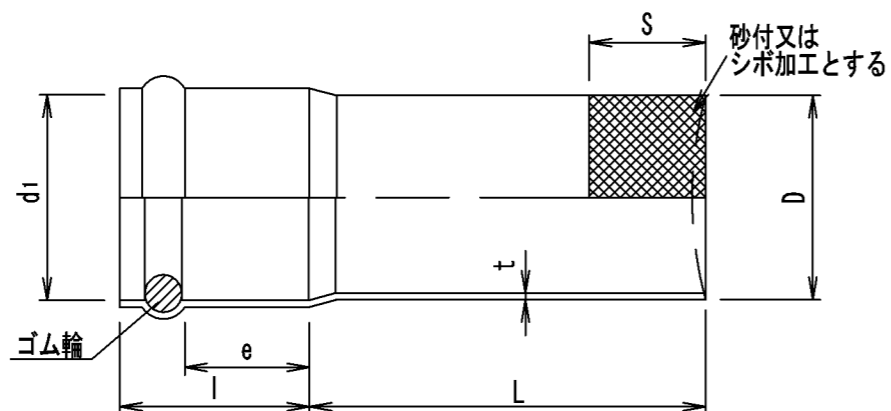
呼び径		D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	d (参考)	l	t	L
150	受口部	165 ± 0.5	158.4 ± 0.3	158.4 ± 0.3	154.2 ± 0.3	146	64 ± 1	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	800 ± 3
	差し口部		157.8 ± 0.3	157.4 ± 0.3	153.2 ± 0.3		65 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		1,000 ± 3
200	受口部	216 ± 0.7	208.2 ± 0.3	208.2 ± 0.3	203.2 ± 0.3	194	64 ± 1	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	800 ± 3 1,000 ± 3 800 ± 3 1,000 ± 3 2,000 ± 5
	差し口部		207.6 ± 0.3	207.2 ± 0.3	202.2 ± 0.3		65 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		
250	受口部	267 ± 0.9	258.6 ± 0.4	258.6 ± 0.4	251.4 ± 0.4	240	64 ± 1	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>	
	差し口部		257.8 ± 0.4	257.4 ± 0.4	250.2 ± 0.4		65 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		
300	受口部	318 ± 1.0	307.8 ± 0.4	307.8 ± 0.4	299.4 ± 0.4	286	64 ± 1	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
	差し口部		307.0 ± 0.4	306.6 ± 0.4	298.2 ± 0.4		65 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		
350	受口部	370 ± 1.2	362.5 ± 0.5	362.4 ± 0.5	353.8 ± 0.5	339	79 ± 1	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>	
	差し口部		361.5 ± 0.5	361.0 ± 0.5	352.4 ± 0.5		80 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		
400	受口部	420 ± 1.3	411.6 ± 0.5	411.5 ± 0.5	401.9 ± 0.5	385	79 ± 1	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	
	差し口部		410.6 ± 0.5	410.1 ± 0.5	400.5 ± 0.5		80 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		
450	受口部	470 ± 1.5	460.5 ± 0.5	460.4 ± 0.5	449.8 ± 0.5	431	79 ± 1	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>	
	差し口部		459.5 ± 0.5	459.0 ± 0.5	448.4 ± 0.5		80 <sup>+1</sup> <sub>0</sub>		

- 注1. D、D<sub>1</sub>、D<sub>2</sub>及びD<sub>3</sub>は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 2. 先頭管とは、先導体に接続する管で、最終管とは、推進時の最後に使用する管である。また、標準管とは、その間の推進時に使用する管をいう。  
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。

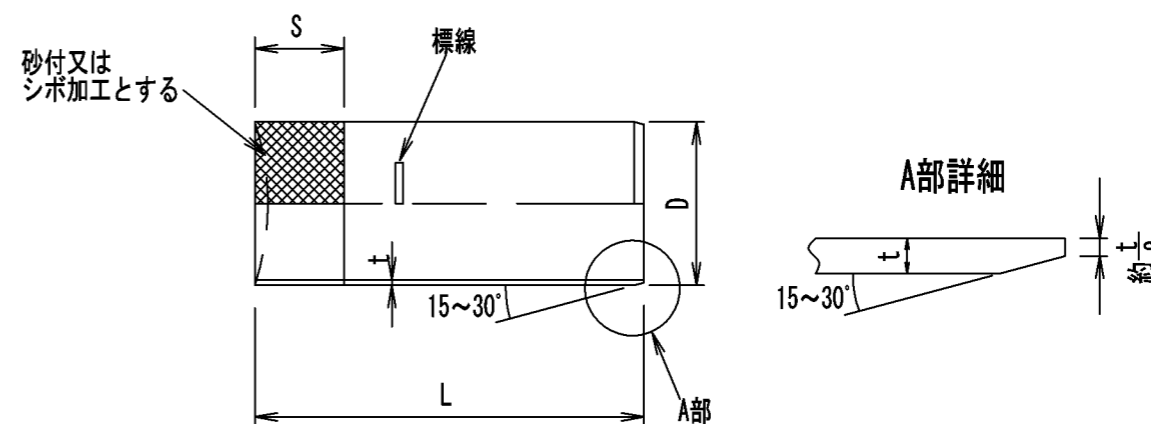
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（3）

日本下水道協会規格  
J S W A S K-6  
平成21年3月1日改正

上流用マンホール継手  
(略号 MR-VP、MR-VM)



下流用マンホール継手  
(略号 MSA-VP、MSA-VM)



(単位：mm)

呼び径	受口部			直管部				略号	
	d <sub>1</sub> (最小)	e (最小)	l (最大)	D	t	L	S (参考)		
150	165.7	53	165	165 ± 0.5	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	500 ± 15	200	MR-VP	
200	216.9	54	185	216 ± 0.7	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>		250		
250	268.1	59	205	267 ± 0.9	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>				
300	319.3	62	225	318 ± 1.0	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>		750 ± 15	250	MSA-VP
350	371.5	67	240	370 ± 1.2	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>				
400	421.7	72	260	420 ± 1.3	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>		1,000 ± 15	300	MSA-VM
450	471.9	77	285	470 ± 1.5	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>				

- 注1. マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。  
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は、規定しない。  
 3. D 及び d<sub>1</sub> は任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 4. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの凹凸を付ける加工をいう。

(単位：mm)

呼び径	差し口部		直管部		略号
	D	t	L	S (参考)	
150	165 ± 0.5	8.9 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>	500 ± 15	200	MSA-VP
200	216 ± 0.7	10.3 <sup>+1.4</sup> <sub>0</sub>		250	
250	267 ± 0.9	12.7 <sup>+1.8</sup> <sub>0</sub>			
300	318 ± 1.0	15.1 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	750 ± 15	250	MSA-VP
350	370 ± 1.2	14.3 <sup>+2.0</sup> <sub>0</sub>			
400	420 ± 1.3	16.2 <sup>+2.2</sup> <sub>0</sub>	1,000 ± 15	300	MSA-VM
450	470 ± 1.5	18.1 <sup>+2.6</sup> <sub>0</sub>			

- 注1. マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。  
 2. D は任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの凹凸を付ける加工をいう。

仙台市建設局

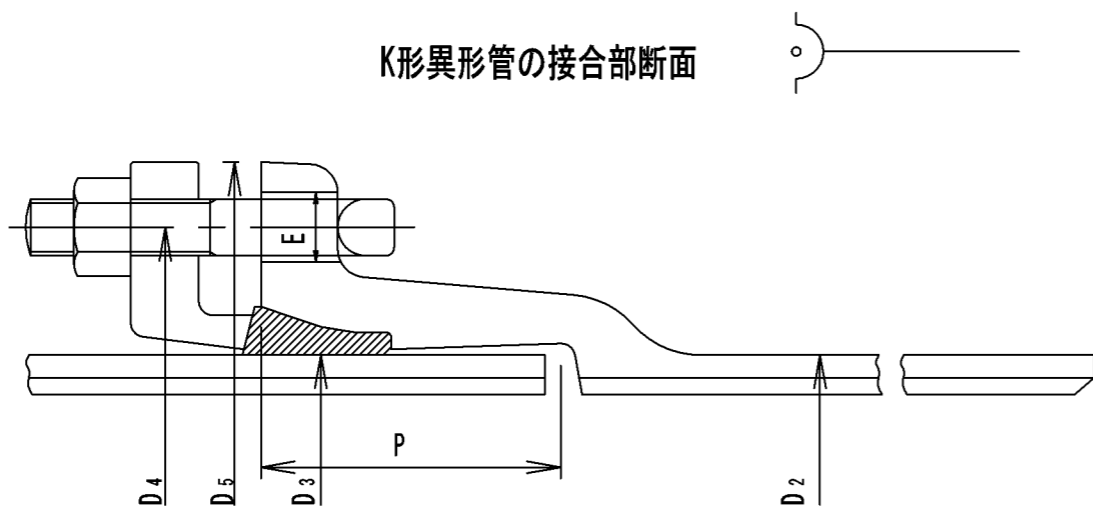




下水道用ダクタイル鋳鉄管 (2)

日本下水道協会規格  
J S W A S G - 1  
平成28年2月1日改正

K形異形管の接合部断面

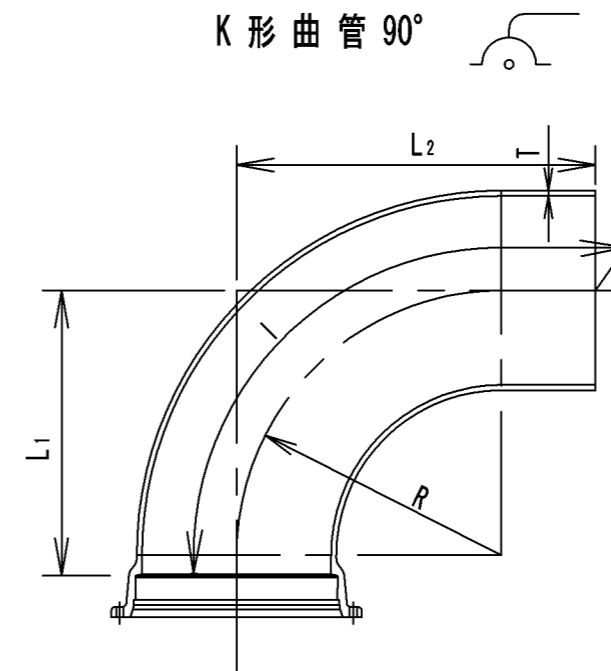


(単位: mm)

呼び径	外径	各部寸法					ボルト の数	参考質量(kg) 受口突部
D	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub>	E	P		
75	93.0	96.5	159	197	19	80	4	5.06
100	118.0	121.5	186	232	23	"	"	6.56
150	169.0	172.5	241	287	"	"	6	9.45
200	220.0	223.5	292	338	"	"	"	12.1
250	271.6	275.1	348	394	23	80	8	15.1
300	322.8	326.8	399	445	"	110	"	23.6
350	374.0	378.0	458	504	"	"	10	28.2
400	425.6	429.6	512	558	"	"	12	33.8
450	476.8	480.8	567	613	23	110	12	40.2
500	528.0	532.0	618	664	"	"	14	46.2
600	630.8	634.8	725	771	"	"	"	57.9
700	733.0	738.0	839	893	27	120	16	76.0
800	836.0	841.0	942	996	27	120	20	92.0
900	939.0	944.0	1,052	1,118	33	"	"	113
1,000	1,041.0	1,047.0	1,160	1,226	"	130	"	141
1,100	1,144.0	1,150.0	1,266	1,332	"	"	24	166
1,200	1,246.0	1,253.0	1,372	1,438	33	130	28	190
1,350	1,400.0	1,407.0	1,536	1,602	"	"	"	234
1,500	1,554.0	1,561.0	1,700	1,766	"	"	"	283
1,600	1,650.0	1,658.0	1,790	1,856	"	160	30	329
1,650	1,701.0	1,709.0	1,844	1,910	33	165	30	363
1,800	1,848.0	1,856.0	1,996	2,062	"	170	34	429
2,000	2,061.0	2,069.0	2,216	2,282	"	180	36	545
2,100	2,164.0	2,172.0	2,322	2,388	"	185	38	605
2,200	2,280.0	2,288.0	2,441	2,507	33	190	40	670
2,400	2,458.0	2,466.0	2,626	2,692	"	200	44	812
2,600	2,684.0	2,692.0	2,862	2,928	"	230	48	1,041

- 注1. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。  
2. 挿し口がT形管に挿入される場合、T形面取り加工する。

K形曲管 90°



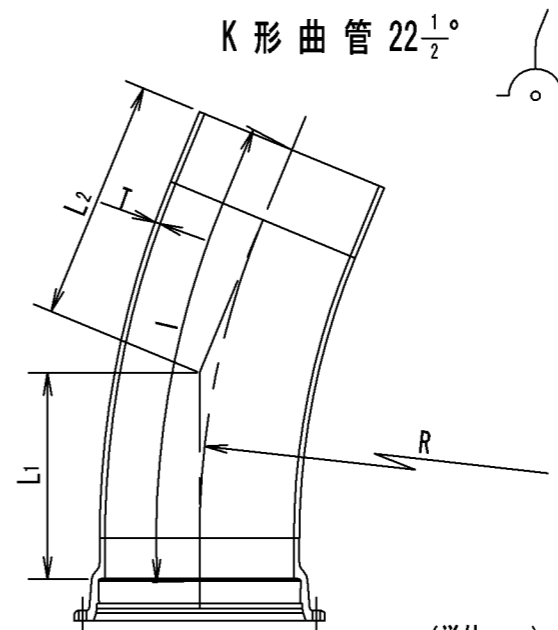
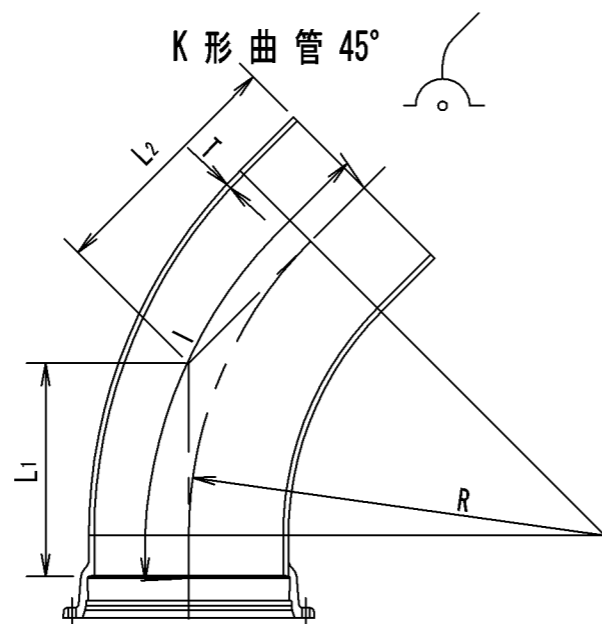
(単位: mm)

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	参考質量(kg)
D	T	R	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	l	
75	8.5	250	292	400	584	14.5
100	"	"	"	"	"	18.8
150	9.0	300	342	500	713	32.5
200	11.0	400	443	600	872	57.1
250	12.0	400	445	650	923	79.7
300	12.5	550	597	800	1,161	125
350	13.0	"	598	"	1,162	151
400	14.0	600	650	850	1,243	195
450	14.5	600	652	850	1,244	228
500	15.0	700	754	950	1,403	289
600	16.0	800	855	1,100	1,612	414
700	17.0	900	957	1,200	1,771	560
800	18.0	1,000	1,061	1,300	1,931	731
900	19.0	1,100	1,164	1,400	2,092	934
1,000	20.0	1,150	1,218	1,450	2,174	1,140
1,100	21.0	1,200	1,269	1,500	2,254	1,360
1,200	22.0	1,200	1,271	1,500	2,256	1,550
1,350	24.0	"	1,274	"	2,259	1,910
1,500	26.0	"	1,278	"	2,263	2,300
1,600	27.5	"	"	1,550	2,313	2,650
1,650	28.0	1,200	1,280	1,550	2,315	2,800
1,800	30.0	1,250	1,335	1,600	2,399	3,370

仙台市建設局

下水道用ダクタイル鋳鉄管 (3)

日本下水道協会規格  
J S W A S G-1  
平成28年2月1日改正



(単位: mm)

呼び径	管厚	各部寸法	管心長	参考質量
D	T	R L <sub>1</sub> L <sub>2</sub> l	l	(kg)
75	8.5	400 207 316	506	13.2
100	"	" " "	"	17.1
150	9.0	500 249 407	634	30.0
200	11.0	600 292 449	715	49.0
250	12.0	600 294 449	716	65.2
300	12.5	700 337 490	797	93.0
350	13.0	800 380 531	877	121
400	14.0	900 423 573	957	158
450	14.5	1,000 466 614	1,037	196
500	15.0	1,100 509 656	1,118	239
600	16.0	1,300 594 739	1,276	340
700	17.0	1,500 678 821	1,435	468
800	18.0	1,700 765 904	1,596	620
900	19.0	1,900 851 987	1,756	803
1,000	20.0	2,100 937 1,070	1,917	1,020
1,100	21.0	2,300 1,022 1,153	2,076	1,270
1,200	22.0	2,300 1,024 1,153	2,077	1,450
1,350	24.0	" 1,027 "	2,081	1,780
1,500	26.0	" 1,031 "	2,084	2,140
1,600	27.5	1,500 700 921	1,557	1,890
1,650	28.0	1,500 702 921	1,558	2,000
1,800	30.0	" 706 "	1,563	2,340
2,000	32.0	" 713 "	1,570	2,830
2,100	33.0	1,700 799 1,004	1,730	3,340
2,200	34.0	1,700 801 1,004	1,732	3,640
2,400	36.0	" 808 1,054	1,789	4,320
2,600	37.5	1,740 900 1,030	1,855	5,180

(単位: mm)

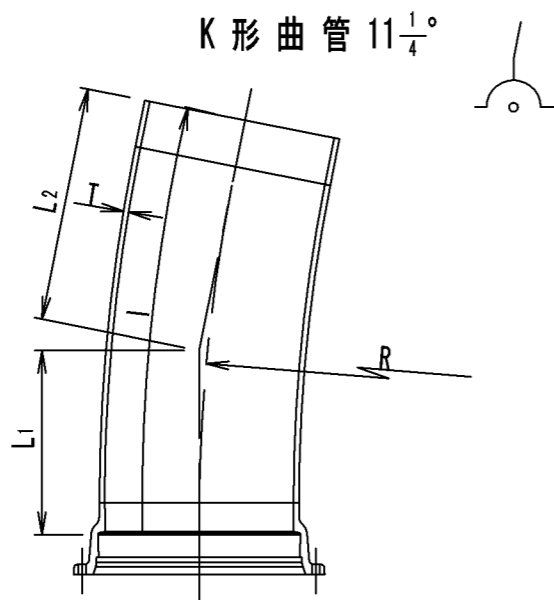
呼び径	管厚	各部寸法	管心長	参考質量
D	T	R L <sub>1</sub> L <sub>2</sub> l	l	(kg)
75	8.5	800 201 309	506	13.2
100	"	" " "	"	17.1
150	9.0	1,000 240 349	584	28.3
200	11.0	1,200 282 389	665	46.4
250	12.0	1,200 284 389	666	61.7
300	12.5	1,400 325 429	747	88.6
350	13.0	1,600 367 468	827	115
400	14.0	1,800 408 558	957	158
450	14.5	2,000 450 598	1,037	196
500	15.0	2,200 491 638	1,118	239
600	16.0	2,600 573 717	1,276	340
700	17.0	3,000 654 797	1,435	468
800	18.0	3,400 737 876	1,596	620
900	19.0	3,800 820 956	1,756	803
1,000	20.0	4,200 903 1,035	1,917	1,020
1,100	21.0	4,500 964 1,095	2,036	1,240
1,200	22.0	4,500 966 1,095	2,038	1,420
1,350	24.0	" 970 "	2,042	1,750
1,500	26.0	" 973 "	2,045	2,110
1,600	27.5	3,000 675 897	1,557	1,890
1,650	28.0	3,000 677 897	1,558	2,000
1,800	30.0	" 682 "	1,563	2,340
2,000	32.0	" 688 "	1,570	2,830
2,100	33.0	3,400 771 976	1,730	3,340
2,200	34.0	3,400 774 976	1,732	3,640
2,400	36.0	" 780 1,026	1,789	4,320
2,600	37.5	3,640 900 1,030	1,911	5,300

仙台市建設局

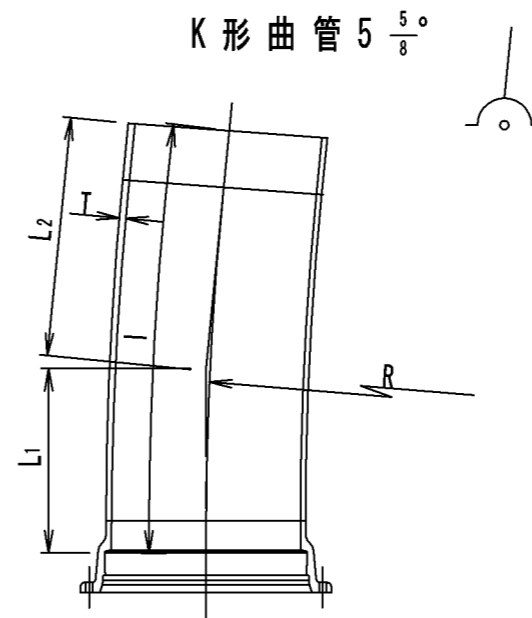
下水道用ダクタイトイル鑄鉄管 (4)

日本下水道協会規格  
J S W A S G-1  
平成28年2月1日改正

K形曲管 11 $\frac{1}{4}$ °



K形曲管 5 $\frac{5}{8}$ °



(単位: mm)

呼び径	管厚	各部寸法	管心長	参考質量		
D	T	R	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	l	(kg)
75	8.5	3.000	337	446	781	17.7
100	"	"	"	"	"	22.9
150	9.0	"	"	"	"	34.7
200	11.0	4.000	437	544	979	62.6
250	12.0	4.000	439	544	980	83.7
300	12.5	"	441	"	982	109
350	13.0	5.000	541	643	1,180	153
400	14.0	"	543	693	1,232	193
450	14.5	5.000	544	693	1,234	226
500	15.0	6.000	645	791	1,432	294
600	16.0	"	646	"	1,434	375
700	17.0	"	648	"	1,435	468
800	18.0	6.000	652	791	1,439	568
900	19.0	"	655	"	1,442	679
1,000	20.0	"	658	"	1,446	804
1,100	21.0	"	660	"	1,447	933
1,200	22.0	6.000	662	791	1,449	1,070
1,350	24.0	"	665	"	1,453	1,310
1,500	26.0	"	669	"	1,456	1,580
1,600	27.5	"	"	891	1,557	1,890
1,650	28.0	6.000	671	891	1,558	2,000
1,800	30.0	"	676	"	1,563	2,340
2,000	32.0	"	682	"	1,570	2,830
2,100	33.0	"	685	"	1,572	3,090
2,200	34.0	6.000	688	891	1,575	3,370
2,400	36.0	"	695	941	1,632	4,010
2,600	37.5	3.640	540	670	1,208	3,730

(単位: mm)

呼び径	管厚	各部寸法	管心長	参考質量		
D	T	R	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	l	(kg)
300	12.5	10.000	538	641	1,178	126
350	13.0	"	540	"	1,180	153
400	14.0	"	542	691	1,232	193
450	14.5	10.000	543	691	1,234	226
500	15.0	12.000	643	790	1,432	294
600	16.0	"	645	"	1,434	375
700	17.0	"	647	"	1,435	468
800	18.0	12.000	650	790	1,439	568
900	19.0	"	654	"	1,442	679
1,000	20.0	"	657	"	1,446	804
1,100	21.0	"	659	"	1,447	933
1,200	22.0	12.000	661	790	1,449	1,070
1,350	24.0	"	664	"	1,453	1,310
1,500	26.0	"	667	"	1,456	1,580
1,600	27.5	"	668	890	1,557	1,890
1,650	28.0	12.000	670	890	1,558	2,000
1,800	30.0	"	675	"	1,563	2,340
2,000	32.0	"	681	"	1,570	2,830
2,100	33.0	"	684	"	1,572	3,090
2,200	34.0	12.000	687	890	1,575	3,370
2,400	36.0	"	693	940	1,632	4,010
2,600	37.5	7,280	540	670	1,209	3,740

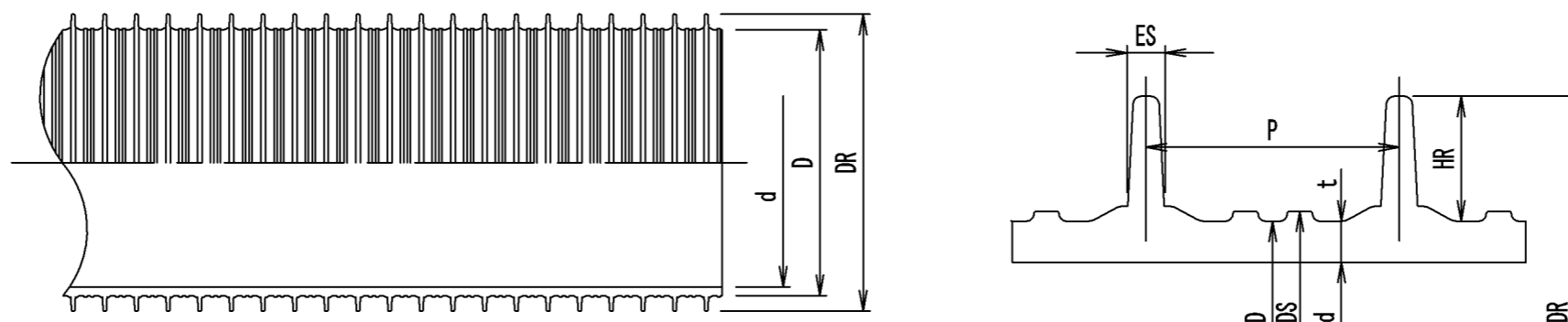
注 U形、T形、その他の管材については、日本下水道協会規格書、日本ダクタイトイル鉄管協会便覧を参考にすること。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (1)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

直管部共通寸法



(単位: mm)

呼び径	シール部外径 DS		厚さ t		リブ間隔 P		標準値				参 考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	基準寸法	許容差	外径 D	リブ外径 DR	リブ高さ HR	リブ幅 ES	近似内径 d	1m当りの質量 (kg)
150	157.5	±0.6	2.4	±0.8	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350
250	258.5	±0.9	2.7		30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380
300	309.7	±1.0	3.0	±1.2	38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020
350	360.2	±1.1	3.1		38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030
400	411.0	±1.3	3.3	±1.4	38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860
450	461.8	±1.4	3.5		38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360

注1. 外径及びリブ外径は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値及びリブ外径測定値の平均値をいう。

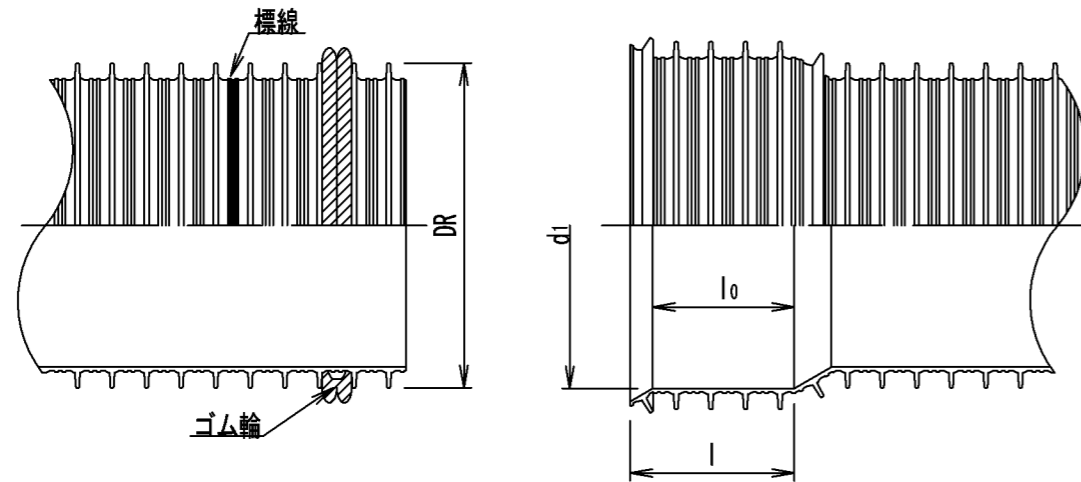
2. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm<sup>3</sup>で算出したものである。

3. リブ根元部分の詳細形状については、規定しない。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (2)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法

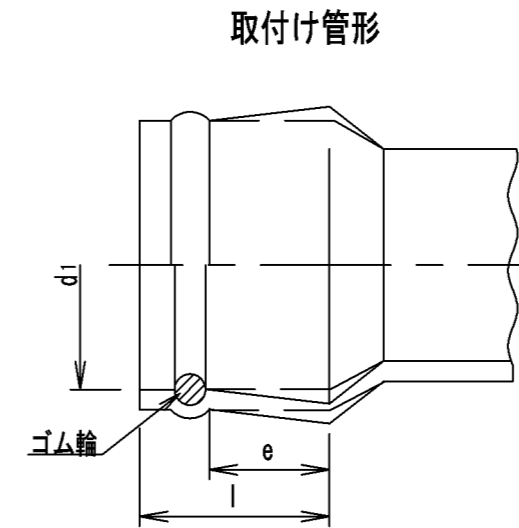


(単位: mm)

呼び径	差し口部	受口部			
	リブ外径 DR (標準値)	受口内径 d <sub>1</sub> (最小)	平行部長さ l <sub>0</sub> (最小)	受口長さ l (標準値)	接合長さ e (参考)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8

- 注1. 受口内径 d<sub>1</sub> は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。
2. ゴム輪の形状は、規定しない。
3. ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第2番目と第3番目のリブの間とする。
4. 標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間とする。
5. 接合長さ e は、平行部長さ l<sub>0</sub> (最小) - (1.5 × リブ間隔 P) として算出したものである。

90度支管用取付け管ゴム輪受口共通寸法



(単位: mm)

呼び径	受口内径 d <sub>1</sub> (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

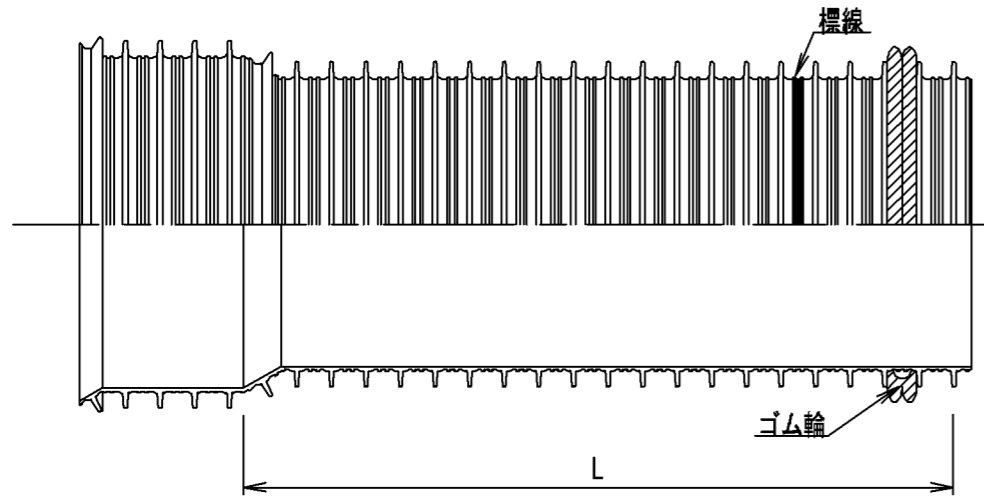
- 注1. 破線で示す形状にすることもできる。
2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
3. 受口内径 d<sub>1</sub> は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。

仙台市建設局

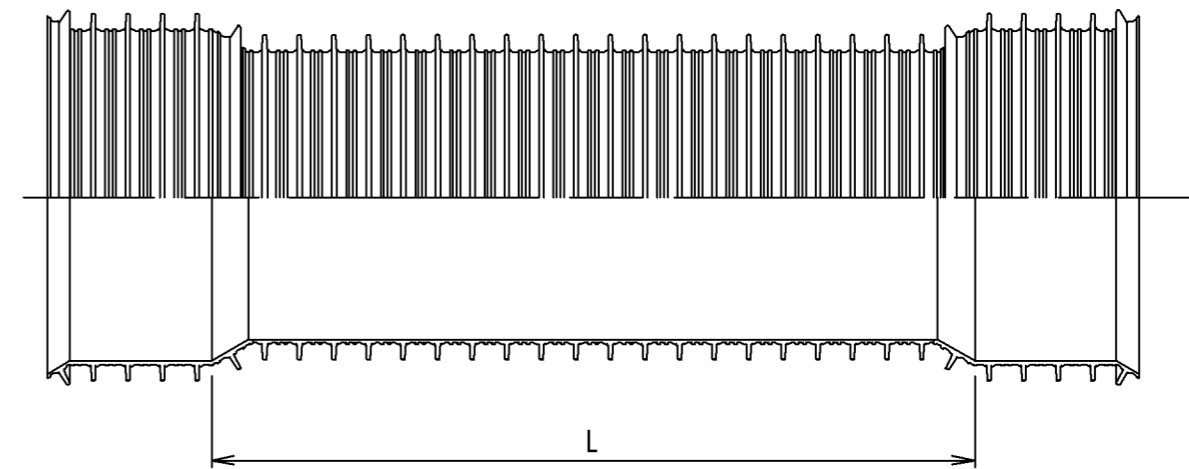
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (3)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

片受け直管  
(略号 PRP)



両受け直管  
(略号 WPRP)



(単位 : mm)

呼び径	L	許容差	参考市単コード
150	4,000	+30 -10	ZN50090010
200			ZN50090020
250			ZN50090030
300		+40 -10	ZN50090040
350			ZN50090050
400			ZN50090060
450			ZN50090070

(単位 : mm)

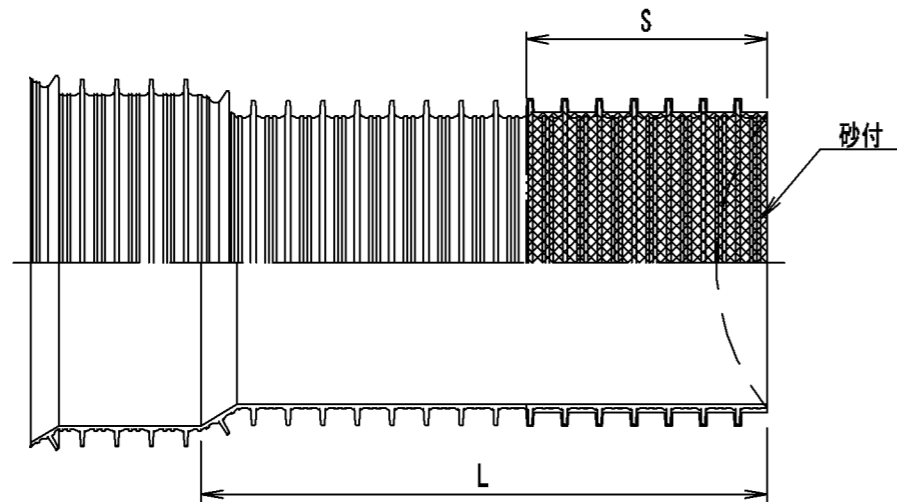
呼び径	L (最小)
150	3,800
200	
250	
300	3,750
350	
400	
450	

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（４）

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

上流用マンホール継手  
(略号 MR-PRP)

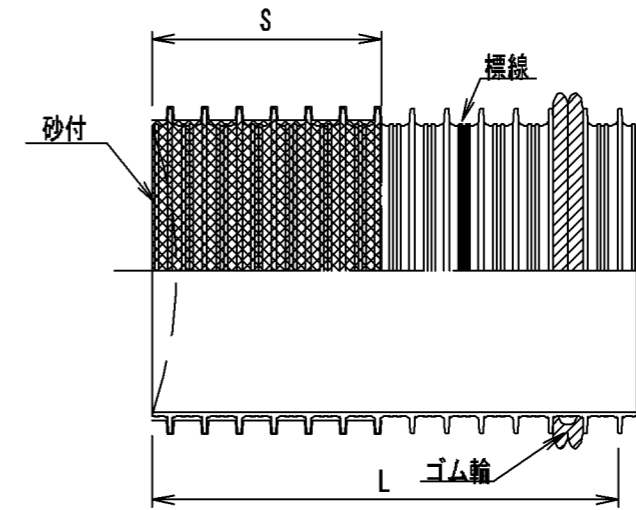


(単位：mm)

呼び径	L	許容差	S (参考)	参考市単コード
150	500	+30 -10	250	ZN50090150
200				ZN50090160
250				ZN50090170
300		+40 -10		ZN50090180
350				ZN50090190
400				ZN50090200
450				ZN50090210

注 マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

下流用マンホール継手  
(略号 MSA-PRP)



(単位：mm)

呼び径	L	許容差	S (参考)	参考市単コード
150	500	+30 -10	250	ZN50090220
200				ZN50090230
250				ZN50090240
300		+40 -10		ZN50090250
350				ZN50090260
400				ZN50090270
450				ZN50090280

注 マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

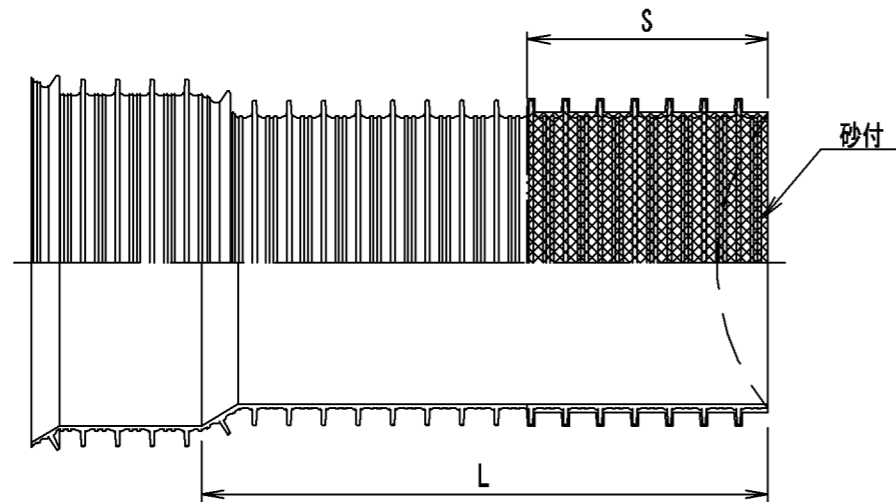
仙台市建設局



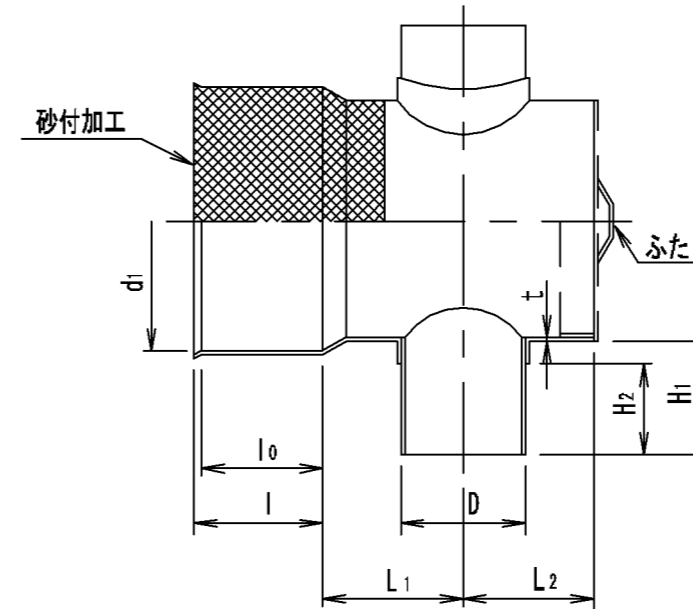
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (5)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

副管分岐用マンホール継手  
(略号 MRL-PRP)



十字型内副管  
(略号 MRL-UC-PRP)



(単位: mm)

呼び径	L	許容差	S (参考)	参考市単コード
150	1,000	+30 -10	250	ZN50090290
200				ZN50090300
250		ZN50090310		
300		ZN50090320		
350		+40 -10		ZN50090330
400				ZN50090340
450				ZN50090350

注 マンホールの内径にあわせて破線で示す形状にすることができる。

(単位: mm)

呼び径	L1 (最小)	L2 (最大)	l (参考)	l0 (最小)	d1 (最小)	D	H1 (最小)	H2 (最小)	t (最小)
150 - 100	135	175	100	90	171.7	114 ±0.4	120	55	5.1
200 - 150	160	190	115	100	229.7	165 ±0.5	130	85	6.5
250 - 150	160	190	140	115	287.3	165 ±0.5	130	85	7.8
250 - 200	190	215	140	115	287.3	216 ±0.7	150	125	7.8
300 - 150	160	190	170	135	344.9	165 ±0.5	130	85	9.2
300 - 200	190	215	170	135	344.9	216 ±0.7	150	125	9.2

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-副管呼び径」とする。  
 2. ふたの形状は、規定しない。  
 3. 上部点検口の形状は、規定しない。

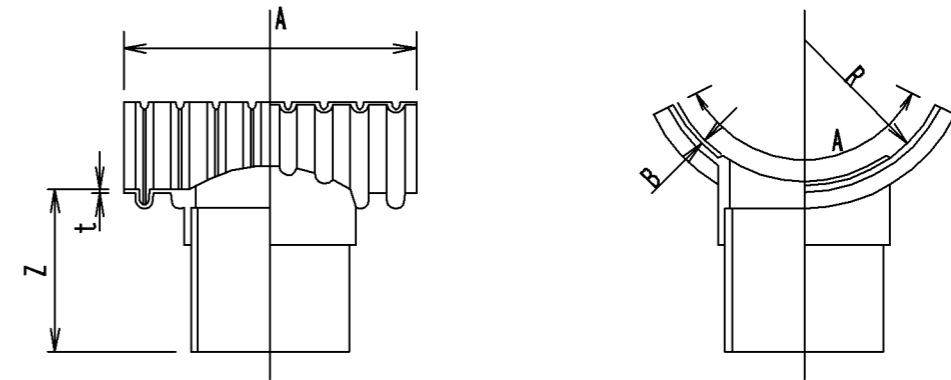
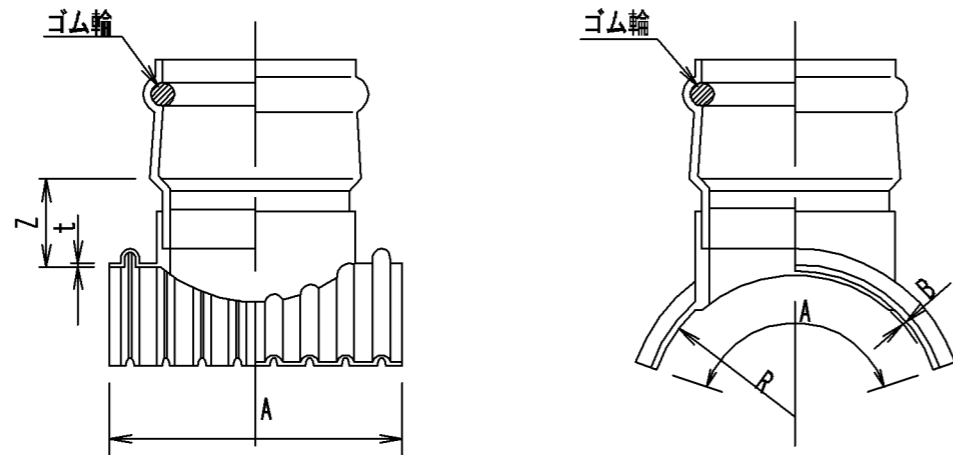
仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (6)

日本下水道協会規格  
J S W A S K - 1 3  
平成15年2月1日改正

90度支管(取付け管用)  
(略号 90SVR-PRP)

副管用90度支管  
(略号 VS-PRP)



(単位: mm)

(単位: mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	参考市単コード	呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	参考市単コード		
150 - 100	68	195	4.5	4	79	ZN50090600	350 - 100	78	240	6.5	4	206	ZN50090700		
200 - 100	68	205	4.6		104	ZN50090610	350 - 150	83	285				5.8	180	ZN50090710
200 - 125	68	255				ZN50090620	350 - 200	98	315						ZN50090720
200 - 150	73	255				ZN50090630	400 - 100	81	240						ZN50090730
250 - 100	71	190	5.0		129	ZN50090640	400 - 150	86	285				6.7	231	ZN50090740
250 - 125	71	250				ZN50090650	400 - 200	101	315						ZN50090750
250 - 150	76	250				-	450 - 100	84	240						ZN50090760
250 - 200	91	310				ZN50090660	450 - 150	89	285						ZN50090770
300 - 100	75	240				5.5	155	ZN50090670	450 - 200						104
300 - 150	80	300	ZN50090680												
300 - 200	95	315	ZN50090690												

(単位: mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	参考市単コード
150 - 100	124	195	4.5	4	79	ZN50090360
200 - 125	143	255	4.6		104	ZN50090380
200 - 150	163	255				ZN50090390
250 - 125	146	250	5.0		129	ZN50090400
250 - 150	166	250				ZN50090410
250 - 200	201	310				ZN50090420
300 - 150	170	300	5.5		155	ZN50090430
300 - 200	205	315				ZN50090440
350 - 150	173	285	5.8		180	ZN50090450
350 - 200	208	315				ZN50090460
400 - 200	211	315	6.5	206	ZN50090470	
450 - 200	214	315	6.7	231	ZN50090480	

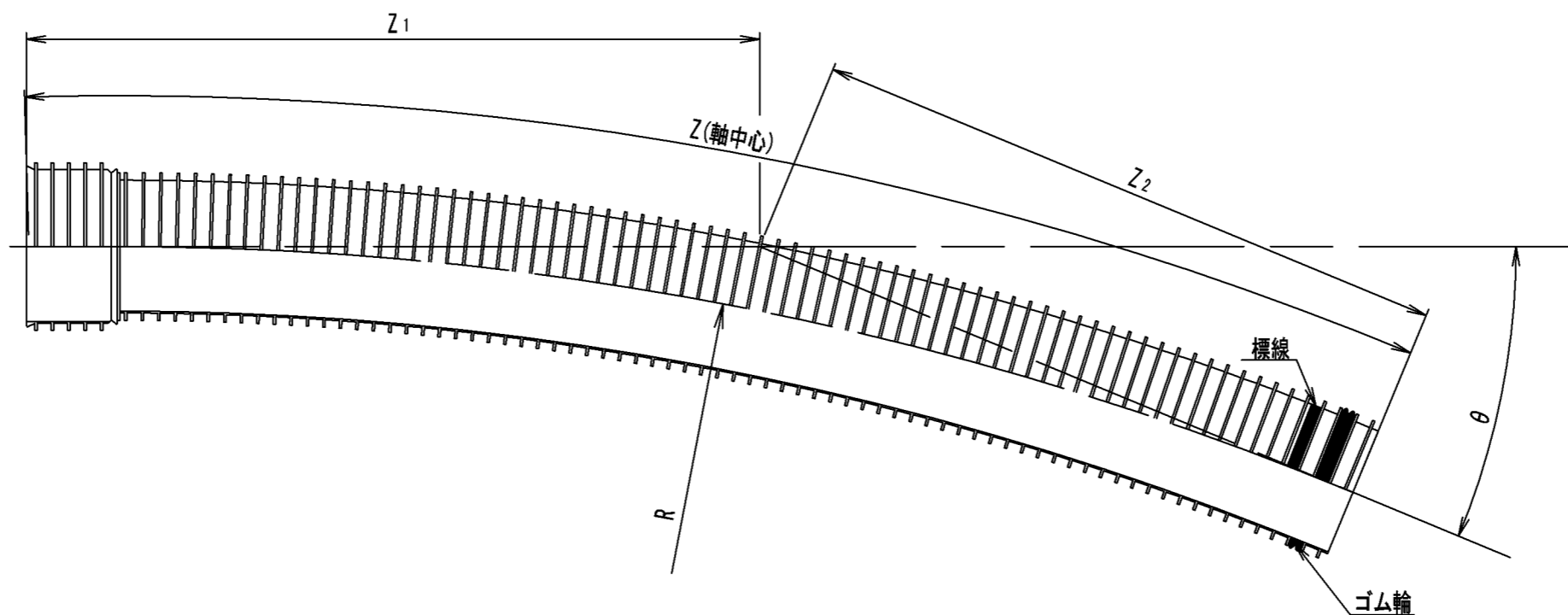
- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。  
 2. Zの許容差は±15mmとする。  
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 4. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。  
 2. Zの許容差は±10mmとする。  
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 4. サドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

仙台市建設局

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 (7)

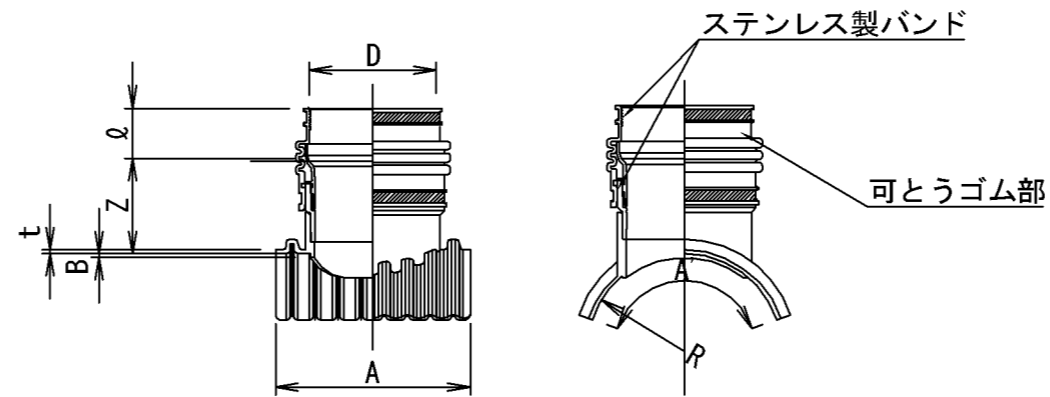
リブ付曲管



呼び径	(単位: mm)				参考市単コード	(単位: mm)				参考市単コード	(単位: mm)				参考市単コード						
	$\theta = 5^\circ$					$\theta = 10^\circ$					$\theta = 11^\circ \quad 1/4$					$\theta = 22^\circ \quad 1/2$					
	Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z	R (m)		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z	R (m)		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z	R (m)		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z	R (m)		
150	487	561	1,045	10	ZN50091010	925	1,174	2,095	10	ZN50091050	-	-	-	-	-	-	1,045	1,140	2,160	5	ZN50091100
200					ZN50091020					ZN50091060											ZN50091110
250					ZN50091030					ZN50091070											ZN50091120
300					ZN50091040					ZN50091080											ZN50091090

# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管可とう支管継手

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管用



(単位: mm)

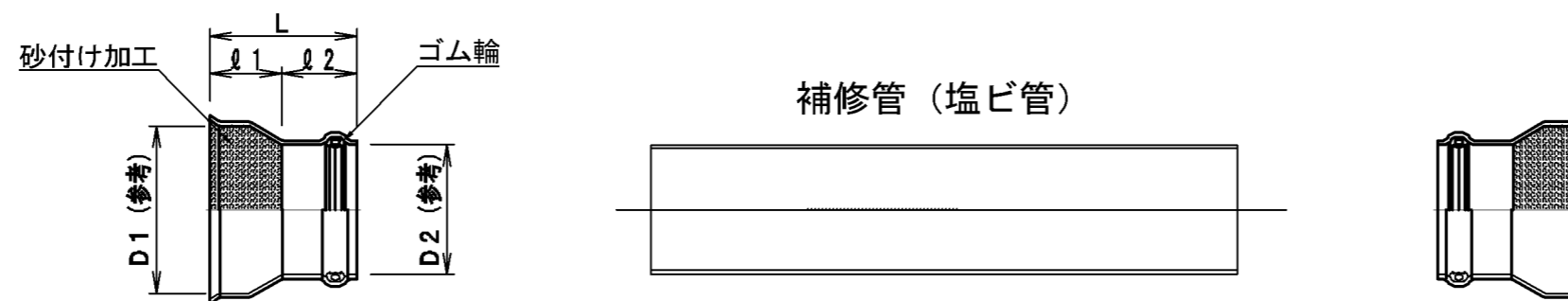
呼び径	Z	l	t (最小)	A	A'	B (最大)	D	R
200 - 150	123	70	4	260	286	4.6	168	104.0
250 - 150	126			258	320	5.0		129.0
300 - 150	133			320	305	5.5		155.0
350 - 150	136				290	5.8		180.0
400 - 150	139				320	6.5		206.0
450 - 150	142			320	6.7	231.0		

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
2. Rは、標準値を示す。
3. Zの許容差は、±15mmとする。
4. 性能上支障のない構造であれば、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。
5. 可とうゴム部分での曲げ配管は行わないこと。

名称・規格	参考市単コード
下水道用可とう支管継手 本管PRP φ200~300×φ150	ZN20220007
下水道用可とう支管継手 本管PRP φ350×φ150	ZN20220102
下水道用可とう支管継手 本管PRP φ400×φ150	ZN20220103
下水道用可とう支管継手 本管PRP φ450×φ150	ZN20220104

## 鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手

鉄筋コンクリート管・陶管交換用継手

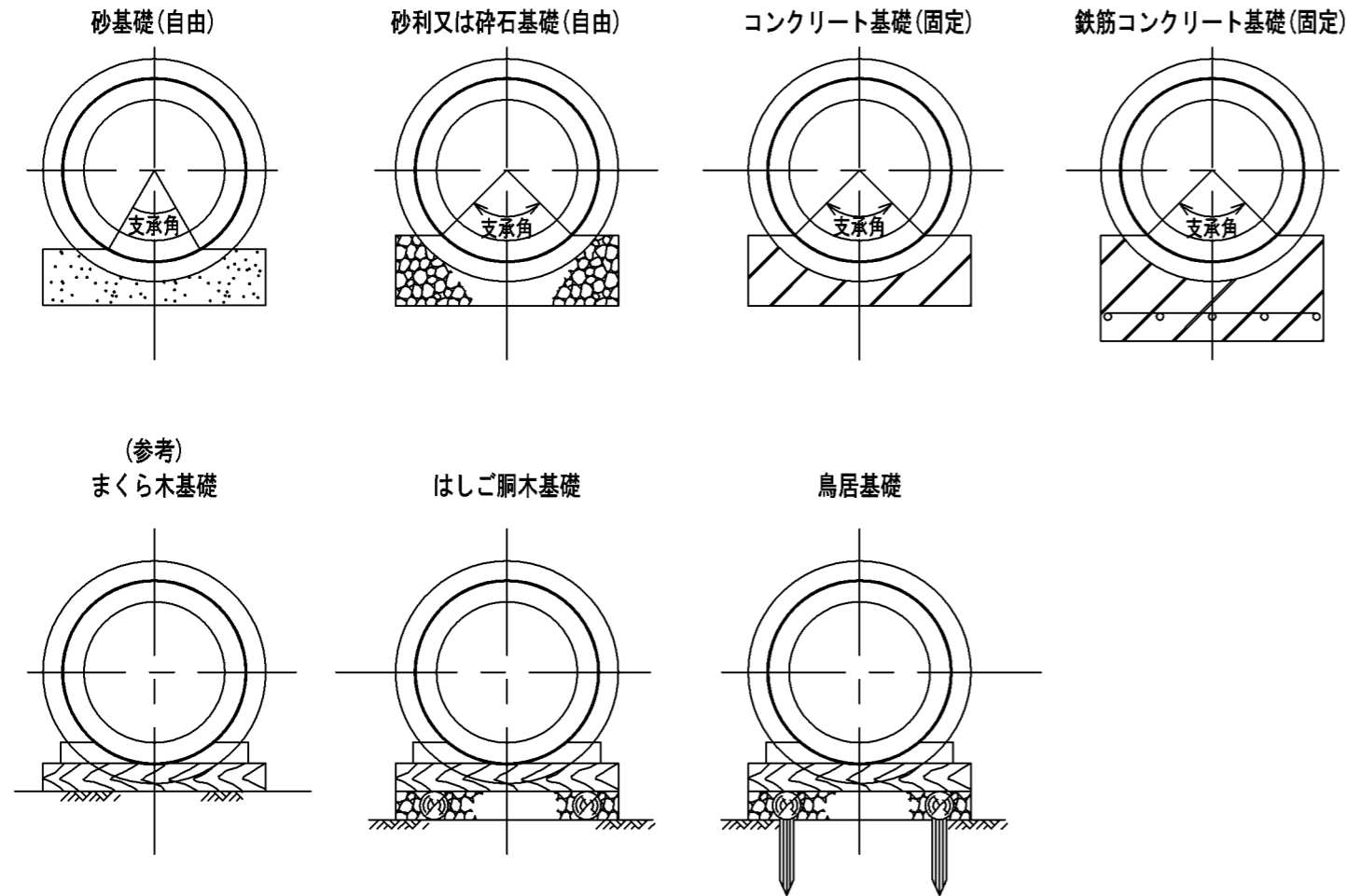


呼び径	D 1 (参考)	D 2 (参考)	ℓ 1	ℓ 2	L	参考市単コード
100	158	114.5	90±5	82±5	172±10	—
125	190	140.6	110±5	95±5	205±10	—
150	220	165.7	120±5	110±5	230±10	ZN20220045
200	280	216.9	120±5	126±5	246.5±10	ZN20220046
250	340	268.1	120±5	155±5	275±10	ZN20220047
300	400	319.3	120±5	175±5	295±10	ZN20220048

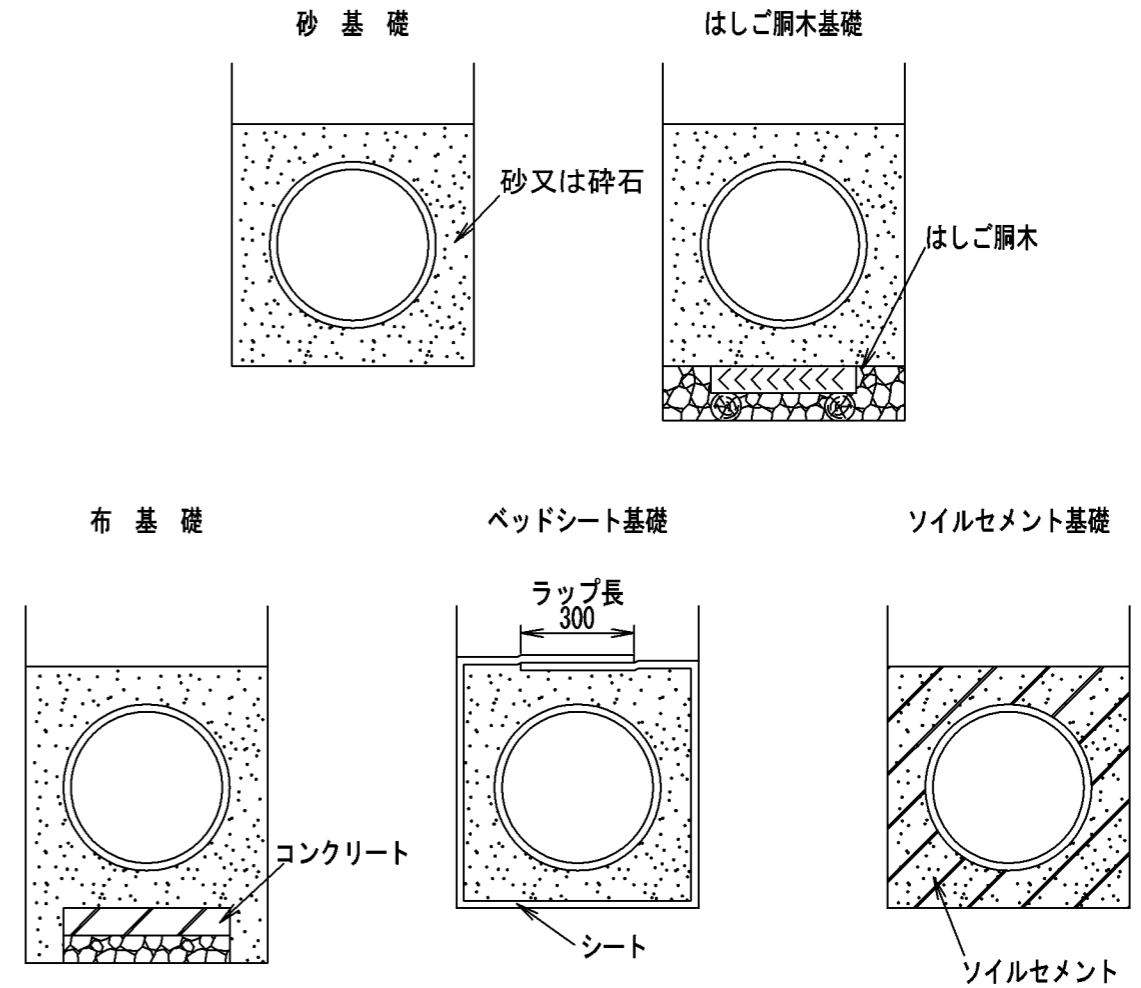
注1) ゴム輪受口によるヤリトリ機能付

# 管渠基礎工の種類

## 剛性管の基礎工の種類



## 可とう性管の基礎工の種類



管の種類と基礎

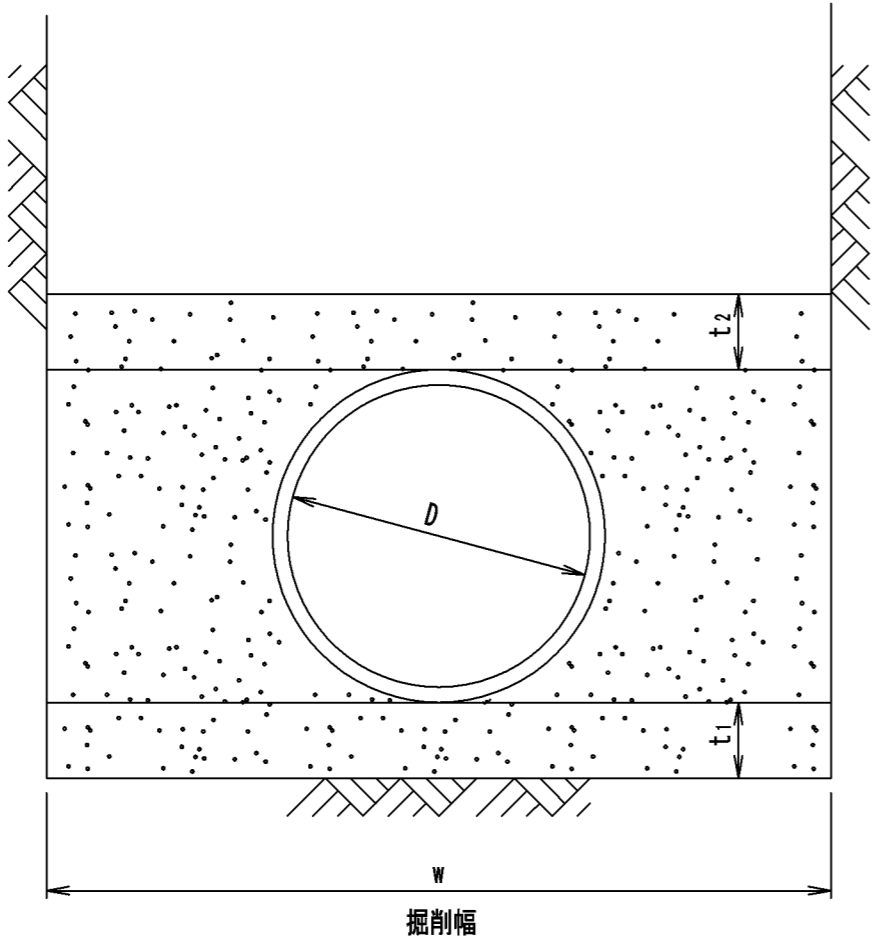
地盤		管の種類			
		硬質土及び普通土		軟弱土	
剛性管	鉄筋コンクリート管	砂基礎	砂基礎	砂基礎	はしご胴木基礎
	レジンコンクリート管	砂利基礎	砂利基礎	砂利基礎	鳥居基礎
可とう性管	硬質塩化ビニル管	砂基礎	砂基礎	砂基礎	はしご胴木基礎
	ポリエチレン管	砂基礎	砂基礎	砂基礎	鳥居基礎
	強化プラスチック複合管	砂利基礎	砂利基礎	砂利基礎	鉄筋コンクリート基礎
	リブ付硬質塩化ビニル管	砂利基礎	砂利基礎	砂利基礎	はしご胴木基礎
ダクタイル鋳鉄管	砂基礎	砂基礎	砂基礎	はしご胴木基礎	
鋼管	砂基礎	砂基礎	砂基礎	布基礎	

地盤の区分例

地盤	代表的な土質
硬質土	硬質粘土、れき混り土及びれき混り砂
普通土	砂、ローム及び砂質粘土
軟弱土	シルト及び有機質土
極軟弱土	非常に緩い、シルト及び有機質土

- 注1. 岩盤に敷設する場合は、応力を均等に分布できる構造となる基礎とする。  
 注2. 地盤の区分を例示すると、右表、地盤の区分例のとおりである。  
 注3. 碎石基礎とする場合は、取付管を防護シート等で防護する。

基礎構造図（可とう性管の場合）



寸法表

管径 (D)	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	w
150	100	100	掘削幅
200~250	100	100	"
300	100	100	"
350	150	100	"
400	150	100	"
450	150	100	"

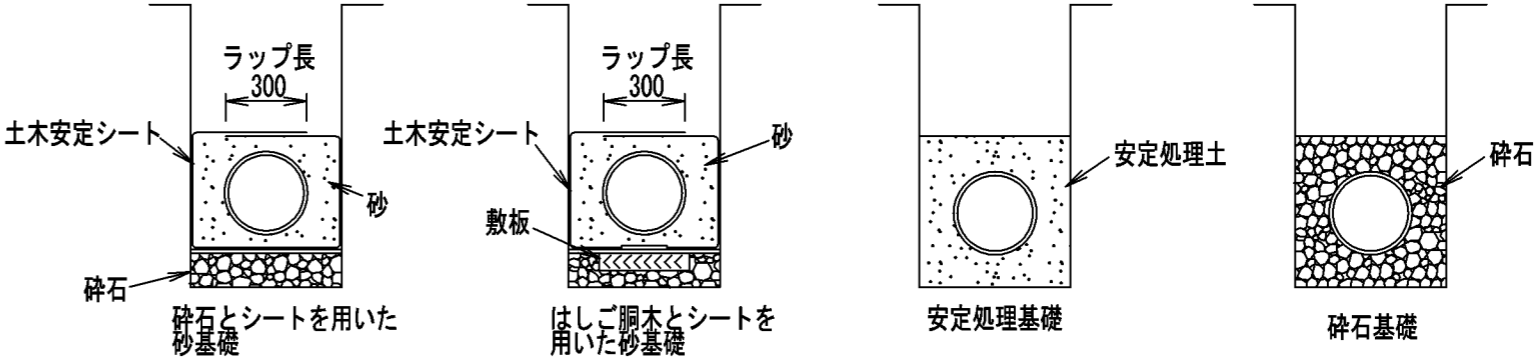
- 注1. 砂基礎工に使用する砂は、最大粒径20mm以下74μふるい通過重量率が10%以下とする。  
 注2. 管横の砂幅は10cm以上を確保する。

(参考)

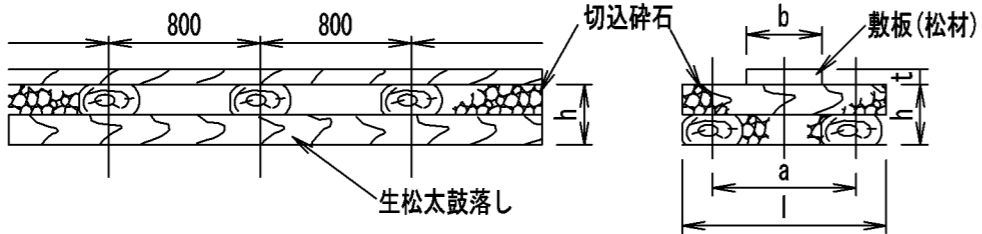
(参考)

(単位: mm)

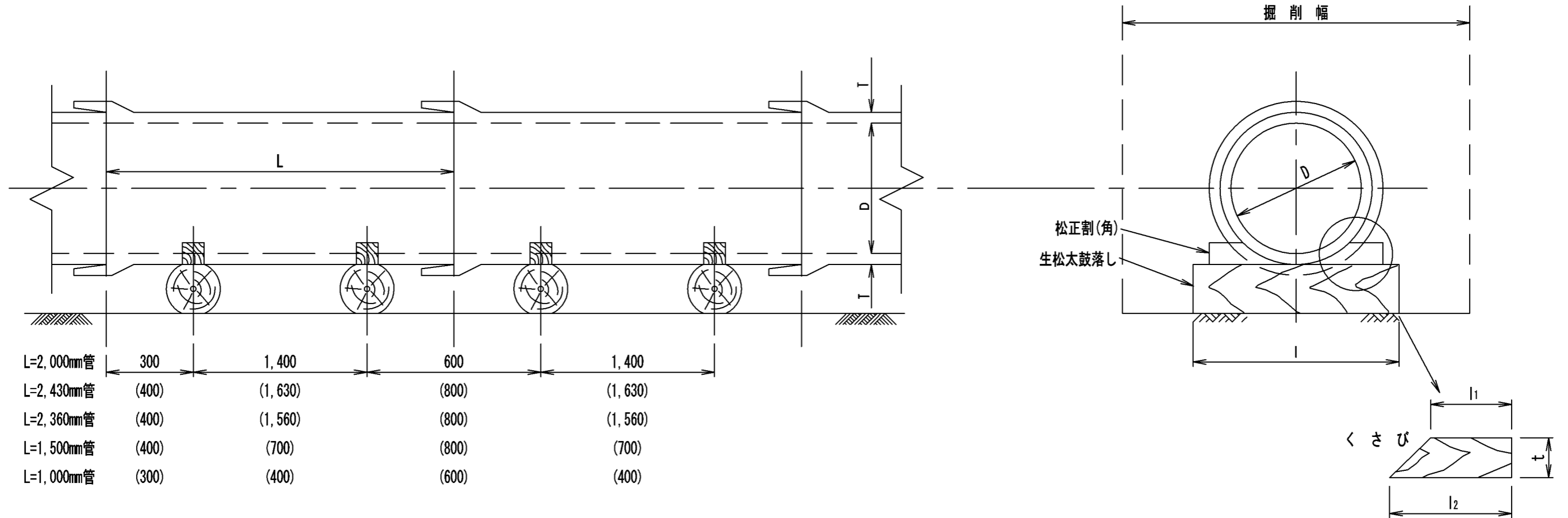
管の呼び	切込碎石	はしご胴木			敷板	
	厚さ (h)	縦木間隔 (a)	胴木幅 (l)	胴木厚 (h)	板幅 (b)	板厚 (t)
200~400	165	300	450	165	160~300	15
450~600	180	400	600	180	340~450	15
700~800	240	600	900	240	520~600	15



軟弱地盤の基礎例



まくら土台基礎構造図（剛性管 内径250~1,800mm）



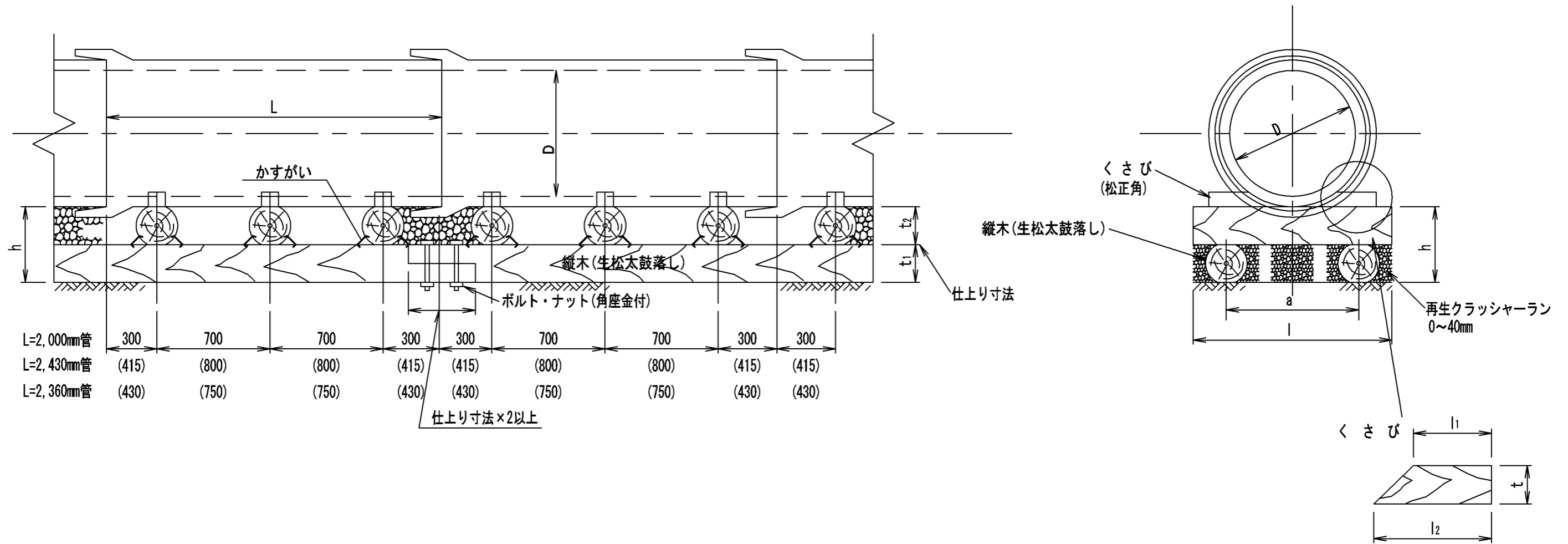
まくら土台基礎・材料寸法表

内径 (D) (mm)	基礎幅 l (mm)	横木材 (生松太鼓落し)		くさび材 (mm) 松正割角 (t) (mm)	くさび寸法 (mm)			釘	
		末口 (mm)	仕上り (T) (mm)		l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	t	呼名	長 (mm)
250 ~ 350	450	105	75	60 × 60	100	170	60	N125	127
400	450	120	90	60 × 60	100	180	60		
450 ~ 600	600	120	90	60 × 60	150	230	60		
700 ~ 1,000	900	150	120	75 × 75	200	300	75	N150	152
1,100 ~ 1,200	1,200	150	120	75 × 75	300	400	75		
1,350	1,500	150	120	75 × 75	300	400	75		
1,500	1,500	180	150	90 × 90	350	450	90		
1,650 ~ 1,800	1,800	180	150	90 × 90	350	450	90		

仙台市建設局



### はしご胴木基礎構造図 (剛性管 内径250~1,800mm)



はしご胴木基礎寸法表

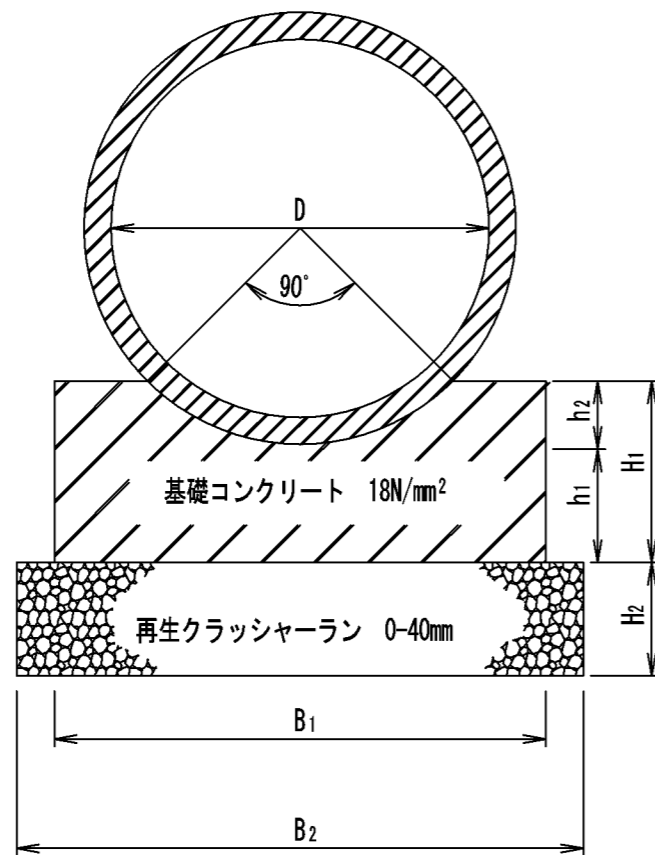
内径 (D) (mm)	縦木間隔 (a) (mm)	基礎幅 (l) (mm)	基礎工 (h) (mm)	縦木寸法 (t <sub>1</sub> ) (mm)	横木寸法 (t <sub>2</sub> ) (mm)	くさび寸法 (mm)			釘	かすがい	ボルトナット
						l <sub>1</sub>	l <sub>2</sub>	t			
250 ~ 350	300	450	165	9.0 × 9.0	7.5 × 7.5	100	170	60	N125	9.0 × 150	9 × 125
400	300	450	180	9.0 × 9.0	9.0 × 9.0	100	180	60	×		
450 ~ 600	400	600	180	9.0 × 9.0	9.0 × 9.0	150	230	60	127	9.0 × 180	9 × 150
700 ~ 1,000	600	900	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	200	300	75	N150		
1,100 ~ 1,200	800	1,200	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	300	400	75		×	12 × 210
1,350	1,000	1,500	240	12.0 × 12.0	12.0 × 12.0	300	400	75			
1,500	1,000	1,500	300	15.0 × 15.0	15.0 × 15.0	350	450	90	152		
1,650 ~ 1,800	1,200	1,800	300	15.0 × 15.0	15.0 × 15.0	350	450	90			

# コンクリート90° 基礎構造図

## 寸法表

(単位: mm)

断面図



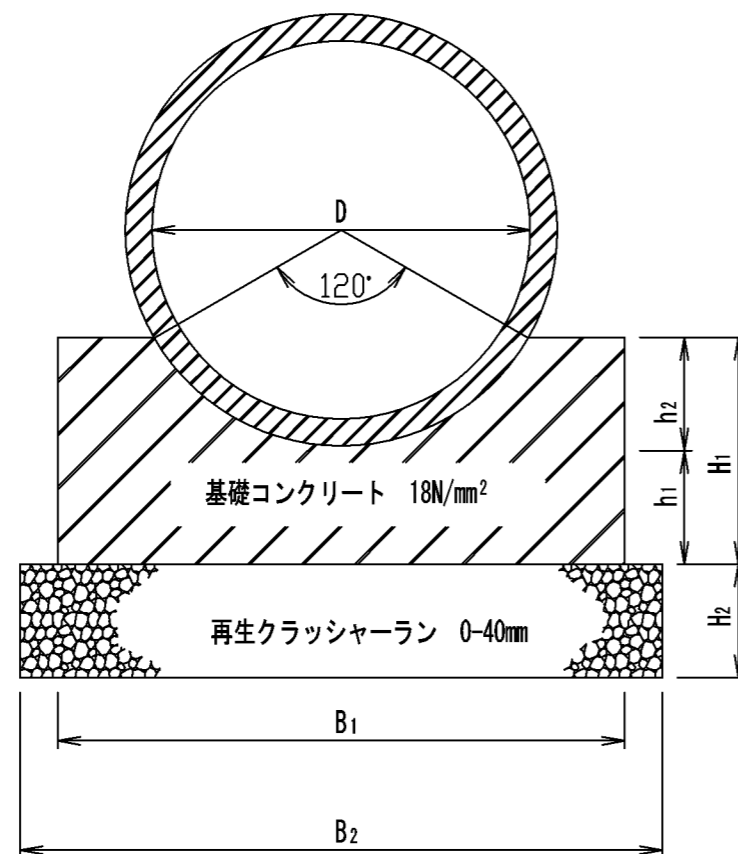
内 径 D	基 礎 幅		基 礎 厚			
	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>
250	400	500	145	100	100	45
300	450	550	155	100	100	55
350	500	600	165	100	100	65
400	550	650	170	100	100	70
450	600	700	180	100	100	80
500	650	750	240	150	150	90
600	750	850	255	150	150	105
700	900	1,000	270	150	150	120
800	1,000	1,100	340	150	200	140
900	1,150	1,250	355	150	200	155
1,000	1,250	1,350	370	150	200	170
1,100	1,350	1,450	440	150	250	190
1,200	1,500	1,600	455	150	250	205
1,350	1,650	1,750	530	150	300	230
1,500	1,800	1,900	555	150	300	255
1,650	2,000	2,100	630	150	350	280
1,800	2,150	2,250	655	150	350	305
2,000	2,350	2,450	735	150	400	335

# コンクリート120° 基礎構造図

## 寸法表

(単位：mm)

断面図



内 径 D	基 礎 幅		基 礎 厚			
	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>
250	450	550	180	100	100	80
300	500	600	190	100	100	90
350	550	650	205	100	100	105
400	600	700	220	100	100	120
450	650	750	235	100	100	135
500	750	850	300	150	150	150
600	900	1,000	325	150	150	175
700	1,000	1,100	355	150	150	205
800	1,150	1,250	435	150	200	235
900	1,300	1,400	465	150	200	265
1,000	1,450	1,550	495	150	200	295
1,100	1,550	1,650	570	150	250	320
1,200	1,700	1,800	600	150	250	350
1,350	1,900	2,000	690	150	300	390
1,500	2,100	2,200	735	150	300	435
1,650	2,250	2,350	825	150	350	475
1,800	2,450	2,550	865	150	350	515
2,000	2,750	2,850	975	150	400	575

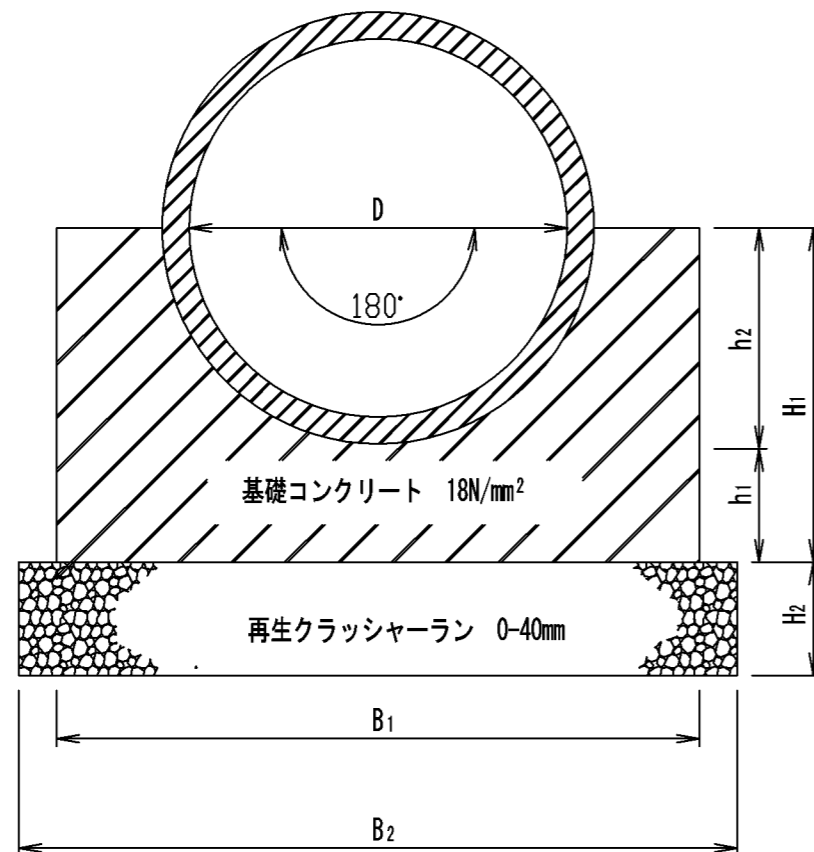
仙台市建設局

# コンクリート180° 基礎構造図

## 寸法表

(単位: mm)

断面図



内 径 D	基 礎 幅		基 礎 厚			
	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>
250	500	600	255	100	100	155
300	550	650	280	100	100	180
350	600	700	310	100	100	210
400	650	750	335	100	100	235
450	750	850	365	100	100	265
500	850	950	445	150	150	295
600	1,000	1,100	500	150	150	350
700	1,150	1,250	560	150	150	410
800	1,300	1,400	670	150	200	470
900	1,450	1,550	725	150	200	525
1,000	1,600	1,700	785	150	200	585
1,100	1,750	1,850	890	150	250	640
1,200	1,900	2,000	945	150	250	695
1,350	2,100	2,200	1,080	150	300	780
1,500	2,300	2,400	1,165	150	300	865
1,650	2,500	2,600	1,295	150	350	945
1,800	2,700	2,800	1,380	150	350	1,030
2,000	3,050	3,150	1,545	150	400	1,145

仙台市建設局

## コンクリート巻立数量表

コンクリート90° 巻立基礎数量表  
(B形ヒューム管)

(普通地盤)

口 径	コンクリート量 1m当たりm <sup>3</sup>	砕 石 量 1m当たりm <sup>3</sup>	型わく量 1m当たりm <sup>2</sup>	残 土 量 1m当たりm <sup>3</sup>
250 mm	0.051	0.050	0.29	0.177
300 mm	0.059	0.055	0.31	0.219
350 mm	0.068	0.060	0.33	0.266
400 mm	0.076	0.065	0.34	0.318
450 mm	0.086	0.070	0.36	0.378
500 mm	0.128	0.113	0.48	0.515
600 mm	0.153	0.128	0.51	0.675
700 mm	0.192	0.150	0.54	0.878
800 mm	0.271	0.165	0.68	1.137
900 mm	0.322	0.188	0.71	1.402
1,000 mm	0.358	0.203	0.74	1.658
1,100 mm	0.464	0.218	0.88	2.003
1,200 mm	0.530	0.240	0.91	2.340
1,350 mm	0.683	0.263	1.06	2.915
1,500 mm	0.762	0.285	1.11	3.467
1,650 mm	0.974	0.315	1.26	4.201
1,800 mm	1.069	0.338	1.31	4.849

コンクリート120° 巻立基礎数量表  
(B形ヒューム管)

(普通地盤)

口 径	コンクリート量 1m当たりm <sup>3</sup>	砕 石 量 1m当たりm <sup>3</sup>	型わく量 1m当たりm <sup>2</sup>	残 土 量 1m当たりm <sup>3</sup>
250 mm	0.065	0.055	0.36	0.196
300 mm	0.074	0.060	0.38	0.239
350 mm	0.085	0.065	0.41	0.288
400 mm	0.096	0.070	0.44	0.343
450 mm	0.107	0.075	0.47	0.404
500 mm	0.169	0.128	0.60	0.571
600 mm	0.214	0.150	0.65	0.758
700 mm	0.248	0.165	0.71	0.949
800 mm	0.359	0.188	0.87	1.248
900 mm	0.424	0.210	0.93	1.526
1,000 mm	0.495	0.233	0.99	1.825
1,100 mm	0.618	0.248	1.14	2.187
1,200 mm	0.703	0.270	1.20	2.543
1,350 mm	0.916	0.300	1.38	3.185
1,500 mm	1.052	0.330	1.47	3.802
1,650 mm	1.268	0.353	1.65	4.533
1,800 mm	1.426	0.383	1.73	5.251

コンクリート180° 巻立基礎数量表  
(B形ヒューム管)

(普通地盤)

口 径	コンクリート量 1m当たりm <sup>3</sup>	砕 石 量 1m当たりm <sup>3</sup>	型わく量 1m当たりm <sup>2</sup>	残 土 量 1m当たりm <sup>3</sup>
250 mm	0.089	0.060	0.51	0.255
300 mm	0.102	0.065	0.56	0.272
350 mm	0.116	0.070	0.62	0.324
400 mm	0.129	0.075	0.67	0.381
450 mm	0.162	0.085	0.73	0.464
500 mm	0.239	0.143	0.89	0.656
600 mm	0.303	0.165	1.00	0.862
700 mm	0.374	0.188	1.12	1.098
800 mm	0.517	0.210	1.34	1.428
900 mm	0.605	0.233	1.45	1.730
1,000 mm	0.704	0.255	1.57	2.056
1,100 mm	0.895	0.278	1.78	2.494
1,200 mm	1.011	0.300	1.89	2.881
1,350 mm	1.280	0.330	2.16	3.579
1,500 mm	1.464	0.360	2.33	4.244
1,650 mm	1.782	0.390	2.59	5.084
1,800 mm	1.999	0.420	2.76	5.861

仙台市建設局

## マンホール形状別使用基準及び各部名称（組立マンホールを除く）

### 標準マンホールの形状別使用基準

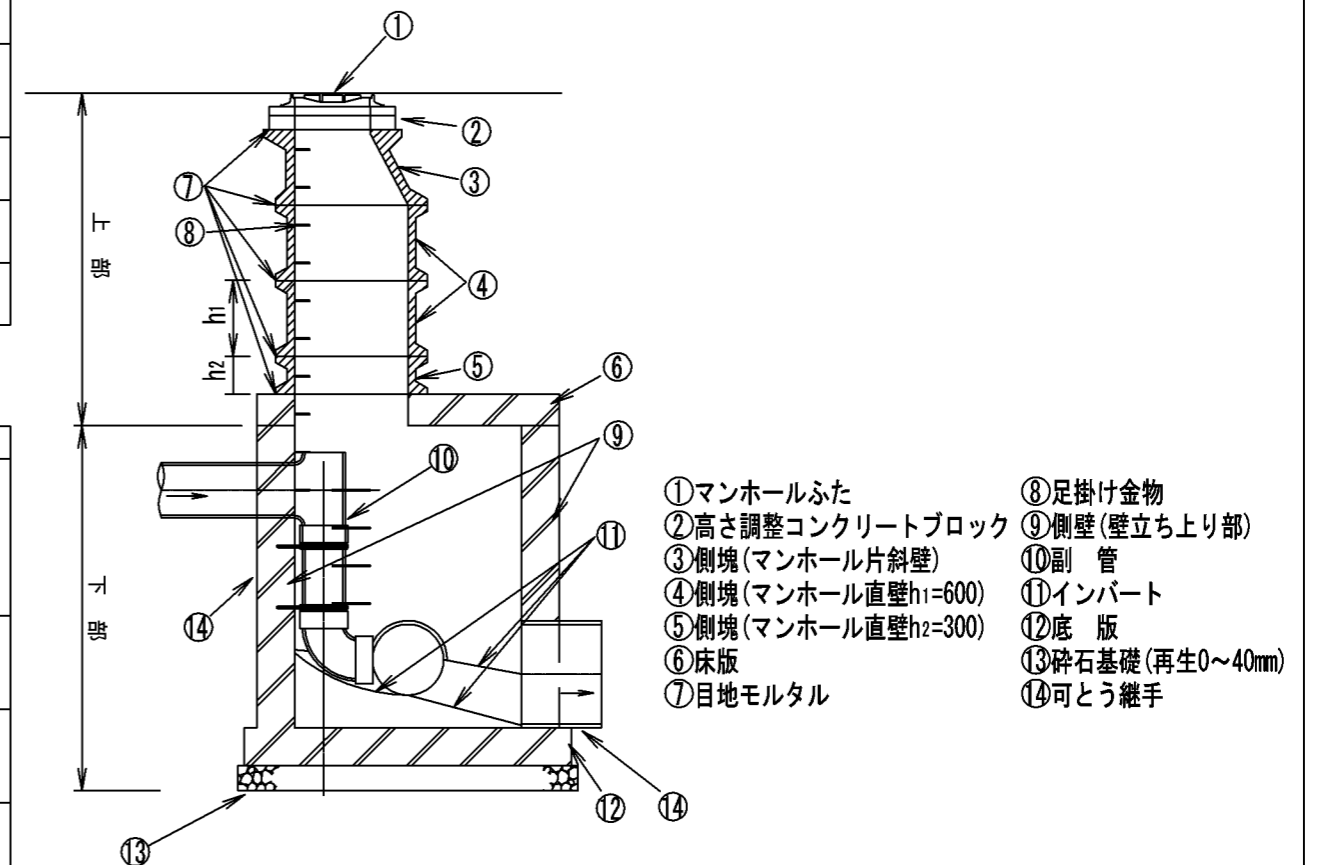
呼び方	形状寸法	使用基準
1号マンホール	内径 90cm 円形	本管4本の会合点では、2号以上のマンホールを設置すること。 管の起点および600mm以下の管の中間点ならびに内径450mmまでの管の会合点。マンホール深4.5m以下
2号マンホール	内径 120cm 円形	内径900mm以下の管の中間点および内径600mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
3号マンホール	内径 150cm 円形	内径1200mm以下の管の中間点および内径800mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
4号マンホール	内径 180cm 円形	内径1500mm以下の管の中間点および内径900mm以下の管の会合点。マンホール深6.0m以下
5号マンホール	内のり（法） 210 × 120cm 角形	内径1800mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下
6号マンホール	内のり（法） 260 × 120cm 角形	内径2200mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下
7号マンホール	内のり（法） 300 × 120cm 角形	内径2400mm以下の管の中間点。マンホール深6.0m以下

### 特殊マンホールの形状別使用基準

呼び方	形状寸法	使用基準
特1号マンホール	内のり（法） 60 × 90cm 角形	土かぶり量が特に少ない場合、他の埋設物等の関係で1号マンホールが設置できない場合。 マンホール深5.0m以下
特2号マンホール	内のり（法） 120 × 120cm 角形	内径1000mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特3号マンホール	内のり（法） 140 × 120cm 角形	内径1200mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
特4号マンホール	内のり（法） 180 × 120cm 角形	内径1500mm以下の管の中間点で、円形マンホールが設置できない場合。マンホール深5.0m以下
現場打ち管きよ用マンホール	内径 90, 120cm 角形 内のり（法） D × 120cm 角形	長方形きよ、馬てい（蹄）形きよ等およびシールド工法による下水管きよの中間点。ただし、Dは管きよの内幅。
特殊マンホールA型	内径 60cm 円形 （高さ調整ブロックは、組立1号マンホールと同じものを使用する。）	内径250mm以下の管の中間点で、起点には使用しない。 マンホール深1.2m以下
副管付きマンホール		管きよの段差が0.6m以上となる場合。

- ※ マンホールのスラブまでの高さは、原則として2m以上を確保すること。
- ※ 中間スラブについては、4.0m以内に設けること。
- ※ 既製ブロックの高さについては最大3.3mとすること。
- ※ 標準マンホール、特殊マンホールの壁立ち上がりが高くなる（深い）場合（現場条件により異なる）については、構造計算を行うこと。

### マンホール各部の名称



※ 転落防止用はしごは、次のいずれかに該当する場合に設置する。  
マンホール深2.0m以上  
流出管径がφ300mm以上（く形きよの場合は、管きよの断面積換算で決定する。）

## 現場打マンホールの設計条件

### 1. 設計条件（底版コンクリート）

#### 1) 材料の単位重量

鉄筋コンクリート  $24.5 \text{ kN/m}^3$

#### 2) 材料の基準値及び許容応力度

##### (1) コンクリート

設計基準強度  $24 \text{ N/mm}^2$

許容曲げ圧縮応力度  $8.0 \text{ N/mm}^2$

許容せん断応力度 一般部  $0.35 \text{ N/mm}^2$

許容曲げ引張応力度  $0.26 \text{ N/mm}^2$

ヤング係数  $2.50 \times 10^4 \text{ N/mm}^2$

ポアソン比 0.15

##### (2) 鉄筋

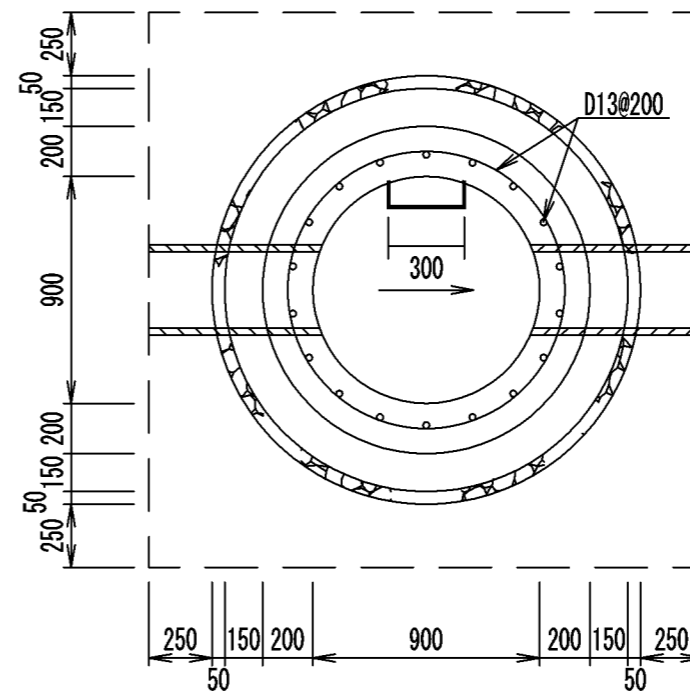
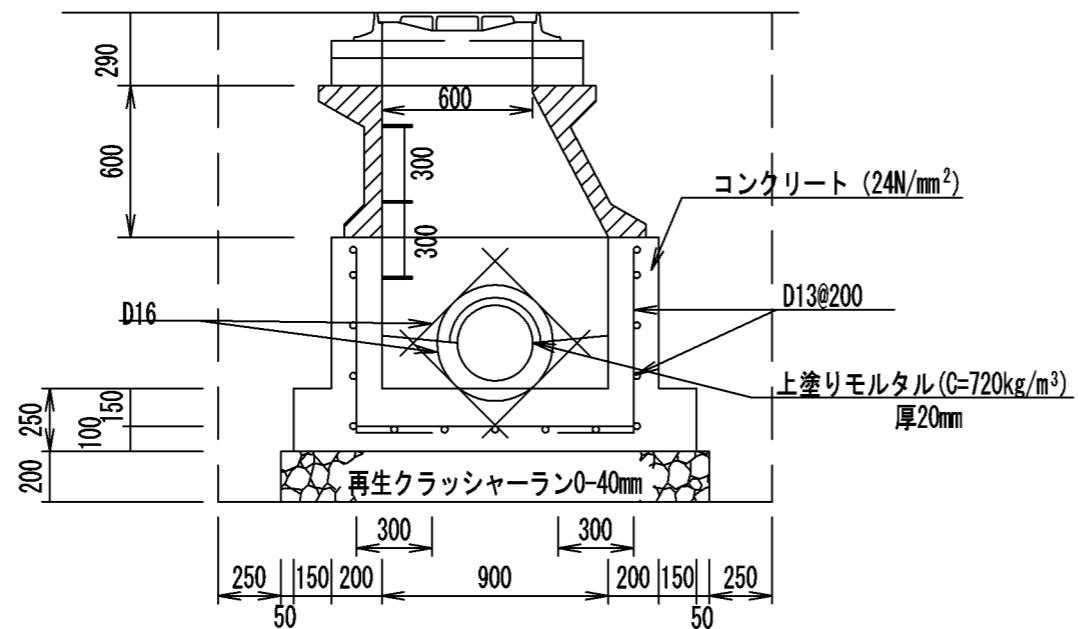
許容曲げ引張応力度  $180 \text{ N/mm}^2$

#### 3) 活荷重 車道部 T-25荷重積載（荷重としては10kN）

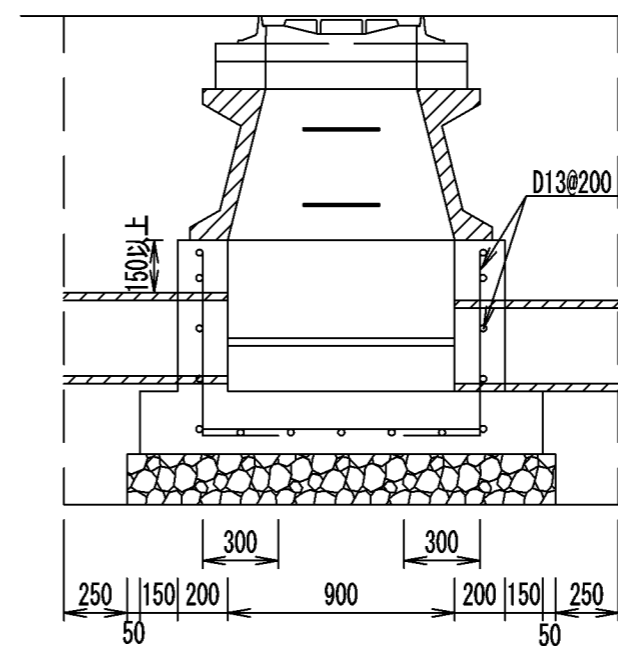
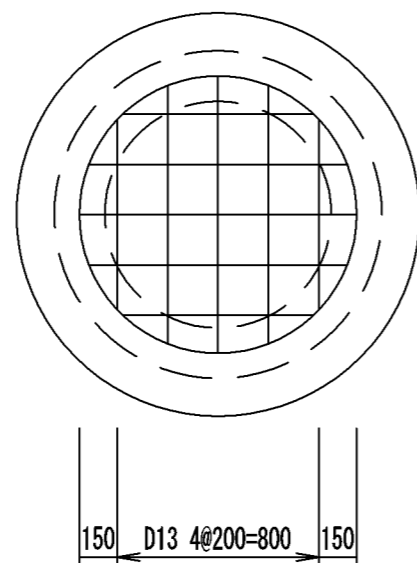
#### 4) その他 地下水（浮力）は考慮してない。

1号、2号、3号、4号マンホールの底版は、円形スラブの周辺固定支持で算定した。

1号マンホール（内径90cm円形）構造標準図 S=1/30



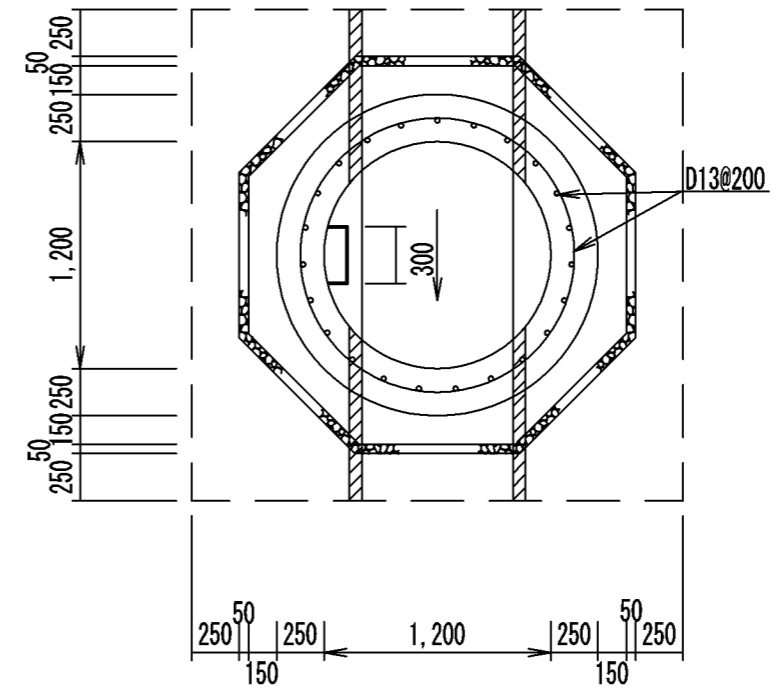
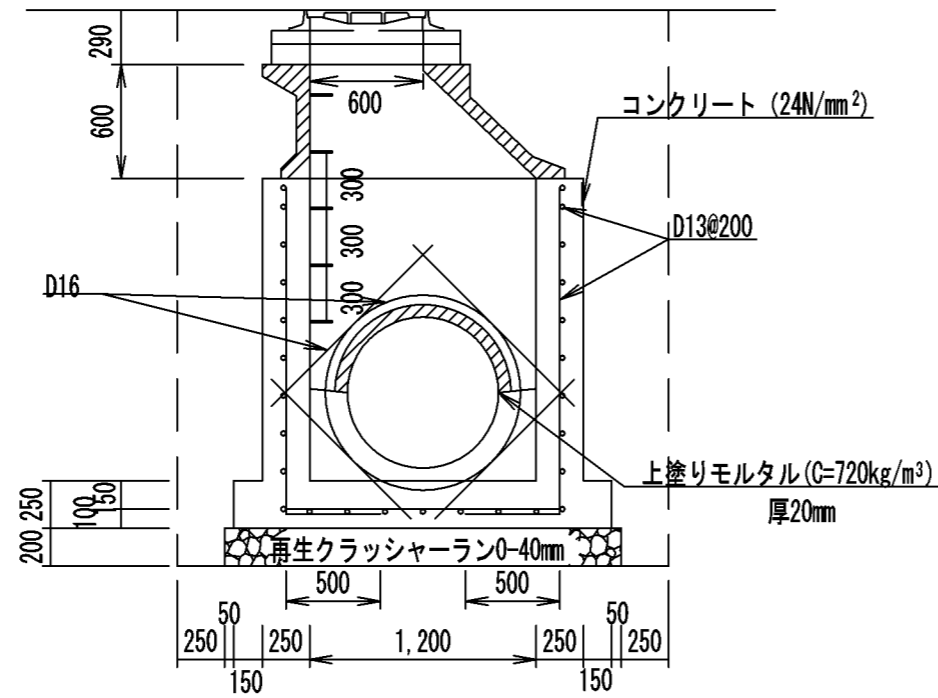
底版部配筋図



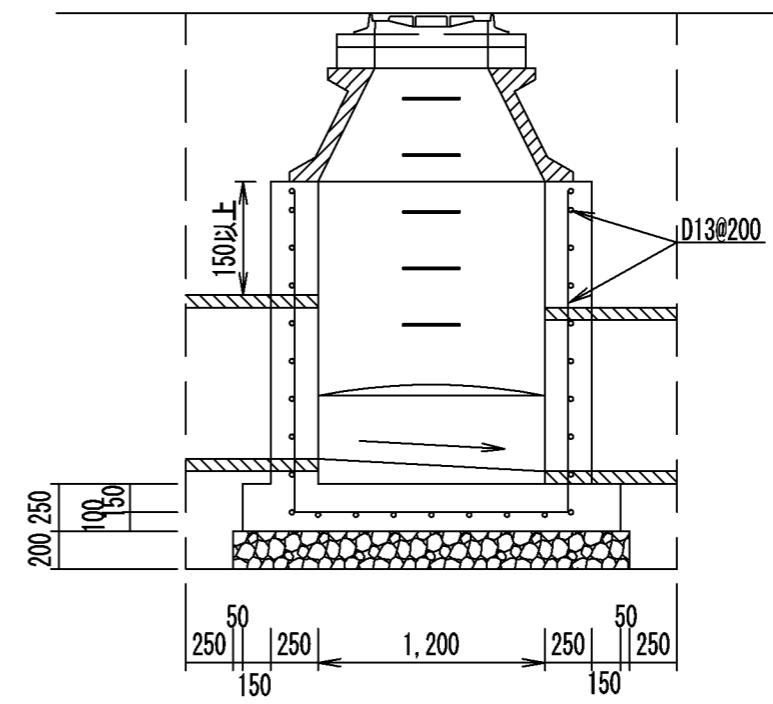
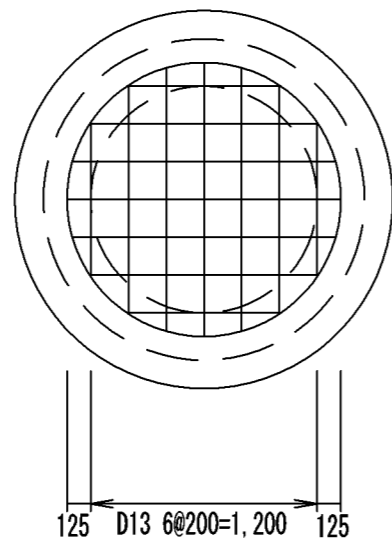
仙台市建設局



2号マンホール（内径120cm円形）構造標準図 S=1/40

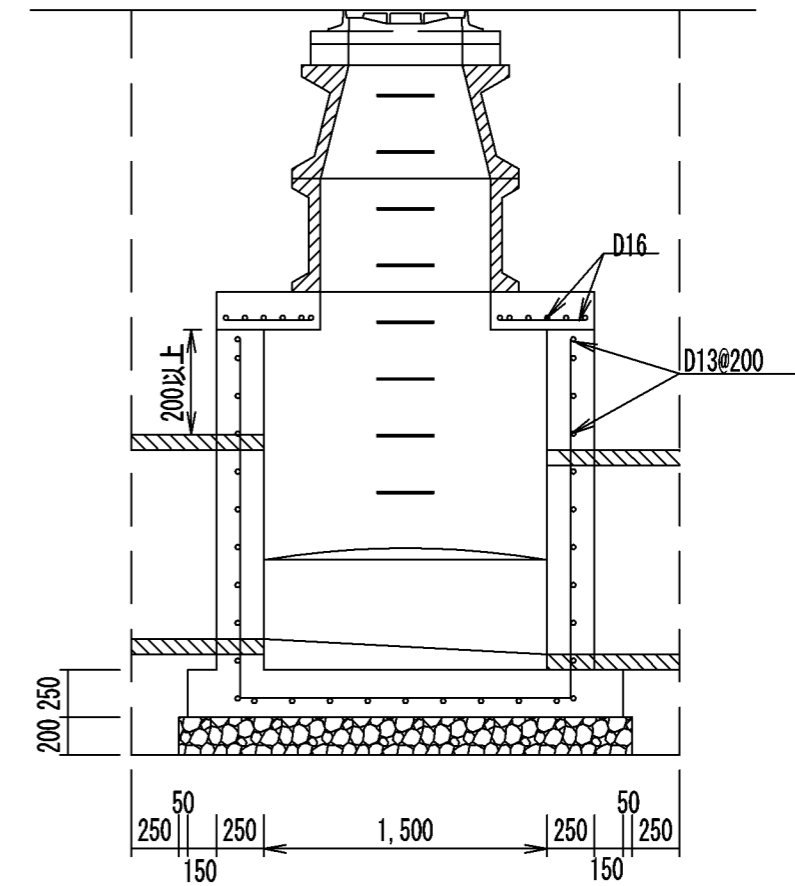
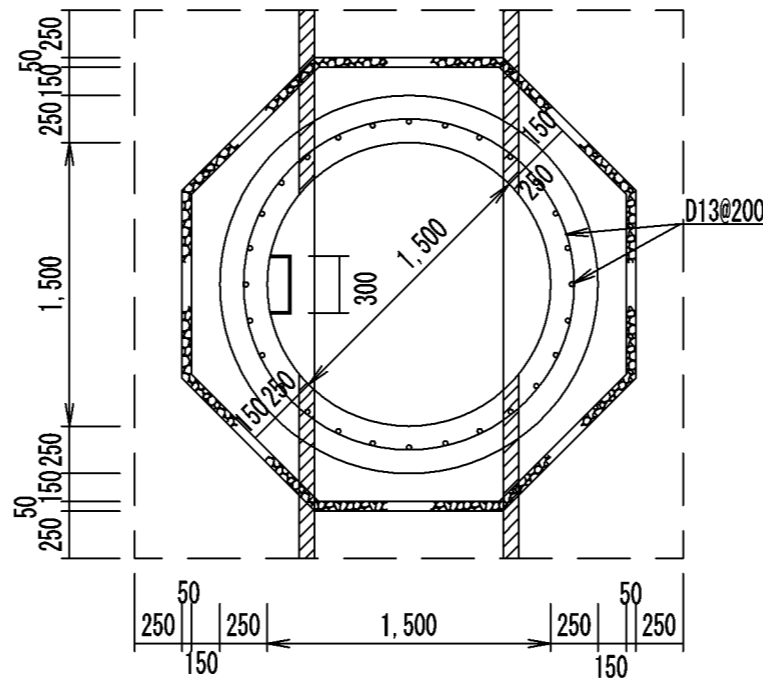
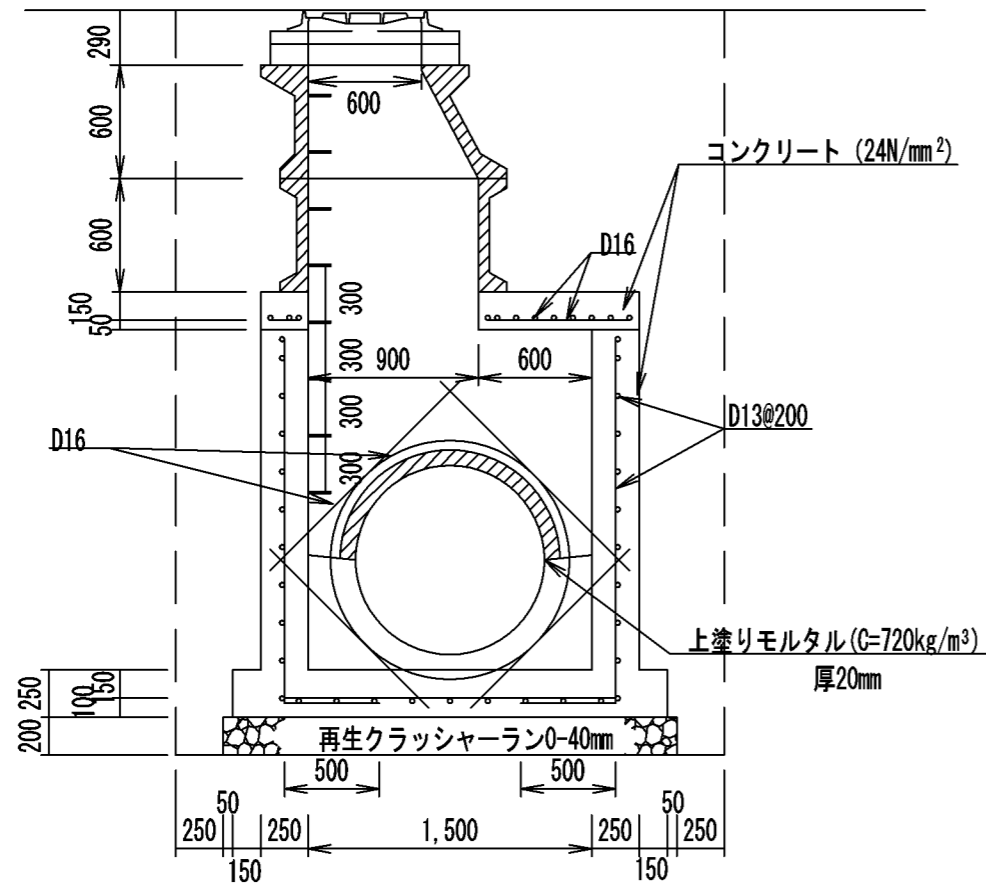
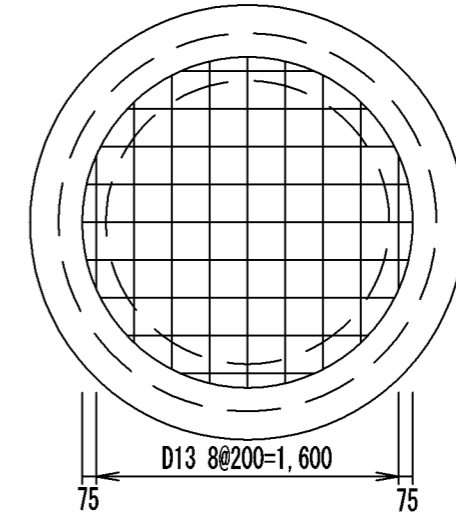
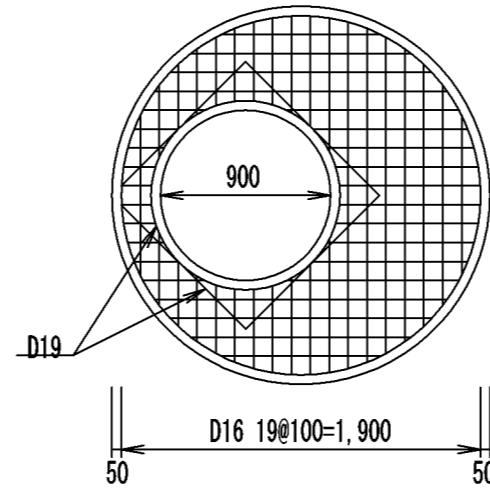


底版部配筋図

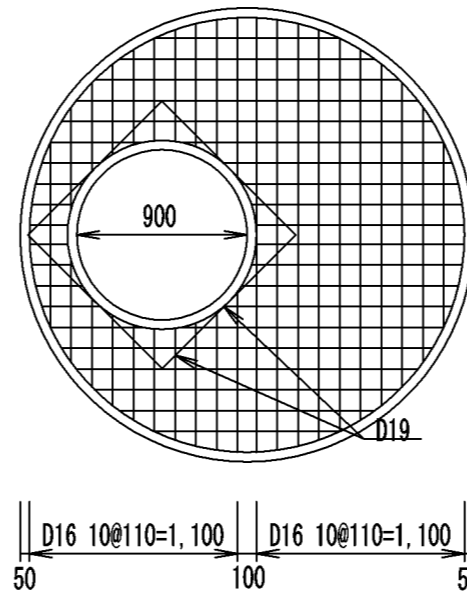


3号マンホール（内径150cm円形）構造標準図 S=1/40

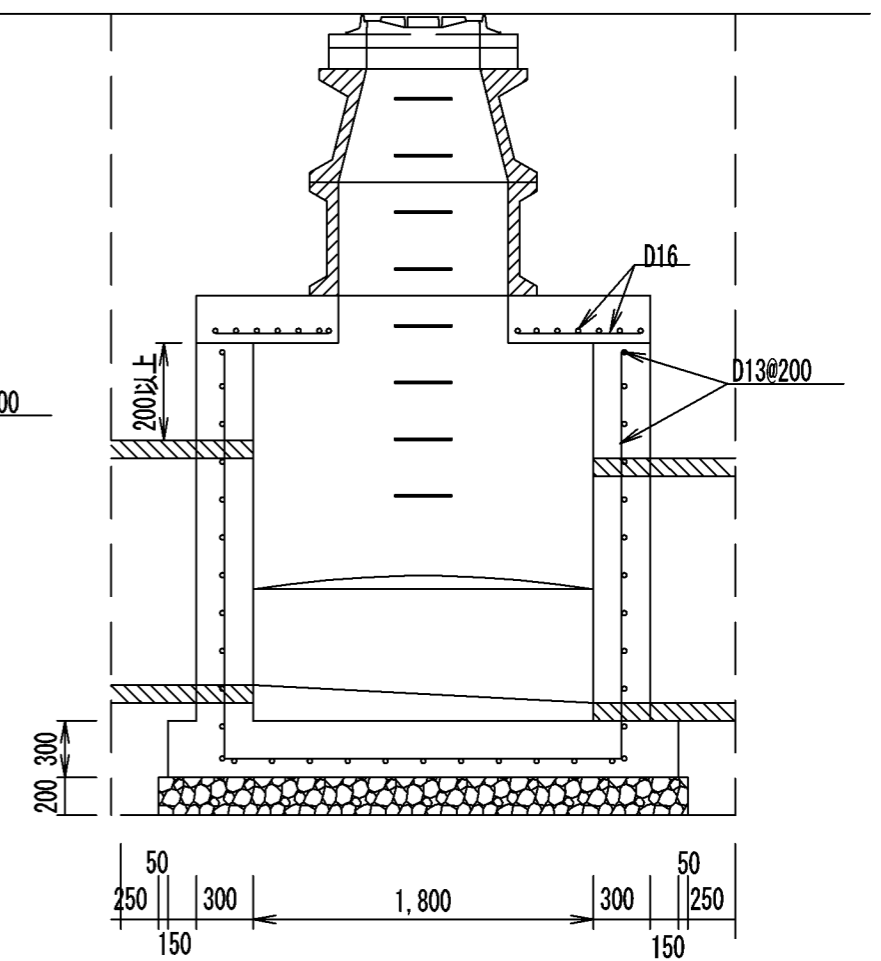
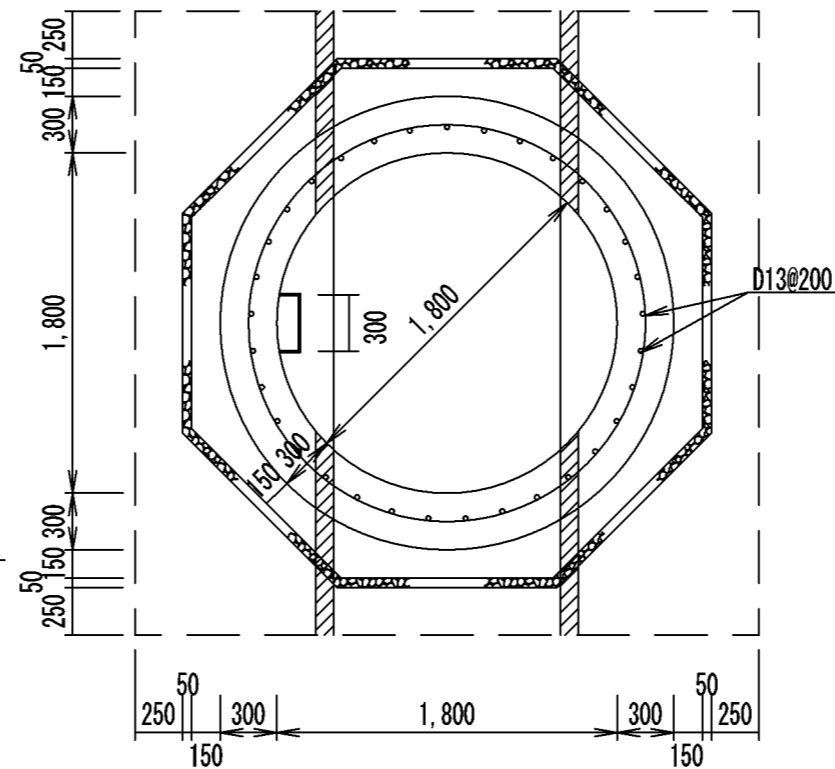
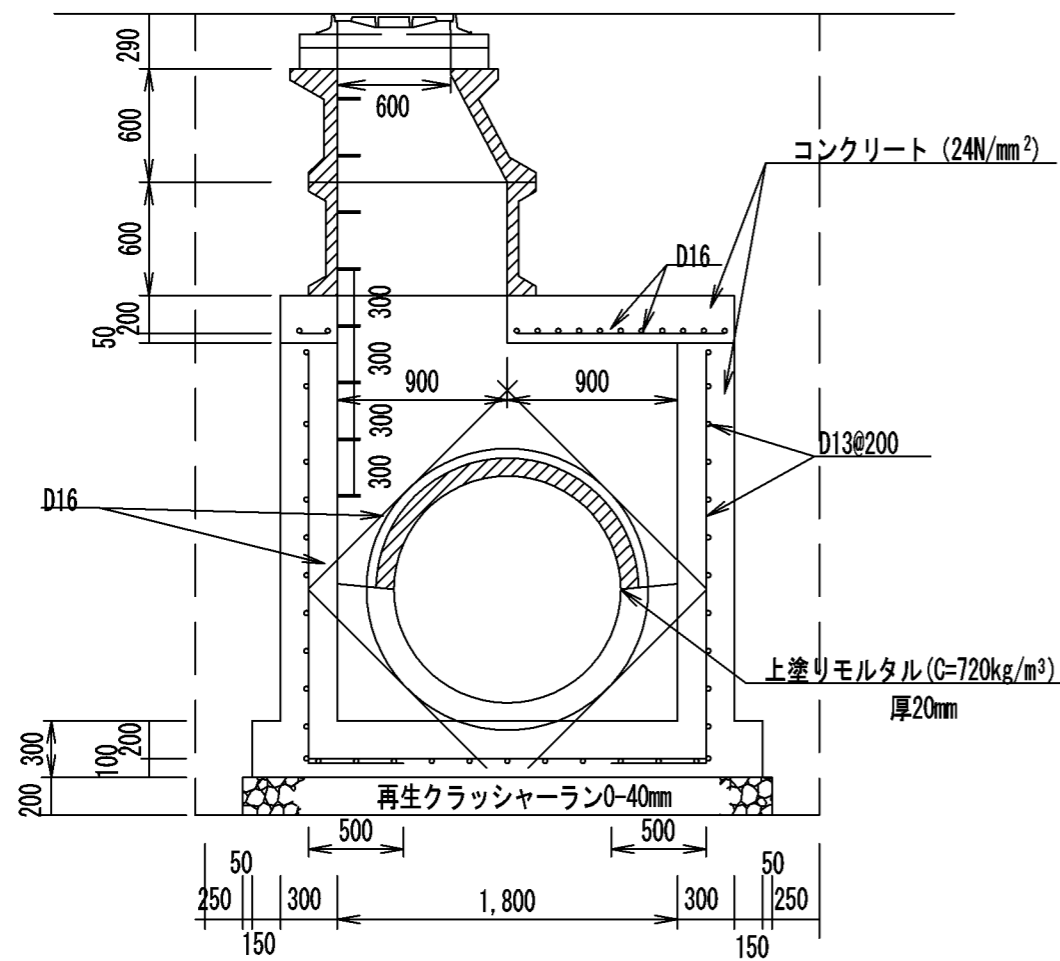
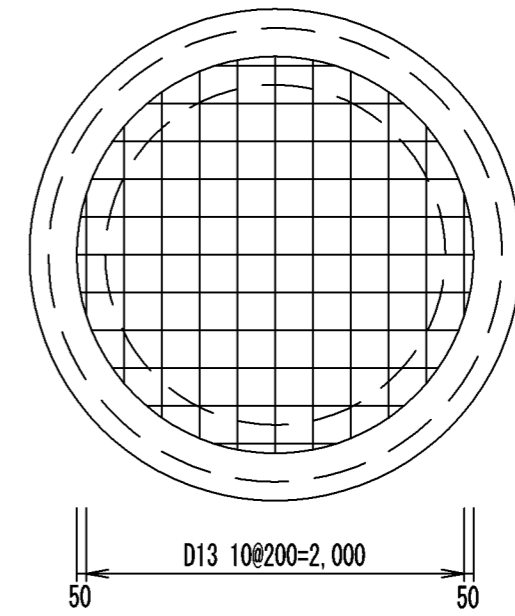
底板部配筋図



4号マンホール（内径180cm円形）構造標準図 S=1/40

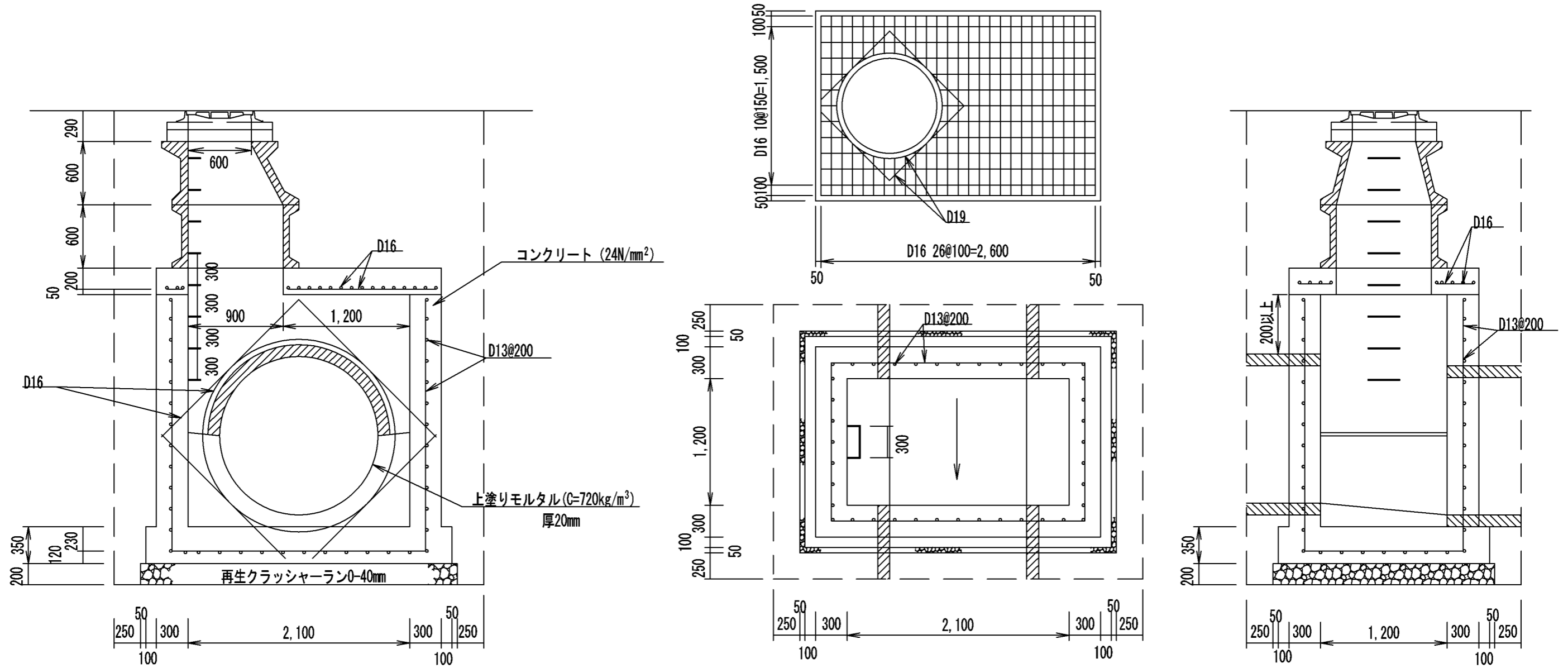


底板部配筋図



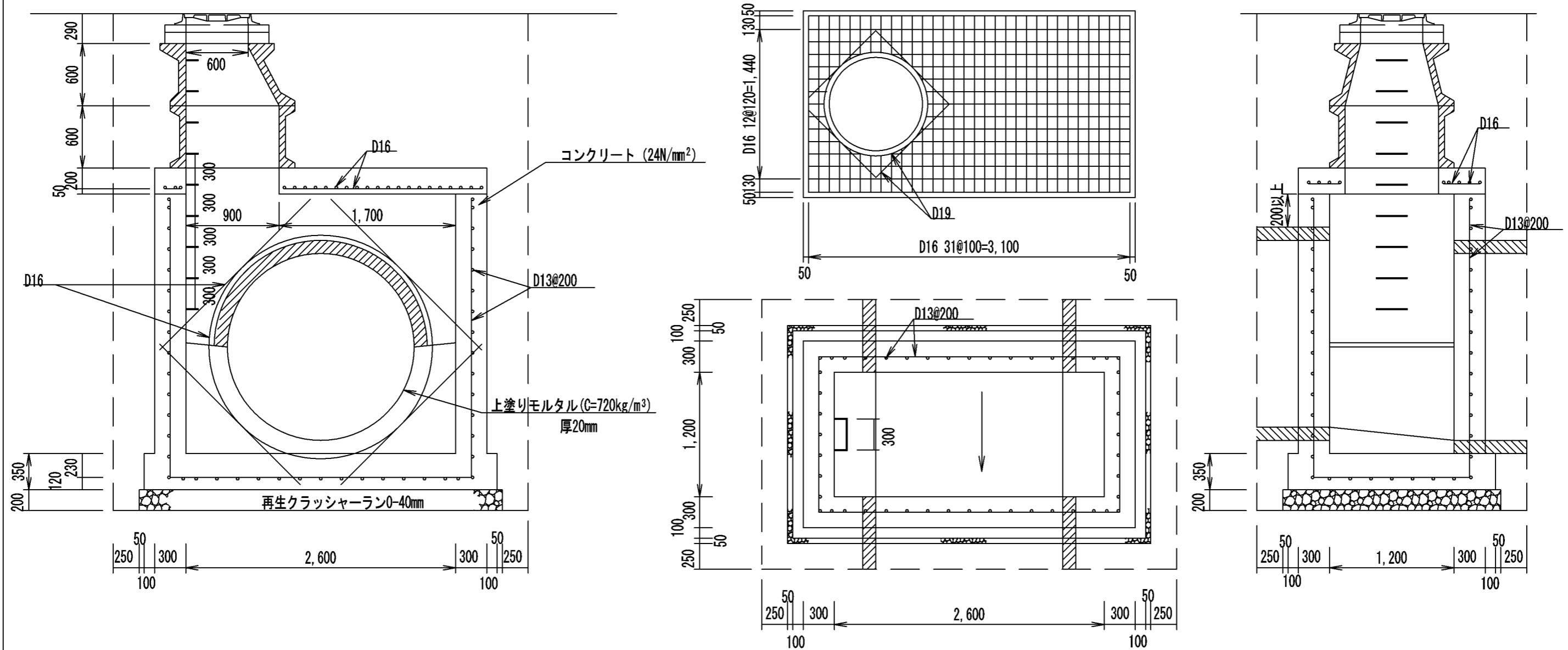
仙台市建設局

5号マンホール（内法210cm×120cm角形）構造標準図 S=1/40

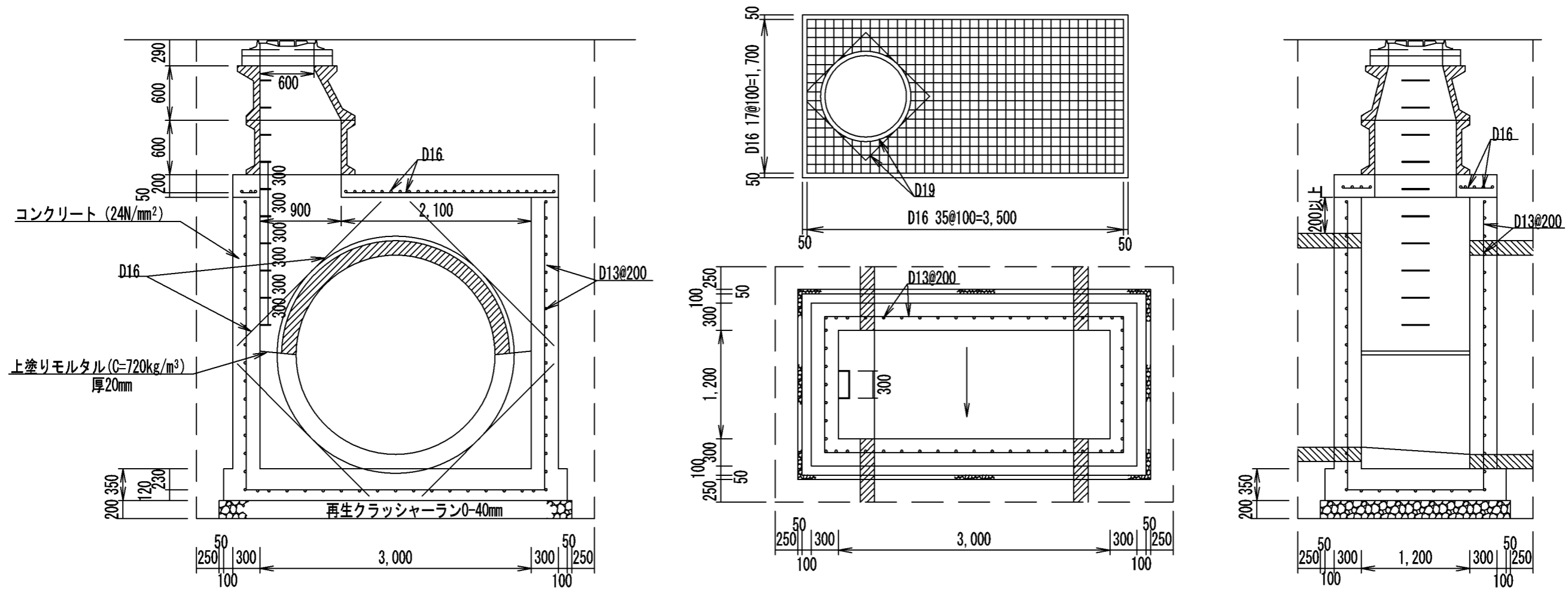


仙台市建設局

6号マンホール（内法260cm×120cm角形）構造標準図 S=1/40



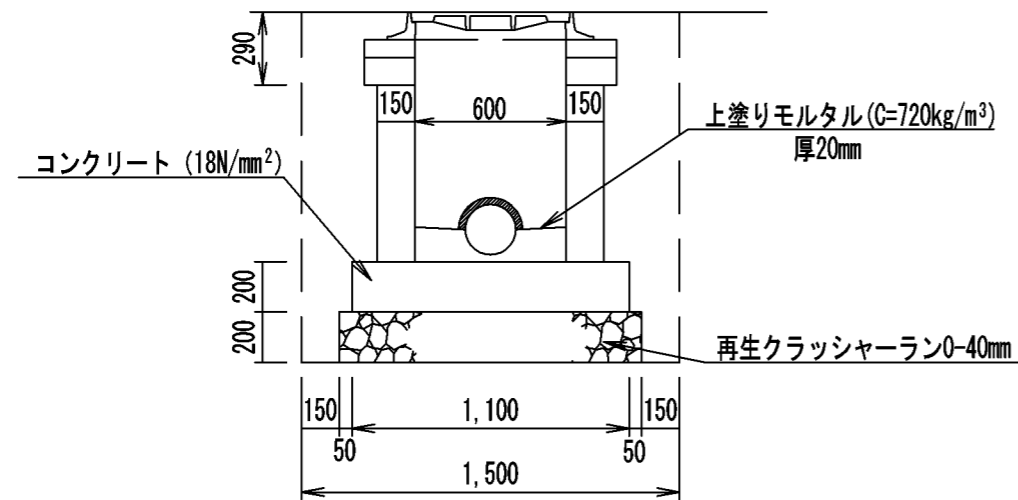
7号マンホール（内法300cm×120cm角形）構造標準図 S=1/50



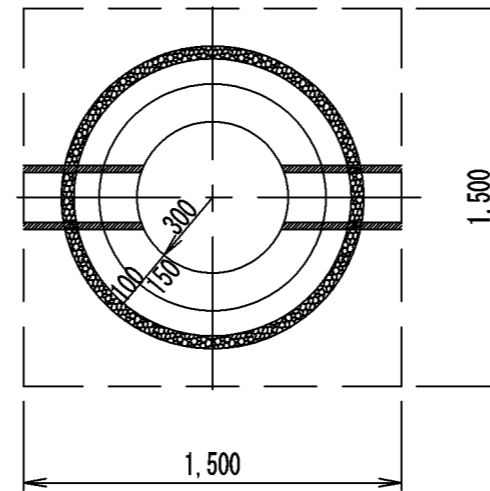
仙台市建設局

特殊マンホール A型 (内径60cm円形) 構造標準図 S=1/30

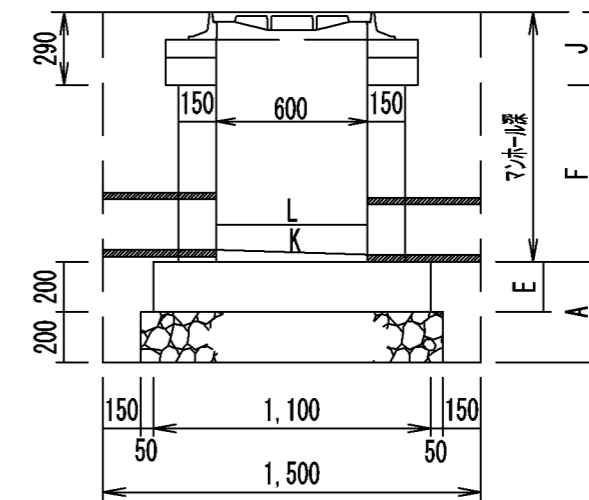
横断面図



平面図



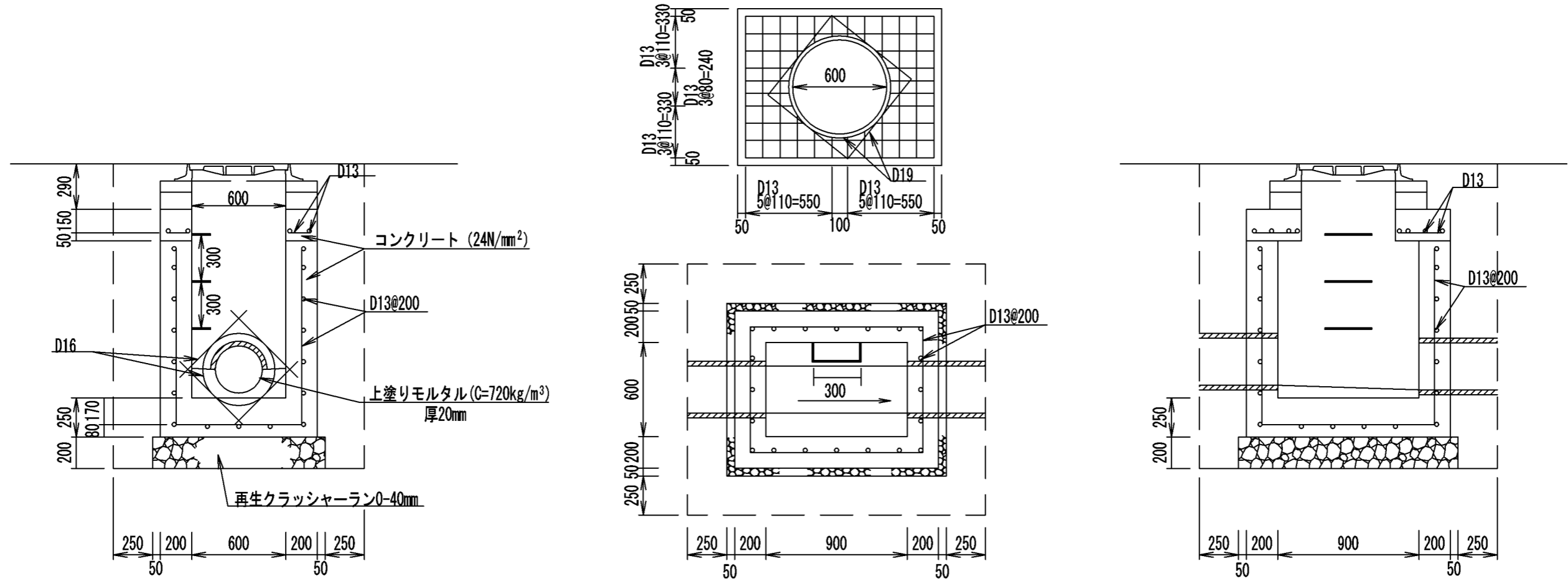
縦断面図



※ 私道対策工事等に於いて路面が急傾地でなおかつマンホール深が1.5m以内のものについて適用する。

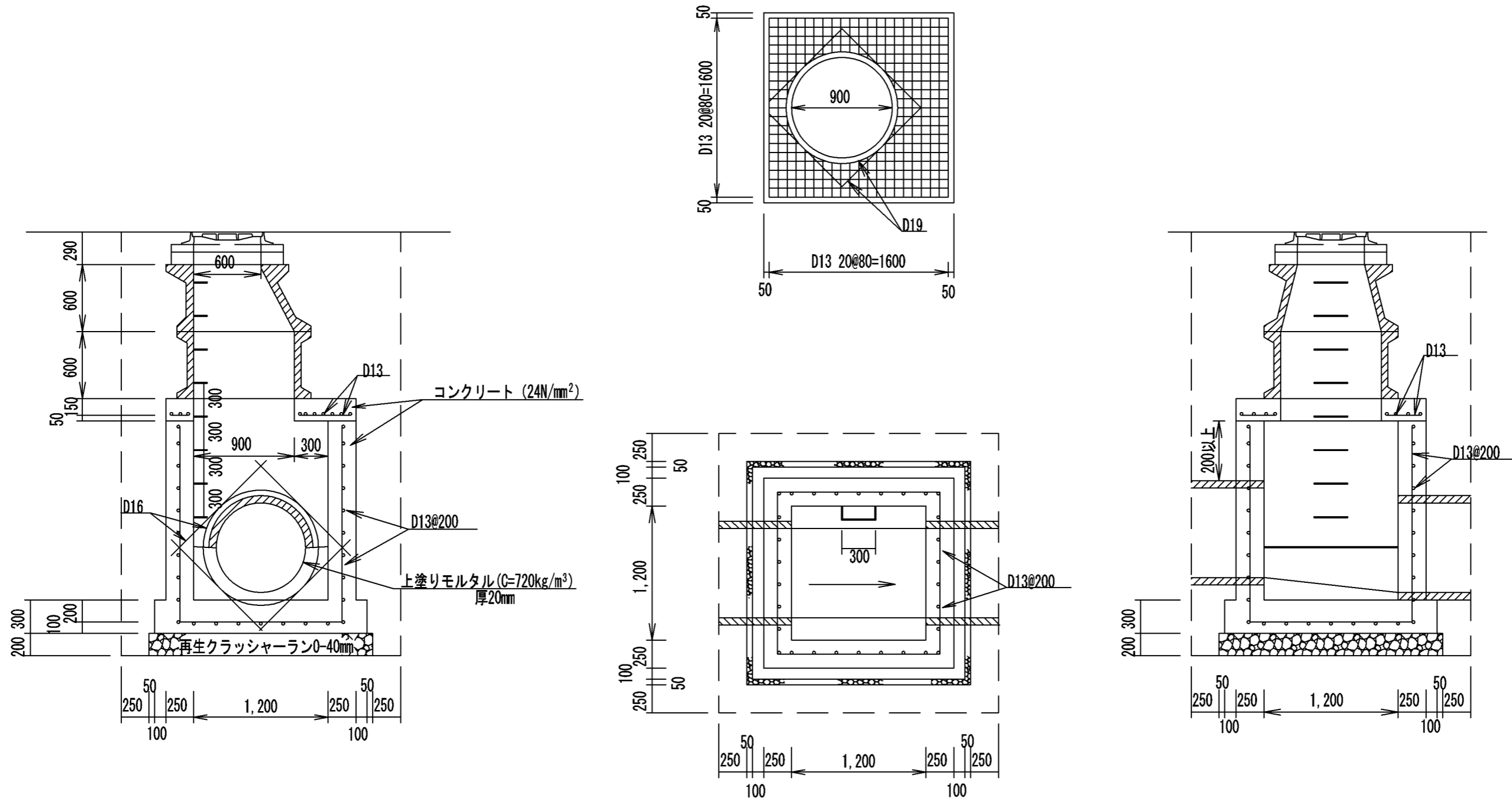
※ 足掛金物の取付は行わないものとする。

特1号マンホール（内法60cm×90cm角形）構造標準図 S=1/30



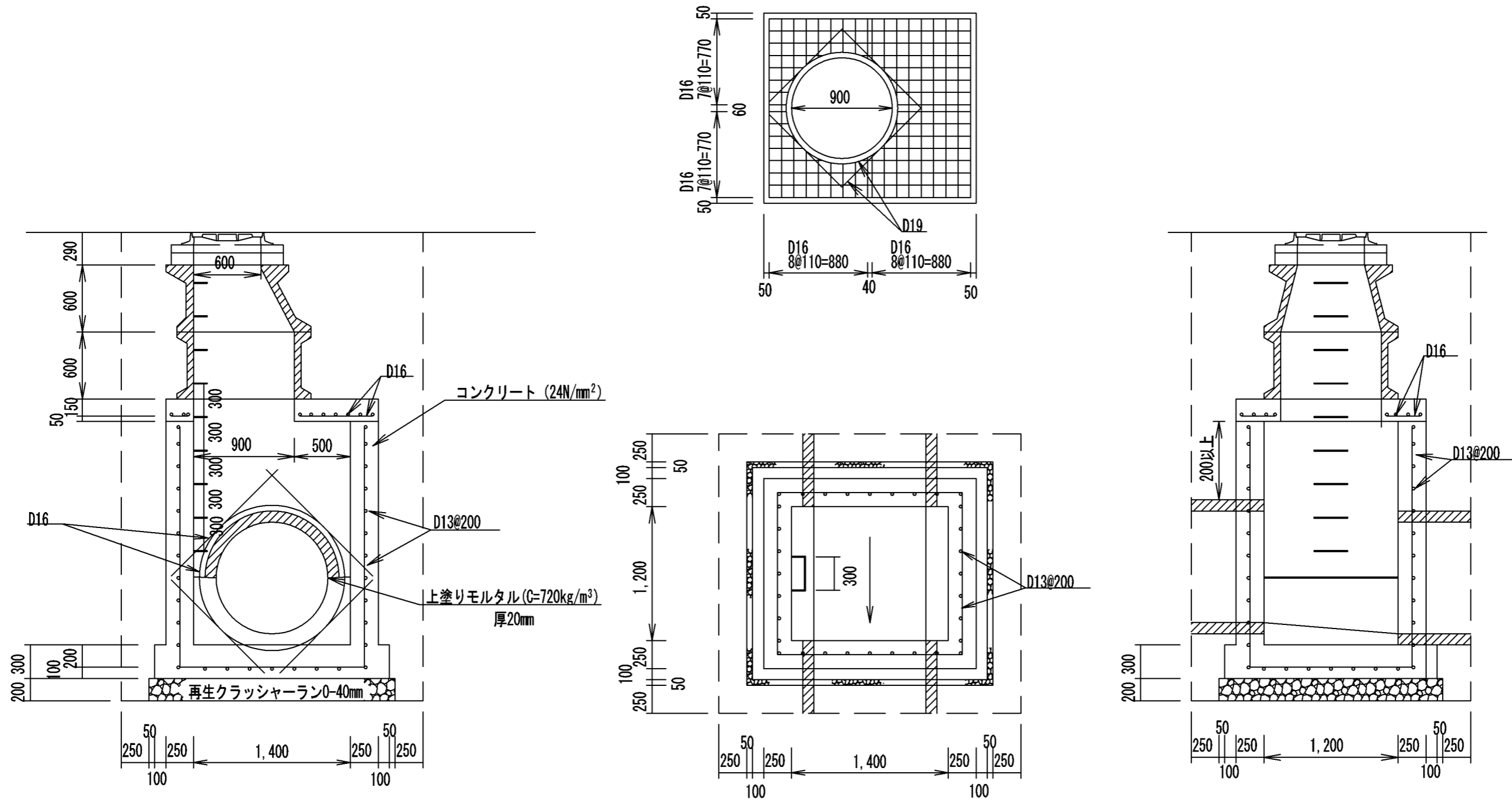


特2号マンホール（内法120cm×120cm角形）構造標準図 S=1/40



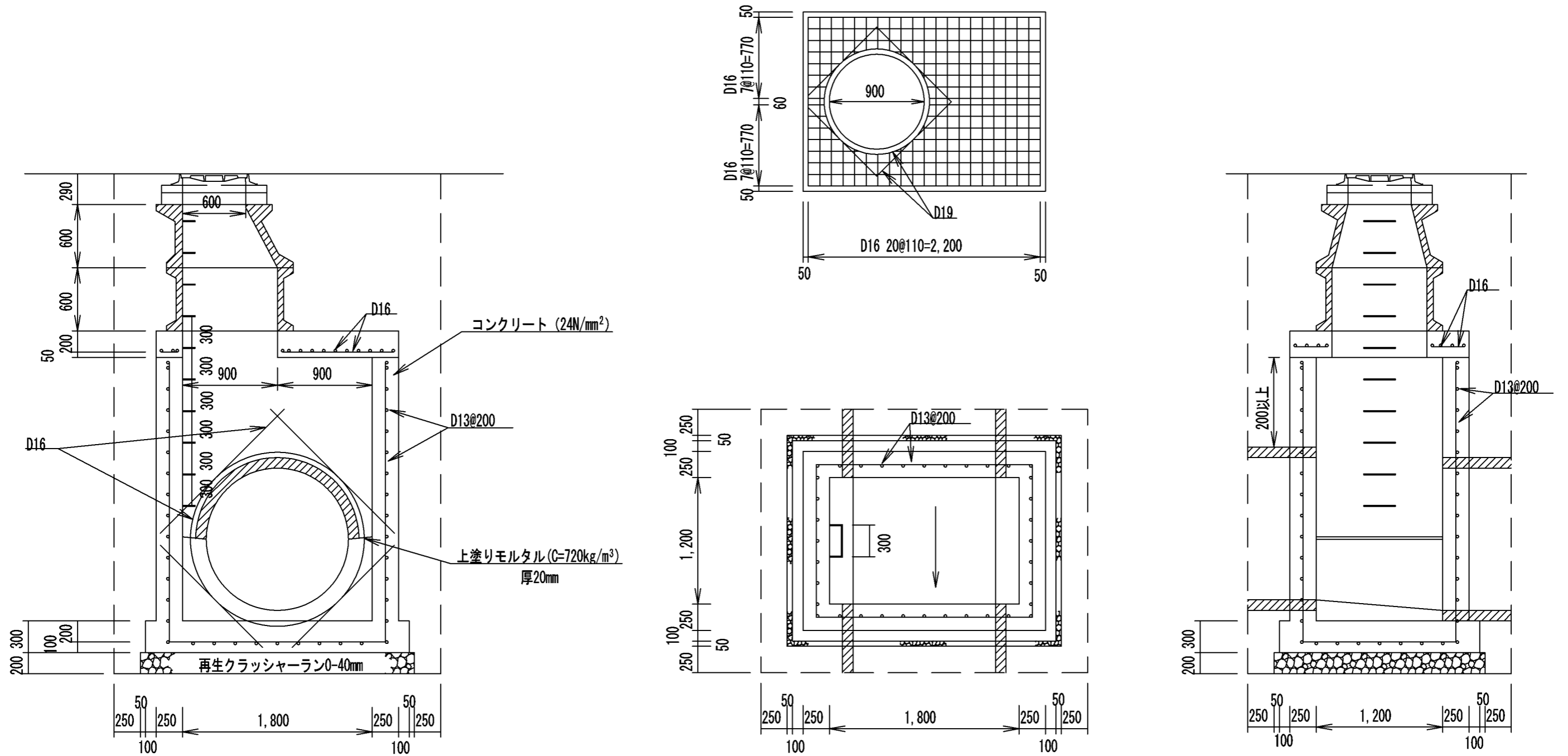
仙台市建設局

特3号マンホール（内法140cm×120cm角形）構造標準図 S=1/40



仙台市建設局

特4号マンホール（内法180cm×120cm角形）構造標準図 S=1/40



仙台市建設局

マンホール頂版鉄筋数量表

マンホール 鉄筋の種類	3号マンホール k g	4号マンホール k g	5号マンホール k g	6号マンホール k g	7号マンホール k g	特1号マンホール k g	特2号マンホール k g	特3号マンホール k g	特4号マンホール k g
D 1 3						16	48		
D 1 6	73	106	107	135	169			67	86
D 1 9	18	18	18	18	18	13	18	18	18

壁立上がり鉄筋数量表（D13底版鉄筋含む）

高さ (m)	マンホール	1号マンホール k g	2号マンホール k g	3号マンホール k g	4号マンホール k g	5号マンホール k g	6号マンホール k g	7号マンホール k g	特1号マンホール k g	特2号マンホール k g	特3号マンホール k g	特4号マンホール k g	備 考
0.5		46							43	77			
0.6		52							45	80			
0.7		54	77						52	89			
0.8		59	85						54	92	100		
0.9		61	87						60	102	110		
1.0		67	94						62	105	114		
1.1		69	96	121					68	114	123		
1.2		74	104	130					70	117	127	141	
1.3		76	106	133					76	127	137	151	
1.4		82	113	141	175				78	130	140	155	
1.5		83	115	144	186				84	139	150	166	
1.6		89	123	153	189				86	142	153	170	
1.7		91	125	155	199	205			92	152	163	180	
1.8		96	132	164	202	209	242		94	155	167	184	
1.9		98	134	167	213	221	255		100	164	177	195	
2.0		104	142	175	216	225	260	285	102	167	180	199	
2.1		106	144	178	226	238	274	300	108	177	190	209	
2.2		111	151	187	229	242	278	305	110	180	193	213	
2.3		113	153	190	240	254	292	320	117	189	203	224	
2.4		119	161	198	243	258	296	325	119	192	207	228	
2.5		120	163	201	253	270	310	340	125	202	217	238	
2.6		126	170	210	256	274	315	345	127	205	220	242	
2.7		128	172	212	267	286	328	360	133	214	230	253	
2.8		133	179	221	270	290	333	365	135	217	233	257	
2.9		135	182	224	280	302	347	379	141	227	243	267	
3.0		141	189	232	283	306	351	384	143	230	247	271	
3.1		142	191	235	294	318	365	399	149	239	256	282	
3.2		148	198	244	297	322	370	404	151	242	260	285	
3.3		150	201	247	307	334	383	419	157	252	270	296	
3.4		155	208	255	310	338	388	424	159	255	273	300	
3.5		157	210	258	321	350	402	439	165	264	283	311	
3.6		163	217	267	324	354	406	444	167	267	286	314	
3.7			220	270	334	366	420	459	173	277	296	325	
3.8			227	278	337	370	424	464	175	280	300	329	
3.9			229	281	348	382	438	479	182	289	310	340	
4.0			236	290	351	386	443	484	184				
4.1			239	292	361	398	456	499	190				
4.2			246	301	364	402	461	504	192				
4.3			248	304	375	415	475	519	198				
4.4			255						200				
4.5			258						206				
4.6			265										
4.7			267										
4.8			274										
4.9			277										
5.0			284										

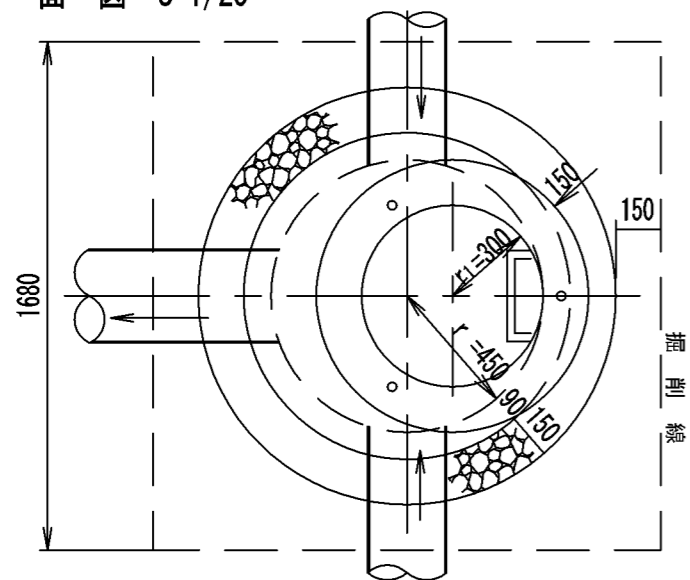
※ マンホール壁立上がり部鉄筋はD13使用とするが、管挿入部（削孔部）の鉄筋減少分は、D16のリング筋、ダイヤ筋等により補充するものとする。

仙台市型組立マンホール形状別使用基準（現場打ちマンホールを除く）

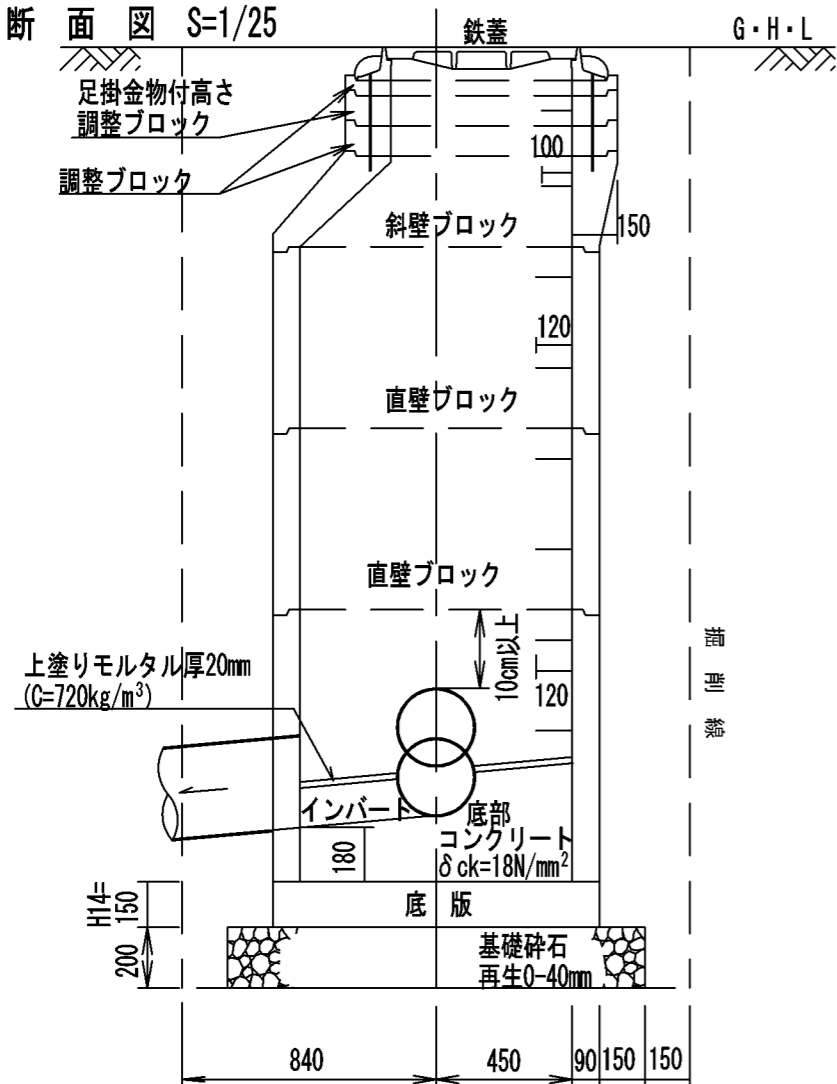
種 別	形状・寸法	使用材料の基準	使用基準	備 考
組立1号マンホール	内径 90cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート：fck=25N/mm<sup>2</sup></li> <li>・鉄筋：SD295 <math>\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2</math></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本管管径、200mm<math>\leq\phi\leq</math>400mmの間、最上流部及び三本以下の会合点。</li> <li>・管径200mm以下の十字会合点</li> <li>・マンホール深1.08m<math>\leq h\leq</math>4.23m</li> <li>・車両総重量25t以下</li> </ul>	
組立2号マンホール	内径 120cm (上部は、組立1号マンホールの直・斜壁等を使用する。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート：fck=25N/mm<sup>2</sup></li> <li>・鉄筋：SD295 <math>\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2</math></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本管管径、450mm<math>\leq\phi\leq</math>500mmの間、最上流部及び三本以下の会合点</li> <li>・本管管径、250mm<math>\leq\phi\leq</math>400mmの十字会合点</li> <li>・マンホール深1.38m<math>\leq h\leq</math>6.68m</li> <li>・車両総重量25t以下</li> </ul>	h $\leq$ 4.98mでは中間スラブを設置する。
組立特1号マンホール	内法 60cm $\times$ 90cm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート：fck=35N/mm<sup>2</sup></li> <li>・鉄筋：SD390 <math>\sigma_{sa}=210\text{N/mm}^2</math></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本管管径、200mm<math>\leq\phi\leq</math>450mmの間及び最上流部マンホール</li> <li>・マンホール深1.13m<math>\leq h\leq</math>4.03m</li> <li>・車両総重量25t以下</li> </ul>	
組立特殊マンホールA型	内法 60cm (高さ調節ブロックは組立1号マンホールと同じものを使用する。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート：fck=25N/mm<sup>2</sup></li> <li>・鉄筋：SD295 <math>\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2</math></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本管管径、<math>\phi\leq</math>250mmの間</li> <li>・マンホール深 h<math>\leq</math>1.20m</li> <li>・車両総重量25t以下</li> </ul>	マンホールに足掛金物は設置しない。 小規模な排水等、他の地下埋設物の制約等から組立0号マンホールが設置できない場合。

仙台市型組立1号マンホール（内径90cm）構造標準図（1）

平面図 S=1/25

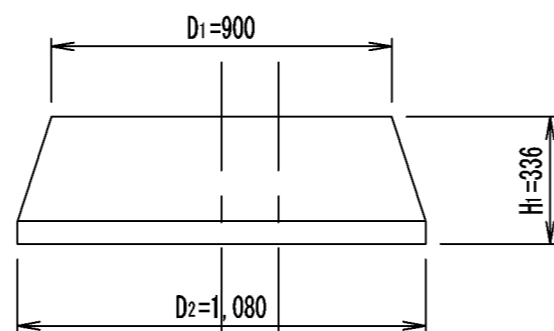


断面図 S=1/25

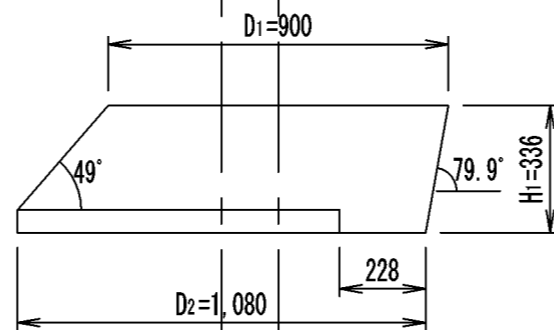


斜壁

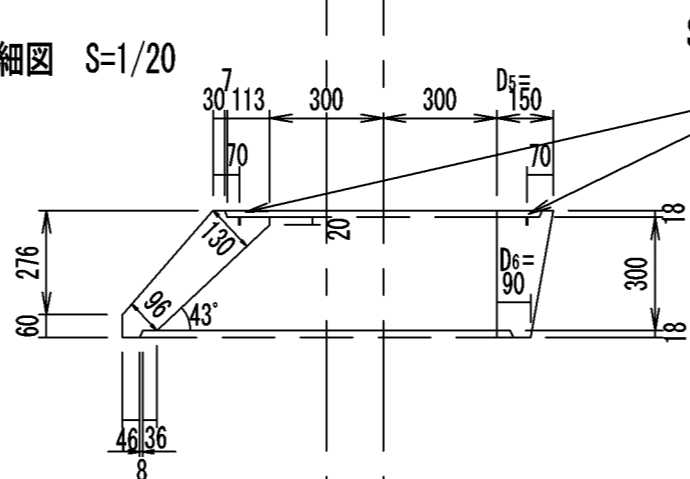
正面図 S=1/20



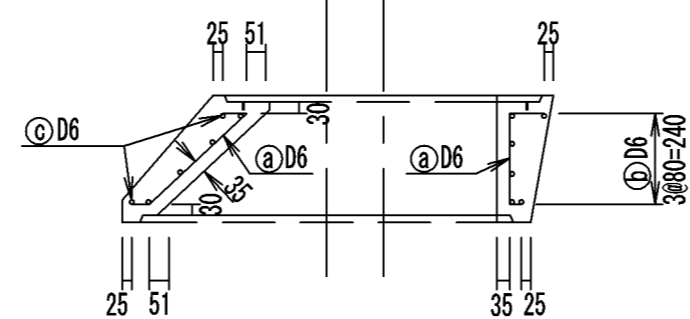
側面図 S=1/20



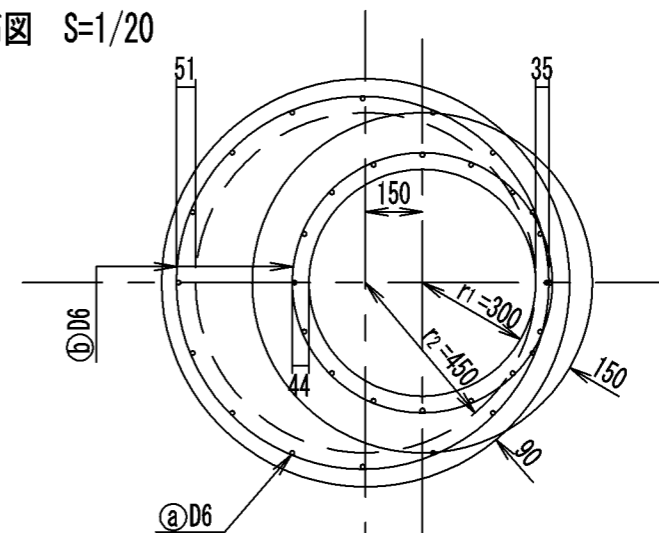
側面詳細図 S=1/20



側面配筋図 S=1/20

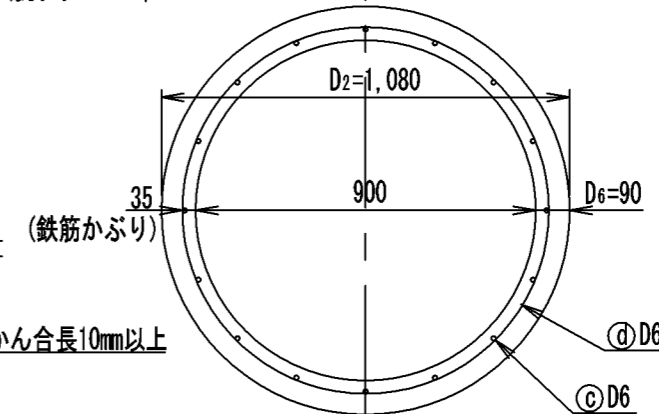


平面配筋図 S=1/20

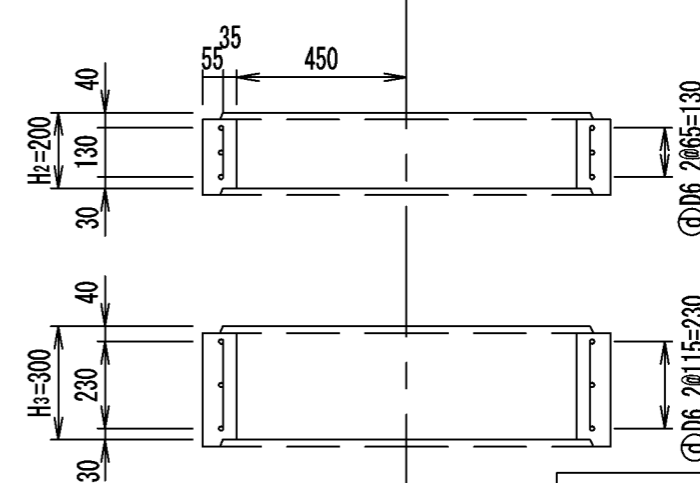


直壁

断面配筋図 S=1/20



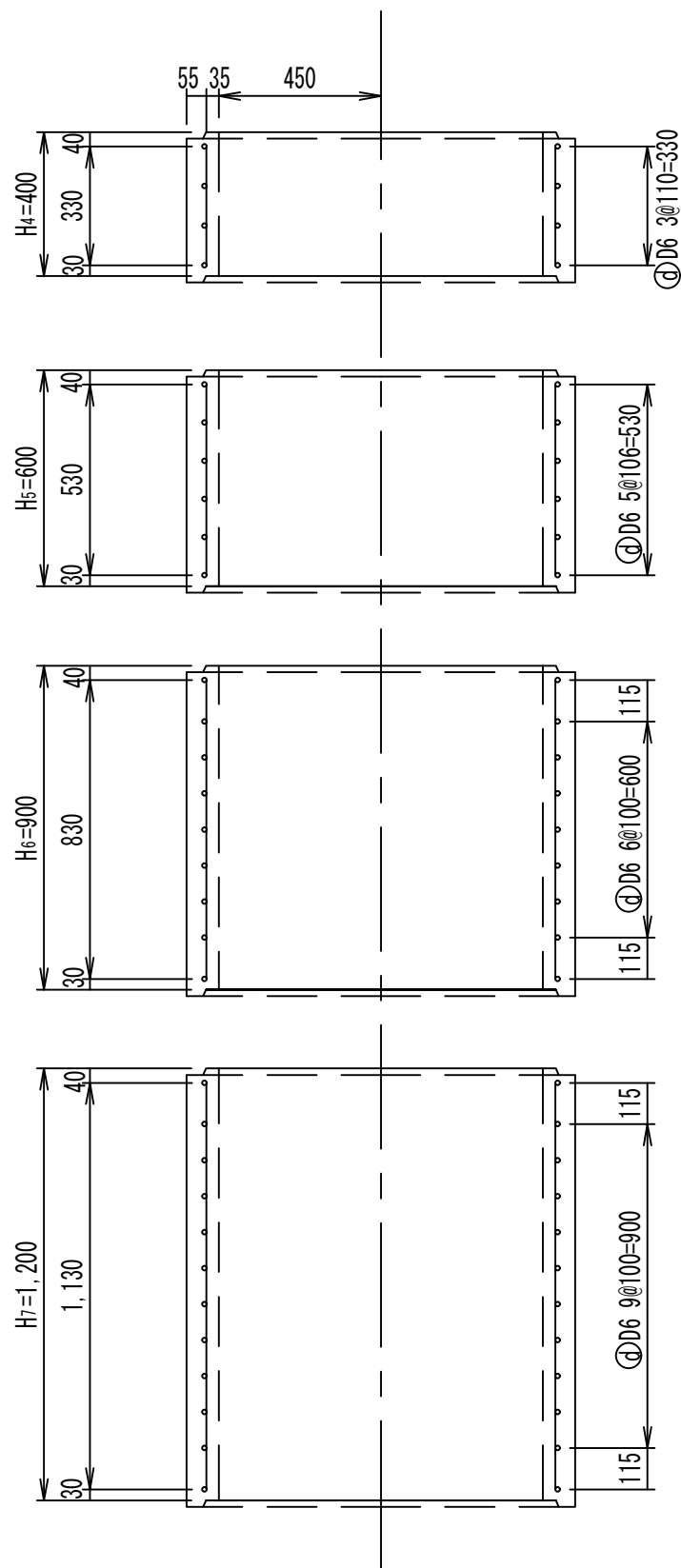
側面配筋図 S=1/20



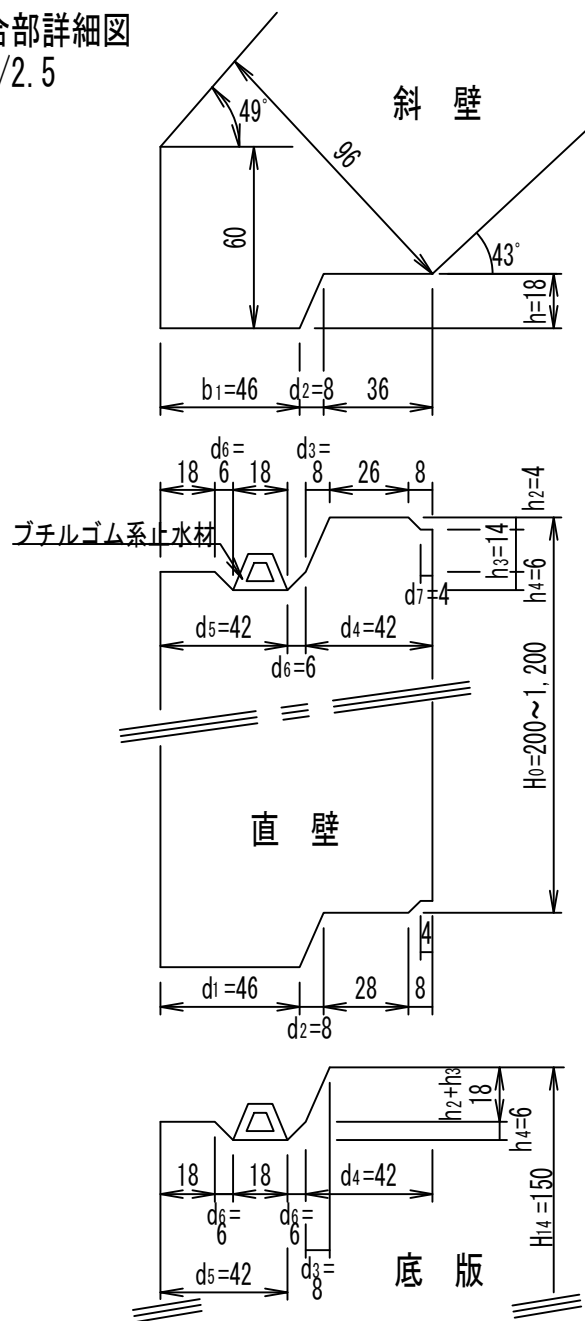
仙台市建設局

仙台市型組立1号マンホール（内径90cm）構造標準図（2）

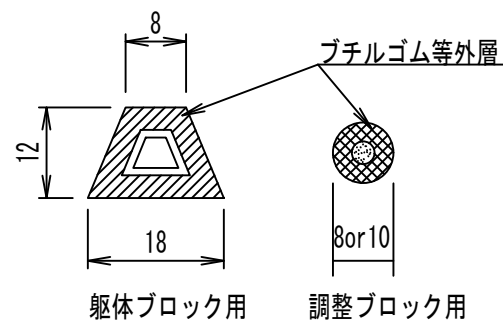
側面配筋図 S=1/20



接合部詳細図 S=1/2.5

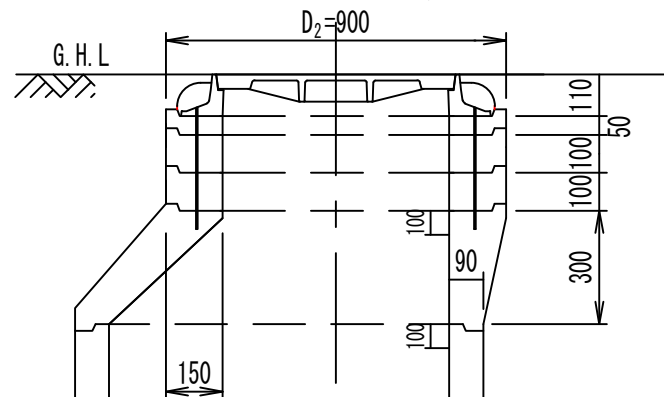


接合部止水材形状図 S=1/1

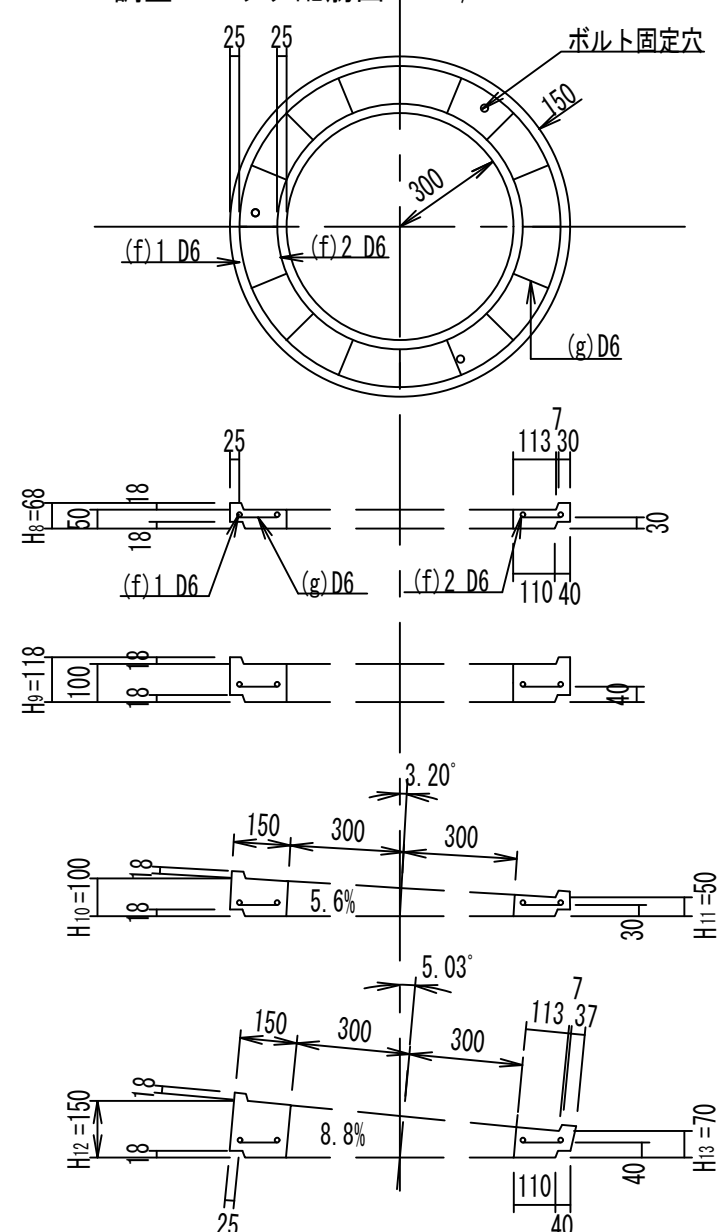


※調整ブロック用止水材については、ブチルゴムのみの規格も可とする。

調整ブロック等詳細図 S=1/20

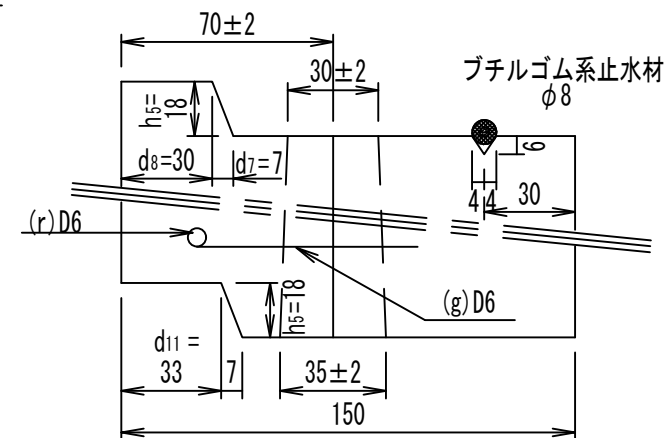


調整ブロック配筋図 S=1/20

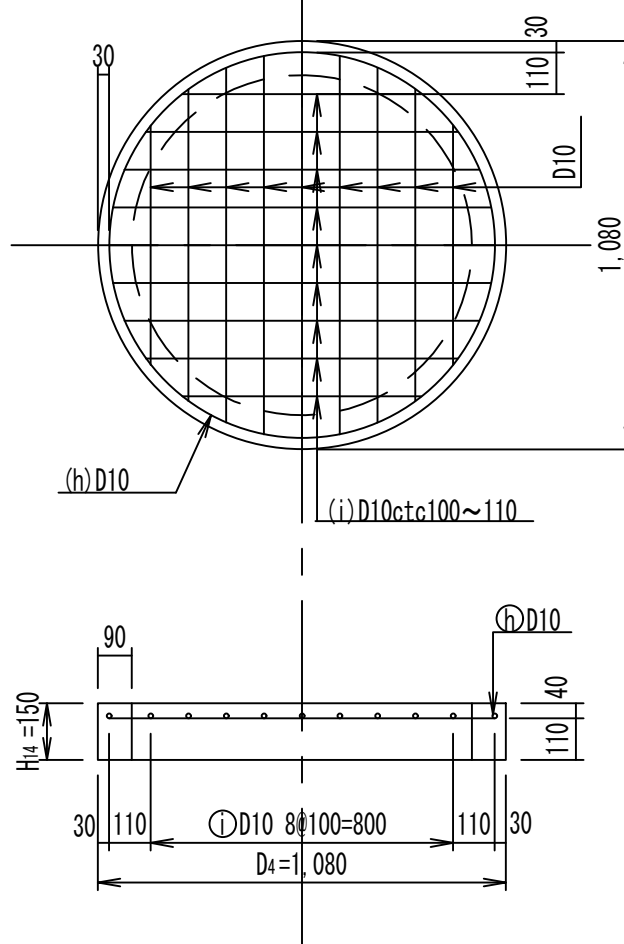


※傾斜付調整ブロックはボルト緊結を行う場合、使用不可。

調整ブロック等接合部詳細図 S=1/2.5



底板配筋図 S=1/20

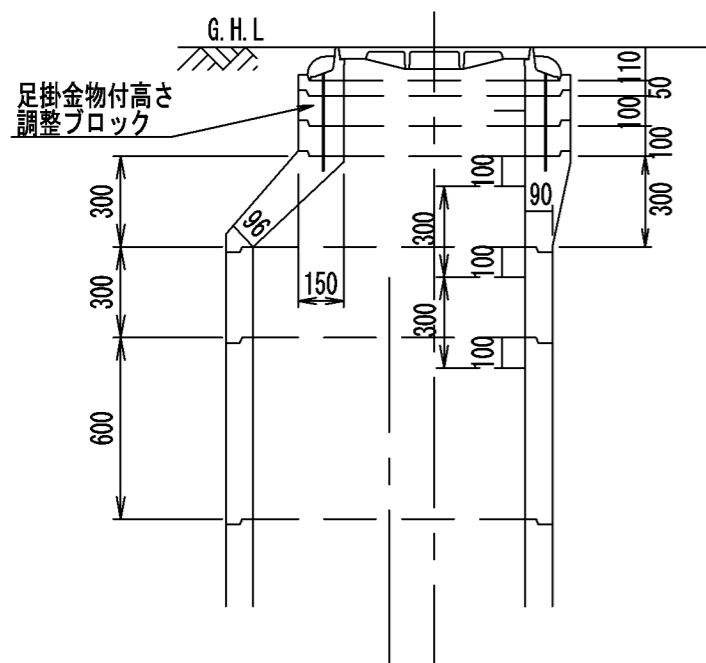


仙台市建設局

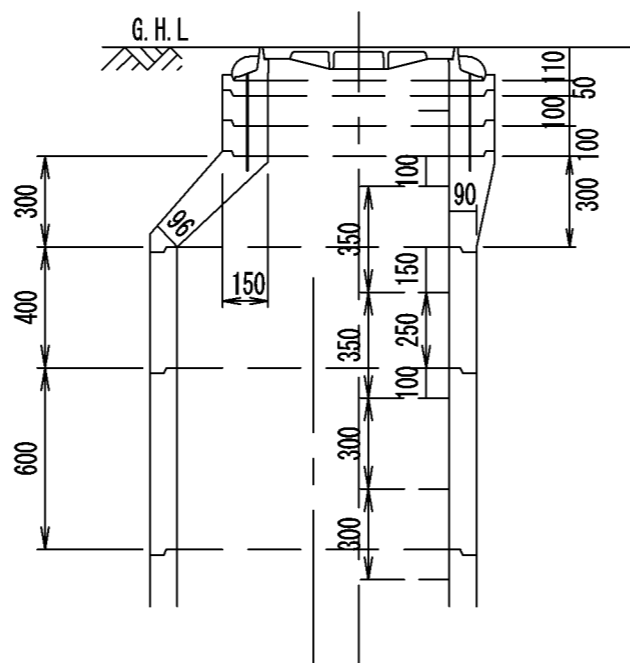


### 仙台市型組立1号マンホール（内径90cm）構造標準図（3）

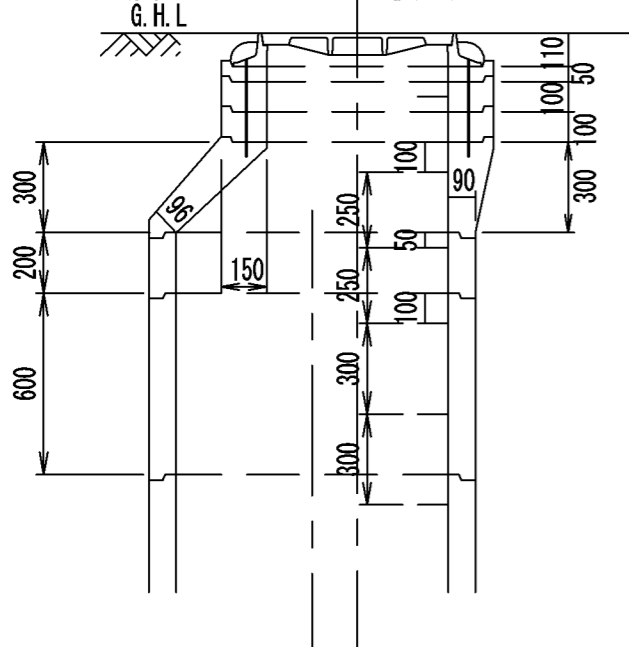
足掛金物取付位置標準図 S=1/25



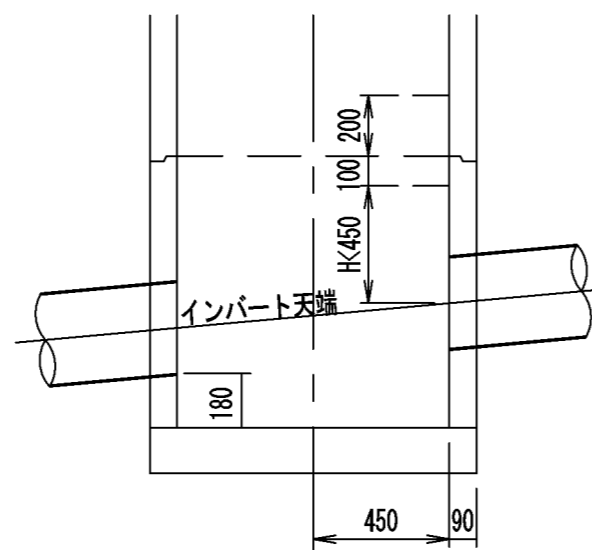
（高さ400mmブロック使用）



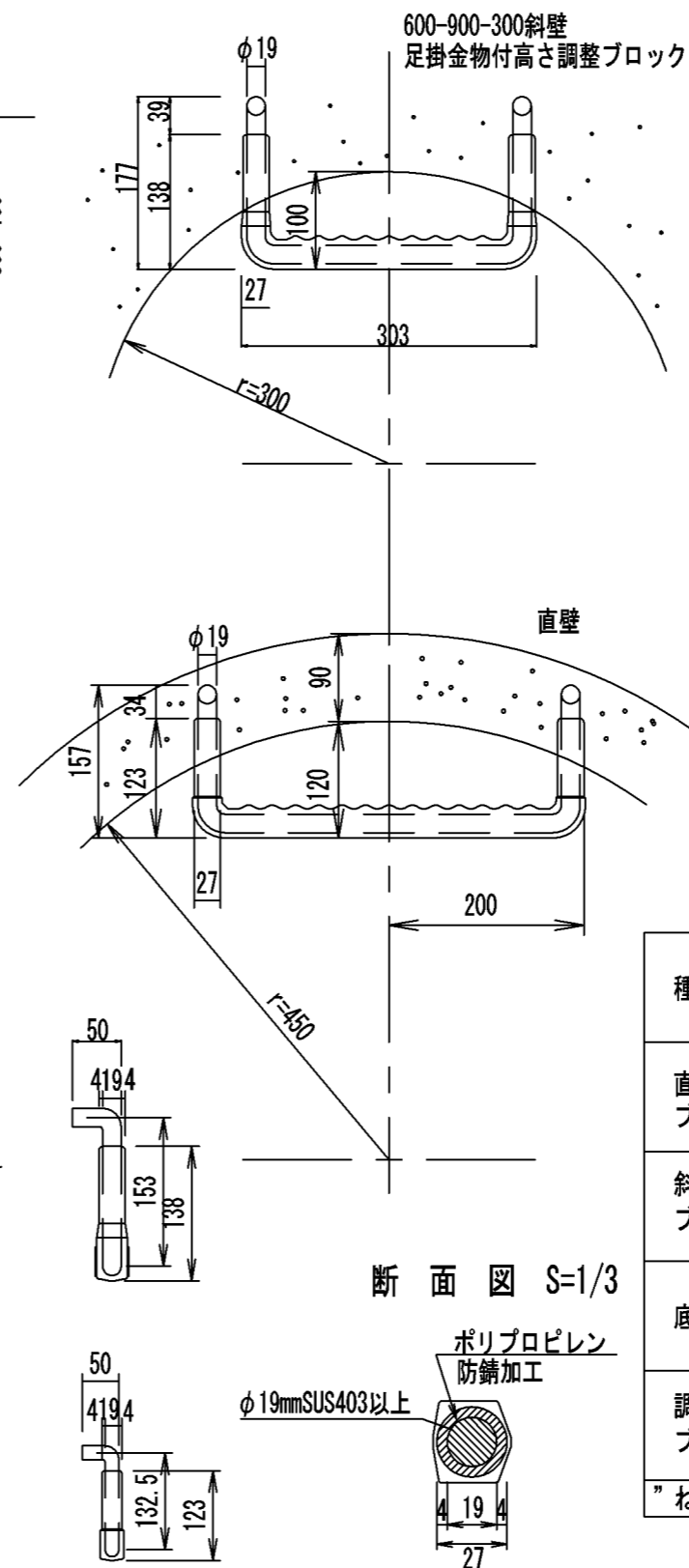
（高さ200mmブロック使用）



（底部取付け）



足掛金物・構造・取付図 S=1/7.5



断面図 S=1/3

#### 組立マンホール製造、使用上の基準

1. 本基準図は、円形帯鉄筋を使用するものとしてあるが、鉄筋量、配筋の基準等が同等以上のものであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 直壁等の成形は、遠心力及び振動成形とも可とする。
3. 接合部止水材、足掛金物は標準仕様として図示しているが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。なお、調整ブロック用止水材については、プチルゴムのみの規格でもよいものとする。
4. 足掛金物付高さ調整ブロックは高さ調整ブロック（厚10cmのもの）に足掛金物を取付けたものとする。
5. 吊り金具はブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は5t以上とする。
6. 緊結ボルトは、M16、SUS304を標準として図示してあるが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
7. 斜壁に設置する埋込ナットとボルトのかん合長は10mm以上を確保すること。

各部寸法の許容差 (mm) 等の基準

種別	D <sub>1</sub> ~ D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub> ~ D <sub>6</sub>	H <sub>1</sub> ~ H <sub>14</sub>	d <sub>1</sub> d <sub>3</sub>	d <sub>2</sub> ~ d <sub>3</sub>	d <sub>4</sub>	d <sub>5</sub>	d <sub>6</sub>	d <sub>7</sub> ~ d <sub>11</sub> ~ h <sub>1</sub> ~ h <sub>5</sub>	r <sub>1</sub> r <sub>2</sub>
直壁 ブロック	±4	±2	±4	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	±1.5	±2	±3
斜壁 ブロック	±4	±2	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3
底版	±4		±3	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	±1.5	±2	
調整 ブロック等	±4		±3						±2	±3

”ねじれ” ”そり” はいずれの部分にもあってはならない

仙台市建設局

# 仙台市型組立1号マンホール（内径90cm）組合せ数量表（1）

## ブロック等組合せ数量表

### 使用方法

1. 本表は、原則として上部ブロックに高さ調整ブロック（厚5cm×1、厚10cm×2）を使用するものとして作成してある。したがって、路面勾配等が急な場所に傾斜ブロックを使用する場合は、これに加えて使用することになり本表はそのまま使用できない。
2. 本表は、ブロックに本管用の削孔を行う場合には、最下段ブロックの下縁端よりの場合を除きブロックの上下縁端より10cm以上離して削孔するものとして作成してある。
3. 表中の本管および許容段差の欄のDは、可とう継手のマンホール削孔径を示している（適用削孔径のうち最大のもの）。
4. 可とう継手は、リブ管用（リブ付硬質塩化ビニル管）、または塩ビ管用（他の管種）を用いる。
5. 本表は、高さ調整ブロックの数を最小にするよう躯体ブロックの組合せを考慮したものであり、（高さ調整ブロック厚5cmのもの10cmのもの合わせて15cmは原則として確保する）この範囲内で高さの高い躯体ブロックから順次使用するよう作成してある。したがって、副管付本管が中間点にくる場合で削孔残（10cm）を確保するため組合せを変える場合は、本表は使用できないので別途考慮することとなる。
6. 高さ5cm未満の微調整は、最下段ブロックの削孔部及び鉄蓋据付モルタルで行うものとし、本表では考慮していない。
7. 無収縮モルタルを使用し高さ調整をした場合については、本表と異なる場合があるので注意すること。
8. 許容段差は、削孔径を確保したうえでの上流管底高の調整可能な高さを示す。

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)					底版厚 0.15m	斜壁 h=0.3m	調整ブロック (100mm)厚 0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m~1.2m	調整高 H-a -0.48	上置直壁ブロック								調整ブロック		止水シール材						
	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400						h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	躯体 ブロック 用	調整 ブロック 用							
	D=314 mm	D=366 mm	D=420 mm	D=474 mm	D=530 mm						=0.2m	=0.3m	=0.4m	=0.6m	=0.9m	=1.2m	=0.05m	=0.10m	(個)	(個)							
1.07m 以下																											
1.08m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.60	0.00										1	1	2	3			
1.13m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.90	0.05										2	1	2	4			
1.18m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.60	0.10										1	2	2	4			
1.23m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.60	0.15										2	2	2	5			
1.28m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.60	0.20	1									1	1	3	3			
1.33m S	0.063	0.012				1	1	1	1	0.60	0.25	1									2	1	3	4			
1.38m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.00										1	1	2	3			
1.43m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.05										2	1	2	4			
1.48m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.10										1	2	2	4			
1.53m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.15										2	2	2	5			

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)					底版厚 0.15m	斜壁 h=0.3m	調整ブロック (100mm)厚 0.21m	最下部直壁ブロック h=0.6m~1.2m	調整高 H-a -0.48	上置直壁ブロック								調整ブロック		止水シール材						
	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400						h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	躯体 ブロック 用	調整 ブロック 用							
	D=314 mm	D=366 mm	D=420 mm	D=474 mm	D=530 mm						=0.2m	=0.3m	=0.4m	=0.6m	=0.9m	=1.2m	=0.05m	=0.10m	(個)	(個)							
1.58m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.20	1									1	1	3	3			
1.63m S	0.363	0.312	0.260	0.208	0.155	1	1	1	1	0.90	0.25	1									2	1	3	4			
1.68m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.00										1	1	2	3			
1.73m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.05										2	1	2	4			
1.78m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.10										1	2	2	4			
1.83m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.15										2	2	2	5			
1.88m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.20	1									1	1	3	3			
1.93m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.25	1									2	1	3	4			
1.98m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.30		1								1	1	3	3			
2.03m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.35		1								2	1	3	4			
2.08m S	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.40			1							1	1	3	3			

名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード
底版ブロック 1号	ZN05770010	躯体ブロック φ900 H=600	ZN05770060	足掛金物付高さ調整ブロック	ZN05770160	止水シール材 調整ブロック用	ZN05770230	鉄蓋用転落防止装置	ZN05820110
躯体ブロック φ900 H=200	ZN05770030	躯体ブロック φ900 H=900	ZN05770070	高さ調整ブロック 平面用 t=50	ZN05770170	マンホール用鉄蓋 T-25	ZN05820020	鉄蓋調整用モルタル	ZN05820120
躯体ブロック φ900 H=300	ZN05770040	躯体ブロック φ900 H=1,200	ZN05770080	高さ調整ブロック 平面用 t=100	ZN05770180	マンホール用鉄蓋 化粧鉄蓋	ZN05820040	鉄蓋調整用モルタル型枠損料	ZN05820130
躯体ブロック φ900 H=400	ZN05770050	斜壁ブロック 600×900×300	ZN05770140	止水シール材 躯体ブロック 1号	ZN05770210	マンホール用鉄蓋 T-14	ZN05820060	鉄蓋調整用部材	ZN05820140

仙台市建設局

仙台市型組立1号マンホール（内径90cm）組合せ数量表（2）

マン ホ ール 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)					底板厚 0.15m	斜壁 h= 0.3m	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.2m	調整高 H-a -0.48	上置直壁ブロック								調整ブロック		止水シール材		
	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400						h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	躯体 ブロック 用	調整 ブロック 用			
	D=314 mm	D=366 mm	D=420 mm	D=474 mm	D=530 mm						=0.2m	=0.3m	=0.4m	=0.6m	=0.9m	=1.2m	=0.05m	=0.10m					
	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)						(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)		
2.13m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.45			1						2	1	3	4
2.18m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.50	1	1							1	1	4	3
2.23m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.55	1	1							2	1	4	4
2.28m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.60				1					1	1	3	3
2.33m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.65				1					2	1	3	4
2.38m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.70		1	1						1	1	4	3
2.43m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.75		1	1						2	1	4	4
2.48m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.80	1			1					1	1	4	3
2.53m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.85	1			1					2	1	4	4
2.58m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.90				1					1	1	3	3
2.63m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	0.95				1					2	1	3	4
2.68m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.00				1	1				1	1	4	3
2.73m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.05				1	1				2	1	4	4
2.78m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.10	1					1			1	1	4	3
2.83m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.15	1					1			2	1	4	4
2.88m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.20						1	1	1	1	1	3	3
2.93m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.25						1	2	1	1	1	3	4
2.98m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.30				1					1	1	4	3
3.03m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.35				1					2	1	4	4
3.08m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.40	1								1	1	4	3
3.13m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.45	1								1	2	4	4
3.18m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.50		1							1	1	4	3

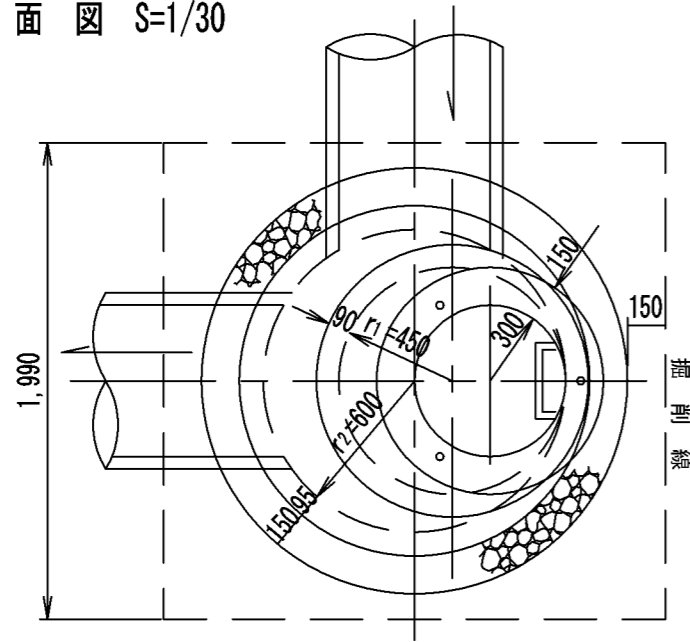
  

マン ホ ール 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)					底板厚 0.15m	斜壁 h= 0.3m	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.2m	調整高 H-a -0.48	上置直壁ブロック								調整ブロック		止水シール材						
	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400						h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	躯体 ブロック 用	調整 ブロック 用							
	D=314 mm	D=366 mm	D=420 mm	D=474 mm	D=530 mm						=0.2m	=0.3m	=0.4m	=0.6m	=0.9m	=1.2m	=0.05m	=0.10m									
	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)						(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)						
3.23m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.55				1						2	1	4	4			
3.28m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.60				1						1	1	4	3			
3.33m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.65				1						2	1	4	4			
3.38m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.70				1						1	1	2	4	4		
3.43m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.75				1						1	2	2	4	5		
3.48m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.80						1				1	1	1	4	3		
3.53m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.85						1				1	2	1	4	4		
3.58m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.90				1	1					1	1	1	5	3		
3.63m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	1.95				1	1					1	2	1	5	4		
3.68m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.00						2				1	1	1	5	3		
3.73m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.05						2				1	2	1	5	4		
3.78m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.10										1	1	1	4	3		
3.83m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.15						1	1	2	1	1	4	4				
3.88m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.20							1	1		1	1	1	5	3		
3.93m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.25							1	1		1	2	1	5	4		
3.98m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.30	1					1	1	1	1	1	1	5	3			
4.03m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.35	1									1	1	2	1	5	4	
4.08m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.40											2	1	1	4	3	
4.13m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.45											2	2	1	4	4	
4.18m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.50								1			1	1	1	5	3	
4.23m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.455	1	1	1	1	1.20	2.55											1	1	1	2	5	4

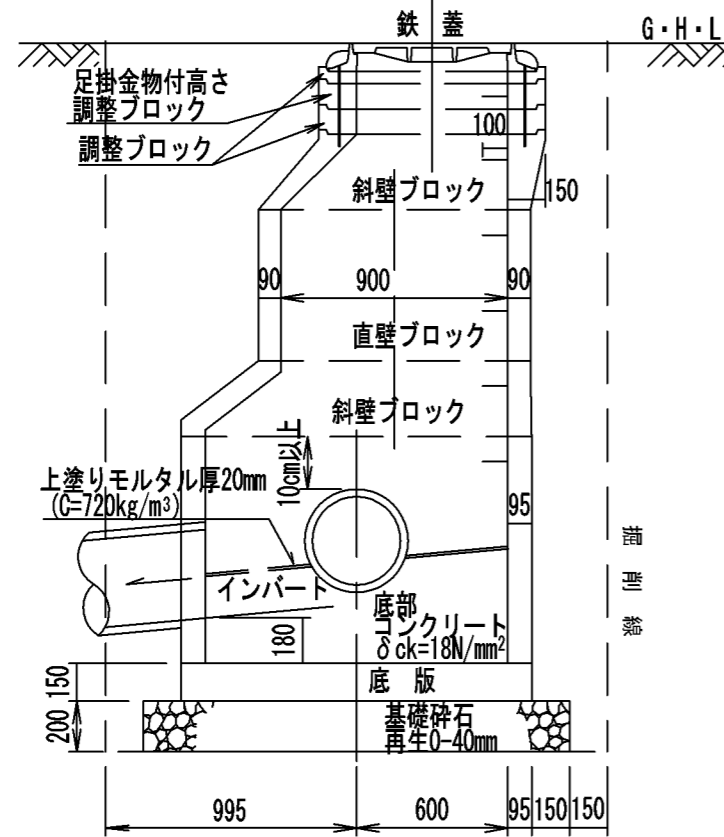
仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）構造標準図（1）

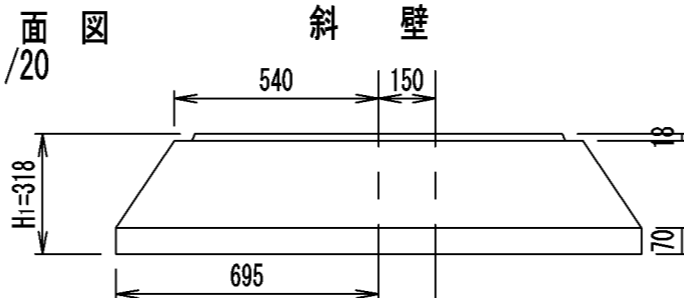
平面図 S=1/30



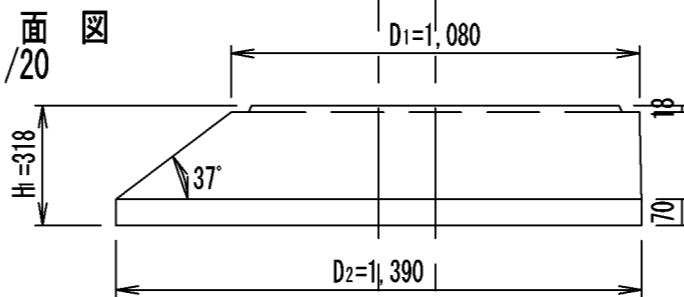
断面図 S=1/30



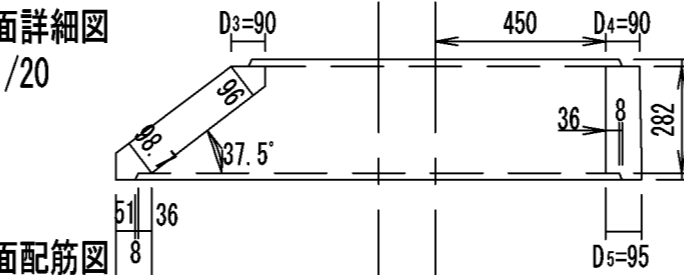
正面図 S=1/20



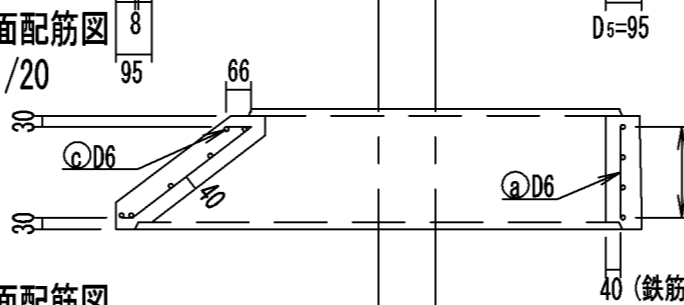
側面図 S=1/20



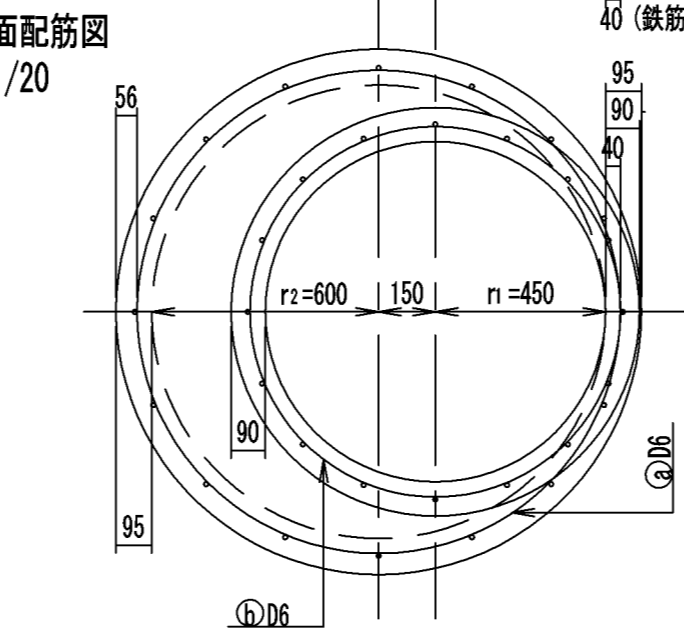
側面詳細図 S=1/20



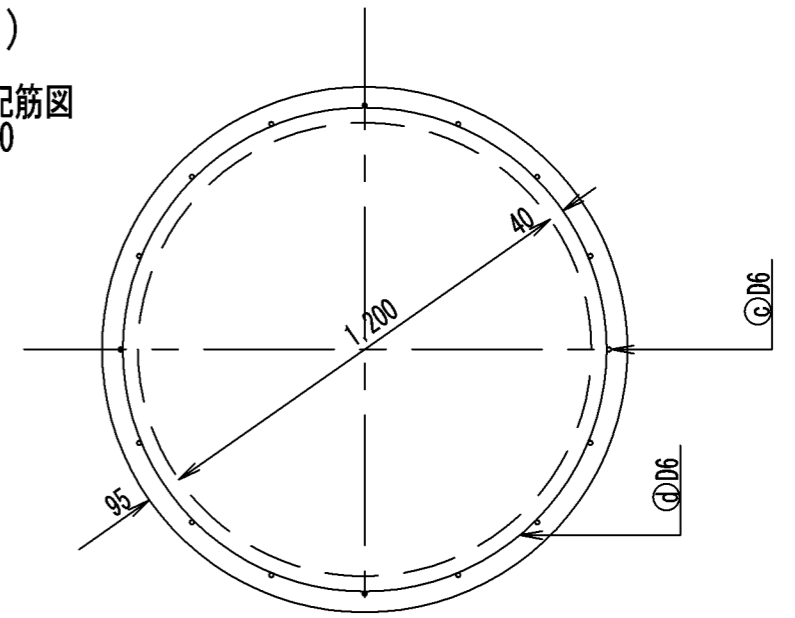
側面配筋図 S=1/20



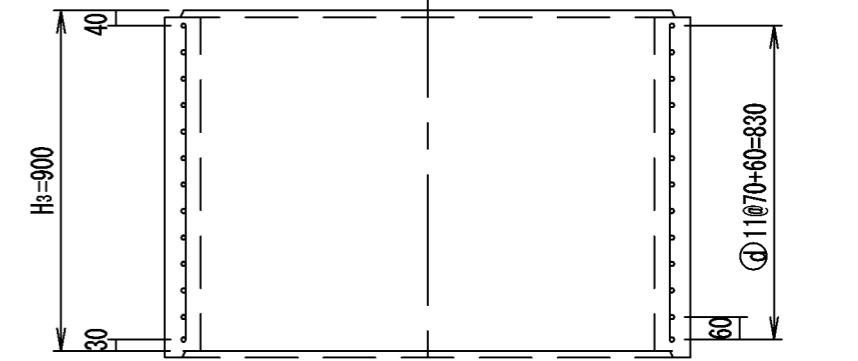
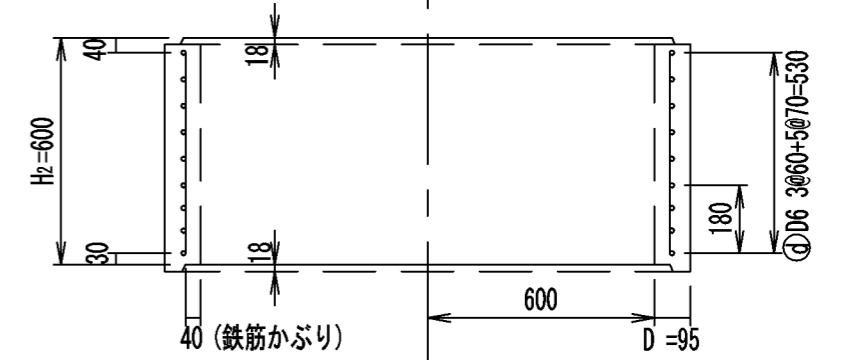
平面配筋図 S=1/20



断面配筋図 S=1/20



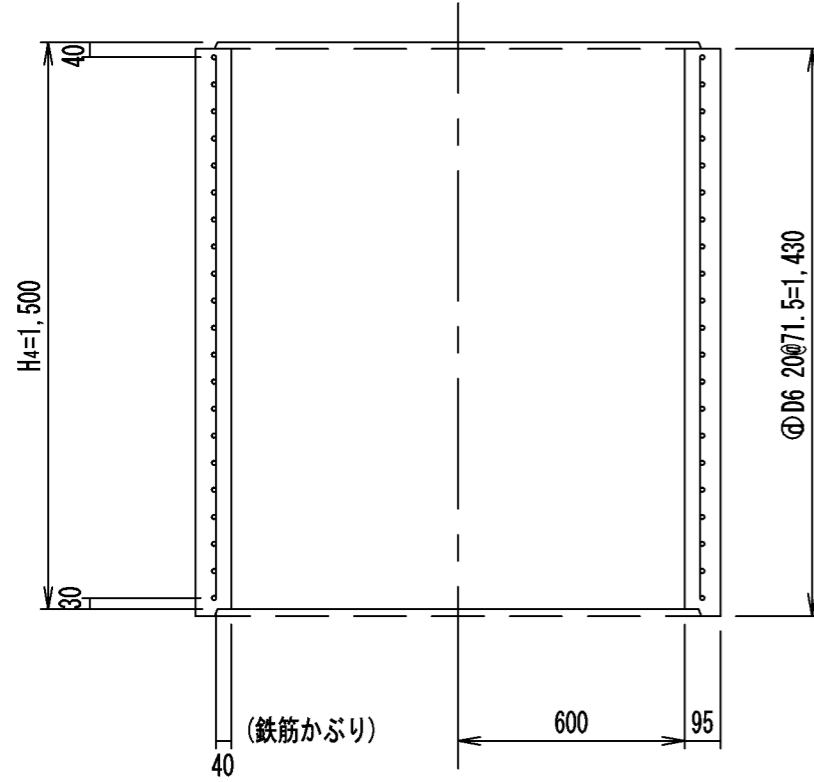
側面配筋図 S=1/20



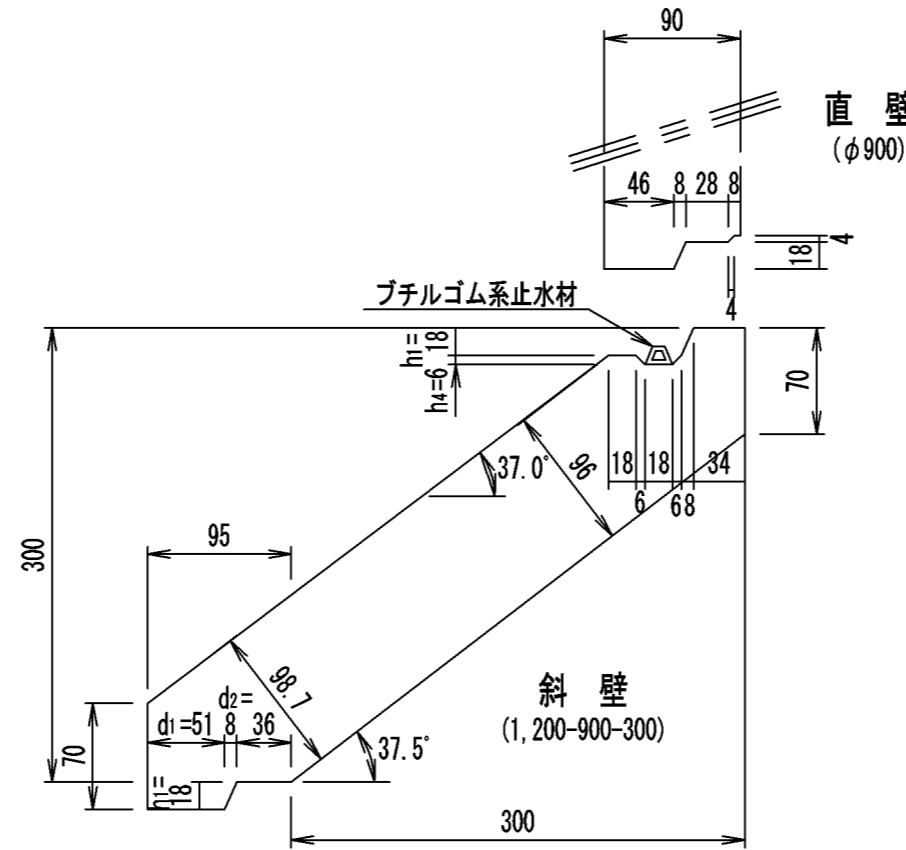
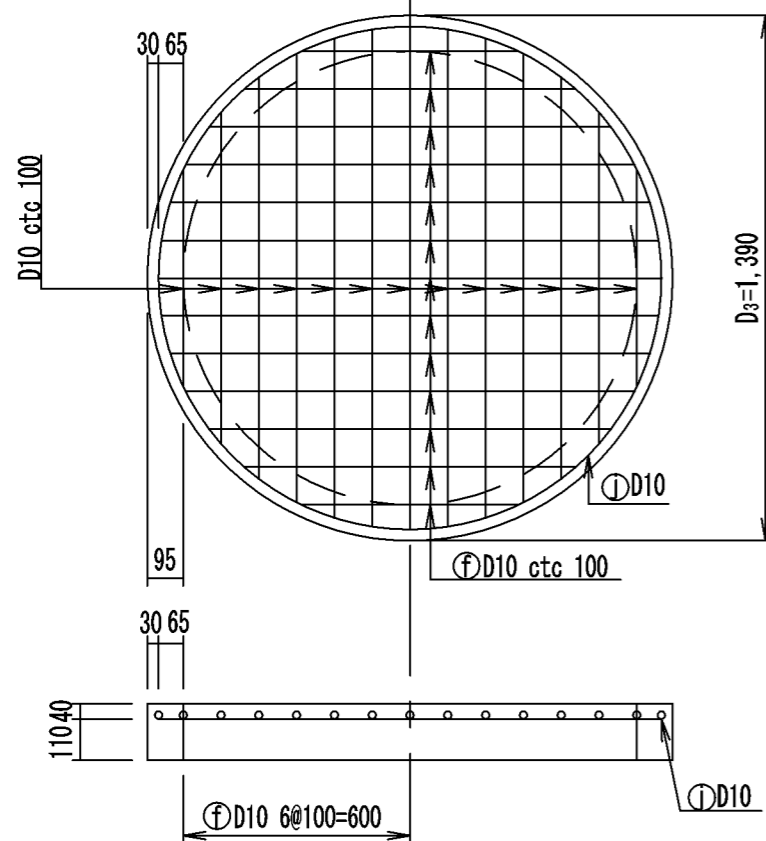
仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）構造標準図（2）

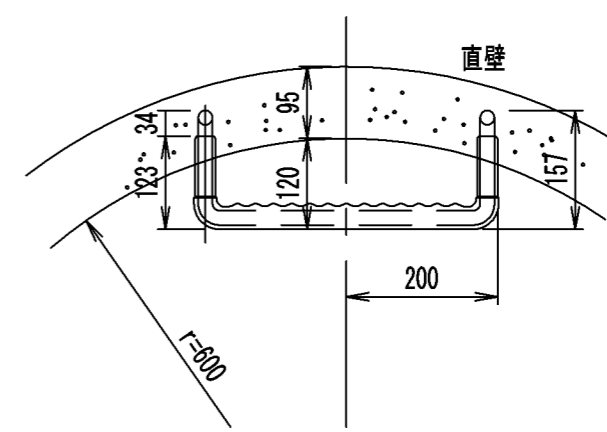
側面配筋図 S=1/20



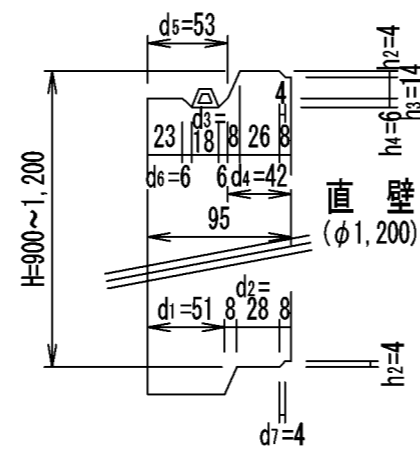
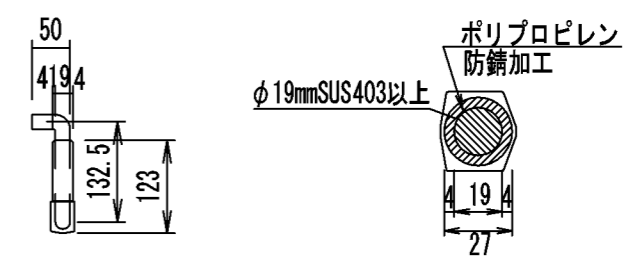
底板配筋図 S=1/20



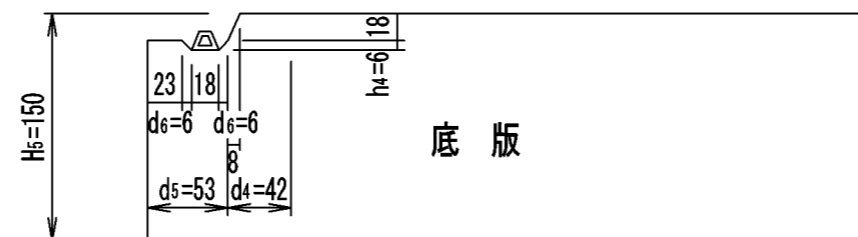
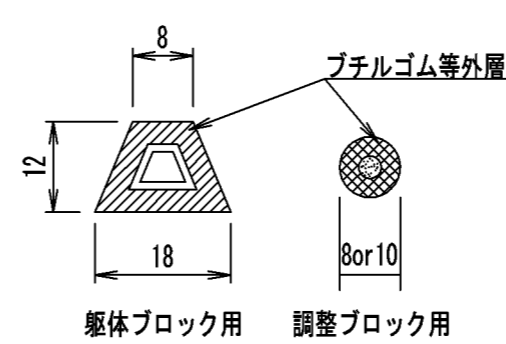
足掛金物取付図 S=1/10



断面図 S=1/3



接合部止水材形状図 S=1/1



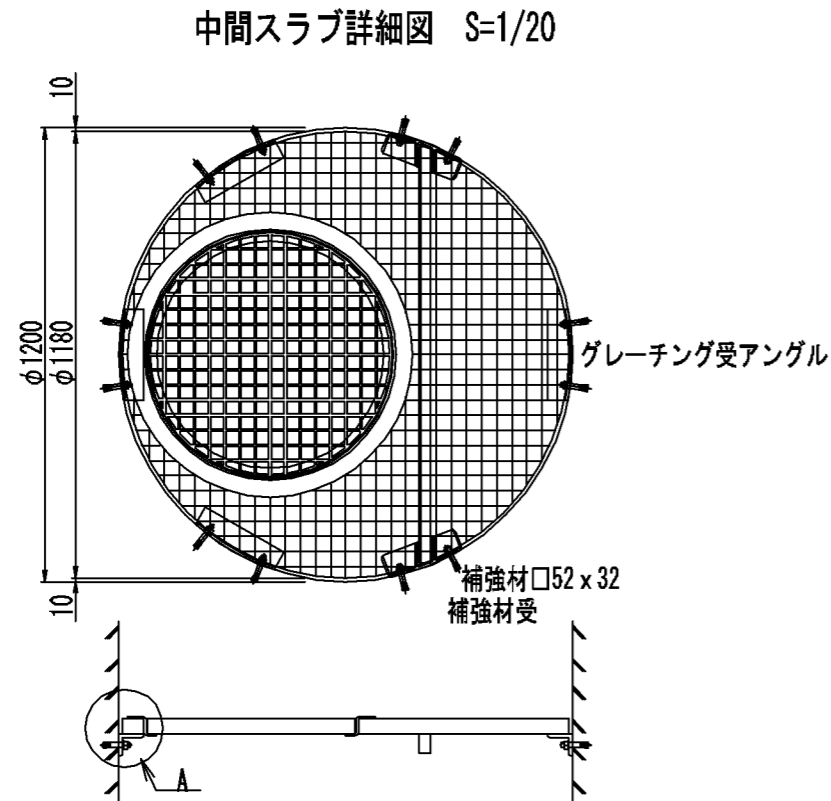
各部寸法の許容差(mm)等の基準

種別	D <sub>1</sub> ~ D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub> ~ D <sub>6</sub>	H <sub>1</sub> ~ H <sub>5</sub>	d <sub>1</sub> d <sub>4</sub>	d <sub>2</sub> ~ d <sub>3</sub> d <sub>6</sub> ~ d <sub>7</sub>	d <sub>5</sub>	h <sub>1</sub> ~ h <sub>4</sub>	r <sub>1</sub> ~ r <sub>2</sub>
直壁 ブロック	±4	±2	+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	±3
斜壁 ブロック	±4	±2	+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	±3
底板	±4		+3 -2	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±2	

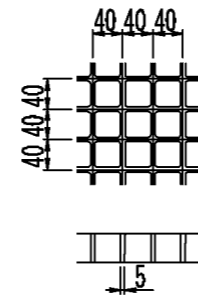
"ねじれ" "そり" はいずれの部分にもあってはならない

仙台市建設局

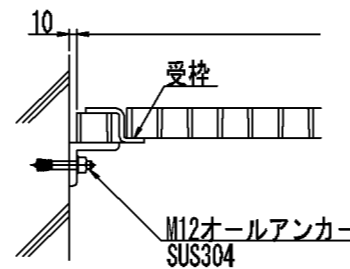
## 仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）構造標準図（3）



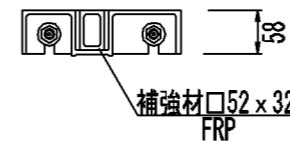
FRPグレーチング詳細図



A部詳細図



補強材受詳細図



### 製造、使用上の基準

1. 本標準図は、円形帯鉄筋をしようするものとしてあるが、鉄筋量・配筋の基準等が同等以上のものであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 直壁等の成形は、遠心力及び振動成形とも可とする。
3. 接合部止水材・足掛金物並びに中間スラブは、標準仕様として図示してあるが、形状・機能・材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
4. 鉄蓋据付ブロックは高さ調整ブロック（厚10cmのもの）に足掛金物を取付けたものとする。
5. 本マンホールの上部直斜壁、及び調整ブロック等は組立1号マンホールと同規格のものを使用する。
6. 中間スラブは1.5m直壁の上縁端より10cm下部、足掛金物の直下に取り付けるものとする。
7. 吊り金具はブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当りの耐力は5t以上とする。

### ブロック等組合せ数量表

#### 使用方法

1. 本表は、原則として上部ブロックは高さ調整ブロック（厚さ5cm×1、厚10cm×2）を使用するものとして作成してある。したがって、路面勾配等が急な場所に傾斜ブロックを使用する場合は、これに加えて使用することになり本表はそのまま使用できない。
2. 本表は、ブロックに本管用の削孔を行う場合には、最下段ブロックの下縁端よりの場合を除きブロックの上下縁端より10cm以上離して削孔するものとして作成してある。
3. 本表は、高さ調整ブロックの数を最小にするよう躯体ブロックの組合せを考慮したものであり（高さ調整ブロック厚5cmのもの10cmのもの合わせて15cmは原則として確保する）、この範囲内で高さの高い躯体ブロックから順次使用するよう作成してある。
4. 高さ5cm未満の微調整は、最下段ブロックの削孔部及び鉄蓋据付けモルタルで行うものとし、本表では考慮していない。

5. 副管付本管、及び将来流入予定管がある場合は、それら本管の上部まで内径1200mmのブロックで立ち上げるものとし、本表はそのまま使用できない。
6. 本表は、孔内作業上の容易さ、及び他地下埋設物との関係を考慮し、標準的な組合せとして設定したものである。したがって、実際の施工条件等が特殊な場合には本表によらず、実情にあった組合せを設定することとなる。
7. 無収縮モルタルを使用し高さ調整をした場合については、本表と異なる場合があるので注意すること。
8. 本表は、本管にリブ付硬質塩化ビニル管を用いるものとして作成している。他の管種を用いる場合は、別途検討が必要である。
9. 許容段差は、削孔径を確保したうえでの上流管底高の調整可能な高さを示す。

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（1）

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m (個)	調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)												
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm							h1 =0.6m (個)	h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)															
	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)							(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	(組)															
1.37m 以下																																									
1.38m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.00																1	1	2	1	3	0.42	0.66						
1.43m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.05																	2	1	2	1	4	0.42	0.71					
1.48m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.10																	1	2	2	1	4	0.42	0.76					
1.53m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.15																	2	2	2	1	5	0.42	0.81					
1.58m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.20								1									1	1	2	2	3	0.42	0.86					
1.63m s	0.012						1	1	1	1	1	0.60	0.25								1									2	1	2	2	4	0.42	0.91					
1.68m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.00																		1	1	2	1	3	0.72	0.66				
1.73m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.05																			2	1	2	1	4	0.72	0.71			
1.78m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.10																			1	2	2	1	4	0.72	0.76			
1.83m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.15																			2	2	2	1	5	0.72	0.81			
1.88m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.20								1											1	1	2	2	3	0.72	0.86			
1.93m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.25								1											2	1	2	2	4	0.72	0.91			
1.98m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.30								1											1	1	2	2	3	0.72	0.96			
2.03m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.35								1											2	1	2	2	4	0.72	1.01			
2.08m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.40									1											1	1	2	2	3	0.72	1.06		
2.13m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.45										1										2	1	2	2	4	0.72	1.11		
2.18m s	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.50																					1	1	2	3	3	0.72	1.16	

名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード
底版ブロック 2号	ZN05770020	斜壁ブロック 900×1,200×300	ZN05770150	止水シール材 躯体ブロック 2号	ZN05770220	マンホール用鉄蓋 T-14	ZN05820060
躯体ブロック φ1,200 H=600	ZN05770090	足掛金物付高さ調整ブロック	ZN05770160	止水シール材 調整ブロック用	ZN05770230	鉄蓋調整用モルタル	ZN05820120
躯体ブロック φ1,200 H=900	ZN05770100	高さ調整ブロック 平面用 t=50	ZN05770170	マンホール用鉄蓋 T-25	ZN05820020	鉄蓋調整用モルタル型枠損料	ZN05820130
躯体ブロック φ1,200 H=1,500	ZN05770110	高さ調整ブロック 平面用 t=100	ZN05770180	マンホール用鉄蓋 化粧鉄蓋	ZN05820040	鉄蓋調整用部材	ZN05820140

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（2）

マン ホ ール 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m (個)	調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)		
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm							h1 =0.6m (個)	h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)					
	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)							(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	(組)					
2.23m	0.312	0.260	0.208	0.155	0.102	0.048	1	1	1	1	1	0.90	0.55				1	1						2	1	2	3	4	0.72	1.21	
2.28m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.00											1	1	2	1	3	1.32	0.66	
2.33m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.05											2	1	2	1	4	1.32	0.71	
2.38m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.10											1	2	2	1	4	1.32	0.76	
2.43m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.15											2	2	2	1	5	1.32	0.81	
2.48m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.20				1							1	1	2	2	3	1.32	0.86	
2.53m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.25				1							2	1	2	2	4	1.32	0.91	
2.58m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.30					1						1	1	2	2	3	1.32	0.96	
2.63m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.35					1						2	1	2	2	4	1.32	1.01	
2.68m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.40						1					1	1	2	2	3	1.32	1.06	
2.73m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.45							1				2	1	2	2	4	1.32	1.11	
2.78m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.50					1	1					1	1	2	3	3	1.32	1.16	
2.83m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.55					1	1					2	1	2	3	4	1.32	1.21	
2.88m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.60						1					1	1	2	2	3	1.32	1.26	
2.93m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.65						1					2	1	2	2	4	1.32	1.31	
2.98m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.70					1	1					1	1	2	3	3	1.32	1.36	
3.03m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.75					1	1					2	1	2	3	4	1.32	1.41	
3.08m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.80				1							1	1	2	3	3	1.32	1.46	

仙台市建設局



仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（3）

マン ホ ール 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m (個)	調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)		
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm							h1 =0.6m (個)	h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)					
3.13m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.85				1			1				2	1	2	3	4	1.32	1.51	
3.18m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.90						1		1	1	2	2	3	1.32	1.56				
3.23m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	0.95						1		2	1	2	2	4	1.32	1.61				
3.28m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.00						1	1	1	1	2	3	3	1.32	1.66				
3.33m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.05						1	1	2	1	2	3	4	1.32	1.71				
3.38m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.10				1			1	1	2	3	3	1.32	1.76					
3.43m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.15				1			1	2	1	2	3	4	1.32	1.81				
3.48m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.20							1	1	1	2	2	3	1.32	1.86				
3.53m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.25						1	2	1	2	2	4	1.32	1.91					
3.58m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.30						1	1	1	2	3	3	1.32	1.96					
3.63m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.35						1	1	2	1	2	3	4	1.32	2.01				
3.68m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.40				1			1	1	1	2	3	3	1.32	2.06				
3.73m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.45				1			1	2	1	2	3	4	1.32	2.11				
3.78m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.50						1	1	1	2	3	3	1.32	2.16					
3.83m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.55						1	2	1	2	3	4	1.32	2.21					
3.88m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.60						1	1	1	2	3	3	1.32	2.26					
3.93m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.65						1	2	1	2	3	4	1.32	2.31					
3.98m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.70				1	1			1	1	1	2	4	3	1.32	2.36			

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（4）

マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m (個)	調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)				
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm							h1 =0.6m (個)	h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)							
4.03m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.75				1	1							1	2	1	2	4	4	1.32	2.41	
4.08m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.80	1											1	1	1	3	2	3	1.92	1.86	
4.13m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.85	1											1	2	1	3	2	4	1.92	1.91	
4.18m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.90	1											1	1	1	3	3	3	1.92	1.96	
4.23m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	1.95	1											1	1	1	3	3	4	1.92	2.01	
4.28m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.00	1											1	1	1	3	3	3	1.92	2.06	
4.33m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.05	1											1	2	1	3	3	4	1.92	2.11	
4.38m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.10		1										1	1	1	3	2	3	2.22	1.86	
4.43m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.15		1										1	2	1	3	2	4	2.22	1.91	
4.48m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.20		1										1	1	1	3	3	3	2.22	1.96	
4.53m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.25		1										1	1	1	3	3	4	2.22	2.01	
4.58m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.30		1										1	1	1	3	3	3	2.22	2.06	
4.63m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.35		1										1	2	1	3	3	4	2.22	2.11	
4.68m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.40		1										1	1	1	3	3	3	2.22	2.16	
4.73m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.45		1										1	2	1	3	3	4	2.22	2.21	
4.78m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.50		1										1	1	1	3	3	3	2.22	2.26	
4.83m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.55		1										1	2	1	3	3	4	2.22	2.31	
4.88m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.60		1										1	1	1	3	4	3	2.22	2.36	

仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（5）

マン ホ ール 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m (個)	調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)		止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)			
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm							h1 =0.6m (個)	h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)						
4.93m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.65		1		1	1						1	2	1	3	4	4	2.22	2.41	
4.98m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.70			1								1	1	1	3	2	3	2.82	1.86	1
5.03m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.75			1								1	2	1	3	2	4	2.82	1.91	1
5.08m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.80			1			1				1	1	1	3	3	3	2.82	1.96	1	
5.13m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.85			1			1				1	1	2	1	3	3	4	2.82	2.01	1
5.18m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.90			1	1							1	1	1	3	3	3	2.82	2.06	1
5.23m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	2.95			1	1							1	2	1	3	3	4	2.82	2.11	1
5.28m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.00			1		1						1	1	1	3	3	3	2.82	2.16	1
5.33m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.05			1		1						1	2	1	3	3	4	2.82	2.21	1
5.38m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.10			1			1					1	1	1	3	3	3	2.82	2.26	1
5.43m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.15			1			1					1	2	1	3	3	4	2.82	2.31	1
5.48m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.20			1	1	1						1	1	1	3	4	3	2.82	2.36	1
5.53m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.25			1	1	1						1	2	1	3	4	4	2.82	2.41	1
5.58m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.30	1		1								1	1	1	4	2	3	3.42	1.86	1
5.63m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.35	1		1								1	2	1	4	2	4	3.42	1.91	1
5.68m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.40	1		1			1					1	1	1	4	3	3	3.42	1.96	1
5.73m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.45	1		1			1					1	2	1	4	3	4	3.42	2.01	1
5.78m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.50	1		1	1							1	1	1	4	3	3	3.42	2.06	1

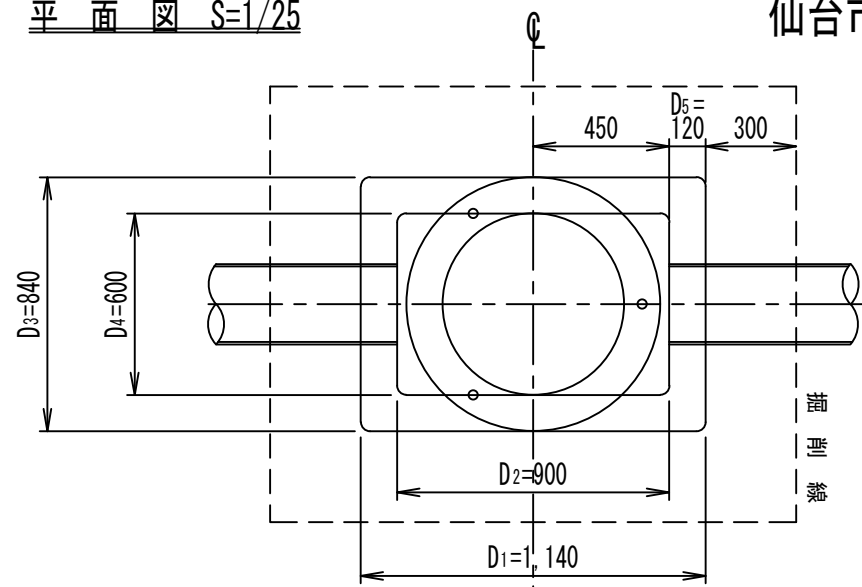
仙台市建設局

仙台市型組立2号マンホール（内径120cm）組合せ数量表（6）

マン ホ ー ル 深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底版厚 0.15m (個)	斜壁 (120 -90) h= 0.3m (個)	斜壁 (90 -60) h= 0.3m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.6m~1.5m		調整高 H-a -0.78 (m)	躯体ブロック(φ1200) b(m)			上置直壁ブロック(φ900) c(m)						調整ブロック d(m)			止水シール材			下部 a+b -0.18 (m)	上部 c+d +0.51 (m)	中間 スラブ φ120 (組)		
	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm	φ500 D=644 mm					調整高 a(m)	h1 =0.6m (個)		h2 =0.9m (個)	h3 =1.5m (個)	h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.4m (個)	h4 =0.6m (個)	h5 =0.9m (個)	h6 =1.2m (個)	h7 =0.05m (個)	h8 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 A (組)	躯体 ブロック 用 B (組)	調整 ブロック 用 (組)							
	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)					(個)	(個)		(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)				(個)	(個)
5.83m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.55	1		1	1								1	2	1	4	3	4	3.42	2.11	1
5.88m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.60		1	1									1	1	1	4	2	3	3.72	1.86	1
5.93m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.65		1	1									1	2	1	4	2	4	3.72	1.91	1
5.98m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.70		1	1									1	1	1	4	3	3	3.72	1.96	1
6.03m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.75		1	1									1	1	1	4	3	4	3.72	2.01	1
6.08m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.80		1	1	1								1	1	1	4	3	3	3.72	2.06	1
6.13m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.85		1	1	1								1	2	1	4	3	4	3.72	2.11	1
6.18m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.90		1	1		1							1	1	1	4	3	3	3.72	2.16	1
6.23m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	3.95		1	1		1							1	2	1	4	3	4	3.72	2.21	1
6.28m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.00		1	1			1						1	1	1	4	3	3	3.72	2.26	1
6.33m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.05		1	1			1						1	2	1	4	3	4	3.72	2.31	1
6.38m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.10		1	1	1	1							1	1	1	4	4	3	3.72	2.36	1
6.43m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.15		1	1	1	1							1	2	1	4	4	4	3.72	2.41	1
6.48m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.20				2								1	1	1	4	2	3	4.32	1.86	1
6.53m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.25				2								1	2	1	4	2	4	4.32	1.91	1
6.58m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.30				2			1					1	1	1	4	3	3	4.32	1.96	1
6.63m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.35				2			1					2	1	1	4	3	4	4.32	2.01	1
6.68m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.40				2	1							1	1	1	4	3	3	4.32	2.06	1
6.73m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.45				2	1							1	2	1	4	3	4	4.32	2.11	1
6.78m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.50				2		1						1	1	1	4	3	3	4.32	2.16	1
6.83m	0.912	0.860	0.808	0.755	0.702	0.648	1	1	1	1	1	1.50	4.55				2		1						1	2	1	4	3	4	4.32	2.21	1

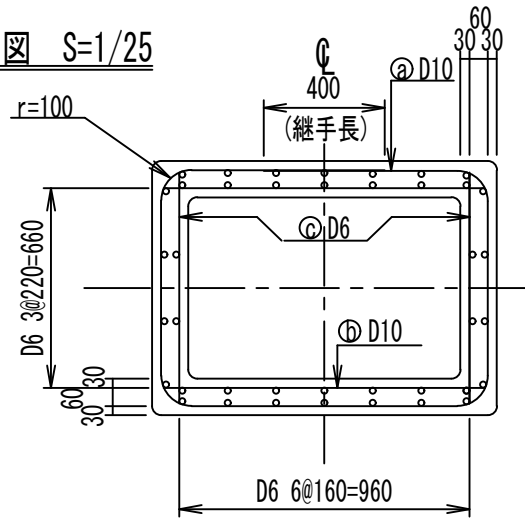
仙台市建設局

平面図 S=1/25

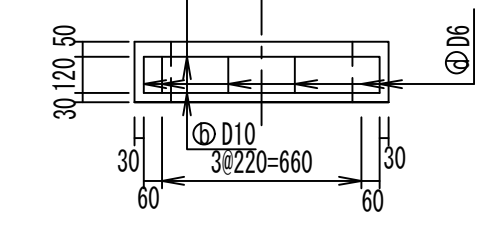
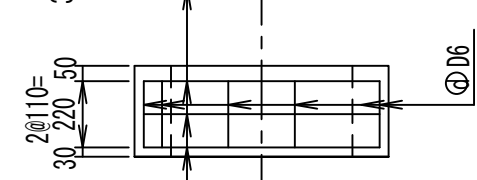
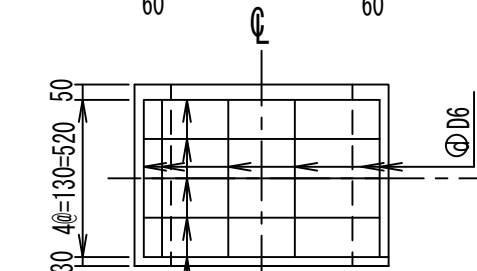
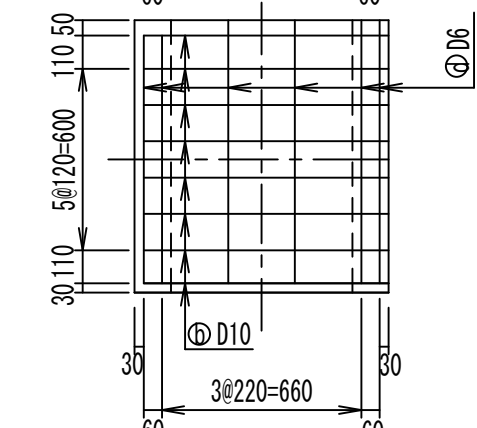
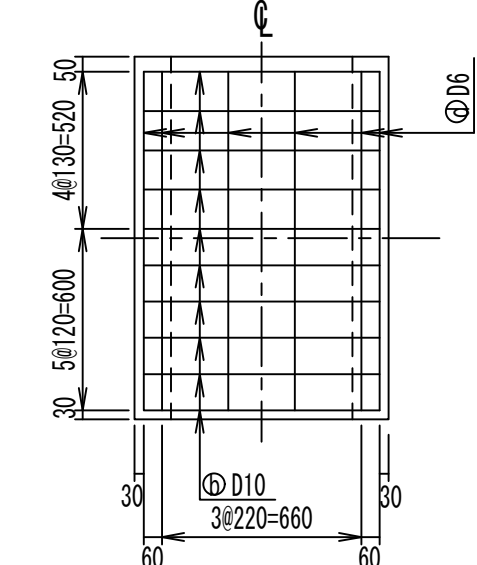
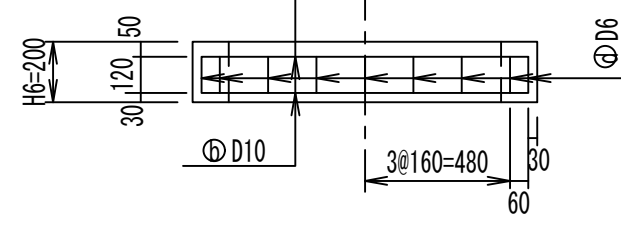
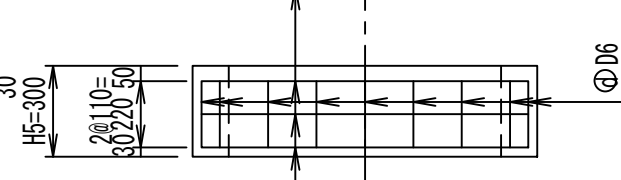
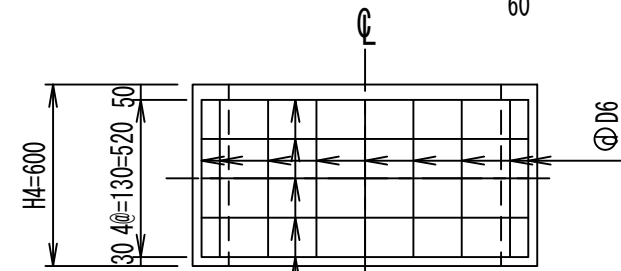
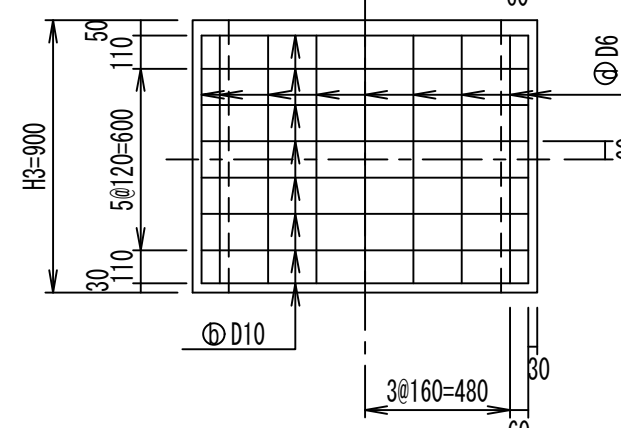
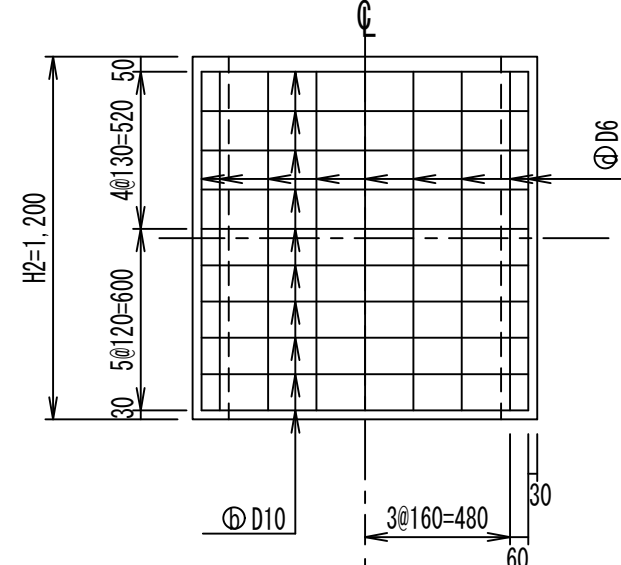
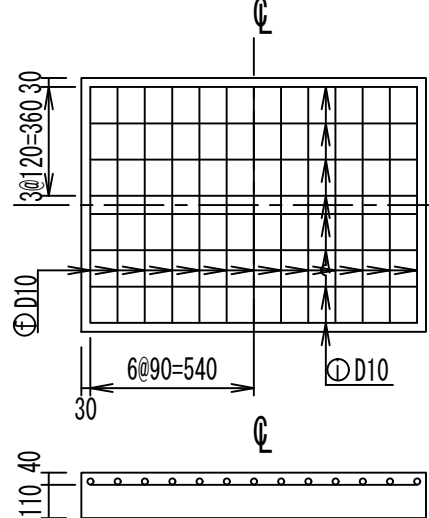
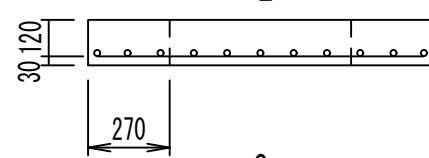
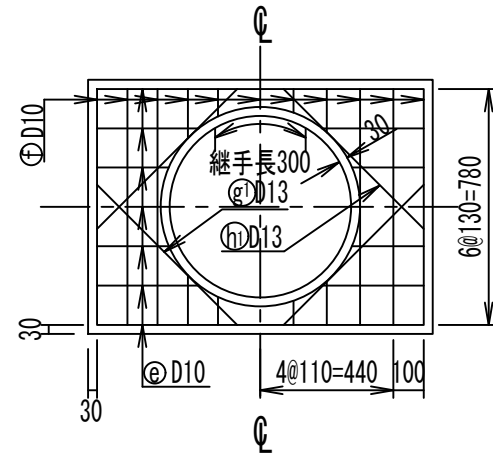
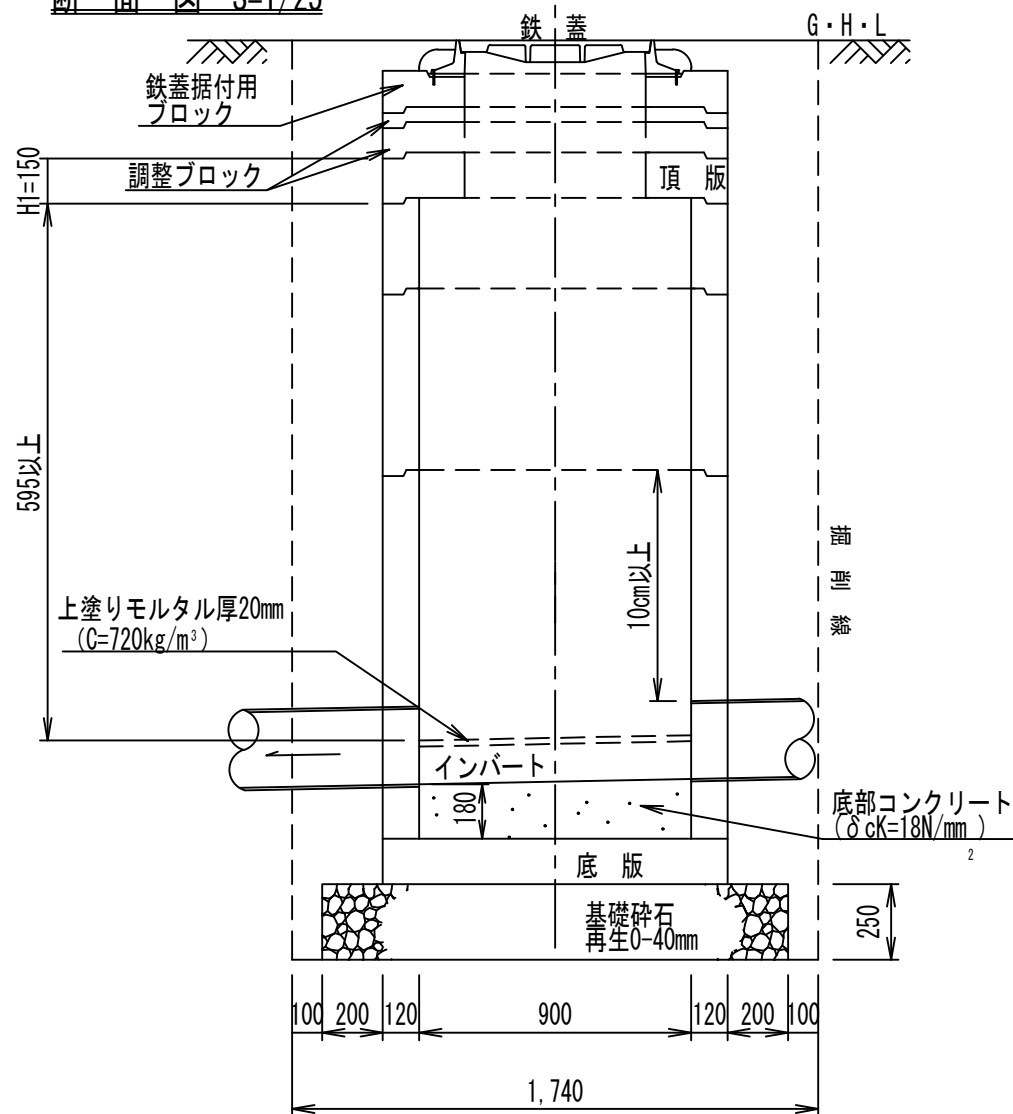


仙台市型組立特1号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（1）

配筋図 S=1/25



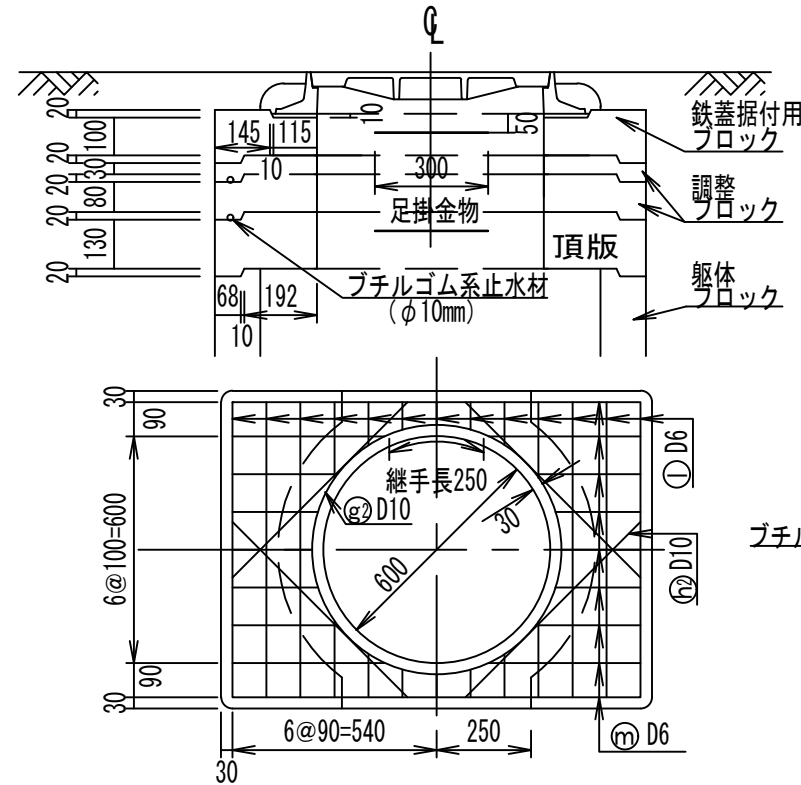
断面図 S=1/25



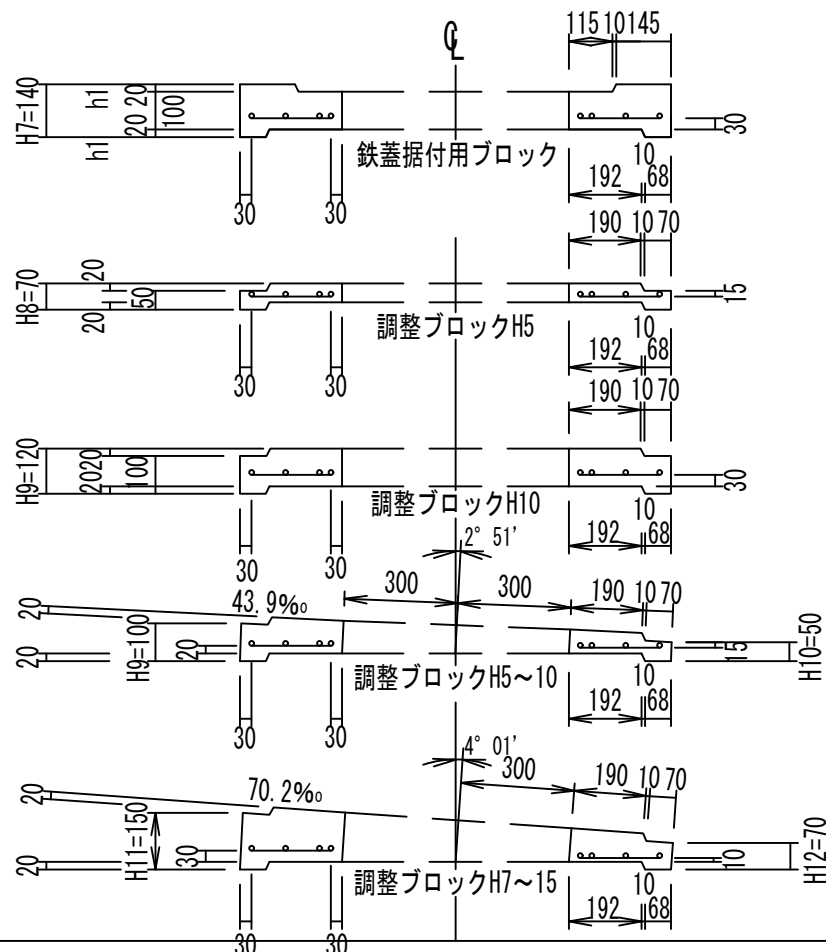
仙台市建設局

調整ブロック等構造図 S=1/20

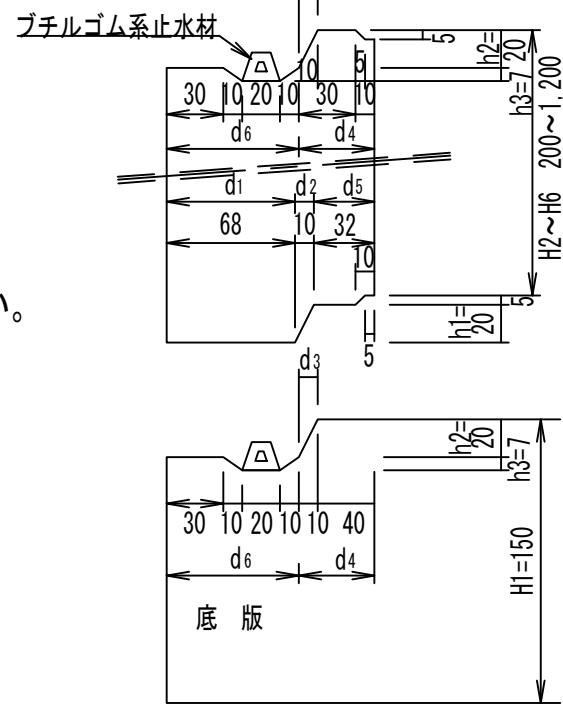
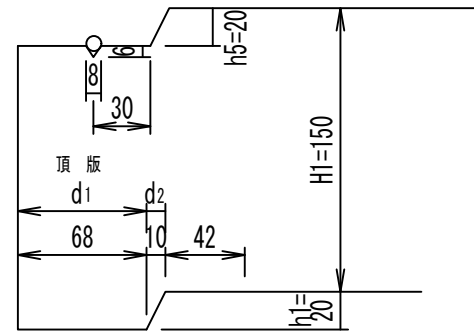
仙台市型組立特1号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（2）



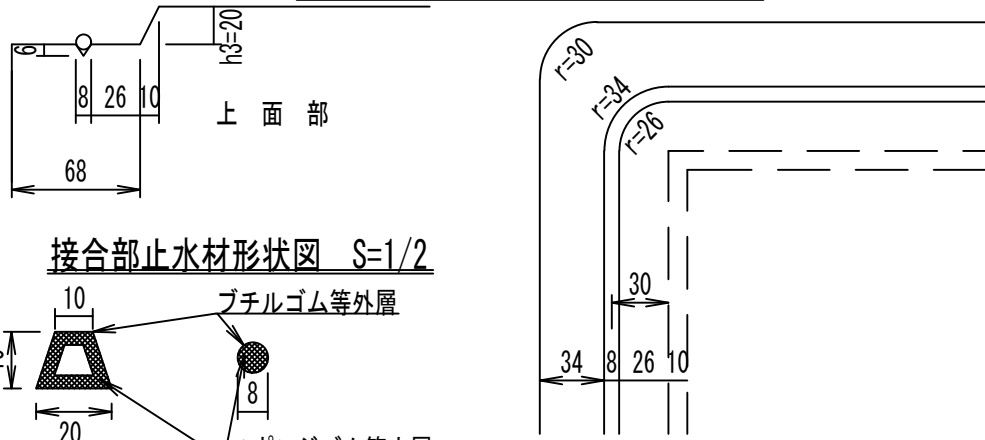
調整ブロックH5, H5-10には (h2) (ダイヤ筋) は配筋しない。



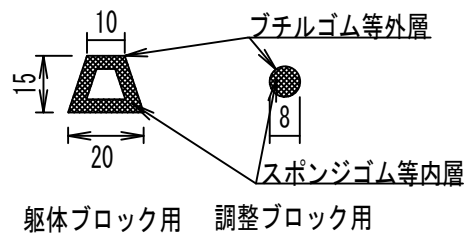
躯体ブロック等接合部詳細図 S=1/4



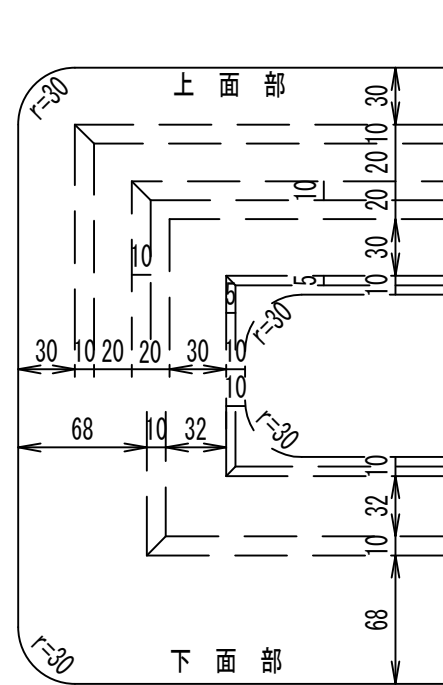
調整ブロック等隅角部詳細図S=1/4



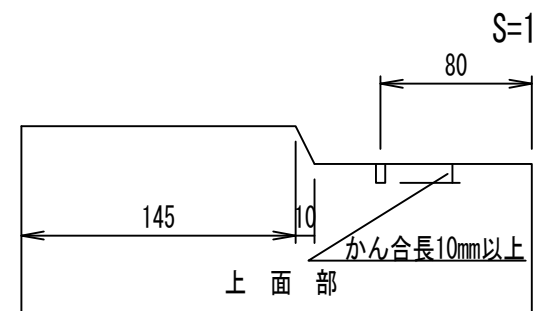
接合部止水材形状図 S=1/2



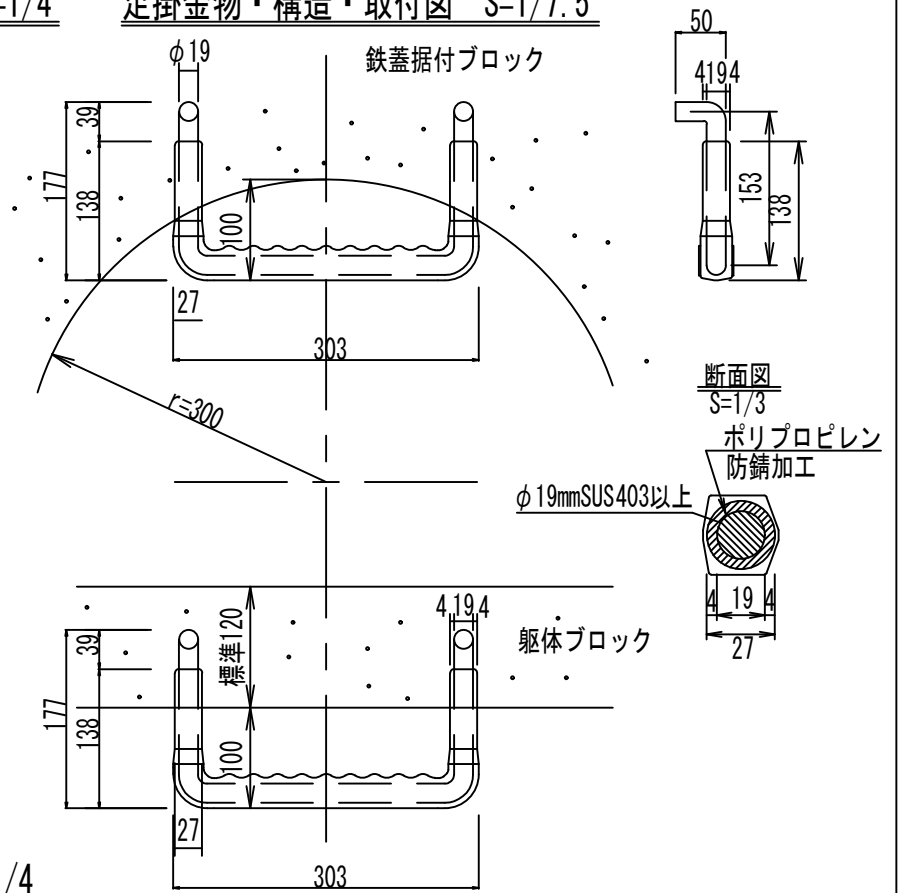
躯体ブロック等隅角部詳細図 S=1/4



鉄蓋据付ブロックボルト固定詳細図 S=1/4



足掛金物・構造・取付図 S=1/7.5



(接合部止水材、足掛金物は標準仕様であり、形状・機能・材質等に於て同等以上のものは協議のうえ使用できる。)

各部寸法の許容差(mm)等の基準

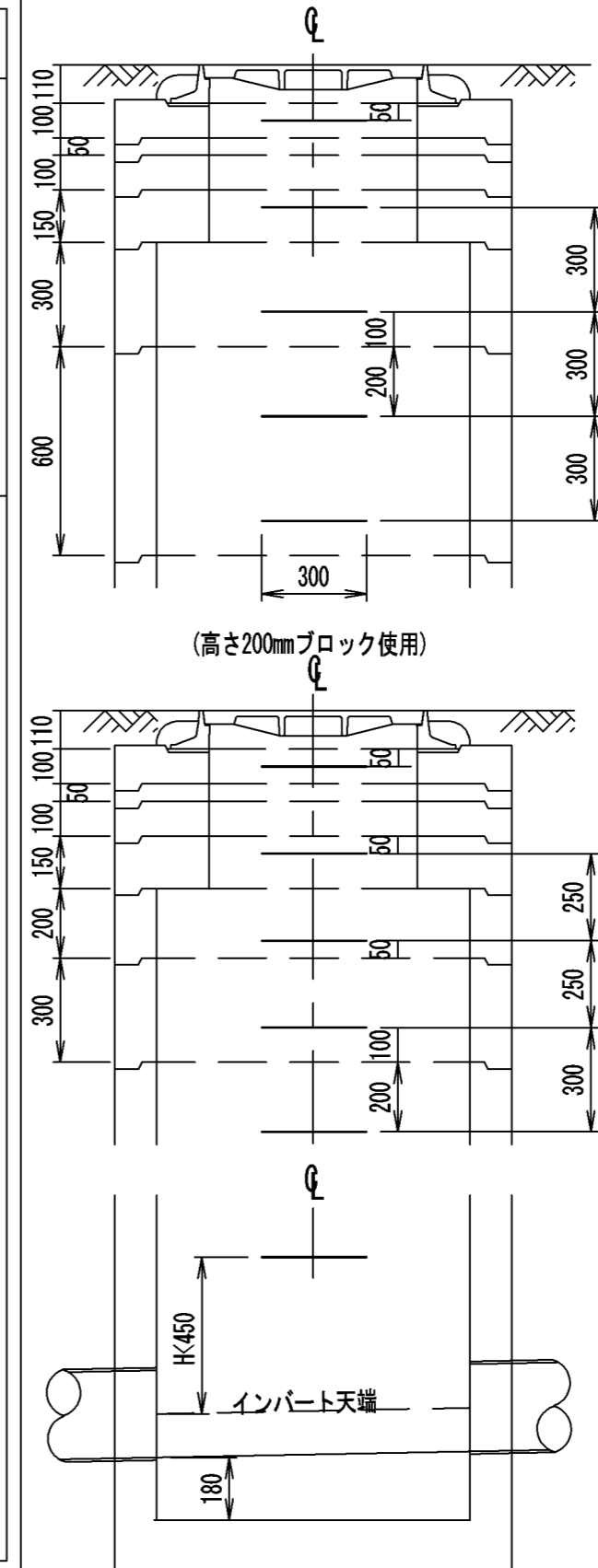
種別	D1~D4	D5	H1~H12	d1	d2~d3	d4	d5	d6	h1~h5	r
躯体ブロック	±4		±4	+1.5 -2	±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	+2 -1.5	±2	±3
頂版	±4	±3	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3
底板	±4		±3		±1.5	+1.5 -2	+2 -1.5	+2 -1.5	±2	±3
調整ブロック等	±4	±3	±3	+1.5 -2	±1.5				±2	±3

"ねじれ" "そり" はいずれの部分にもあってはならない

# 仙台市型組立特1号マンホール（内法90cm×60cm）構造標準図（3）

足掛金物取付位置標準図 S=1/20

ブロック等組合せ数量表																						
マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差 (m)						底版厚 0.15m	頂版厚 0.15m	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m	最下部 直壁ブロック h=0.9m~1.2m	調整高 H-a -0.33 (-0.18)	上置直壁ブロック					調整ブロック		止水シール材			
	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450						h1 =0.2m	h2 =0.3m	h3 =0.6m	h4 =0.9m	h5 =1.2m	h6 =0.05m	h7 =0.10m	躯体 ブロック 用	調整 ブロック 用		
	D=314 mm	D=366 mm	D=420 mm	D=474 mm	D=530 mm	D=586 mm															(個)	(個)
1.12m 以下																						
1.13m	0.213	0.162					1	1	1	1	0.90	0.05						1		2	2	
1.18m	0.213	0.162					1	1	1	1	0.90	0.10						1		2	2	
1.23m	0.363	0.312					1	1	1	1	0.90	0.00						1	1	2	3	
1.28m	0.363	0.312					1	1	1	1	0.90	0.05						2	1	2	4	
1.33m	0.363	0.312	0.260	0.208	0.090	0.102	1	1	1	1	0.90	0.10	1					1		3	2	
1.38m	0.363	0.312	0.260	0.208	0.090	0.102	1	1	1	1	0.90	0.15	1						1	3	2	
1.43m	0.363	0.312	0.260	0.208	0.090	0.102	1	1	1	1	0.90	0.20	1						1	1	3	3
1.48m	0.363	0.312	0.260	0.208	0.090	0.102	1	1	1	1	0.90	0.25	1						2	1	3	4
1.53m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.00							1	1	2	3
1.58m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.05							2	1	2	4
1.63m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.10							1	2	2	4
1.68m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.15							2	2	2	5
1.73m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.20	1						1	1	3	3



名称・規格	参考市単コード
底版ブロック	ZN05760010
躯体ブロック 600×900 H=200	ZN05760020
躯体ブロック 600×900 H=300	ZN05760030
躯体ブロック 600×900 H=600	ZN05760050
躯体ブロック 600×900 H=900	ZN05760060
躯体ブロック 600×900 H=1,200	ZN05760070
頂版ブロック	ZN05760080
高さ調整ブロック 平面路用 t=50	ZN05760090
高さ調整ブロック 平面路用 t=100	ZN05760100
鉄蓋据付ブロック	ZN05760130
止水シール材 躯体ブロック用	ZN05760140
止水シール材 調整ブロック用	ZN05760150
マンホール用鉄蓋 T-25	ZN05820020
マンホール用鉄蓋 化粧鉄蓋	ZN05820040
マンホール用鉄蓋 T-14	ZN05820060
鉄蓋調整用モルタル	ZN05820120
鉄蓋調整用モルタル 型枠損料	ZN05820130
鉄蓋調整用部材	ZN05820140

仙台市建設局

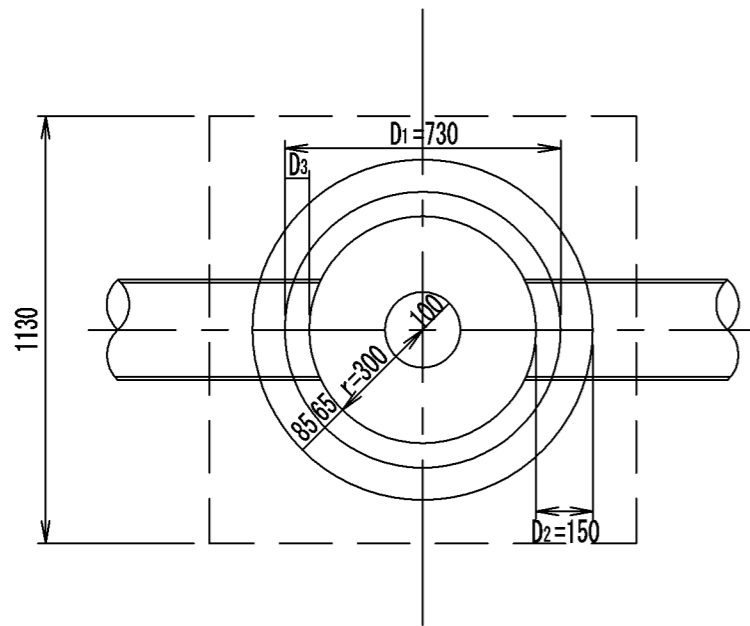
マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差 (m)						底版厚 0.15m (個)	頂版厚 0.15m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.9m~1.2m (個)	調整高 H-a -0.33 (-0.18) (m)	上置直壁ブロック					調整ブロック		止水シール材		
	φ200 D=314 mm	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm						h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.6m (個)	h4 =0.9m (個)	h5 =1.2m (個)	h6 =0.05m (個)	h7 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 (組)	調整 ブロック 用 (組)	
	a(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)						(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	
1.78m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.25	1					2	1	3	4
1.83m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.30		1				1	1	3	3
1.88m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.35		1				2	1	3	4
1.93m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.40	2					1	1	4	3
1.98m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.45	2					2	1	4	4
2.03m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.50	1	1				1	1	4	3
2.08m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.55	1	1				2	1	4	4
2.13m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.60			1			1	1	3	3
2.18m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.65			1			2	1	3	4
2.23m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.70	2	1				1	1	5	3
2.28m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.75	2	1				2	1	5	4
2.33m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.80	1		1			1	1	4	3
2.38m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.85	1		1			2	1	4	4
2.43m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.90				1		1	1	3	3
2.48m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	0.95				1		2	1	3	4
2.53m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.00	2		1			1	1	5	3
2.58m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.05	2		1			2	1	5	4
2.63m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.10	1			1		1	1	4	3
2.68m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.15	1			1		2	1	4	4
2.73m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.20					1	1	1	3	3
2.78m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.25				1		2	1	3	4
2.83m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.30	2			1		1	1	5	3
2.88m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.35	2			1		2	1	5	4



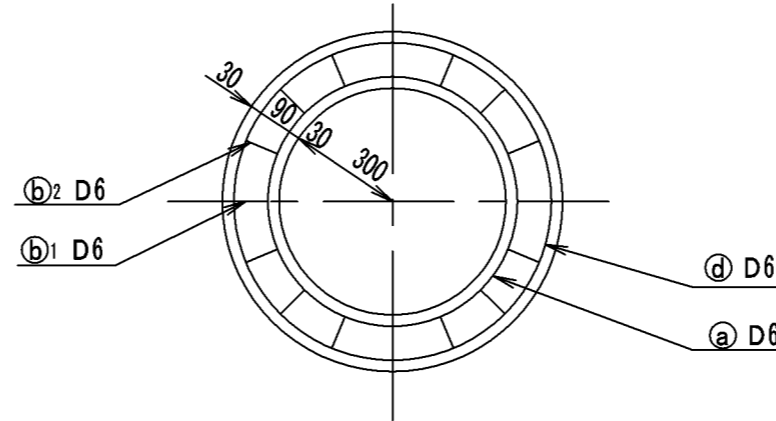
マンホール深 (Hm)	本管及び許容段差(m)						底板厚 0.15m (個)	頂版厚 0.15m (個)	調整 ブロック (100mm) 厚0.21 m (個)	最下部 直壁ブロック h=0.9m~1.2m (個)	調整高 H-a -0.33 (-0.18) (m)	上置直壁ブロック					調整ブロック		止水シール材		
	φ200 D=314 mm	φ250 D=366 mm	φ300 D=420 mm	φ350 D=474 mm	φ400 D=530 mm	φ450 D=586 mm						h1 =0.2m (個)	h2 =0.3m (個)	h3 =0.6m (個)	h4 =0.9m (個)	h5 =1.2m (個)	h6 =0.05m (個)	h7 =0.10m (個)	躯体 ブロック 用 (組)	調整 ブロック 用 (組)	
	a(m)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)						(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	
2.93m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.40	1				1	1	1	4	3
2.98m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.45	1				1	2	1	4	4
3.03m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.50		1			1	1	1	4	3
3.08m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.55		1			1	2	1	4	4
3.13m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.60	2				1	1	1	5	3
3.18m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.65	2				1	2	1	5	4
3.23m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.70	1	1			1	1	1	5	3
3.28m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.75	1	1			1	2	1	5	4
3.33m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.80			1		1	1	1	4	3
3.38m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.85			1		1	2	1	4	4
3.43m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.90	2	1			1	1	1	6	3
3.48m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	1.95	2	1			1	2	1	6	4
3.53m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.00	1		1		1	1	1	5	3
3.58m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.05	1		1		1	2	1	5	4
3.63m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.10				1	1	1	1	4	3
3.68m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.15				1	1	2	1	4	4
3.73m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.20	2		1		1	1	1	6	3
3.78m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.25	2		1		1	2	1	6	4
3.83m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.30	1			1	1	1	1	5	3
3.88m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.35	1			1	1	2	1	5	4
3.93m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.40					2	1	1	4	3
3.98m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.45					2	2	1	4	4
4.03m	0.663	0.612	0.560	0.508	0.390	0.402	1	1	1	1	1.20	2.50	2			1	1	1	1	6	3

仙台市型組立特殊マンホールA型（内径60cm）構造標準図（1）

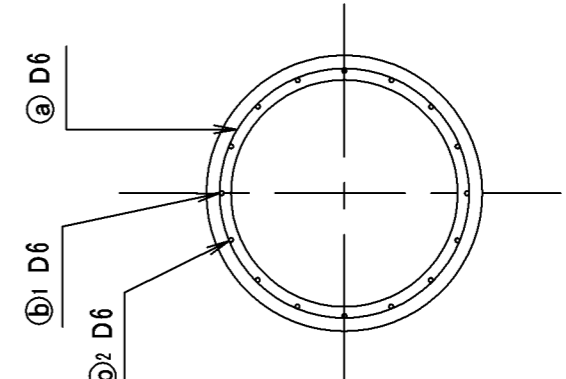
平面図 S=1/20



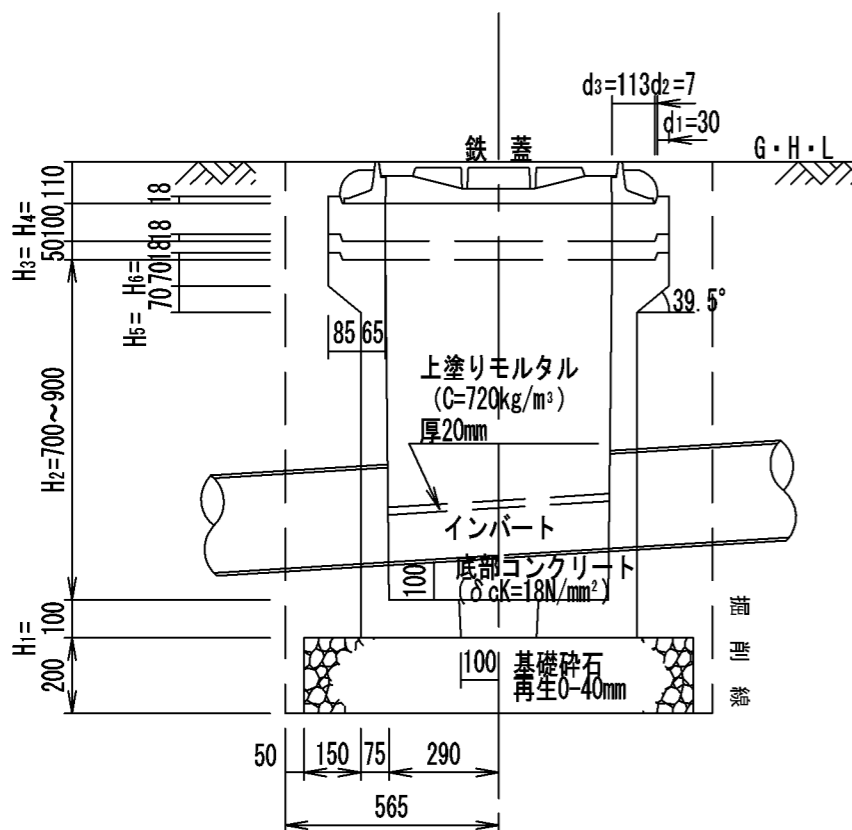
A-A' 断面配筋図 S=1/20



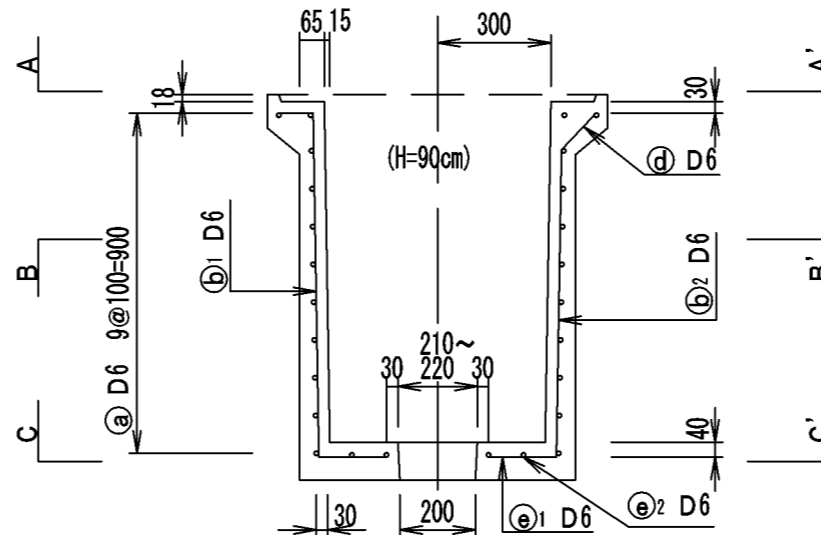
B-B' 断面配筋図 S=1/20



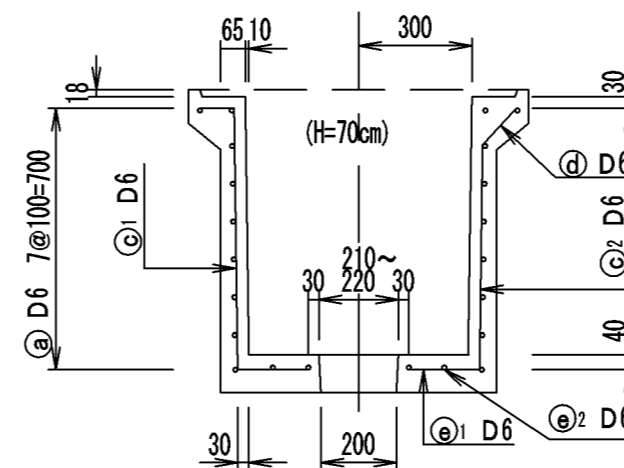
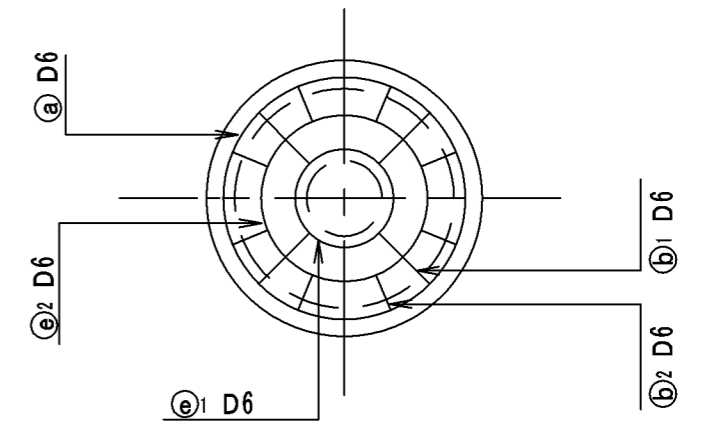
断面図 S=1/20



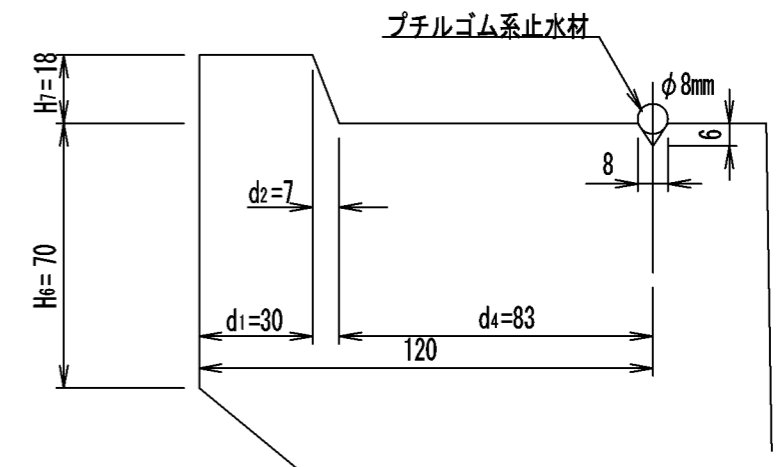
側面配筋図 S=1/20



C-C' 断面配筋図 S=1/20



躯体ブロック等接合部詳細図 S=1/2



仙台市建設局

仙台市型組立特殊マンホールA型（内径60cm）構造標準図（2）及び組合せ数量表

○ 各部寸法の許容差（mm）等の基準

種 別	D1~D3	H1~H7	d1	d2~d3	d4	r
躯体ブロック	±4	±4	+1.5 -2	±1.5	+2 -1.5	±3
調整ブロック等	±4	±3	±2	±2	±2	±3

”ねじれ” ”そり” はいずれの部分にもあってはならない。

○ 製造、使用上の基準

1. 本標準図は、円形帯鉄筋を使用するものとしてあるが、鉄筋量・配筋の基準等が同等以上のものであれば、らせん鉄筋を使用してもよい。
2. 成形は遠心力及び振動成形とも可する。
3. 接合部止水材は、標準仕様として図示してあるが、形状・機能・材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
4. 高さ調整ブロックは、組立1号マンホールと同じものを使用する。
5. 本マンホールに足掛金物は取り付けないものとする。
6. 吊り金具はブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当りの耐力は5t以上とする。

ブロック等組合せ数量表

使用方法

1. 本表は、可能な限り調整ブロック2個を使用するよう作成してある。したがって傾斜調整ブロックを使用する場合は、本表はそのまま使用できない。
2. 高さ5cm未満の微調整は、躯体ブロックの削孔部及び鉄蓋据付モルタルで行うものとし、本表では考慮していない。

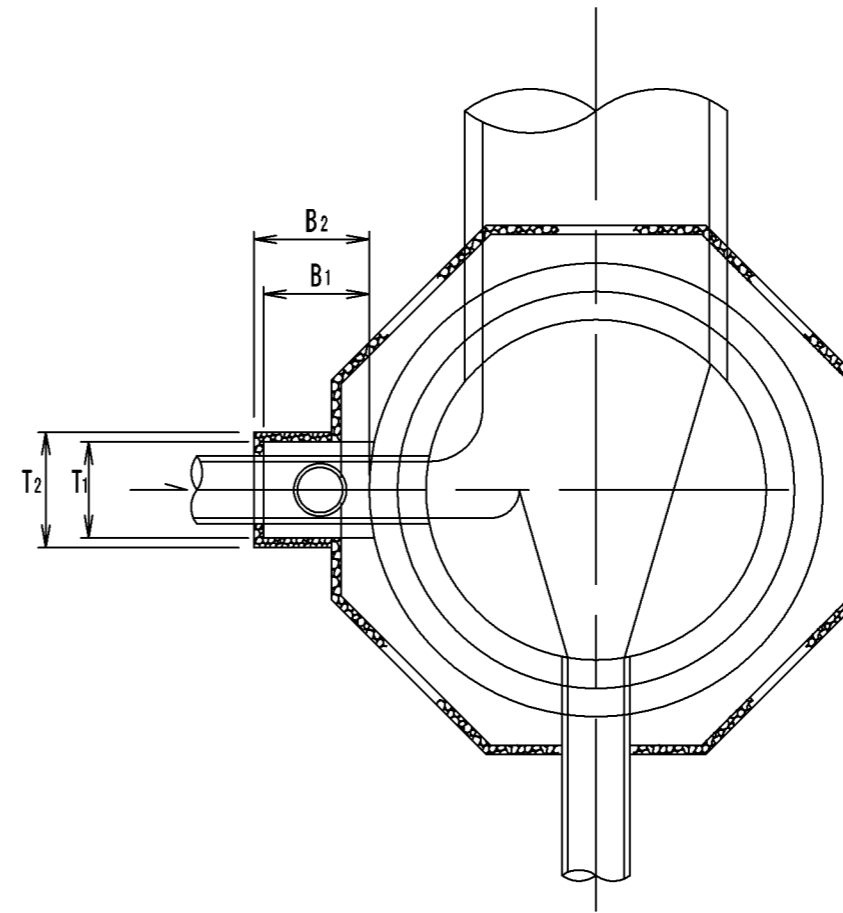
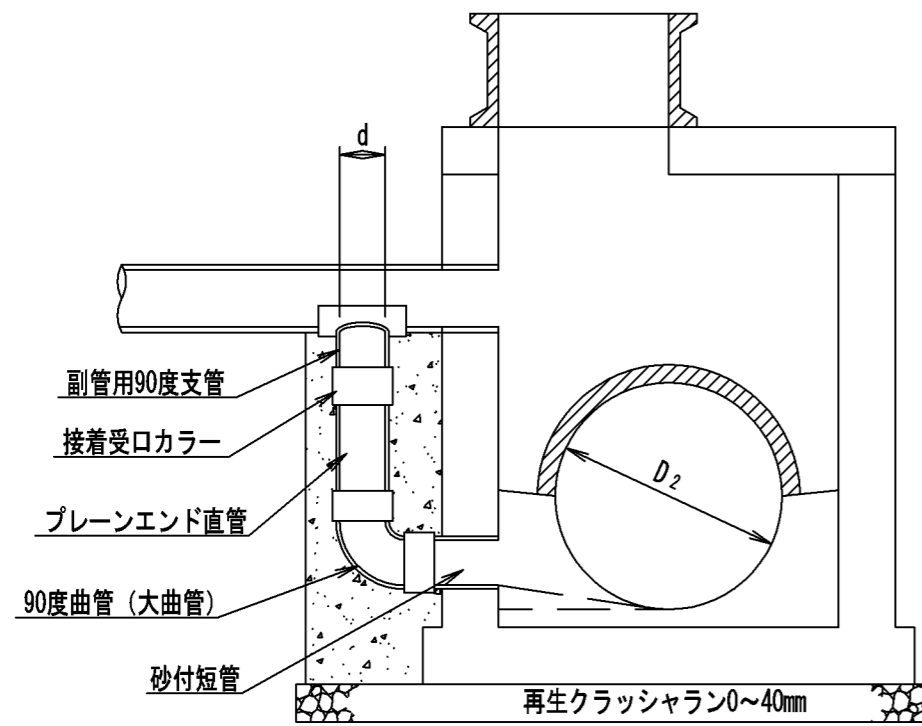
数量表

マンホール深 (Hm)	鉄蓋 厚0.11m (個)	躯体ブロック a (m)		H-a-0.01 (m)	調整ブロック		止水シール材 調整ブロック用 φ10mm (組)	備考
		h=0.7m W=0.4t (個)	h=0.9m W=0.5t (個)		h=0.05m W=0.04t (個)	h=0.10m W=0.09t (個)		
0.71 ?	1	1		0 ?				重量Wは参考重量。 砕石 (0~40mm) V=0.17m <sup>3</sup>
0.76 ?	1	1		0.05 ?	1		1	
0.81 ?	1	1		0.10 ?		1	1	
0.86 ?	1	1		0.15 ?	1	1	2	
0.91 ?	1	1		0.20 ?	2	1	3	
0.96 ?	1	1		0.25 ?	1	2	3	
1.01 ?	1	1		0.30 ?	2	2	4	
1.06 ?	1		1	0.15 ?	1	1	2	
1.11 ?	1		1	0.20 ?	2	1	3	
1.16 ?	1		1	0.25 ?	1	2	3	

名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード
躯体ブロック φ600 H=700	ZN05770120	マンホール用鉄蓋 化粧鉄蓋	ZN05820040	高さ調整ブロック 平面用 t=100	ZN05770180
躯体ブロック φ600 H=900	ZN05770130	マンホール用鉄蓋 T-14	ZN05820060	止水シール材 調整ブロック用	ZN05770230
マンホール用鉄蓋 T-25	ZN05820020	高さ調整ブロック 平面用 t=50	ZN05770170		

仙台市建設局

外副管取付構造図  
単位：mm

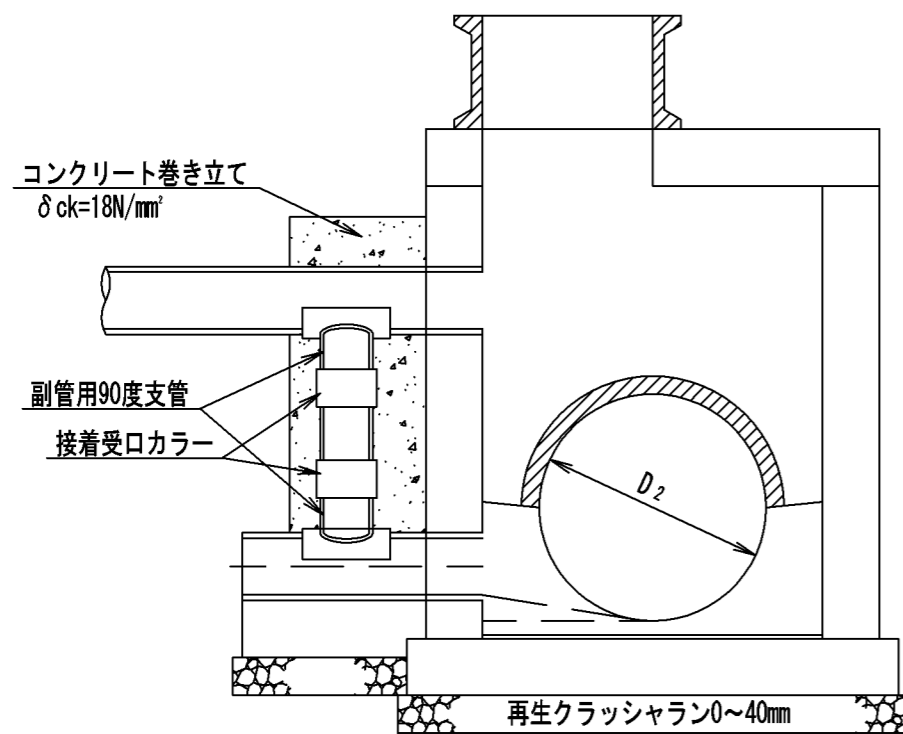
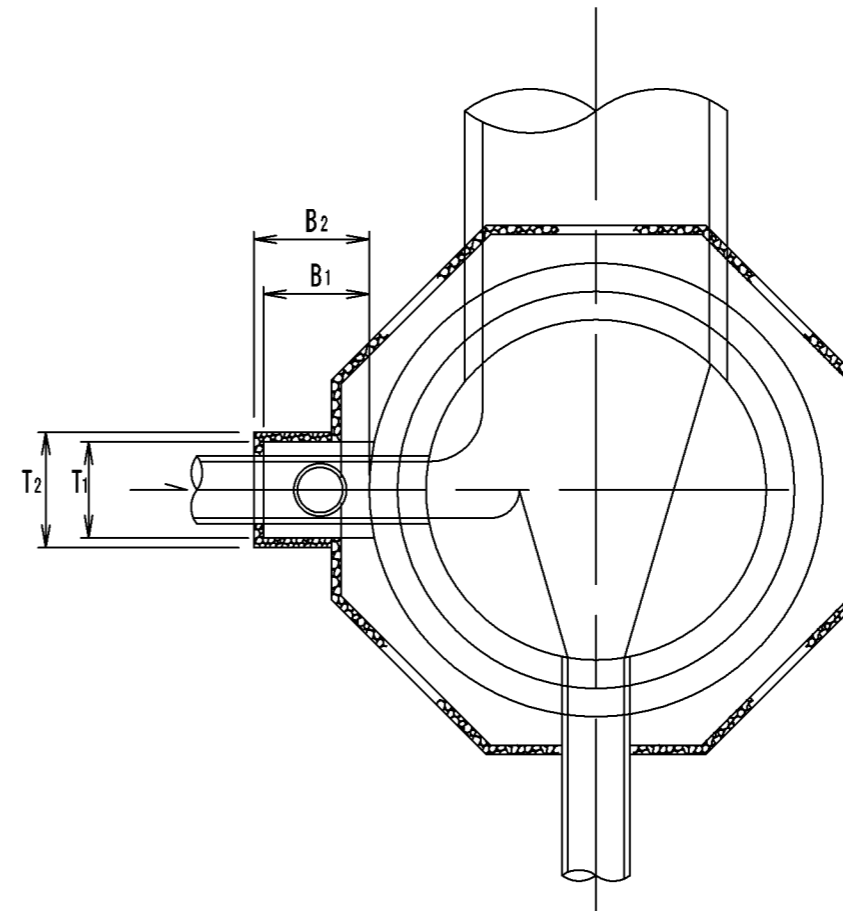


副管使用の基準

本管径 (mm)	副管径 (mm)
200	150
250	200
300	200
350	200
400	200
450	250
500	250
600以上	300

d	B1	B2	T1	T2
150	400	450	400	500
200	450	500	450	550
250	500	550	500	600
300	550	600	550	650

外副管（二段構造）取付構造図  
 単位：mm



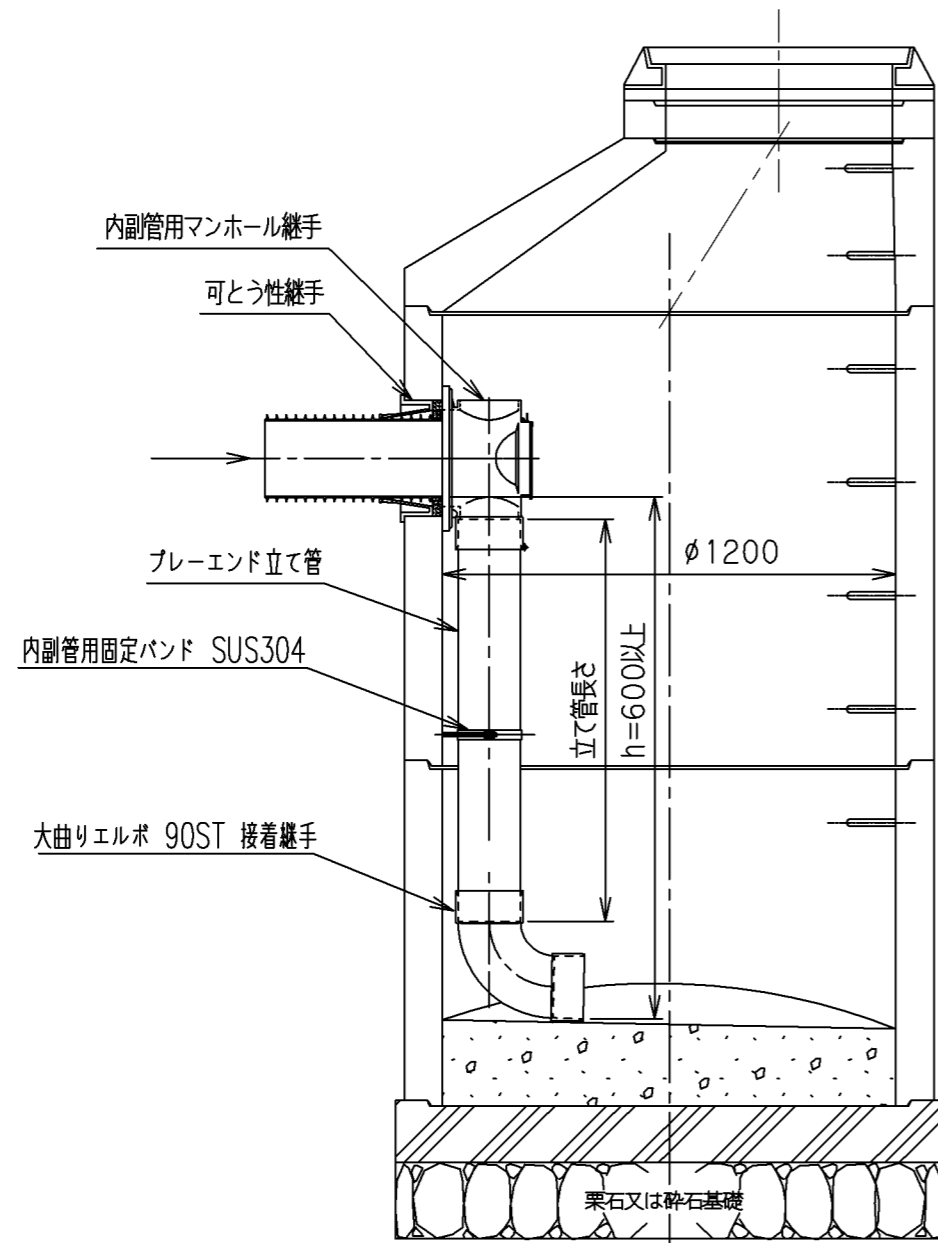
副管使用の基準

本管径 (mm)	副管径 (mm)
200	150
250	200
300	200
350	200
400	200
450	250
500	250
600以上	300

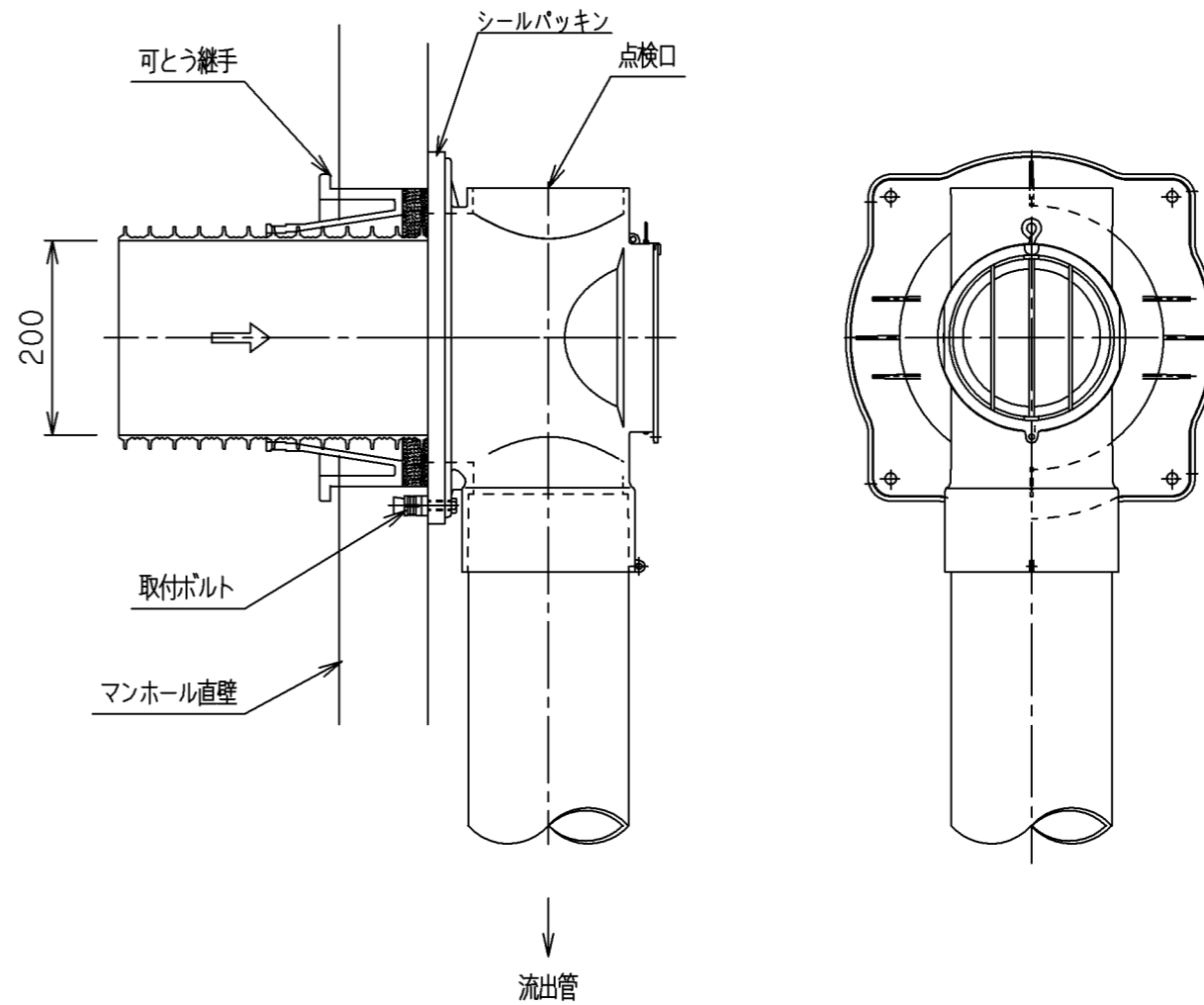
d	B1	B2	T1	T2
150	400	450	400	500
200	450	500	450	550
250	500	550	500	600
300	550	600	550	650

貼付型内副管構造図  
単位：mm

断面図



詳細図



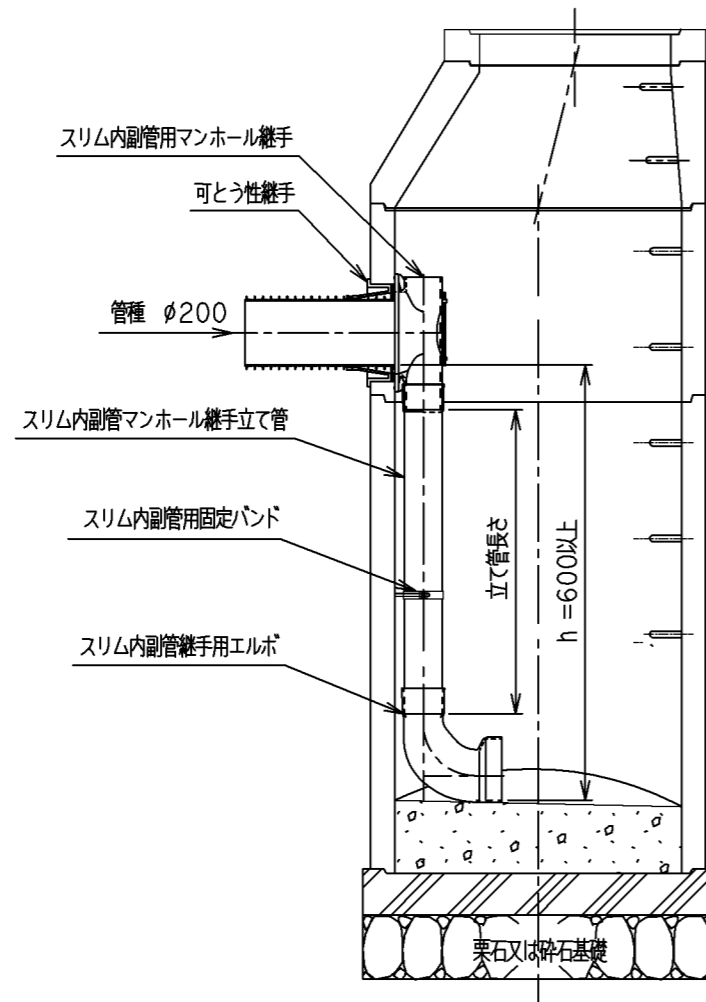
- 注： 1) 副管は内副管を標準とし、原則として2号マンホール以上に適用する。  
2) ステンレスバンドは縦管部に、1箇所/2.0m以内毎に設置する。  
3) インパートについては、「マンホール内インパート設置標準図(2)」による。

名称・規格	参考市単コード
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 200×150	ZN20220031
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 250×200	ZN20220032
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 300×200	ZN20220033
内副管用マンホール継手 2号マンホール用 300×250	ZN20220034
内副管用取付金具 ステンレス製 φ150	ZN20220035
内副管用取付金具 ステンレス製 φ200	ZN50510070
内副管用取付金具 ステンレス製 φ250	ZN50510080

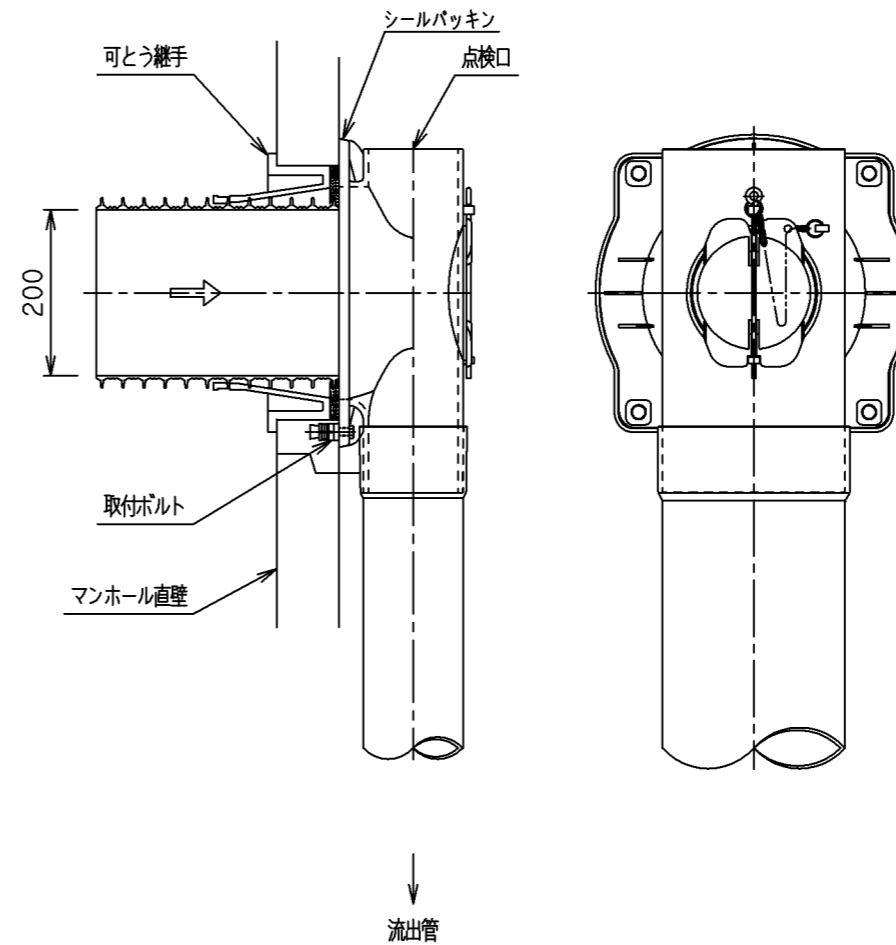
仙台市建設局

スリム内副管取付構造図  
単位：mm

断面図



詳細図

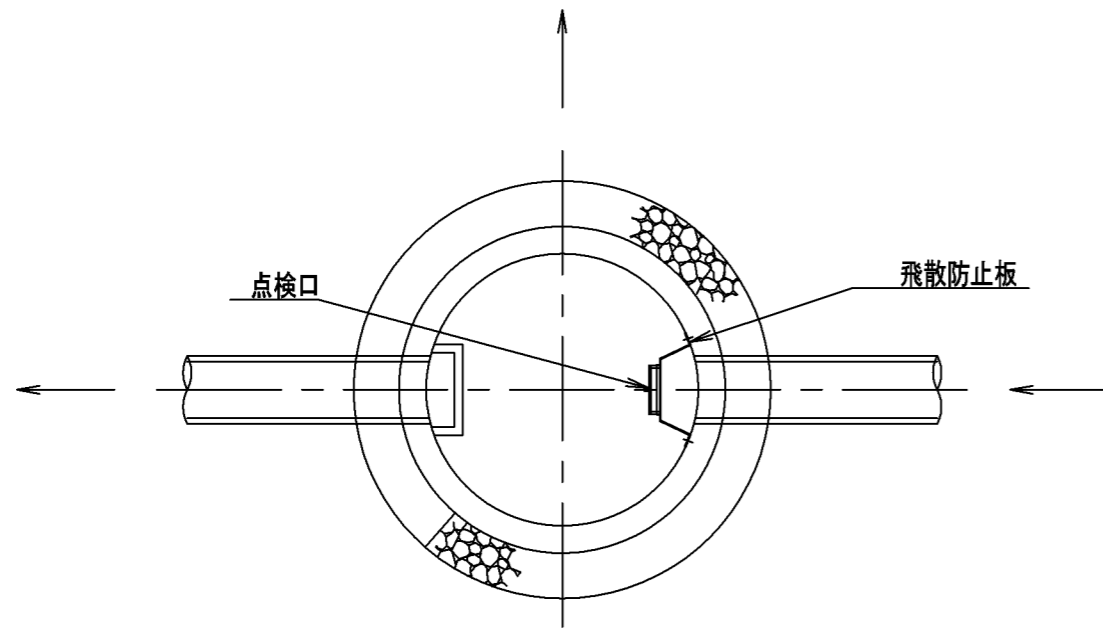


名称・規格	参考市単コード
点検口付スリム内副管用マンホール継手 1号マンホール用 200×150	ZN20220036
点検口付スリム内副管用マンホール継手 2号マンホール用 200×150	ZN20220037
スリム内副管マンホール継手用立て管 L=500	ZN20220038
スリム内副管マンホール継手用立て管 L=1000	ZN20220039
スリム内副管マンホール継手用立て管 L=2000	ZN20220040
スリム内副管継手用エルボ	ZN20220041
スリム内副管用固定金具	ZN20220042
スリム内副管用VI変換ソケット	ZN20220043

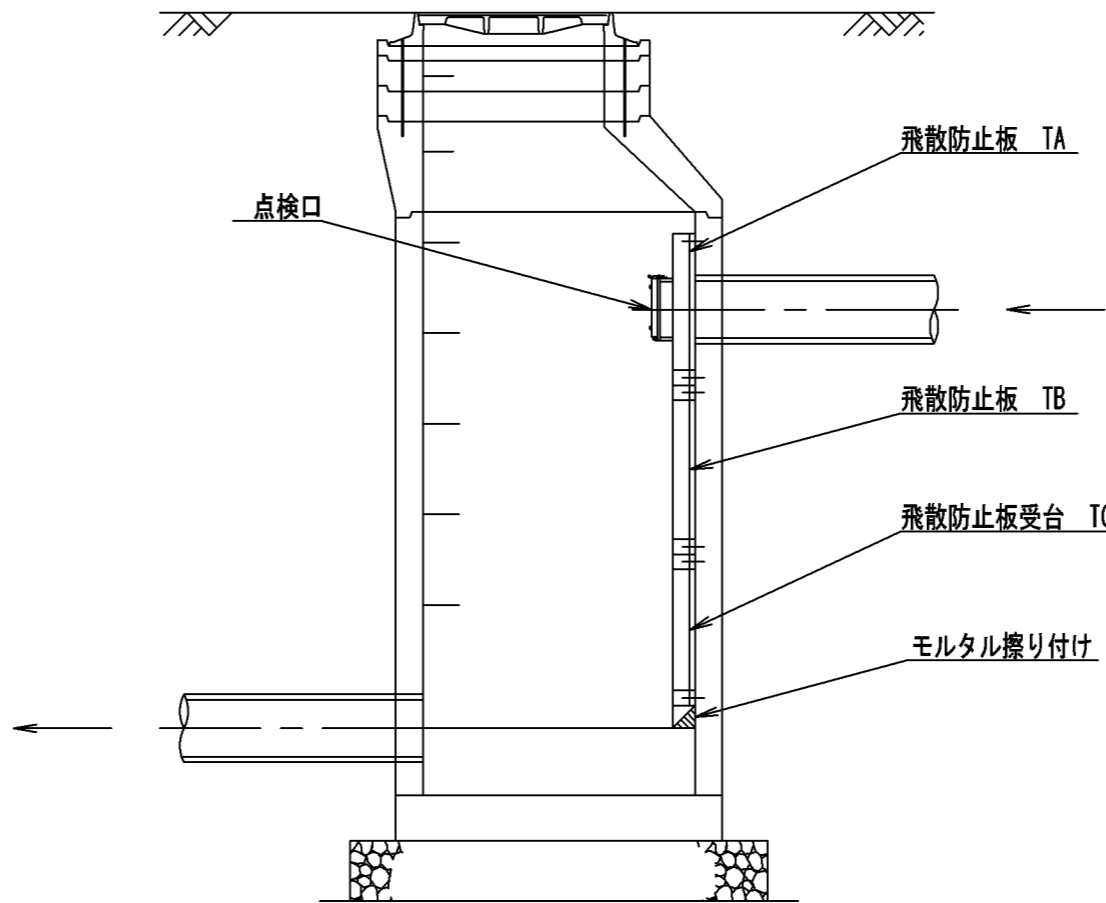
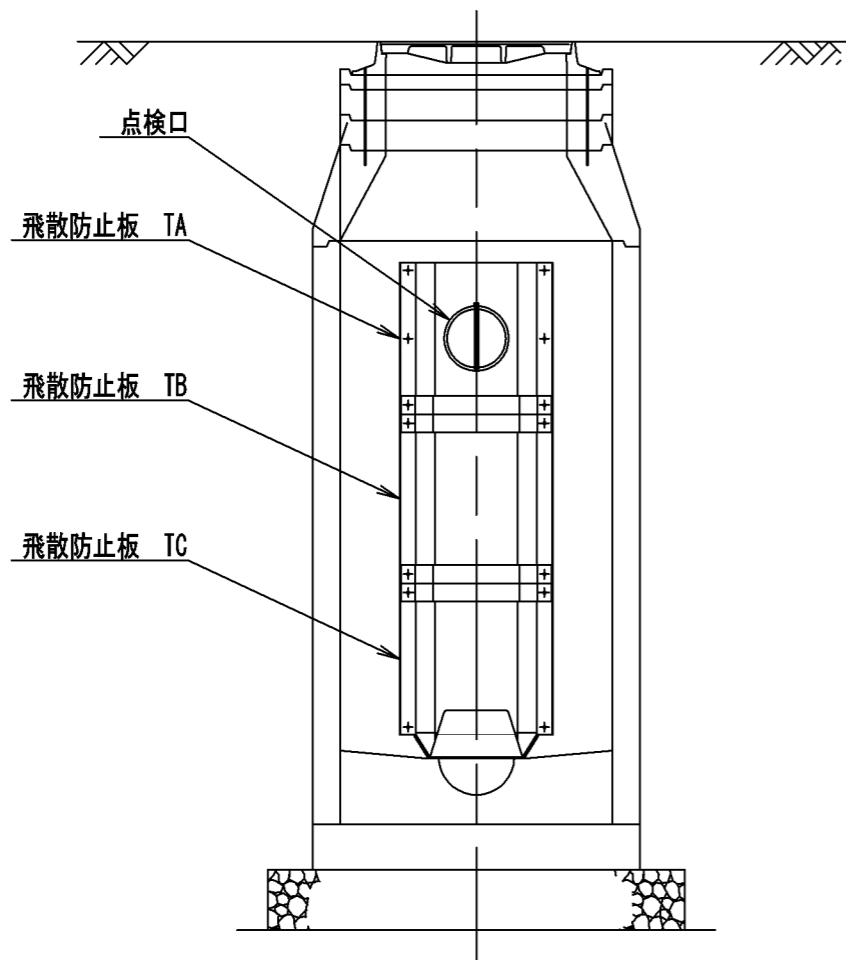
- 注： 1) 1号マンホールへの接続で、本管径200mm以下の場合または、2箇所以上の副管があり、本管径が200mm以下の場合  
2) ステンレスバンドは縦管部に、1箇所/2.0m以内毎に設置する。  
3) インパートについては、「マンホール内インパート設置標準図(2)」による。

# 飛散防止板取付構造図

単位：mm



## 飛散防止板(バツフル板)設置



名称・規格	参考市単コード
TA-200 (点検孔付)	ZN20220019
TB-200	ZN20220020
TC-200	ZN20220021
TA-250 (点検孔付)	ZN20220022
TB-250	ZN20220023
TC-250	ZN20220024
TA-300 (点検孔付)	ZN20220025
TB-300	ZN20220026
TC-300	ZN20220027
TA-400 (点検孔付)	ZN20220028
TB-400	ZN20220029
TC-400	ZN20220030

※材質は樹脂製とする。

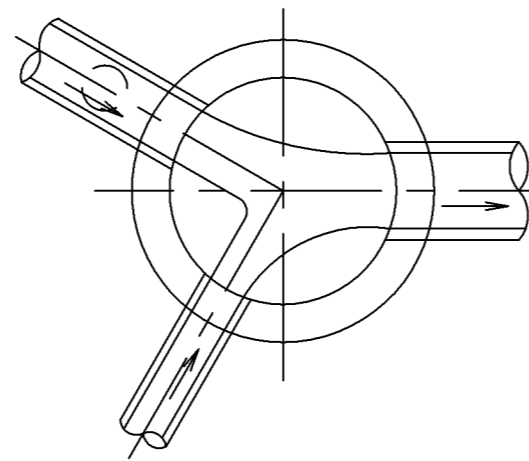
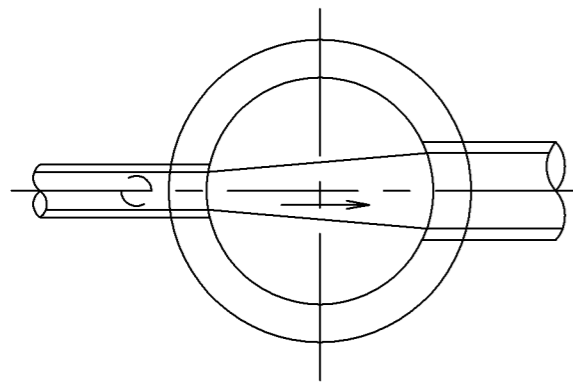
注1. 1号マンホールへの接続で本管径200mmを越える場合、または、2箇所以上の副管があり本管径が200mmを越える場合。

仙台市建設局

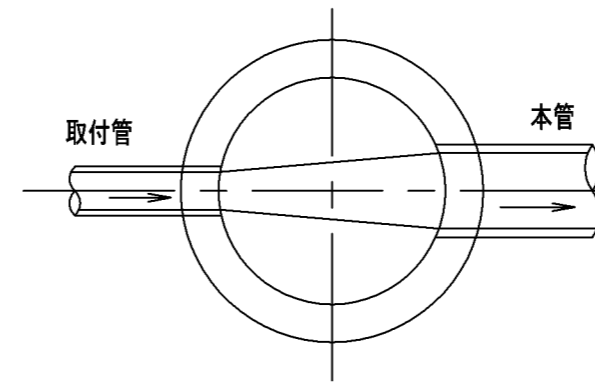


# マンホール内インバート設置標準図 (1)

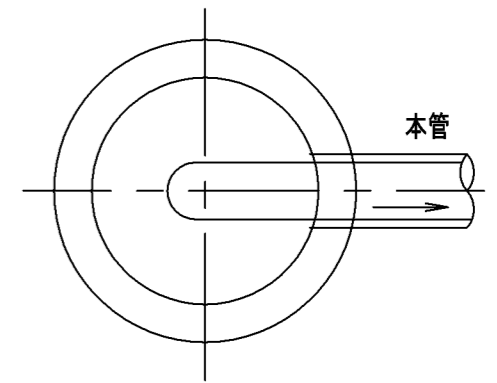
## 1. 平面図形状



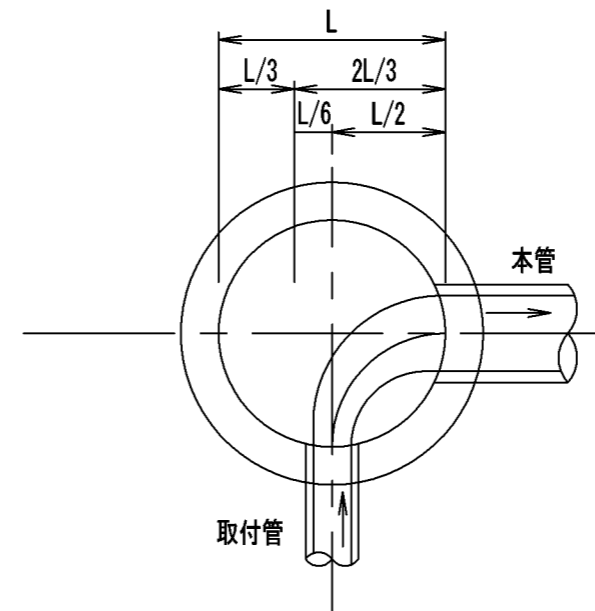
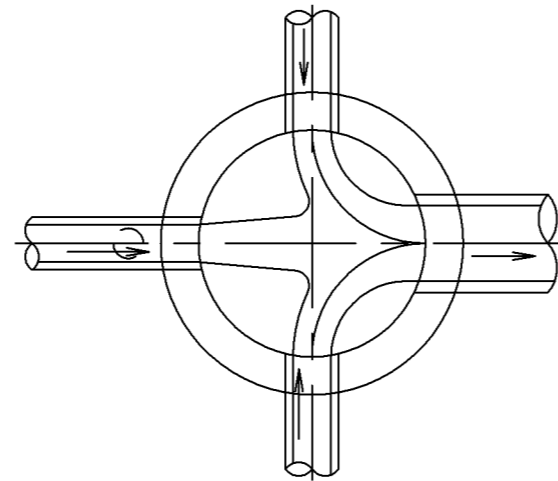
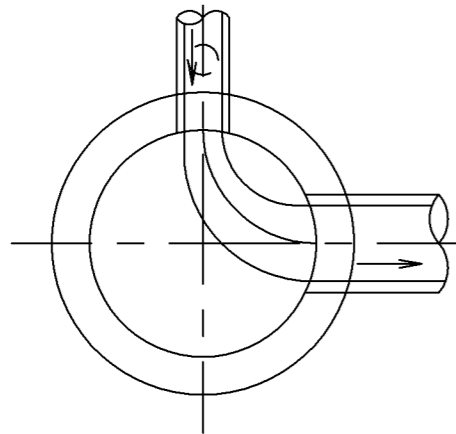
取付管ありの止りマンホール  
(取付管方向180°)



起点マンホール



取付管ありの止りマンホール  
(取付管方向180°以外)



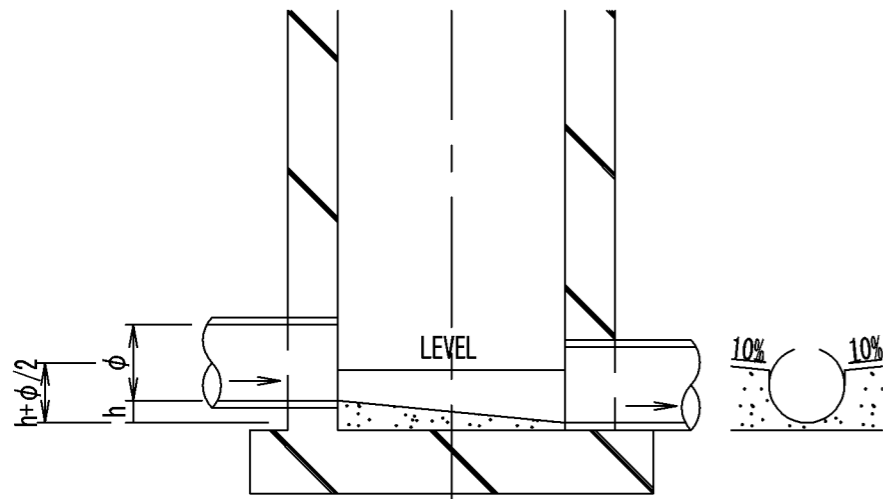
注) 副管が設置される場合においても、インバートの仕上げは本管径とする。  
特殊なところは、工事監督員と協議すること。

## マンホール内インバート設置標準図(2)

### 2. 断面形状

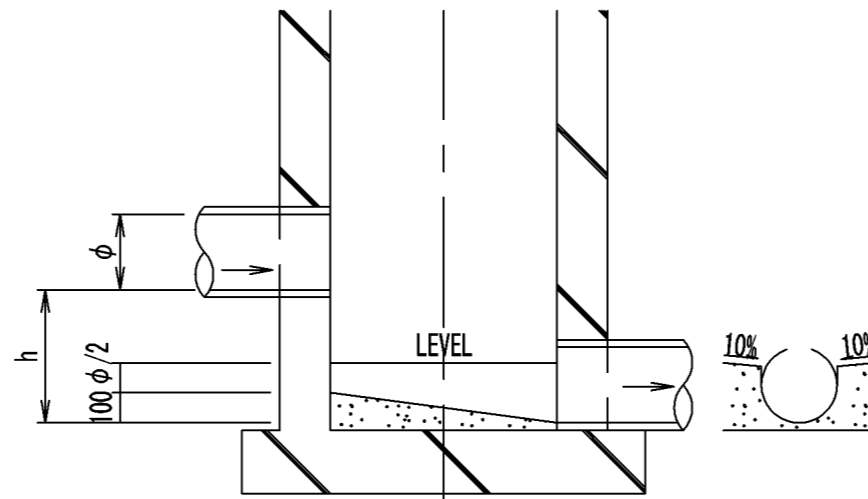
上下流管の段差= $h$   
上流管の管径= $\phi$

中間マンホール ( $h < 10\text{cm}$ )



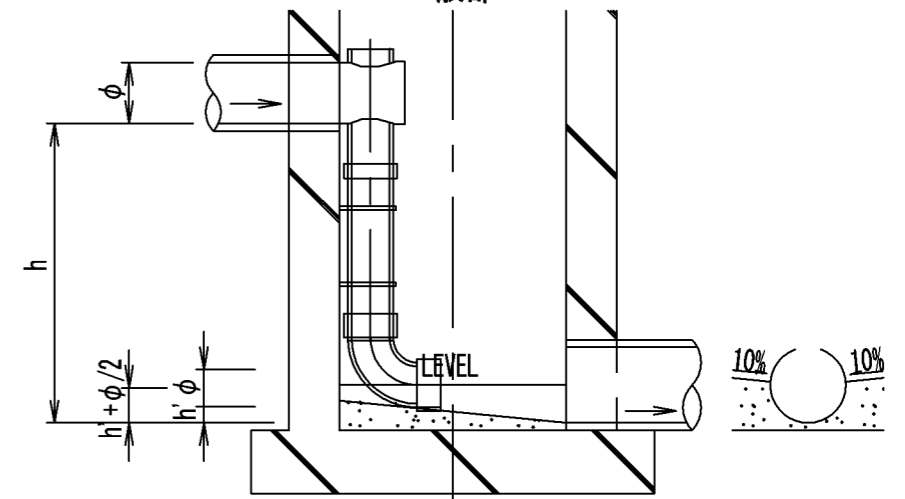
インバートの底辺が上流管底と下流管底ですりつく場合は、天端開口部もラッパ状にすりつける。

段差付マンホール ( $10\text{cm} \leq h < 60\text{cm}$ )



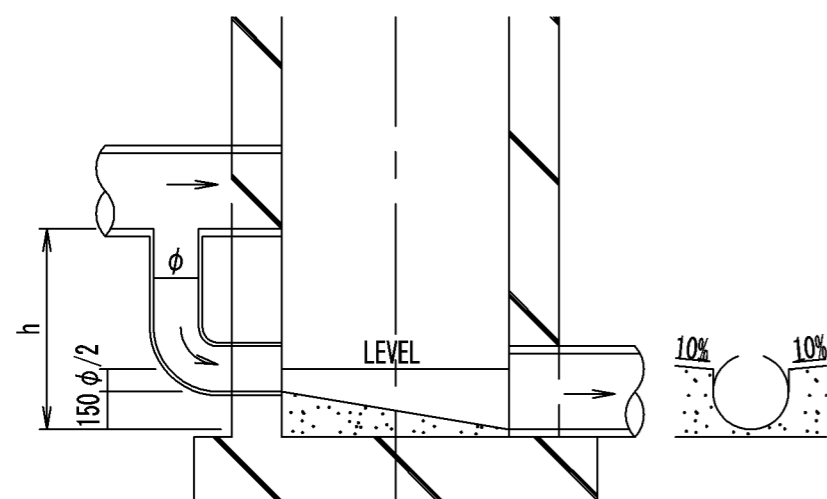
上図のように上流管底とインバート底面に段差がある場合のインバート天端開口幅は、下流管直径のままとする。

内副管付マンホール ( $h \geq 60\text{cm}$ )  
一般部



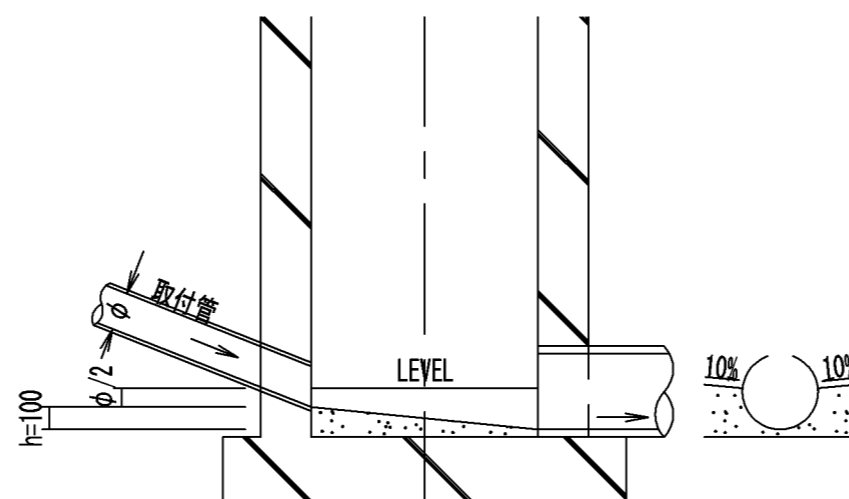
副管管底高は標準では下流管の管頂接合とするが、下流管きょ管径が300mm以上の場合は下流管中心高と副管中心高とを一致させる。

副管付マンホール ( $h \geq 60\text{cm}$ )

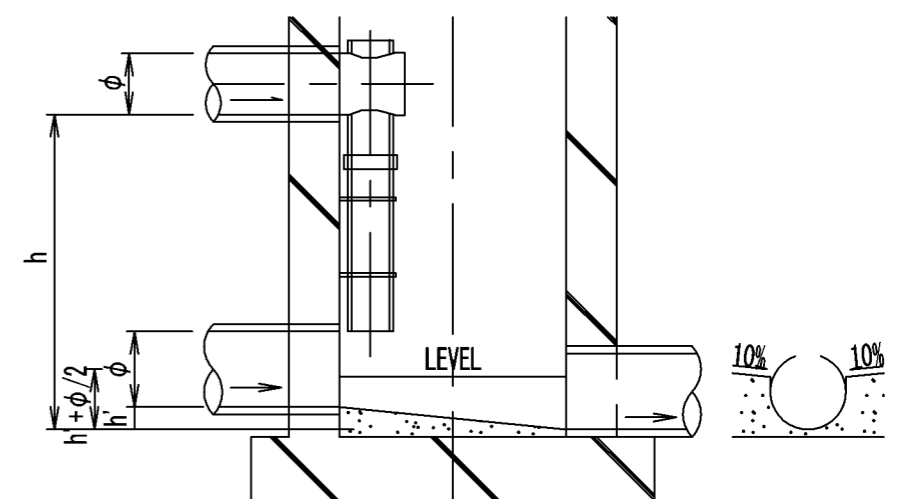


副管管底高は標準では下流管管底より150mm高い位置とするが下流管きょ管径が500mm以上の場合は下流管中心高と副管中心高とを一致させる。

最上流部及び取付管流入中間マンホール

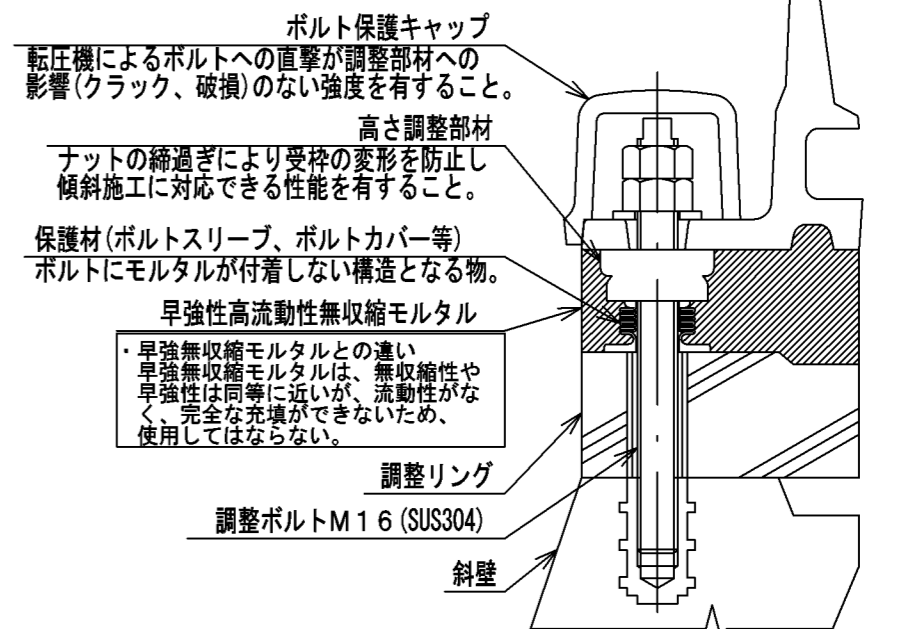
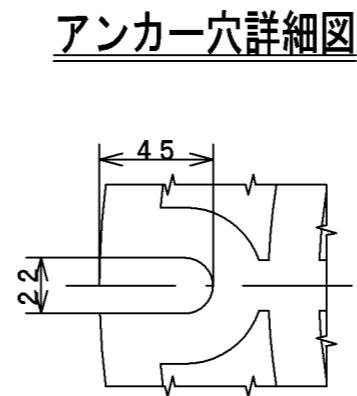
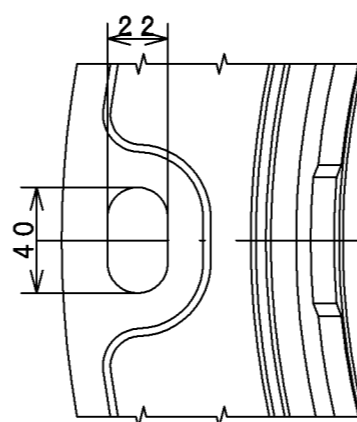
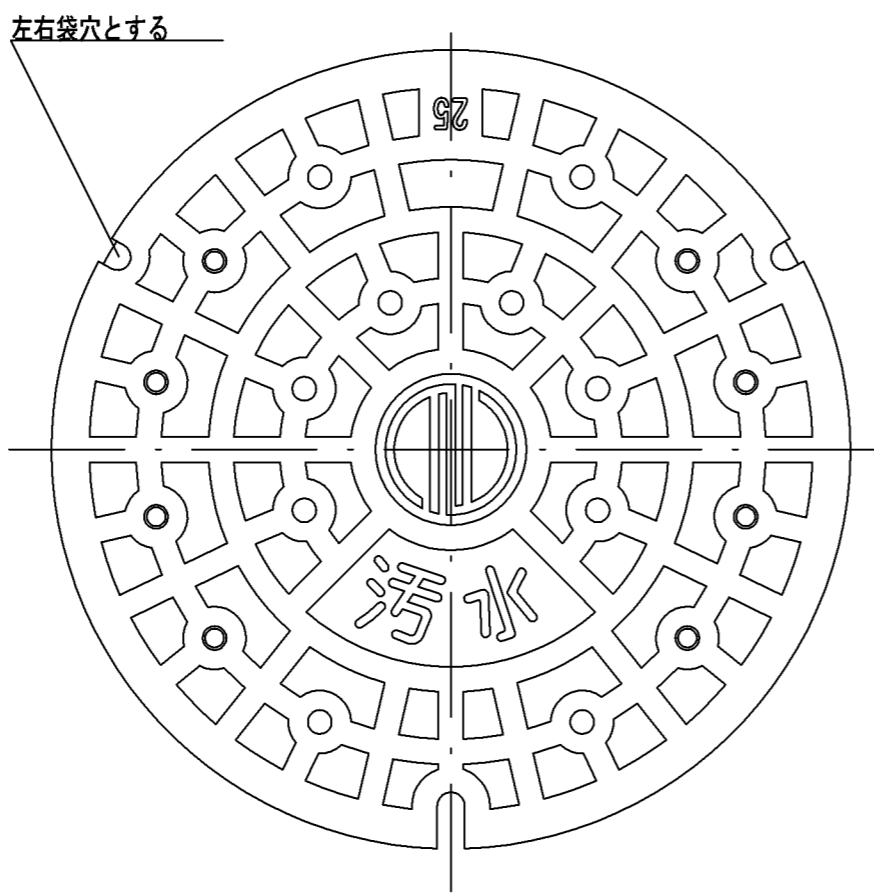
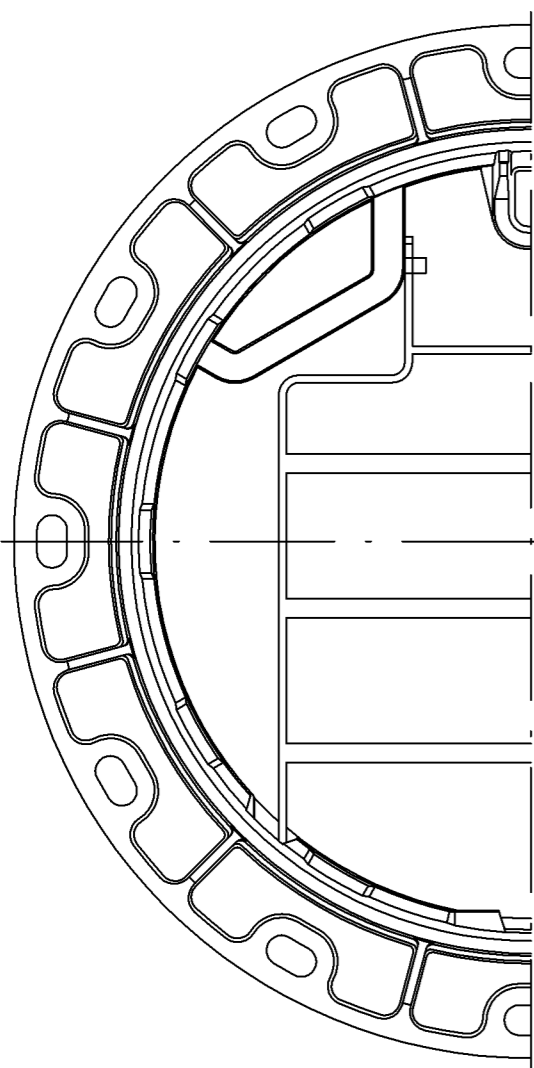
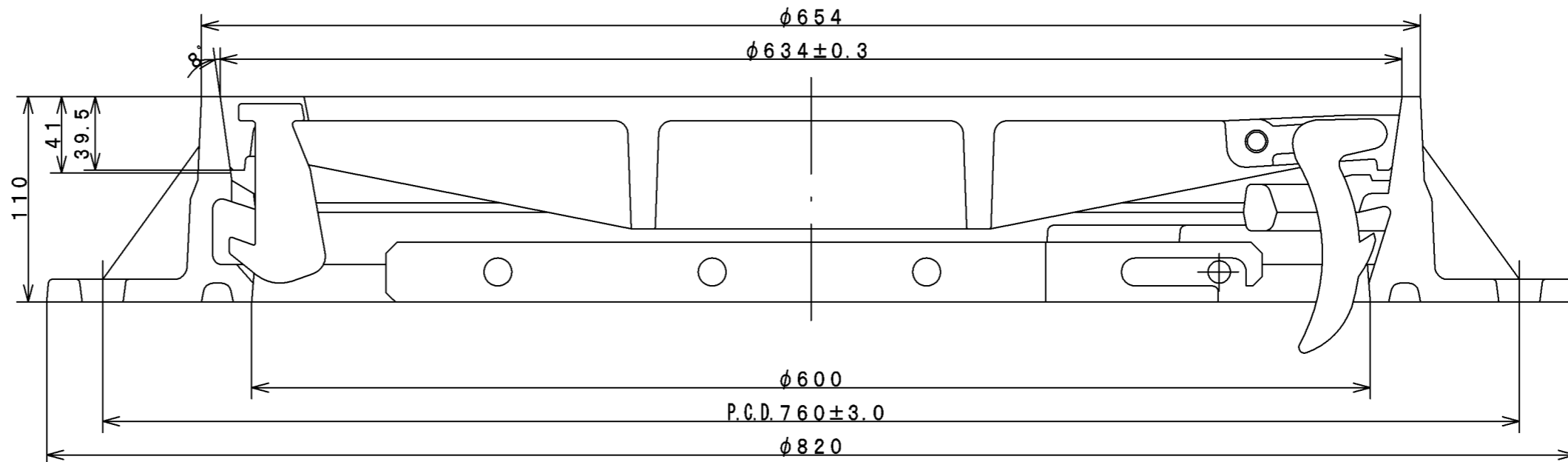
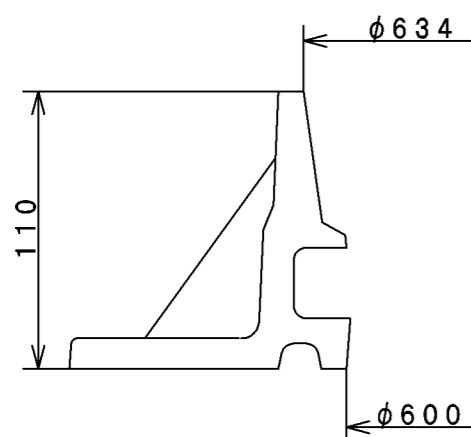


内副管付マンホール ( $h \geq 60\text{cm}$ )  
サービス管部



副管下端高は、上流管管頂高さを標とする。

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図 (1) (口径60cm、T-25) 単位 mm



早強性高流動性無収縮モルタル

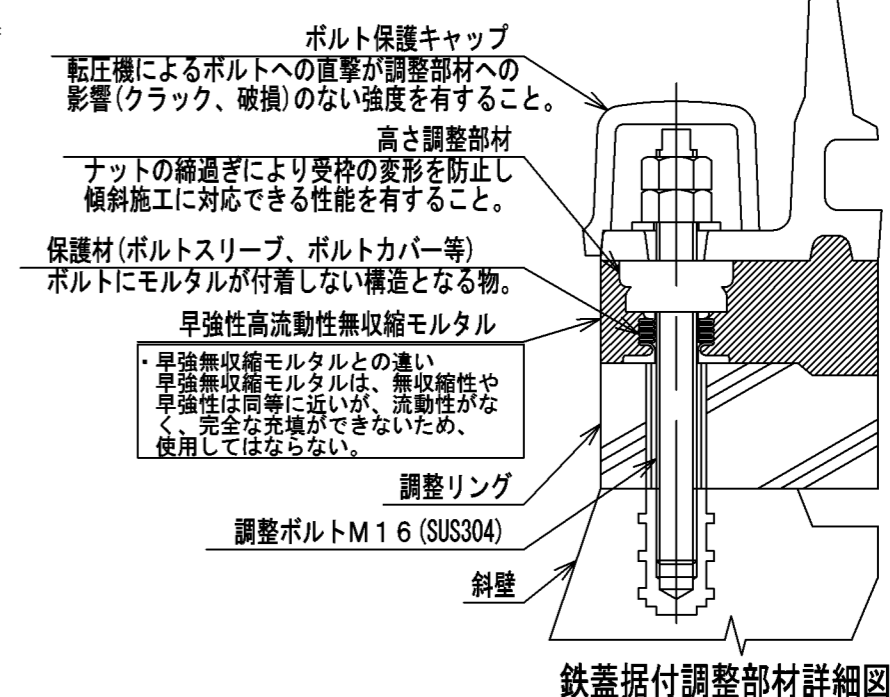
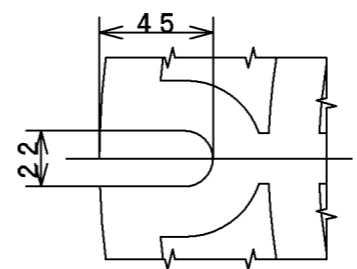
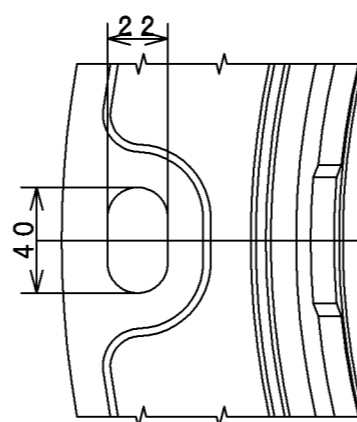
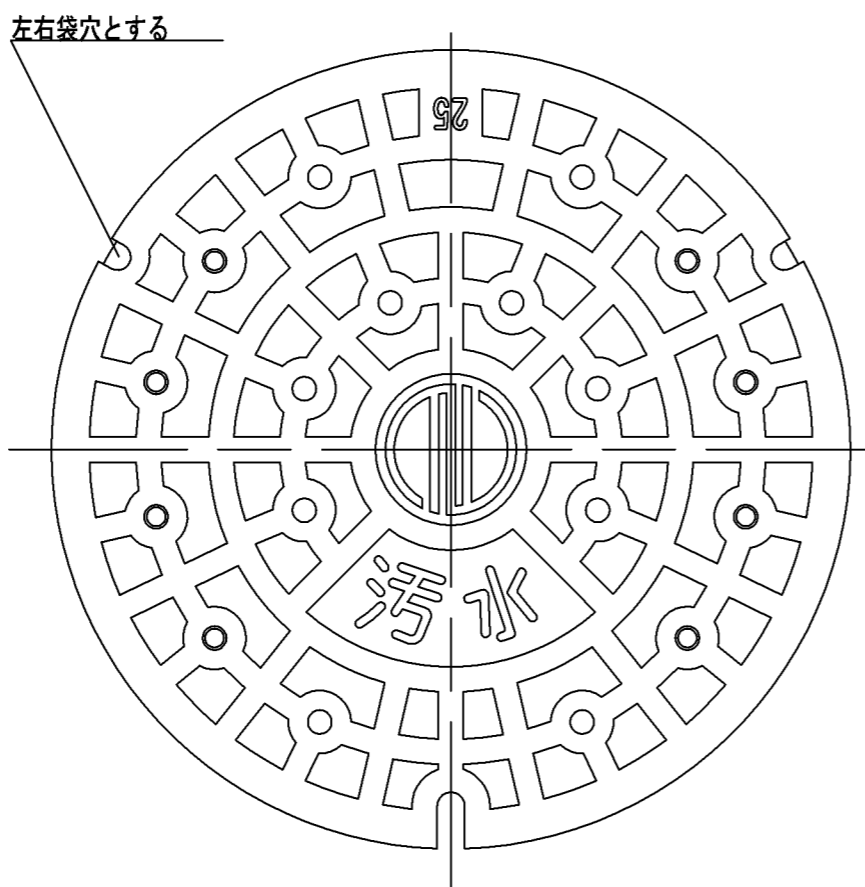
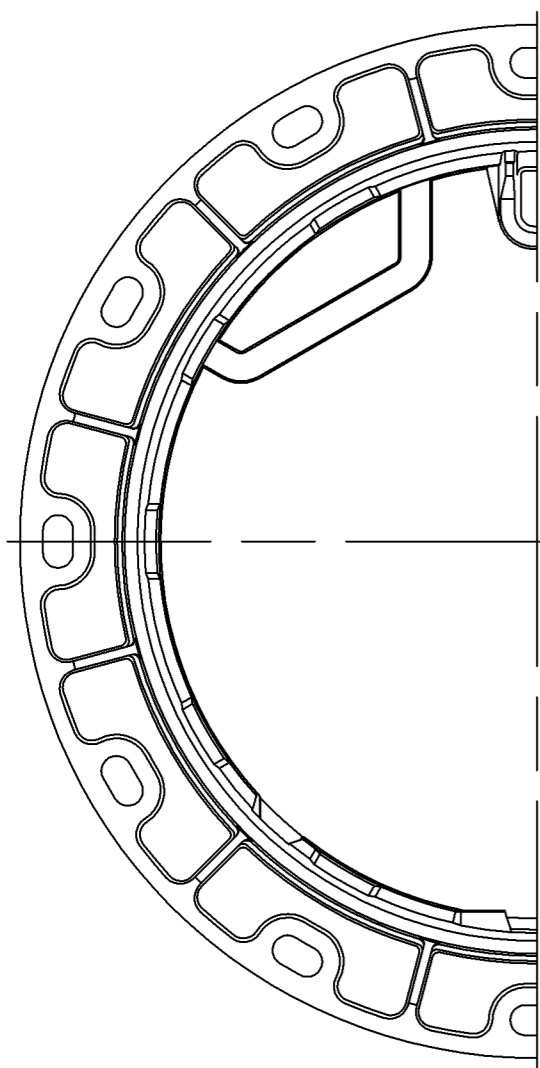
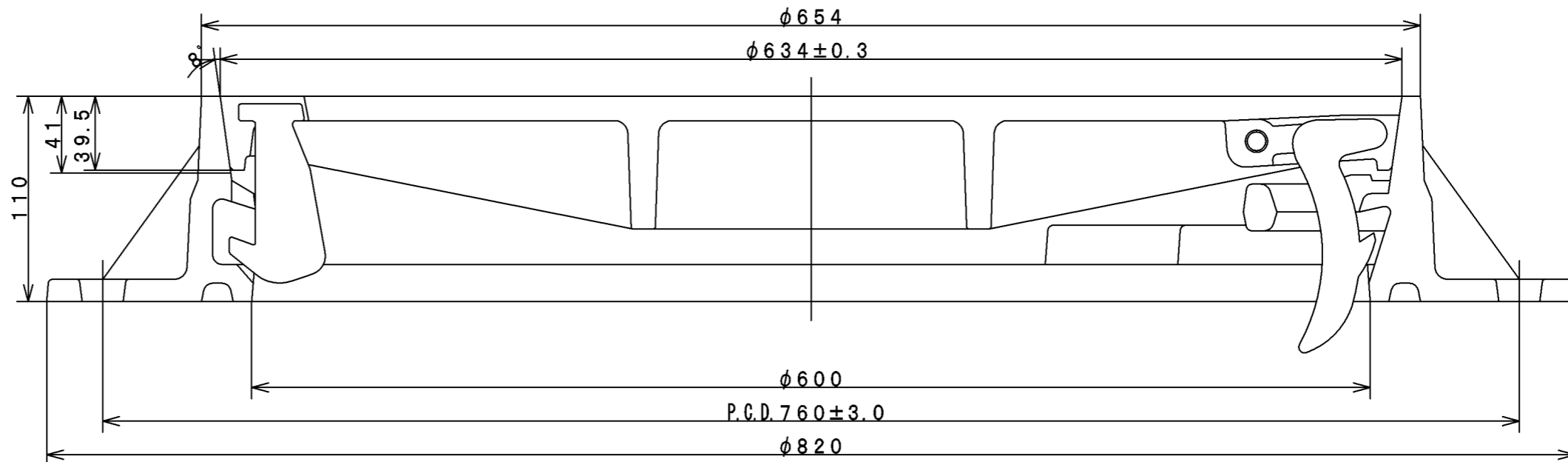
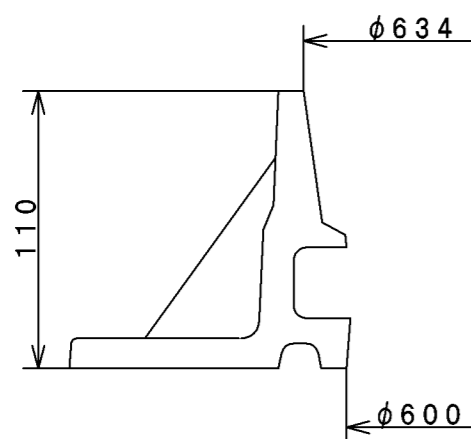
・早強無収縮モルタルとの違い  
 早強無収縮モルタルは、無収縮性や早強性は同等に近いが、流動性がなく、完全な充填ができないため、使用してはならない。

- ・斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN (5t) 以上とする。
- ・緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- ・傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- ・緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- ・緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鑄鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。機能としては、本図と同等の機能とする。

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図 (2) (口径60cm、T-25)

単位 mm

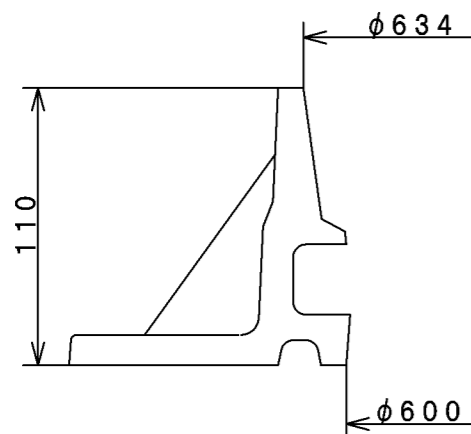


- ・斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
- ・緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- ・傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- ・緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- ・緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

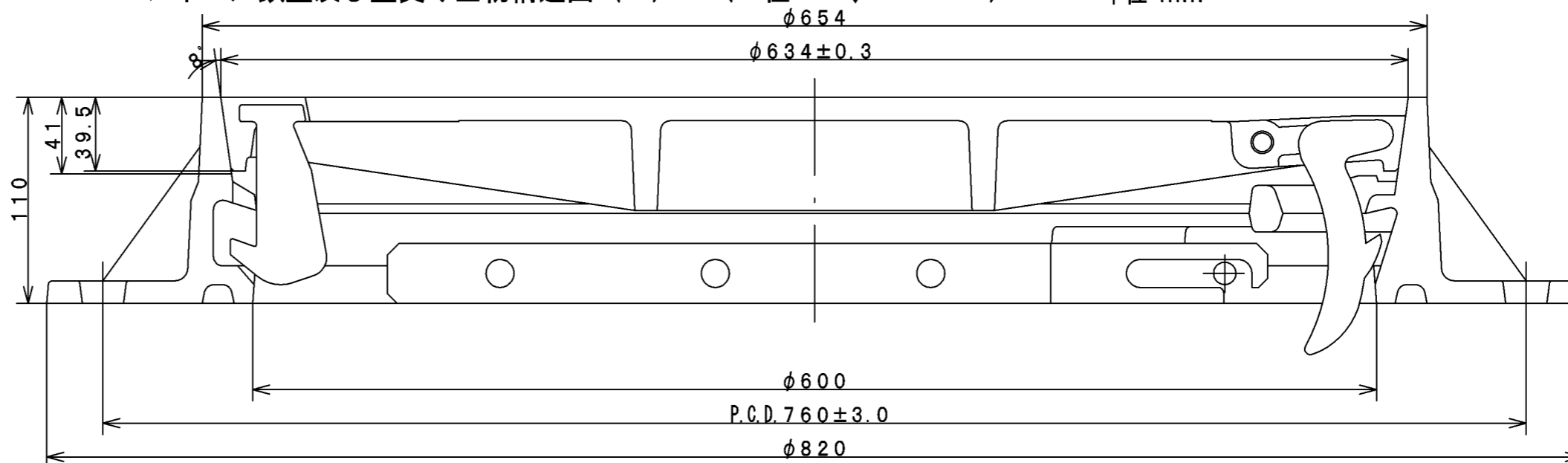
※本図は参考図であり、機能を表現したものである。  
機能としては、本図と同等の機能とする。

仙台市建設局

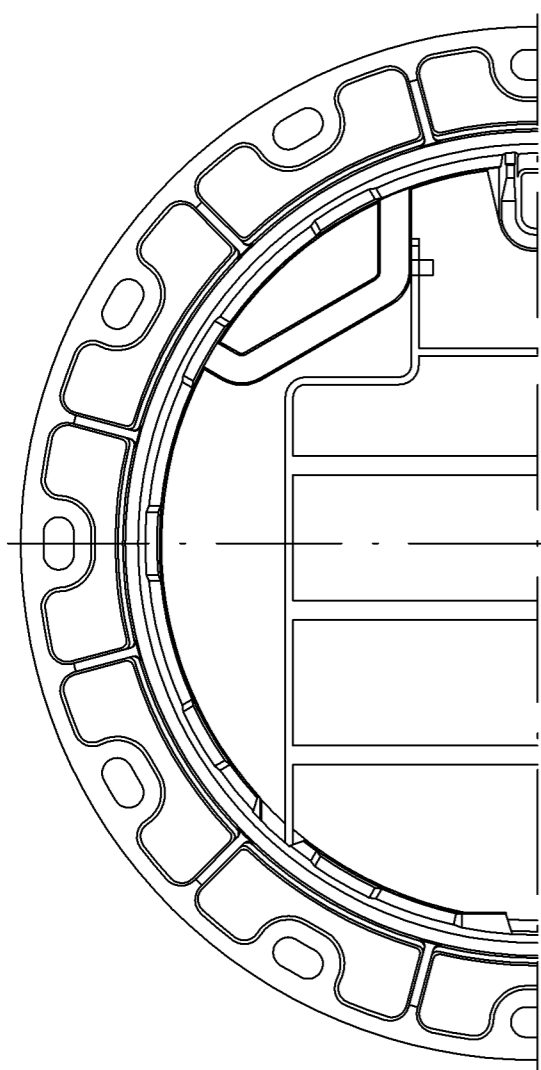
マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図 (3) (口径60cm、T-14) 単位 mm



受枠一般断面図

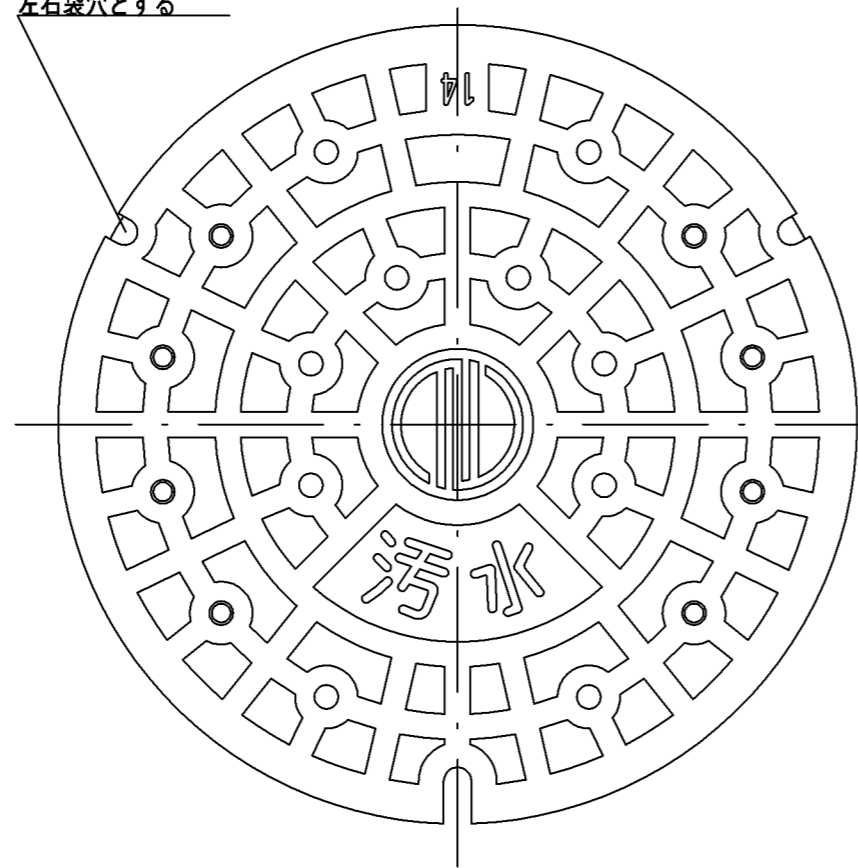


蓋、受枠断面図

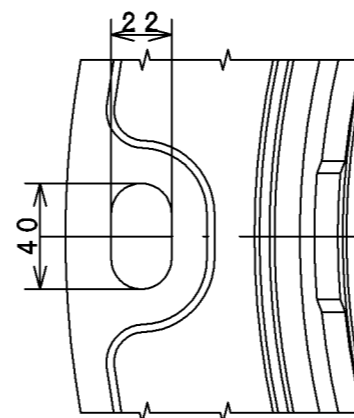


受枠詳細図

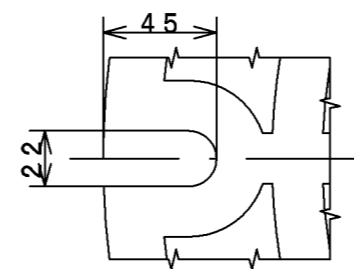
左右袋穴とする



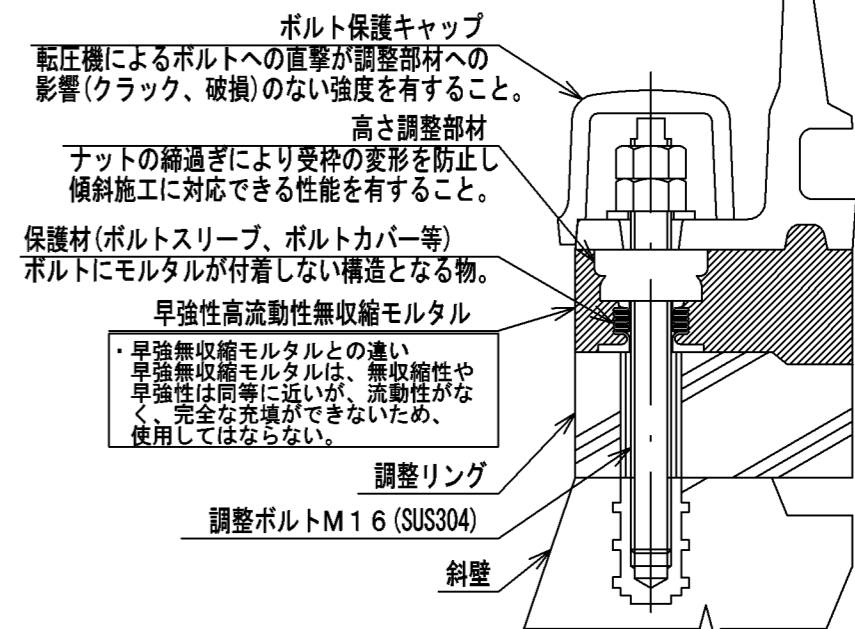
蓋平面図



アンカー穴詳細図



開閉用手カギ穴詳細図



鉄蓋据付調整部材詳細図

ボルト保護キャップ  
 転圧機によるボルトへの直撃が調整部材への影響(クラック、破損)のない強度を有すること。

高さ調整部材  
 ナットの締過ぎにより受枠の変形を防止し傾斜施工に対応できる性能を有すること。

保護材(ボルトスリーブ、ボルトカバー等)  
 ボルトにモルタルが付着しない構造となる物。

早強性高流動性無収縮モルタル

・早強無収縮モルタルとの違い  
 早強無収縮モルタルは、無収縮性や早強性は同等に近いが、流動性がなく、完全な充填ができないため、使用してはならない。

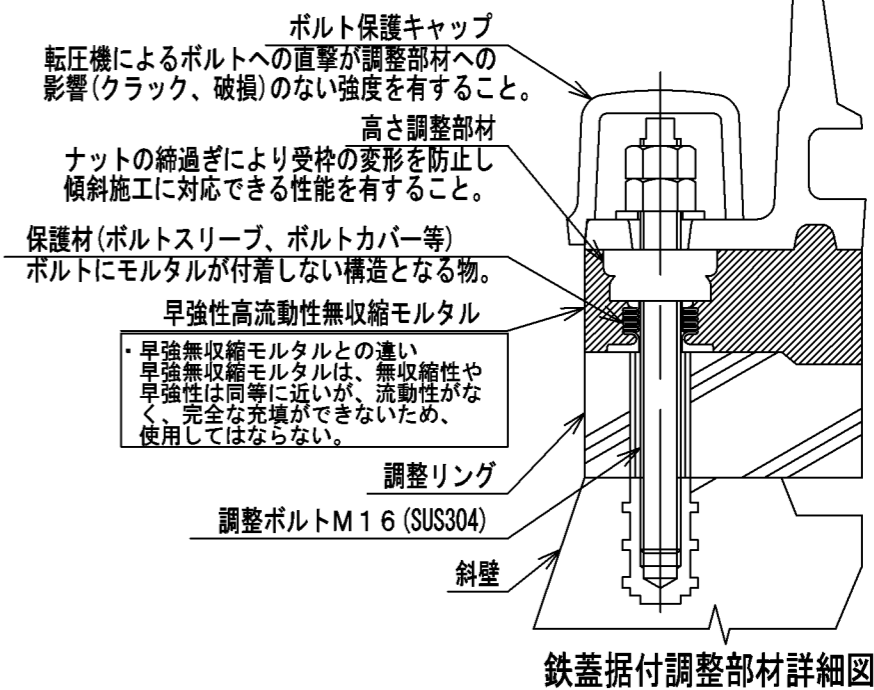
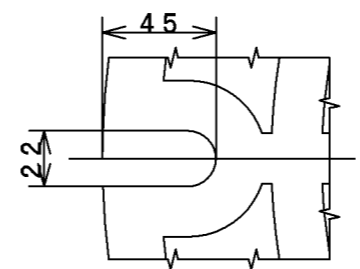
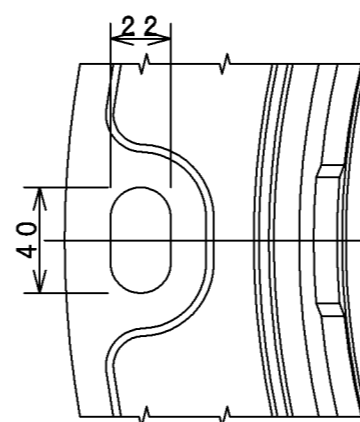
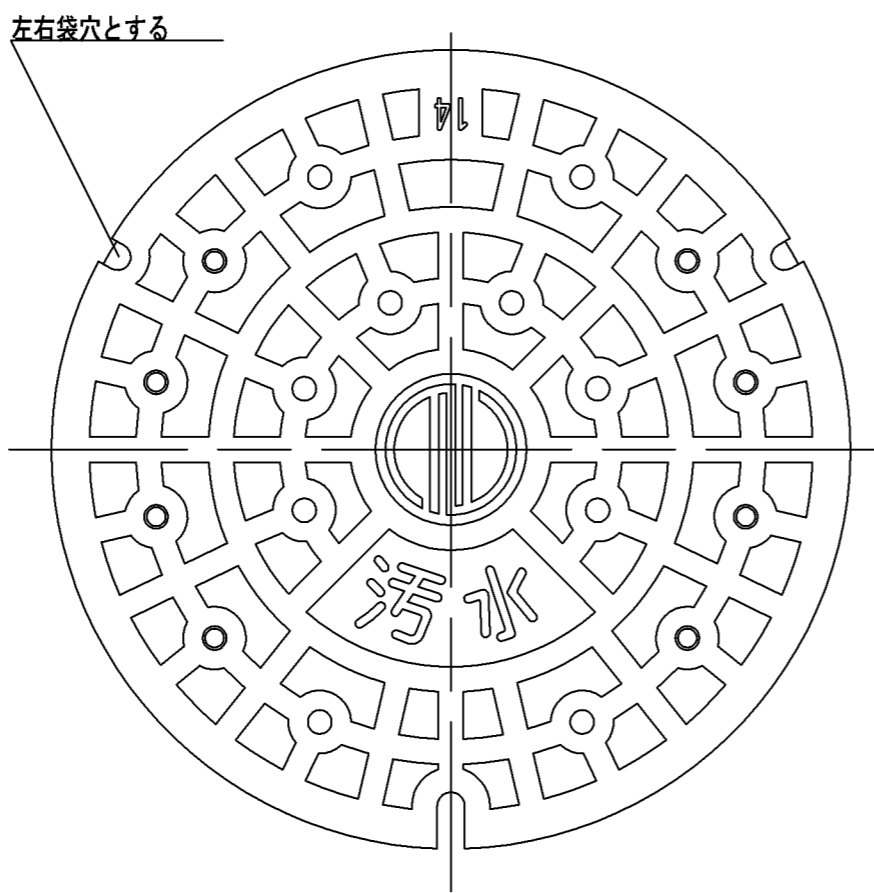
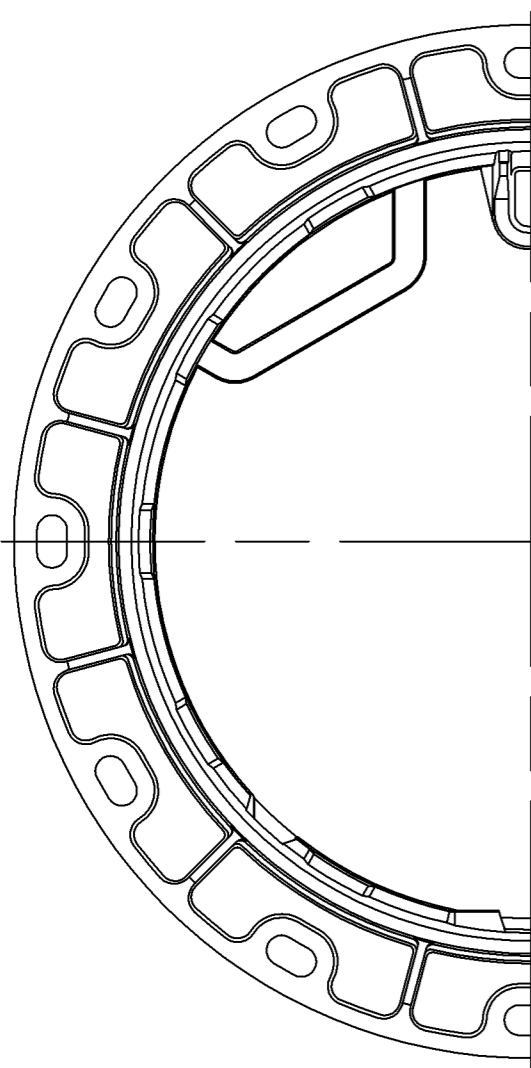
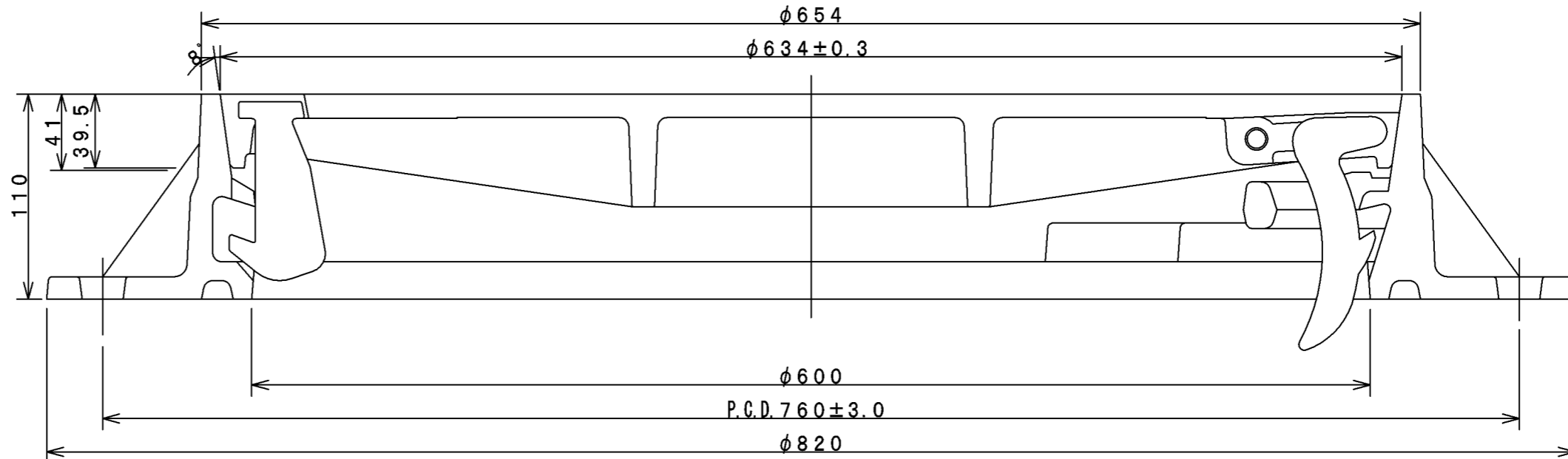
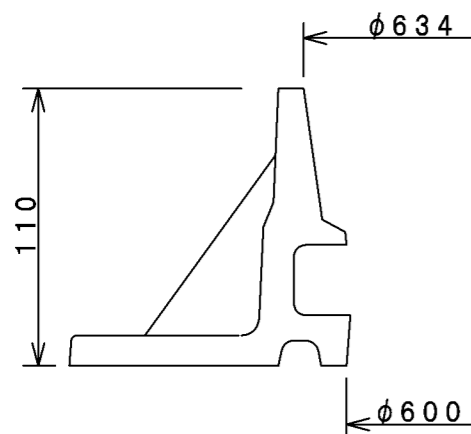
調整リング  
 調整ボルトM16 (SUS304)

・斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN (5t) 以上とする。  
 ・緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。  
 ・傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。  
 ・緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。  
 ・緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鑄鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

※本図は参考図であり、機能を表現したものである。  
 機能としては、本図と同等の機能とする。

仙台市建設局

マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図 (4) (口径60cm、T-14) 単位 mm

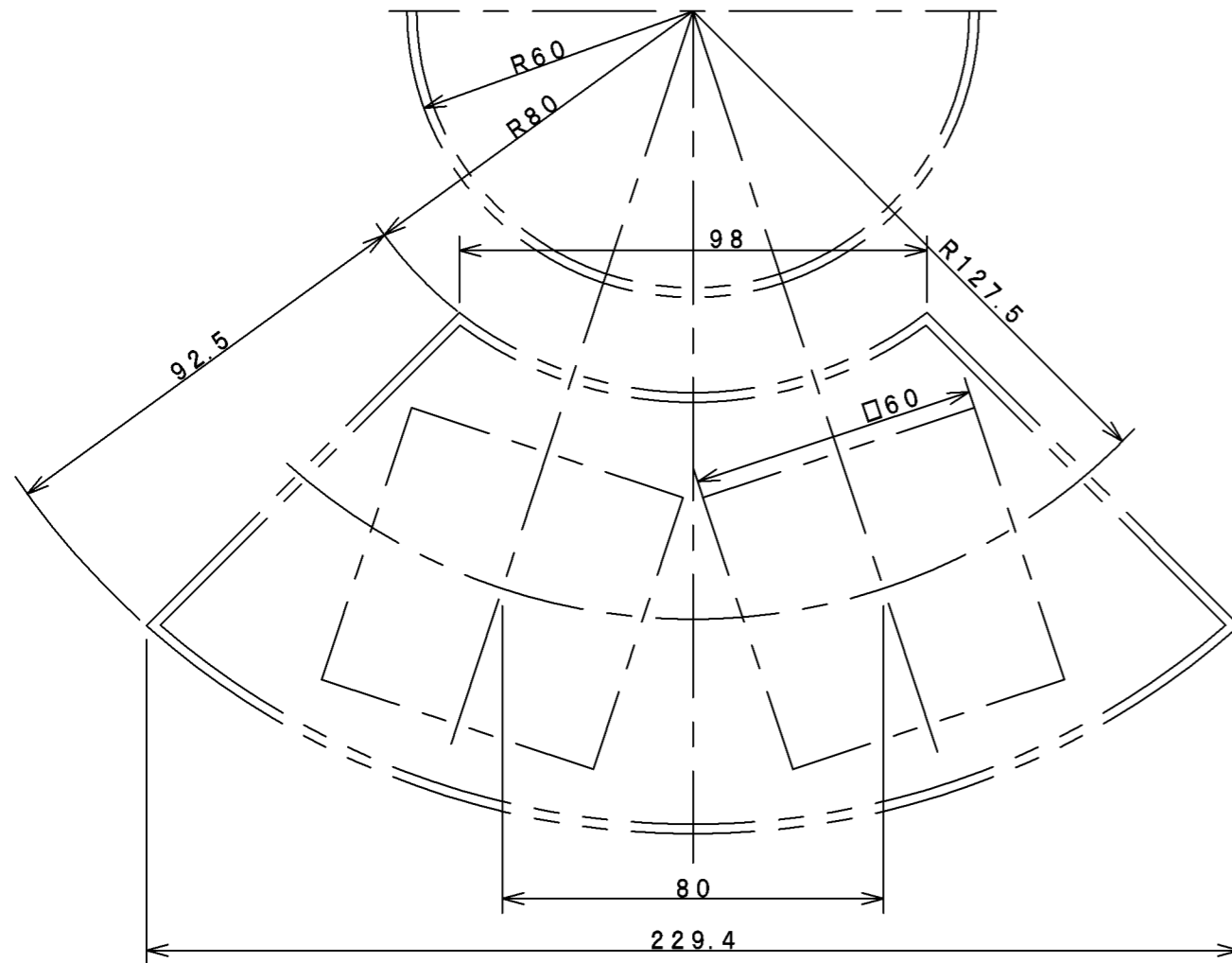


- ・斜壁の埋め込みインサートはブロック1個につき3箇所設置するものとし、1箇所当たりの耐力は50kN(5t)以上とする。
- ・緊結ボルトはM16、SUS304を標準とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは協議の上使用できる。
- ・傾斜設置する埋め込みインサートとボルトの嵌合長は10mm以上を確保すること。
- ・緊結ボルトは高さ調整用モルタルが付着しないように保護材等を使用し、施工すること。
- ・緊結ボルト頂部には、保護キャップを使用し、ボルトを保護すること。また、キャップの材質については、鋳鉄製のものを原則とするが、形状、機能、材質等に於いて同等以上のものは、協議の上使用できる。

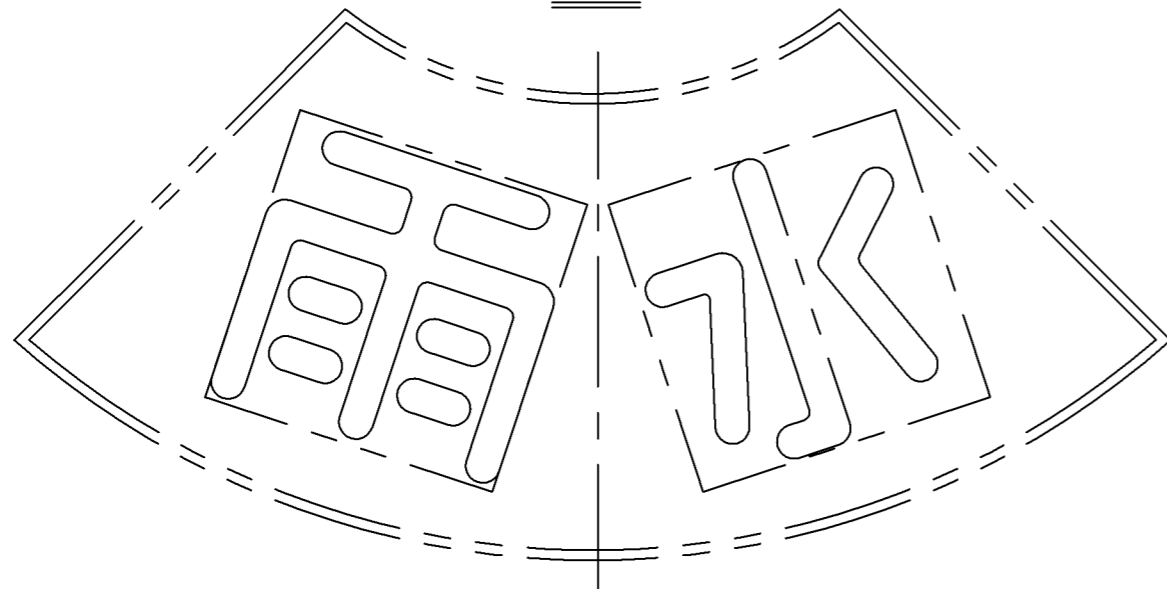
※本図は参考図であり、機能を表現したものである。機能としては、本図と同等の機能とする。

仙台市建設局

文字表示詳細図

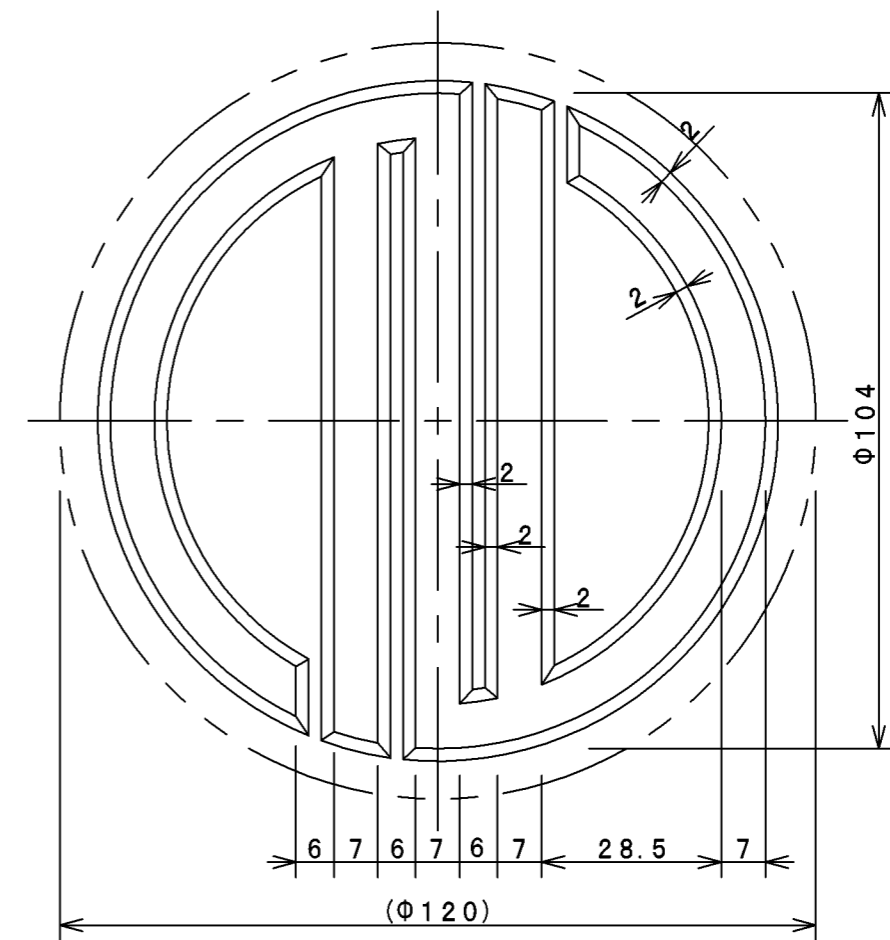


参考



マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図(5)

文字表示詳細図



・材料及び使用上の基準

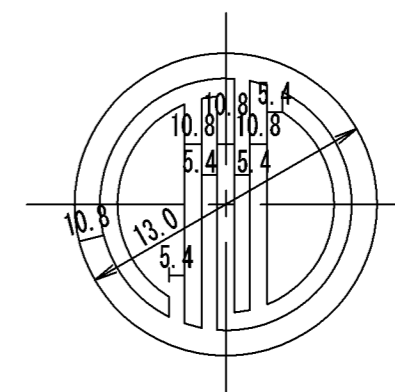
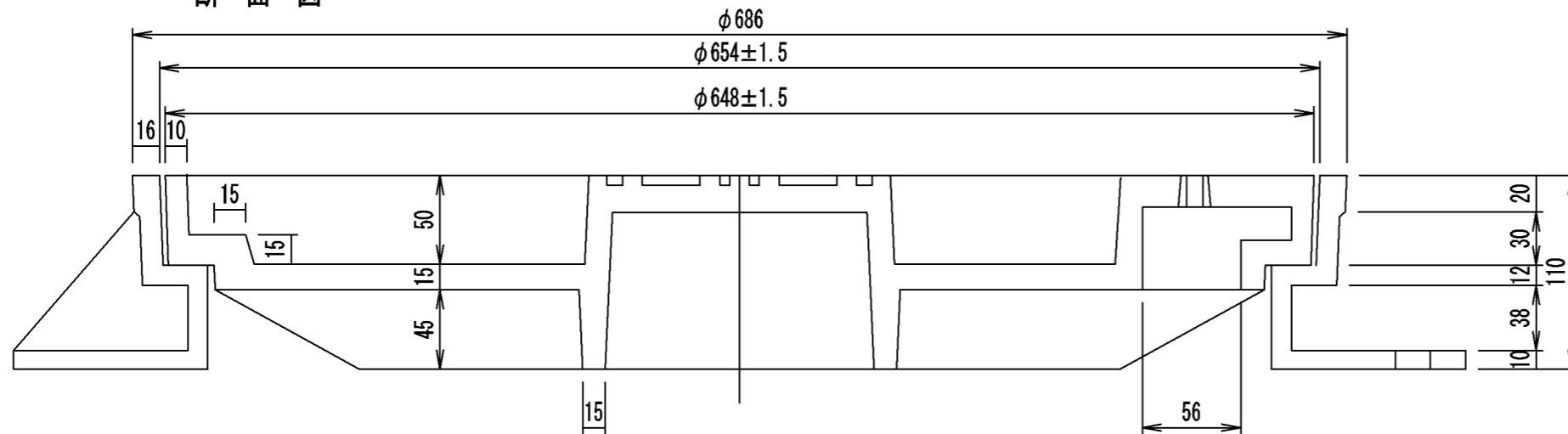
1. 材質 JIS G5502に規定する球状黒鉛鑄鉄品 (FCD) と同等以上とし、蓋は FCD700、受枠は FCD600の材質とする。
2. 構造・使用基準
  - ア) 蓋と受枠との接触面は機械加工とし、急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造でなければならない。
  - イ) 分流方式の場所に設置される蓋には「雨水」及び「汚水」文字の表示されたものを、合流方式の場所に設置される蓋にはこれら表示のないものを使用する。
  - ウ) 表示される「雨水」及び「汚水」文字は、丸ゴシックで表示し、6cm×6cmの角に納めるものとする。
  - エ) 汚水用の蓋はガス抜き孔を埋め、パール穴のみとする。雨水及び合流用蓋のガス抜き孔は、それぞれ8箇所とする。
  - オ) 塗装は、内外面を清掃した後、乾燥が速やかで、密着性に富み、防食性及び耐候性に優れた塗料で行わなければならない。
3. 表示
 

蓋の裏面に製造者名、製造年、材質の種類を表示しなければならない。  
(例 O×会社 (マークでも可), 2009, FCD700)

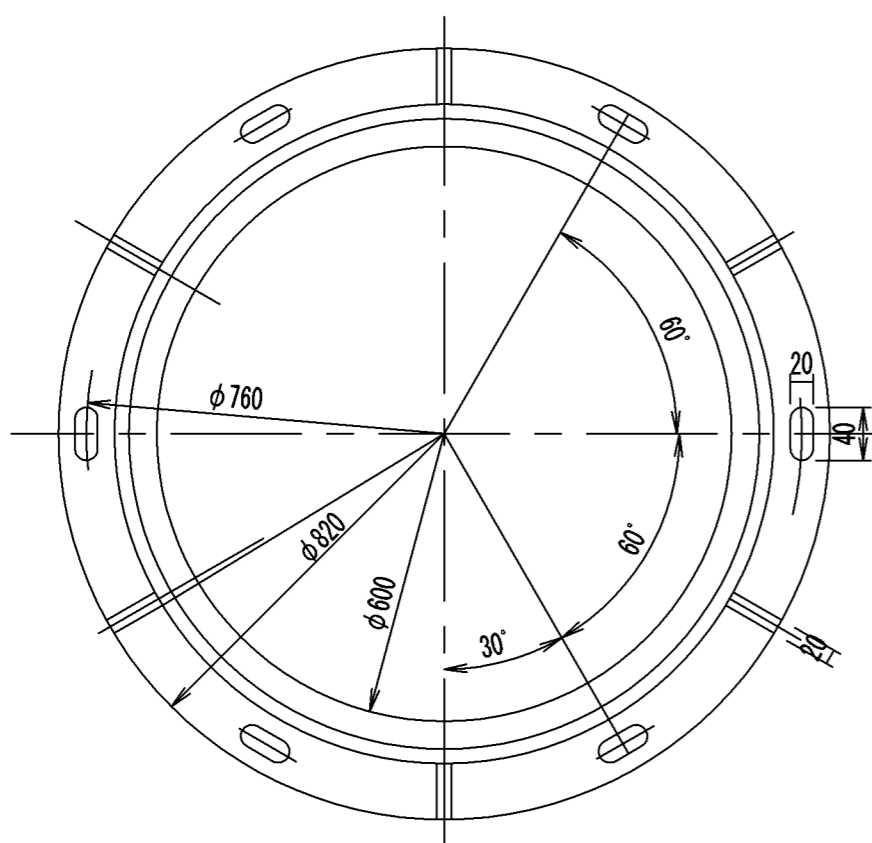
マンホール鉄蓋及び蓋受け金物構造図(6) (口径60cm、T-20、歩道用)

単位 mm

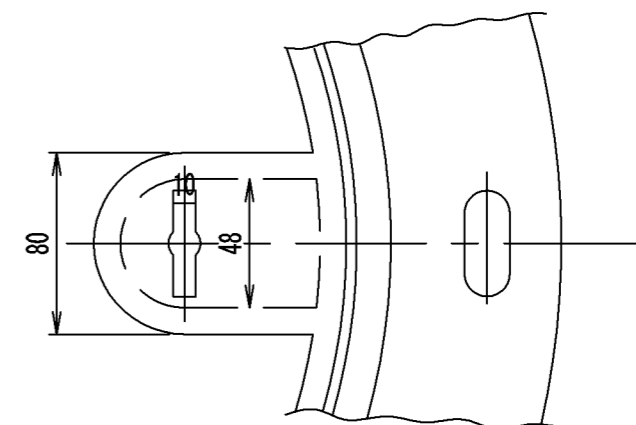
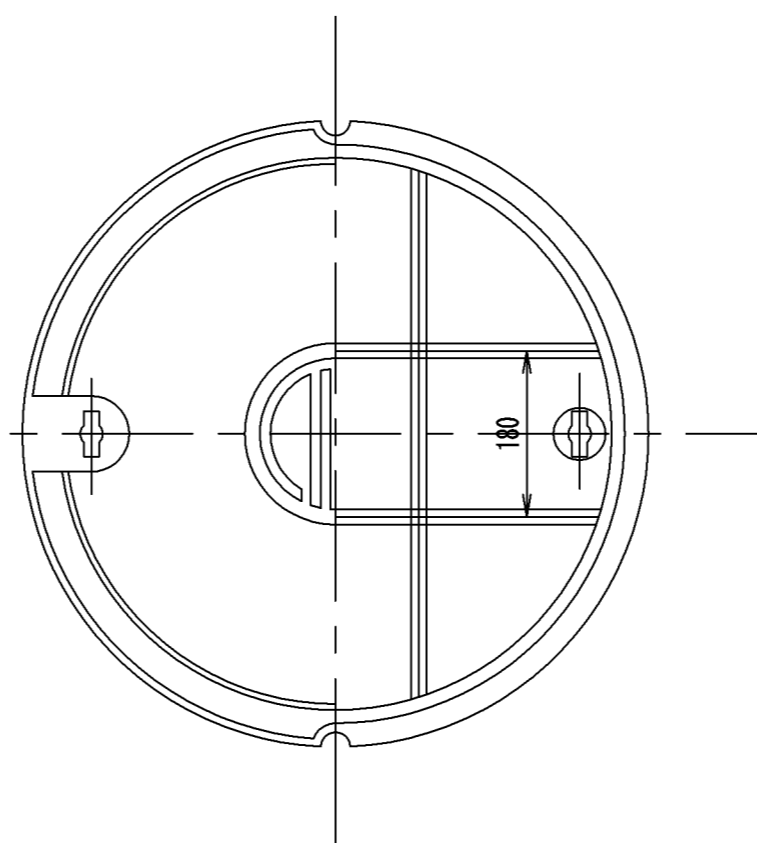
断面図



蓋受け平面図



平面図



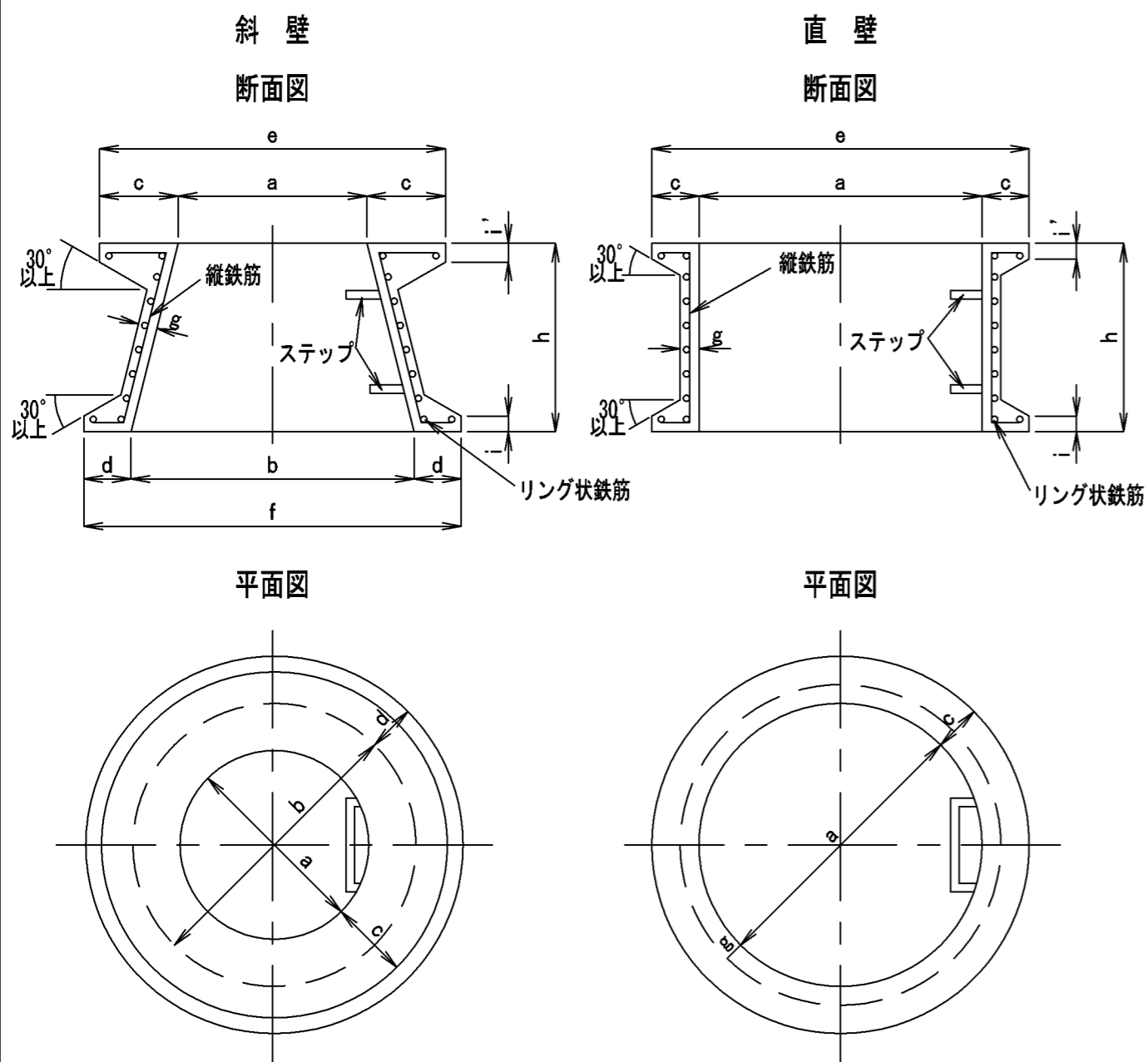
材料及び使用上の基準  
口径60cm、T-20、JIS形に準ずる。

詳細については、現場条件に応じて工事監督員と協議すること。

仙台市建設局



# マンホール側塊詳細図 (JIS A 5372)



【寸法・配筋・重量表】

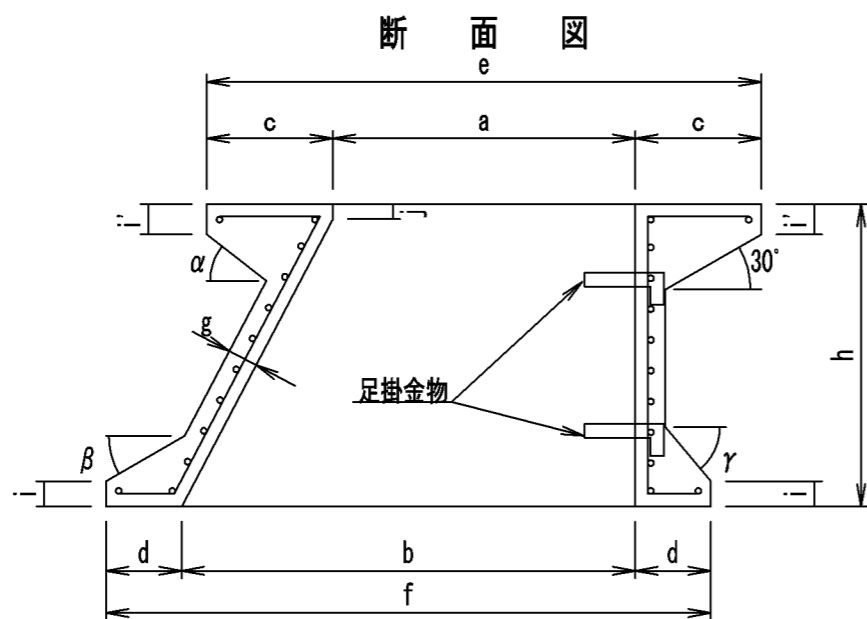
呼び	寸法 (mm)											配筋				
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	リング筋		縦鉄筋		
												径 (mm)	数量 (本)	径 (mm)	数量 (本)	
斜壁	600A	600	900	250	150	1,100	1,200	60	300	50	60	30	5.00	6	5.00	20
	600B	600	900	250	150	1,100	1,200	60	450	50	60	30	5.00	7	5.00	20
	600C	600	900	250	150	1,100	1,200	60	600	50	60	30	5.00	9	5.00	20
	600D	600	1,200	250	150	1,100	1,500	70	600	50	60	40	5.00	9	5.00	20
	900	900	1,200	150	150	1,200	1,500	70	600	50	50	-	5.00	9	5.00	28
直壁	1,200	1,200	1,500	150	150	1,500	1,800	80	600	50	50	-	5.00	9	5.00	36
	900A	900	-	150	-	1,200	-	60	300	50	50	-	5.00	6	5.00	20
	900B	900	-	150	-	1,200	-	60	600	50	50	-	5.00	9	5.00	20
	1,200A	1,200	-	150	-	1,500	-	70	300	50	50	-	5.00	6	5.00	28
	1,200B	1,200	-	150	-	1,500	-	70	600	50	50	-	5.00	9	5.00	28
1,500A	1,500	-	150	-	1,800	-	80	300	50	50	-	5.00	6	5.00	36	
1,500B	1,500	-	150	-	1,800	-	80	600	50	50	-	5.00	9	5.00	36	
許容差	±5	±5	±3	±3	±3	±5	±3	±3	±3	±3	±3					

名称・規格	参考市単コード
直壁 900A ワイドステップ付	ZN20160077
直壁 900A ワイドステップ付	ZN20160078

仙台市建設局

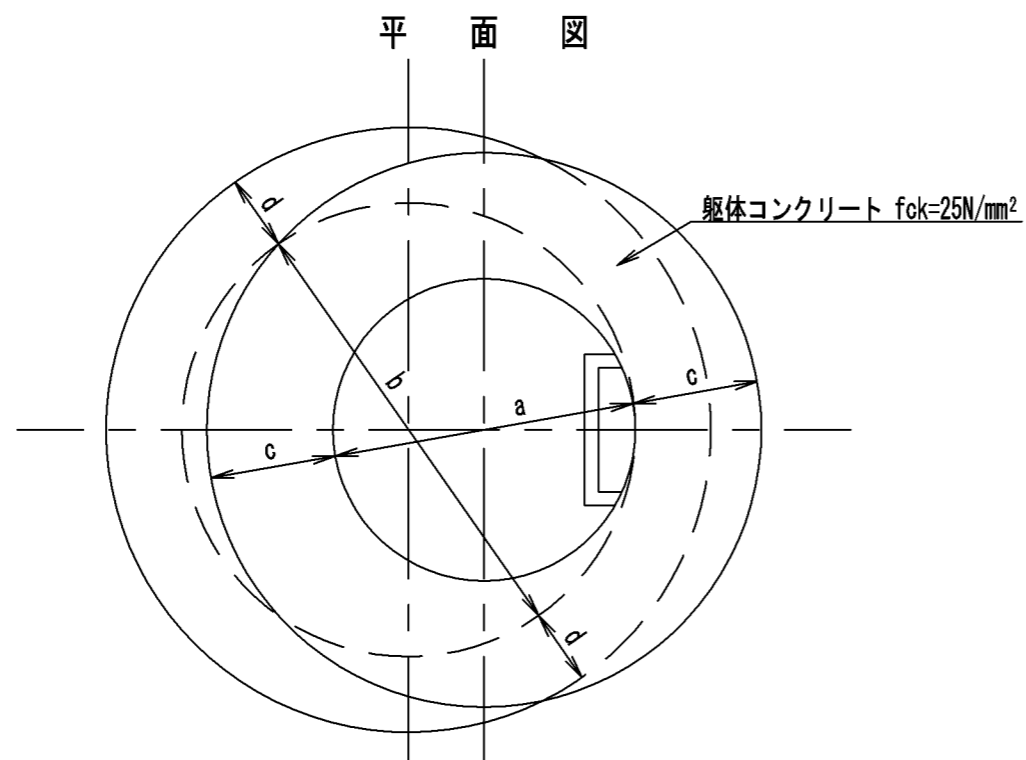
# マンホール側塊（片斜壁）詳細図

S=1/15



	寸法表 (mm)													
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	$\alpha$	$\beta$	$\gamma$
60 × 90 × 30	600	900	250	150	1,100	1,200	60	300	50	60	30	87.8°	16.8°	30°
60 × 90 × 60	600	900	250	150	1,100	1,200	60	600	50	60	30	38°	30°	50°
60 × 120 × 60	600	1,200	250	150	1,100	1,500	70	600	50	60	30	90°	20.9°	30°
許容差	±5	±5	±3	±3	±3	±5	±3	±3	±3	±3	±3			

名称・規格	参考市単コード
片斜壁 60×90×30 ワイドステップ付	ZN20160084
片斜壁 60×90×60 ワイドステップ付	ZN20160085



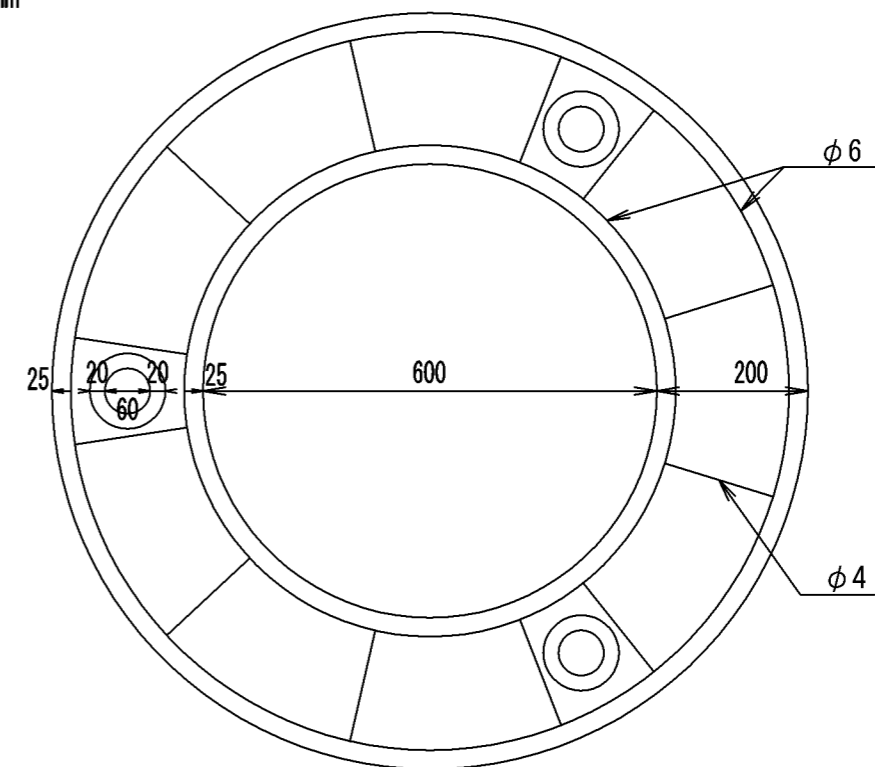
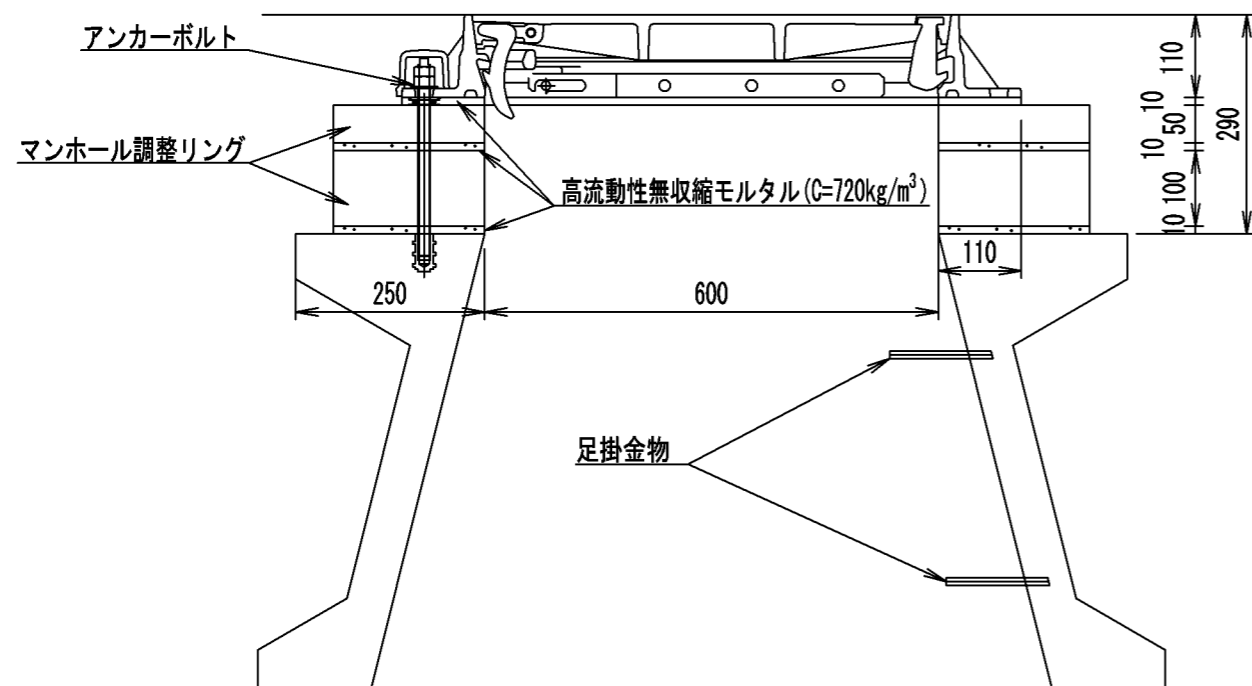
鉄筋数量表

	らせん鉄筋		縦鉄筋	
	径 (mm)	巻数	径 (mm)	数量 (本)
60 × 90 × 30	6	6	6	20
60 × 90 × 60	6	10	6	20
60 × 120 × 60	6	12	6	36

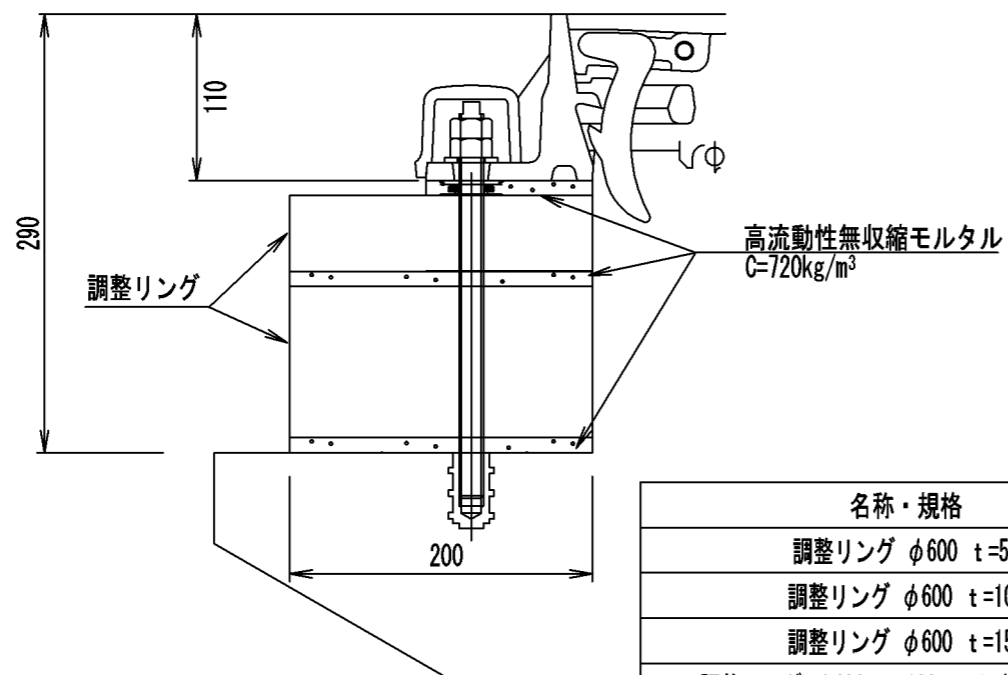
仙台市建設局

わく据付図（調整用リング付） S=1/10

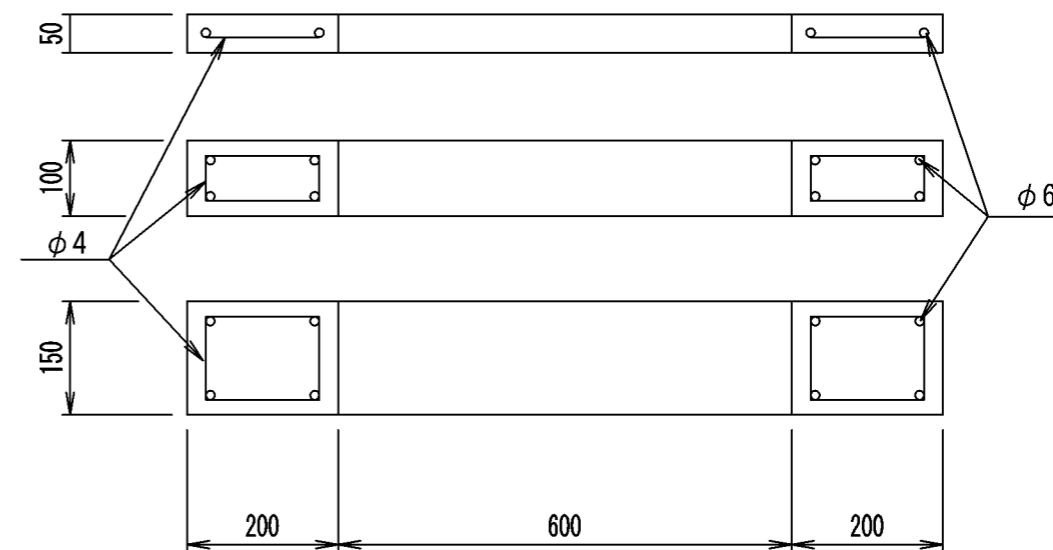
単位 mm



わく据付詳細図 S=1/5



名称・規格	参考市単コード
調整リング φ600 t=50	ZN05750010
調整リング φ600 t=100	ZN05750020
調整リング φ600 t=150	ZN05750030
調整リング φ600 t=100 ワイドステップ付	ZN20160088



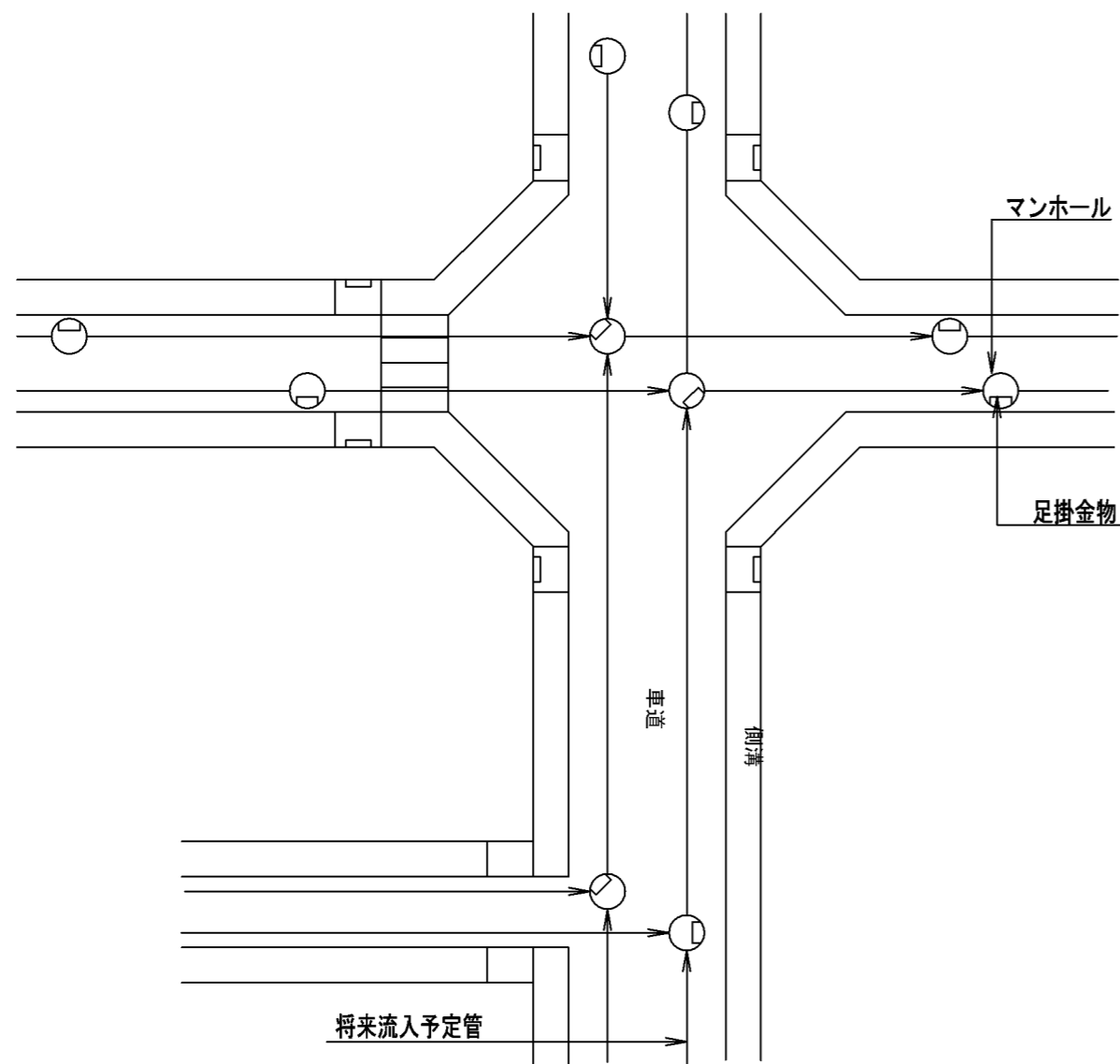
※調整高さが大きく、ステップ間隔が300以上となる場合は、ステップ付きの調整リングを設置すること。

仙台市建設局

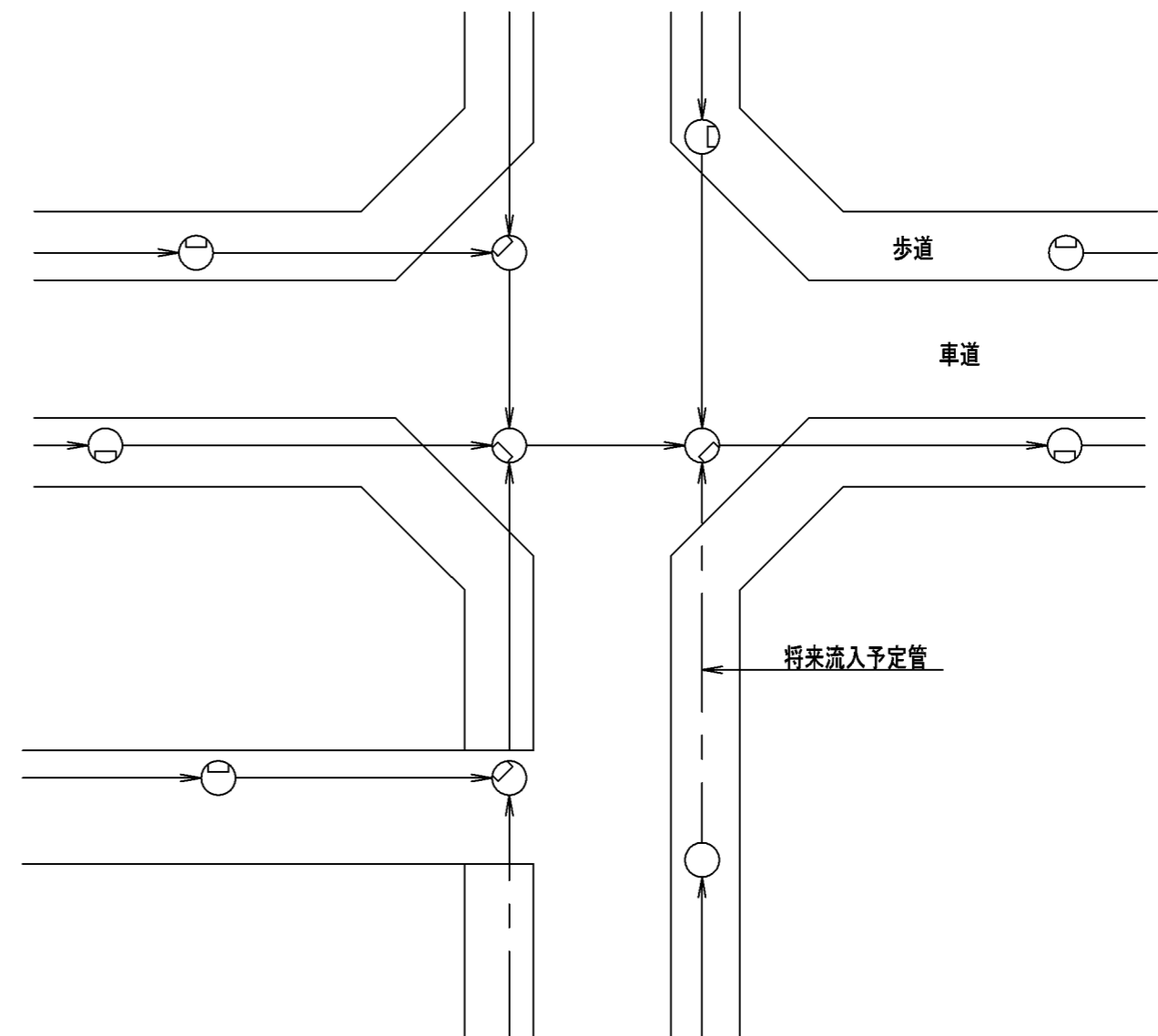
# 足掛金物設置位置標準図

○ 足掛金物の設置位置は、本図を標準とするが、将来流入予定管(計画管)、副管の位置、現場状況等を考慮し決定するものとする。

足掛金物設置図(1)

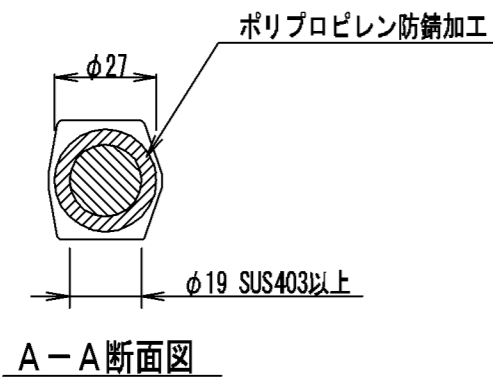
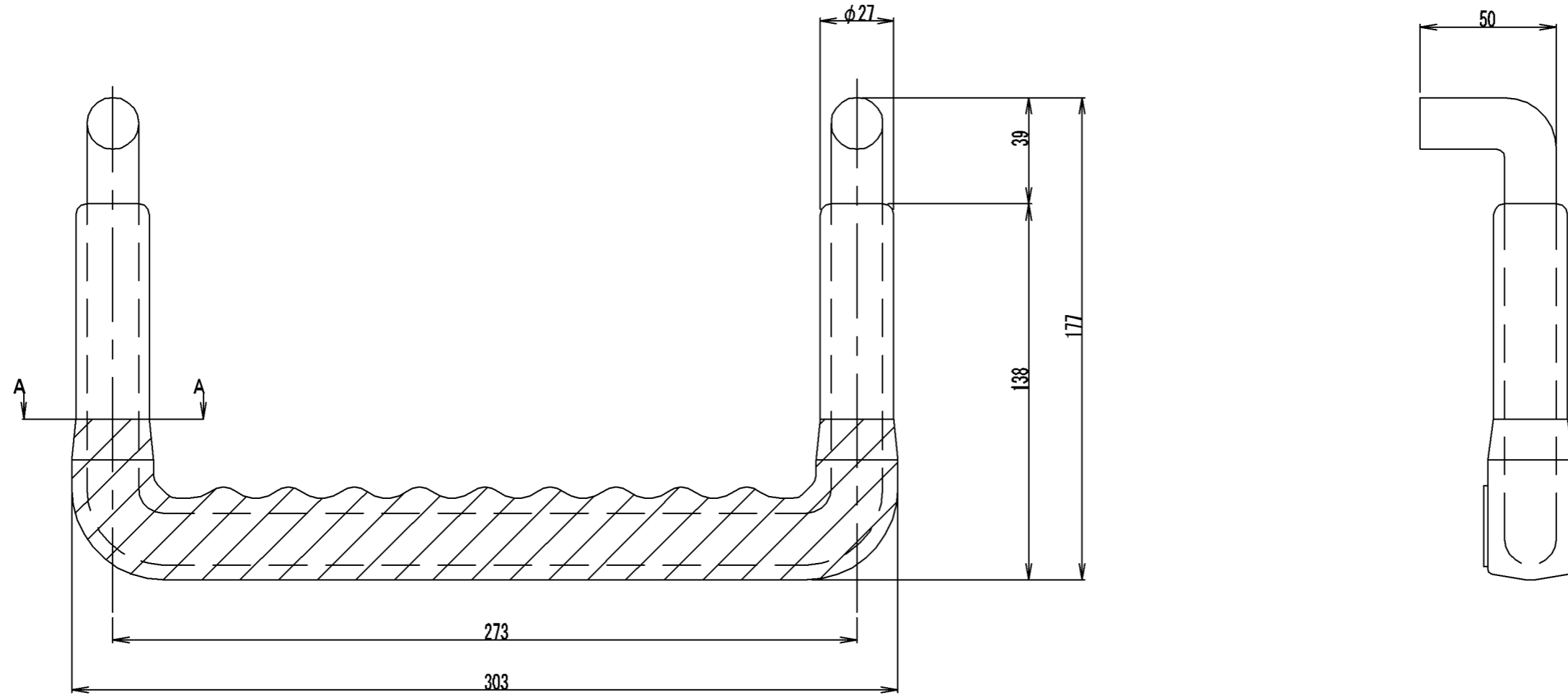


足掛金物設置図(2)



マンホール側塊用足掛金物詳細図

単位 mm



名称・規格	参考市単コード
マンホール側塊用	ZN20220051

- 注1. すべり止めは両面加工とする。  
 2. 防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変更することができる。  
 3. 足掛の端部に反射板を設置することができる。  
 4. 安全上支障のない構造であれば、コンクリート内埋め込み部の形状、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。  
 5. 材質については、SUS403又はこれと同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

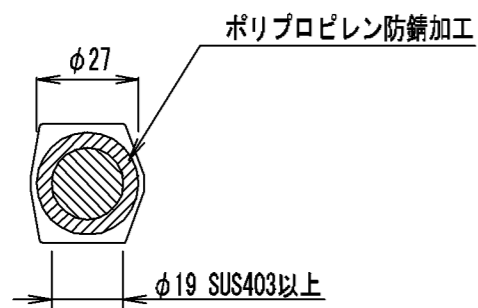
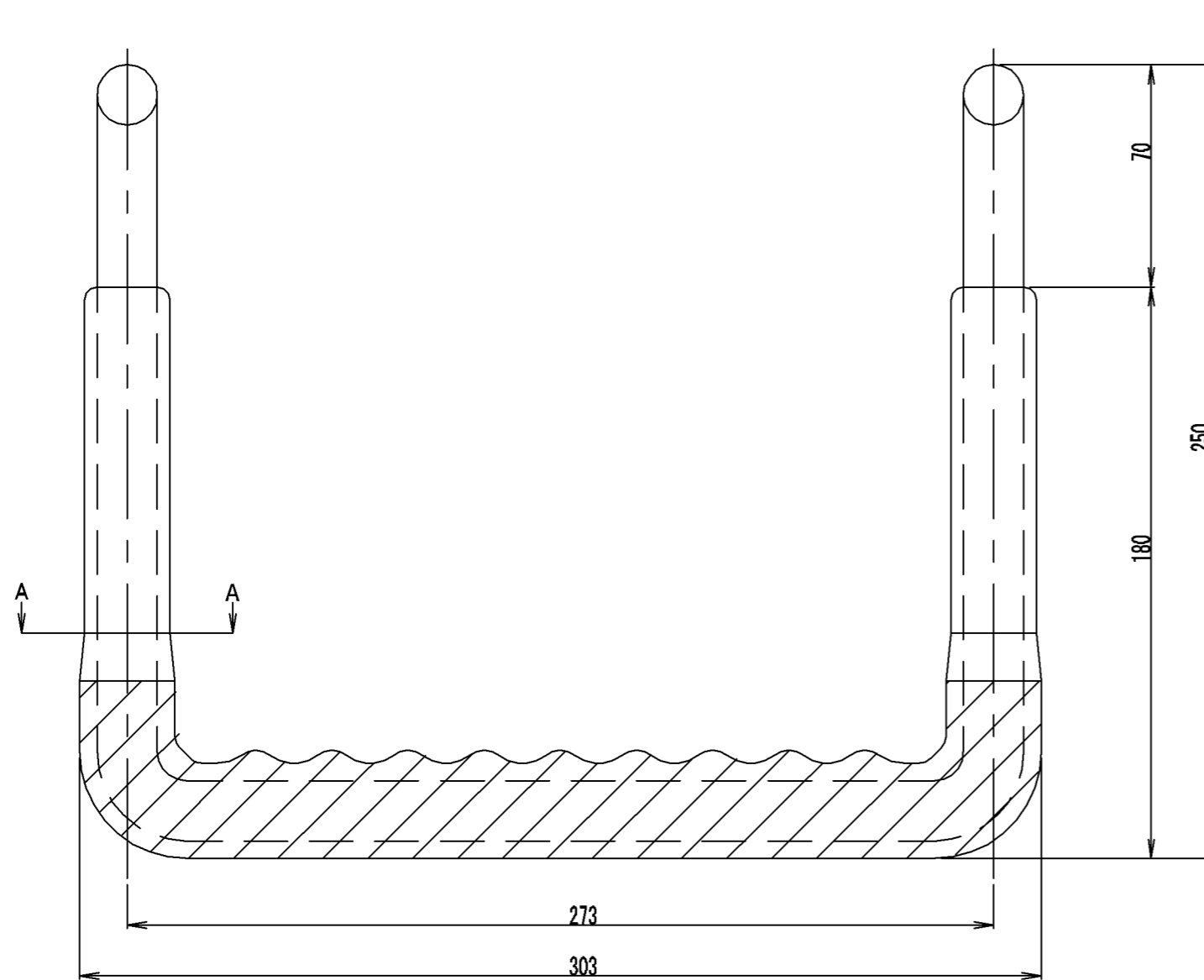
埋込(後で施工する場合)

- (1) 止水性には十分注意すること。  
 (2) 穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。  
 (3) 外壁小口の破損部は、まずシーリング材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

仙台市建設局

マンホール現場打ち用足掛金物詳細図

単位 mm



A-A断面図

名称・規格	参考市単コード
マンホール現場打ち用	ZN20220052

- 注1. すべり止めは両面加工とする。  
 2. 防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変えることができる。  
 3. 足掛の端部に反射板を設置することができる。  
 4. 材質については、SUS403又はこれと同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

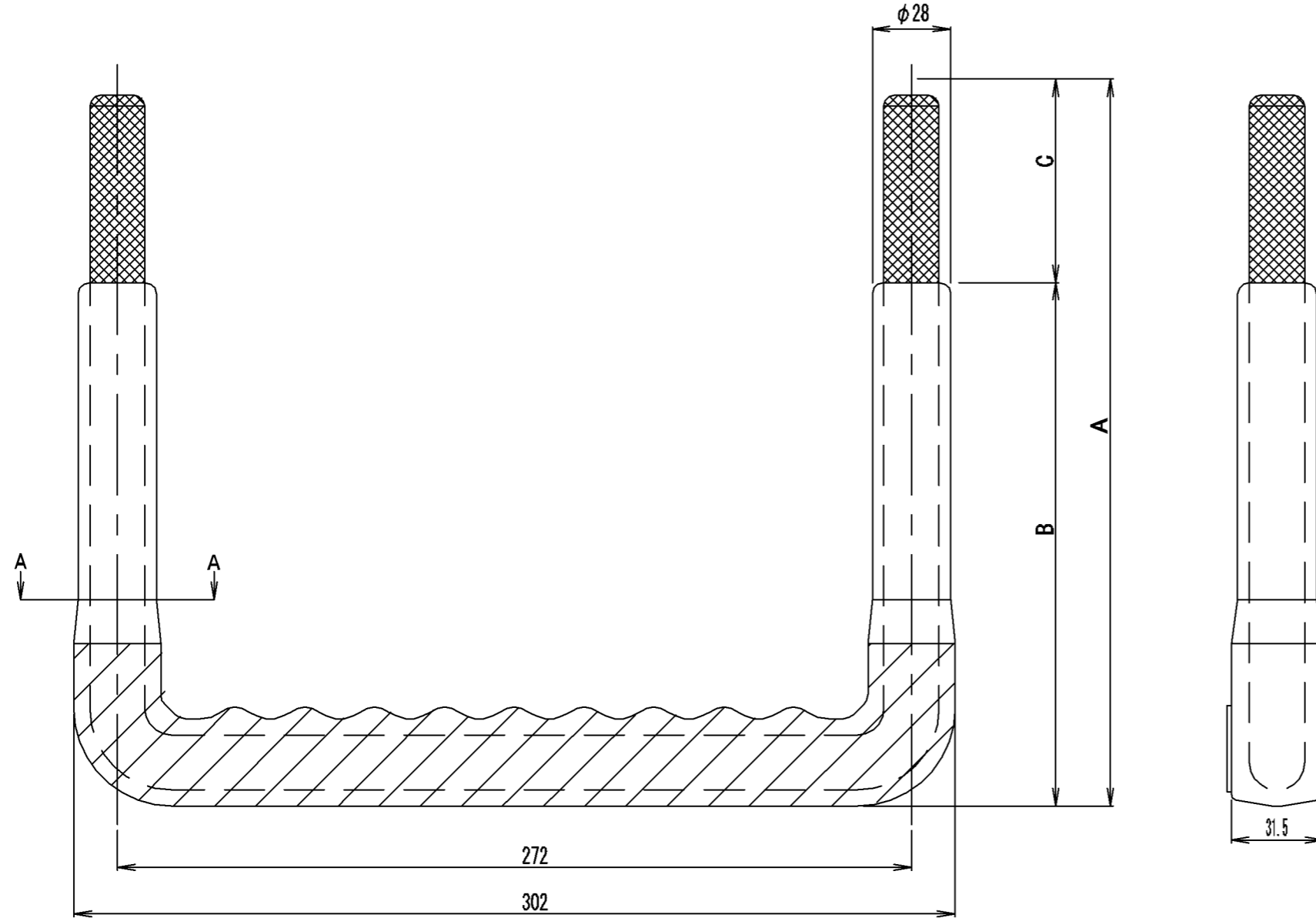
埋込(後で施工する場合)

- (1) 止水性には十分注意すること。  
 (2) 穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。  
 (3) 外壁小口の破損部は、まずシール材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

仙台市建設局

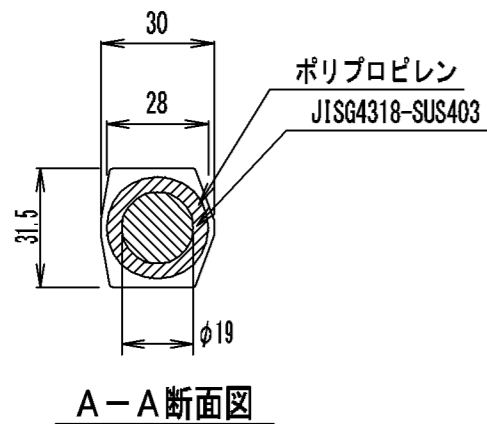
# マンホール用後付け足掛金物詳細図

単位 mm



	側塊用	現場打用
A	170	250
B	135	180
C	35	70

	参考市単コード
側塊用接着材含	ZN20220049
現場打用接着材含	ZN20220050



- 注 1. すべり止めは両面加工とする。  
 2. コンクリート内埋め込み部は、切り込み等の抜け出し防止形状とする。  
 3. 防錆被覆のデザインは作業に支障とならない範囲で変えることができる。  
 4. 足掛の端部に反射板を設置することができる。  
 5. 安全上支障のない構造であれば、コンクリート内埋め込み部の形状、寸法が多少異なっても協議の上使用することができる。  
 6. 防食性については、SUS403又はこれと同等以上と認められるものであれば、使用することができる。なお、取付方法がエポキシ樹脂系接着剤により行われ、その被膜厚が均一に管理することができる場合は、SUS403以外の材料であっても、SUS403と同等以上の防食性があると判断してよい。  
 7. 取付方法については、止水性及び接着強度等がエポキシ系接着剤と同等以上と認められるものであれば、使用することができる。

## 施工について

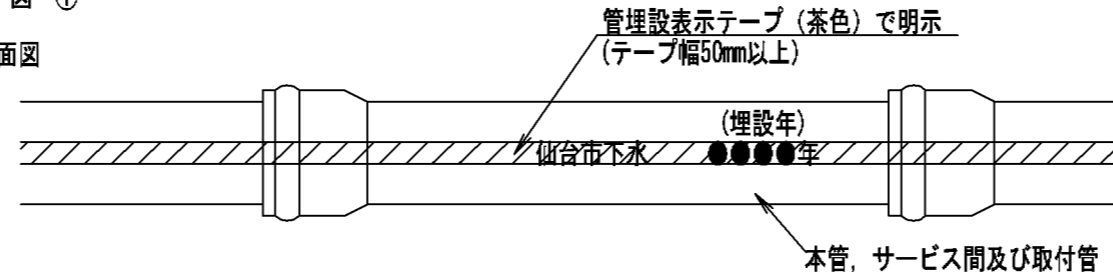
- (1) 止水性には十分注意すること。
- (2) 穴あけは、必ずドリルを使用し、あけ過ぎに注意すること。
- (3) 外壁小口の破損部は、まずシーリング材を巻詰してから、セメントモルタルで補修し、パッキンを取りつけること。

仙台市建設局

# 埋設表示テープ標準図

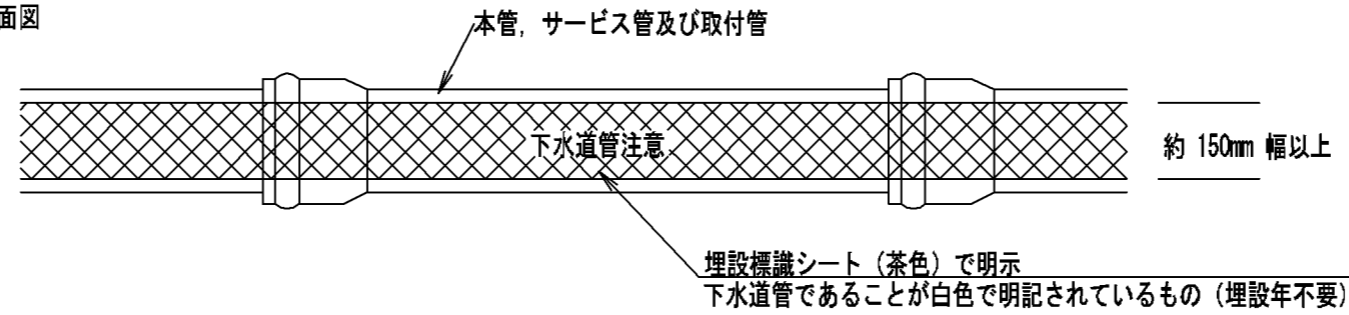
記入例 図一①

○平面図

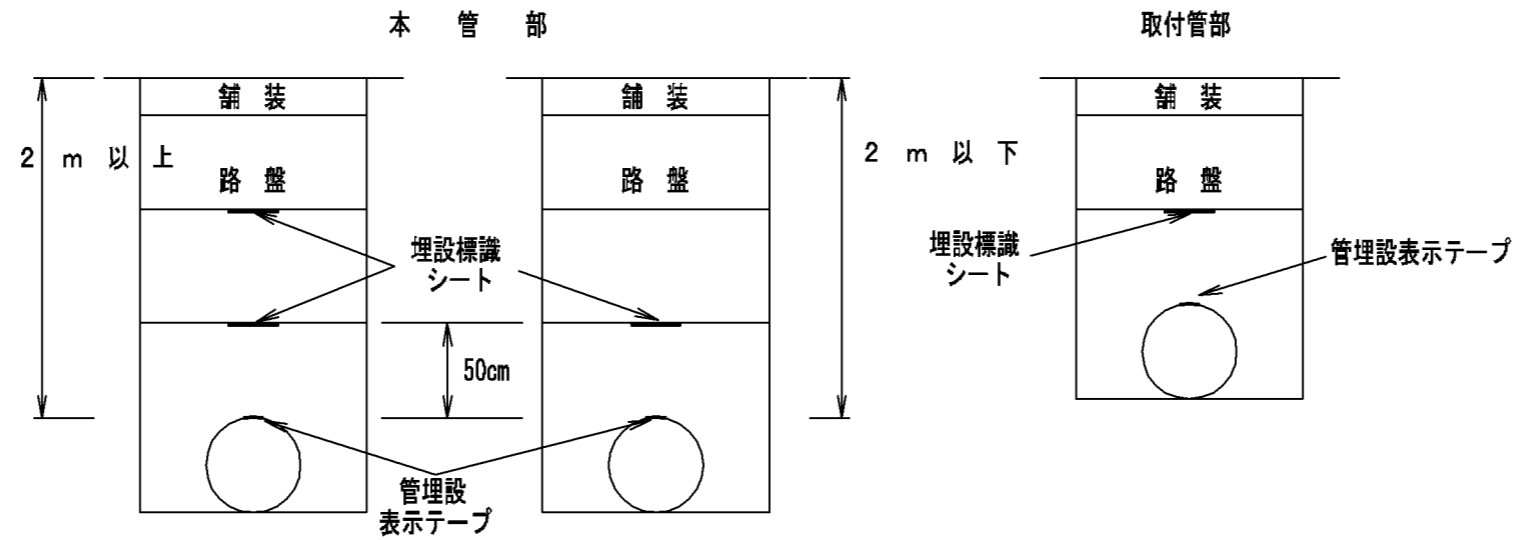


設置例 図一②

○平面図



○断面図



名称・規格	参考市単コード
埋設表示テープ 50mm×20m	ZN20220044
埋設標識シート 150mm×50m 2倍	V001538002

仙台市建設局

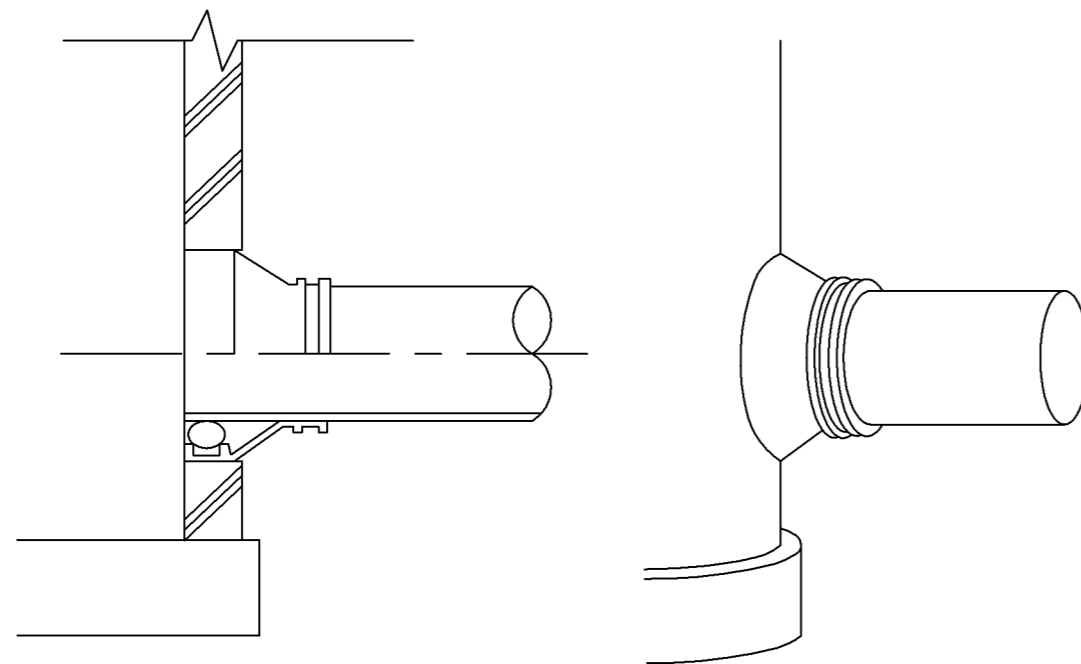


## マンホール可とう継手

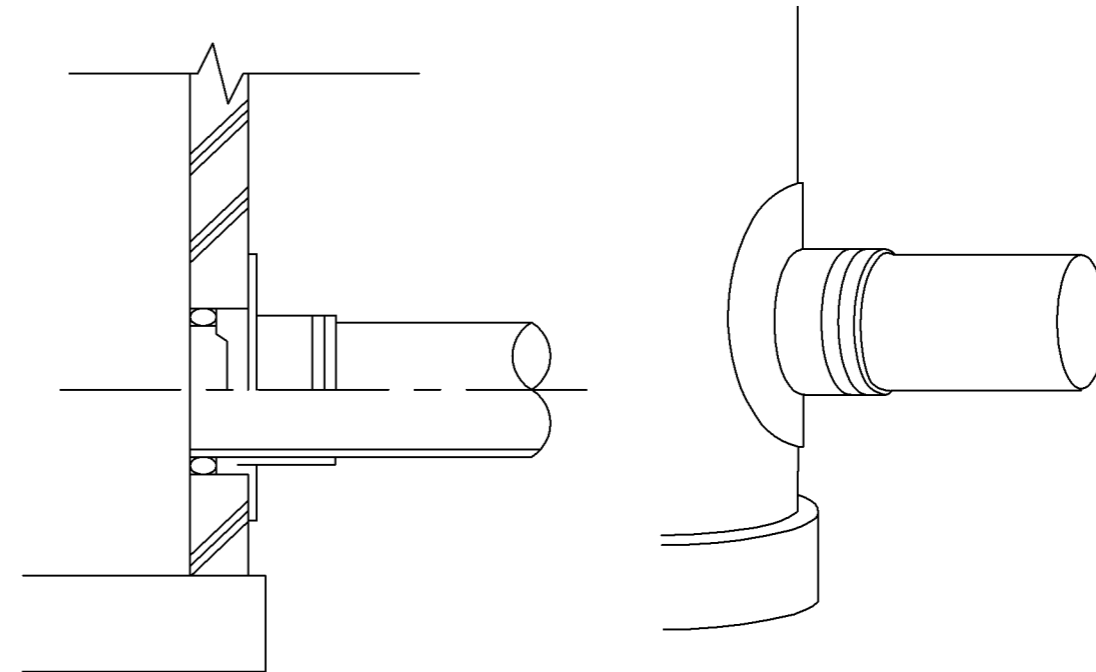
1. 拡張バンド型
2. 貼り付け型

- 注1. 可とう性継手は、拡張バンド型を標準とする。
2. 既設マンホールの場合で、削孔機の設置が困難等の現場条件においては貼り付け型を用いる。
  3. 口径・管種・マンホール種別を確認し、使用が可能か確認のうえ搬入すること。

拡張バンド型



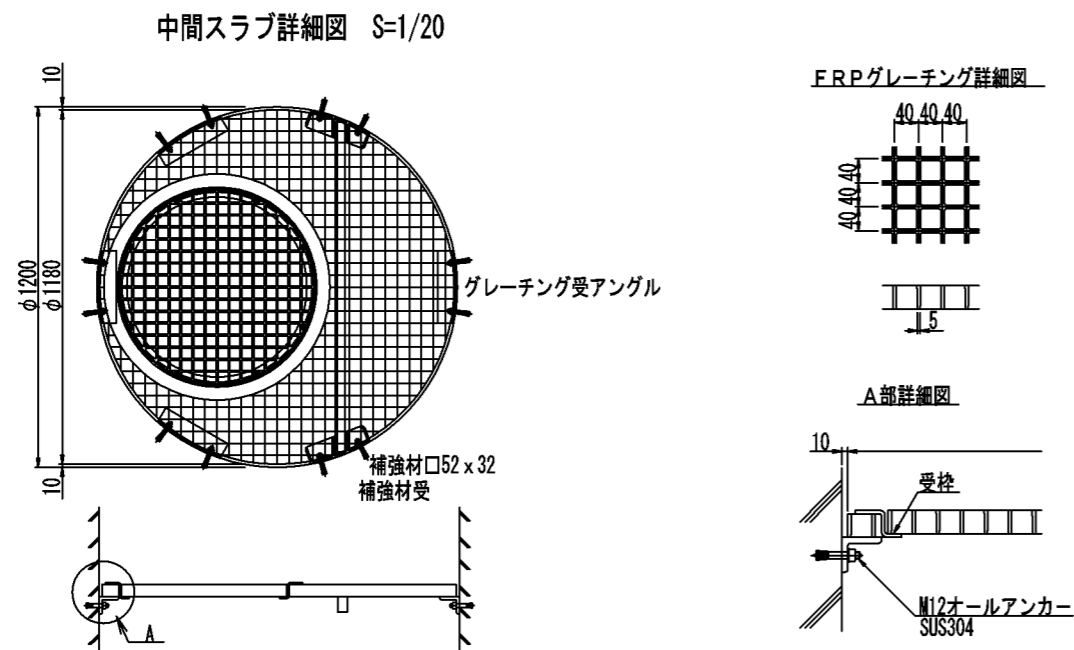
貼り付け型



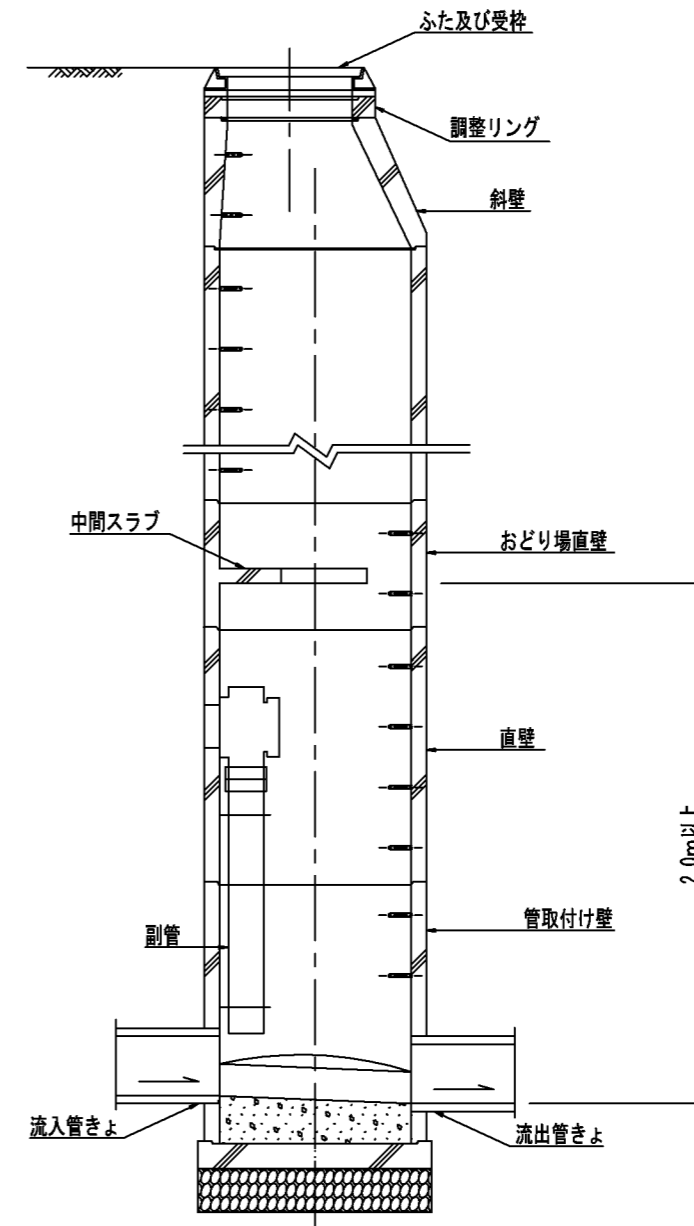
規 格	参考市単コード	
	拡張バンド型	貼り付け型
本管 塩ビ(リブ)管 本管150mm	ZN20220008	ZN20220014
本管 塩ビ(リブ)管 本管200mm	ZN20220009	ZN20220015
本管 塩ビ(リブ)管 本管250mm	ZN20220010	ZN20220016
本管 塩ビ(リブ)管 本管300mm	ZN20220011	ZN20220017
本管 塩ビ(リブ)管 本管350mm	ZN20220012	ZN20220018
本管 塩ビ(リブ)管 本管400mm	ZN20220013	-

中間スラブ付組立マンホール図 (参考図)  
単位: mm

踊り場直壁構造図



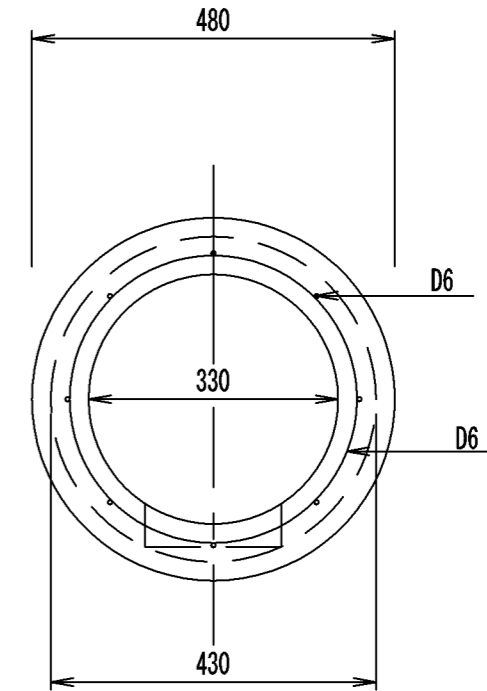
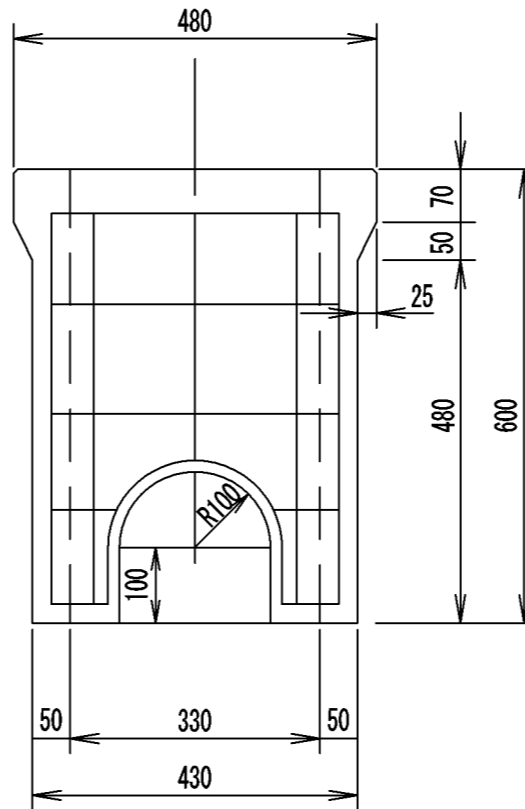
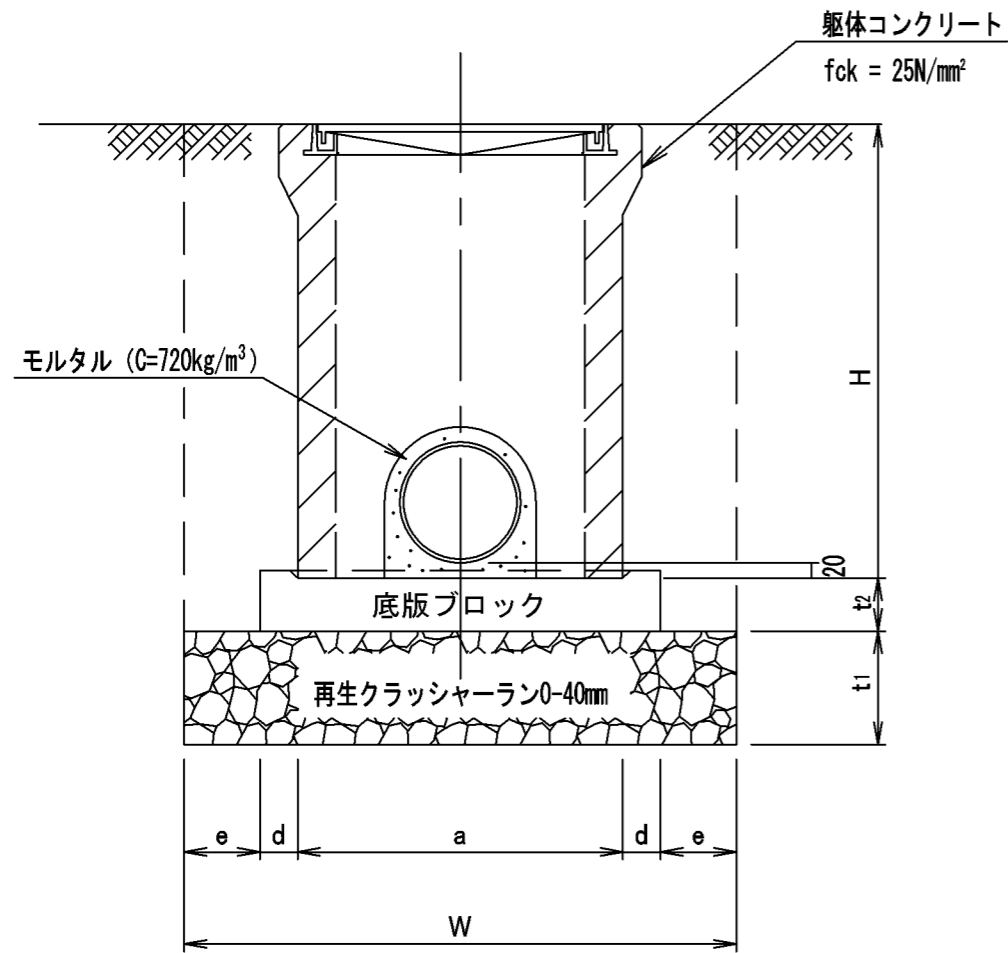
名称・規格	参考市単コード
中間スラブ (FRP製) φ900 - 600 埋込式	ZN05830010
中間スラブ (FRP製) φ1200 - 600 埋込式	ZN05830020
中間スラブ (FRP製) φ1500 - 600 埋込式	ZN05830030
中間スラブ (FRP製) φ1800 - 600 埋込式	ZN05830040
中間スラブ (FRP製) φ900 - 600 据付式	ZN05830050
中間スラブ (FRP製) φ1200 - 600 据付式	ZN05830060
中間スラブ (FRP製) φ1500 - 600 据付式	ZN05830070
中間スラブ (FRP製) φ1800 - 600 据付式	ZN05830080



※中間スラブは、4.0m以内に設けること。

公共汚水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図  
φ330型

単位 mm



注) 底版部と最下段ブロックの接合部は、接合材またはモルタル等で止水を行うこと。

ますの設置基準と各部寸法

深さ (cm) H	内径または内のり幅	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	d	e	a	W
30 以上 60 未満	330	150	70	50	100	430	730
60 以上 90 未満	400	150	70	50	100	500	800
90 以上 120 未満	450	150	70	50	100	550	850
120 以上 150 未満	600	150	100	60	200	720	1,240
許 容 差	±5	—	±5	±5	±5	±5	±5

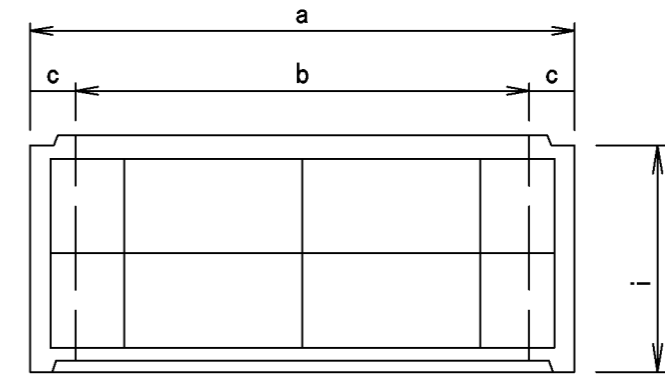
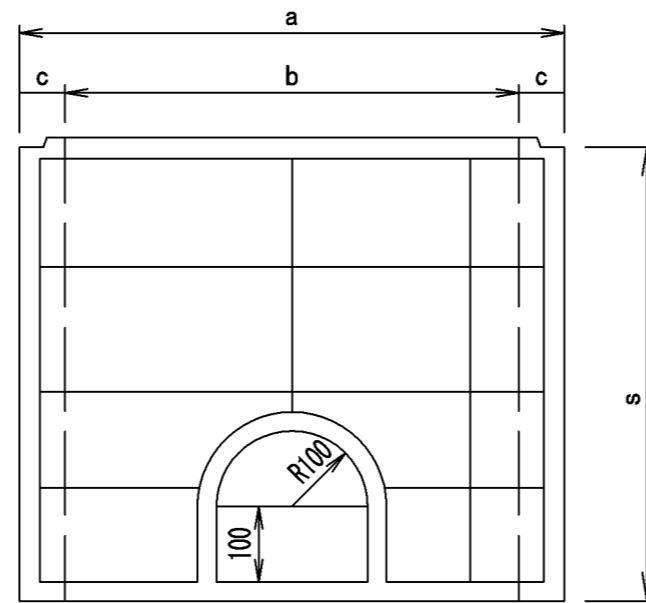
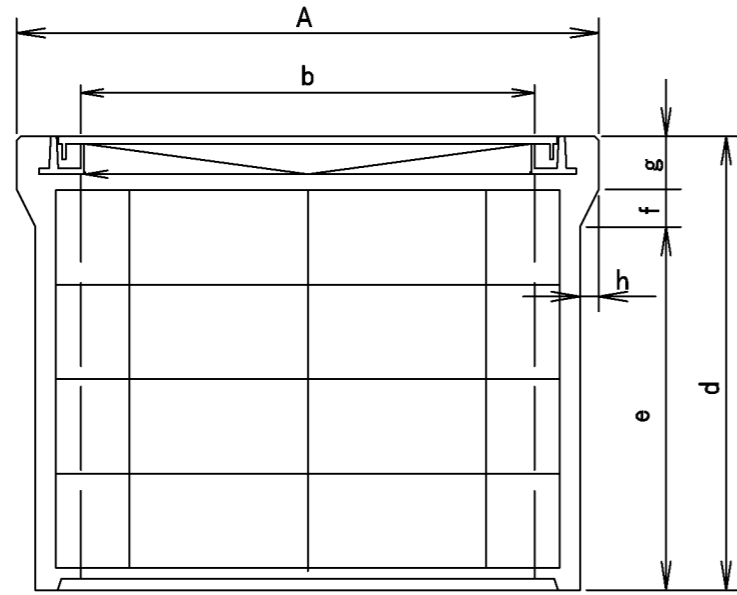
名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水枡ブロック φ330 × 600 (S-1蓋付)	ZN05780620
汚水・雨水枡ブロック φ330 × 600 (S-2蓋付)	ZN05780650
汚水・雨水枡用底版ブロック φ330用	ZN05780730

仙台市建設局

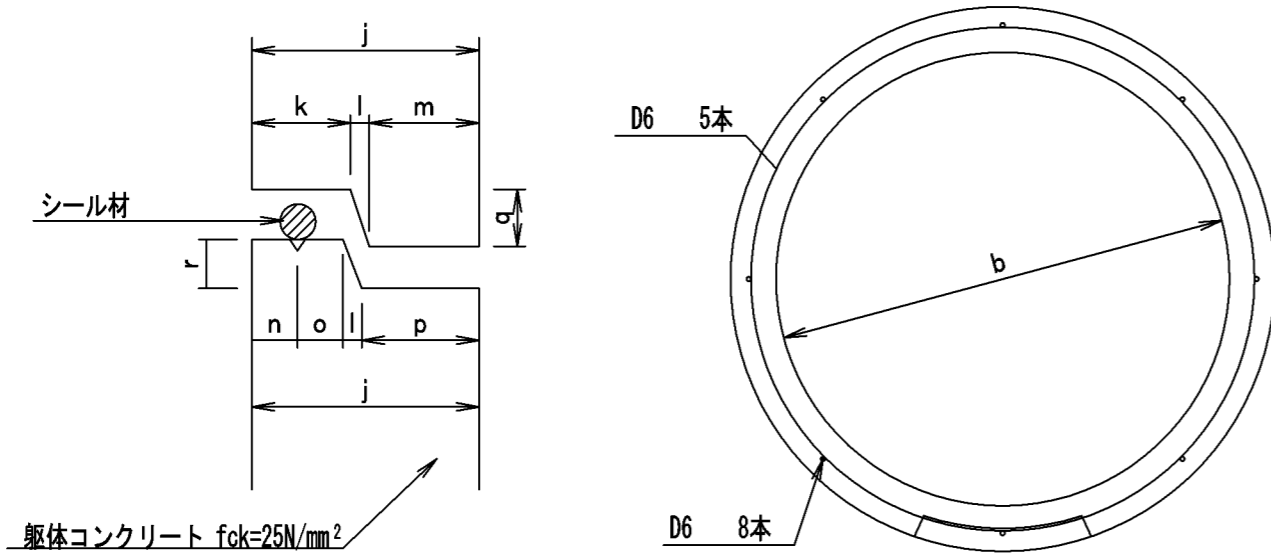
# 公共汚水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図

φ400～φ600型

単位 mm



## 継手詳細図



## 汚水ます寸法表

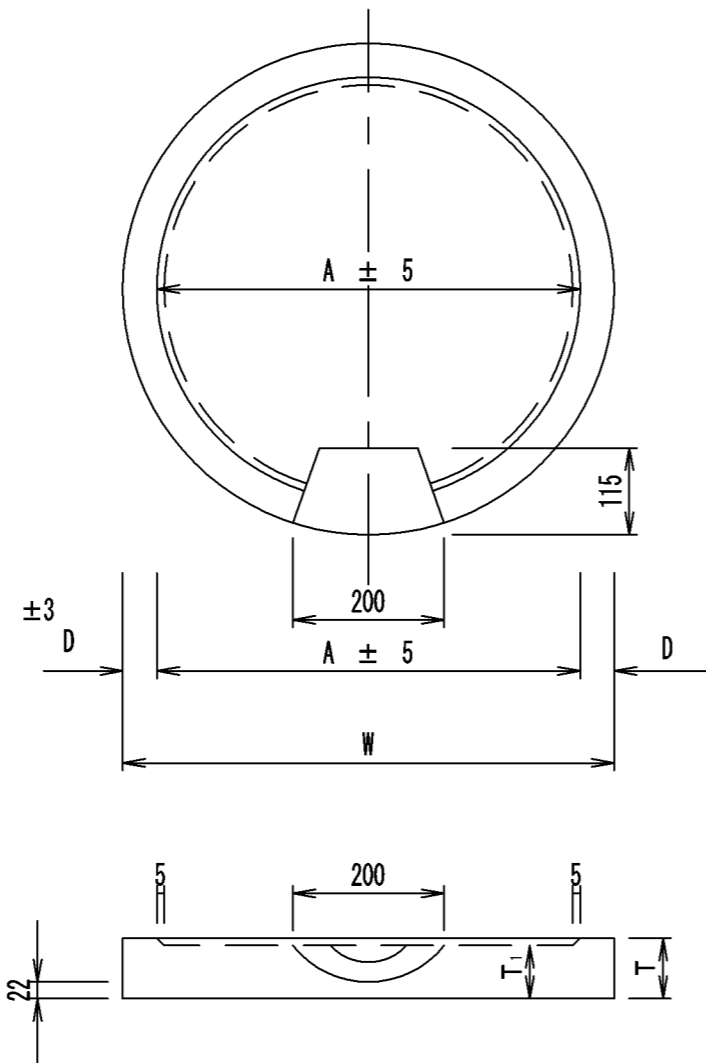
	A	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s
400 × 900	550	500	400	50	300	180	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
450 × 1,200	600	550	450	50	600	480	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
600 × 1,500	770	720	600	60	600	480	50	70	25	300	60	26	5	29	12	12	31	15	13	600
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±3	±5	±5	±5	±5	±5	±3	±3	±5	±5	±5	±5

名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透柵ブロック φ400 × 300上段 (S-1蓋付)	ZN05780630
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600上段 (S-1蓋付)	ZN05780640
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 600上段 (S-1蓋付)	ZN20160001
汚水・雨水・雨水浸透柵ブロック φ400 × 300上段 (S-2蓋付)	ZN05780660
汚水柵ブロック φ450 × 600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780670
汚水柵ブロック φ600 × 600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780680
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600上段 (S-2蓋付)	ZN05780690
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600下段	ZN05780700
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 300中段	ZN05780710
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 600下段	ZN05780720

仙台市建設局

# 公共汚水ます用底版ブロック構造図

単位 mm



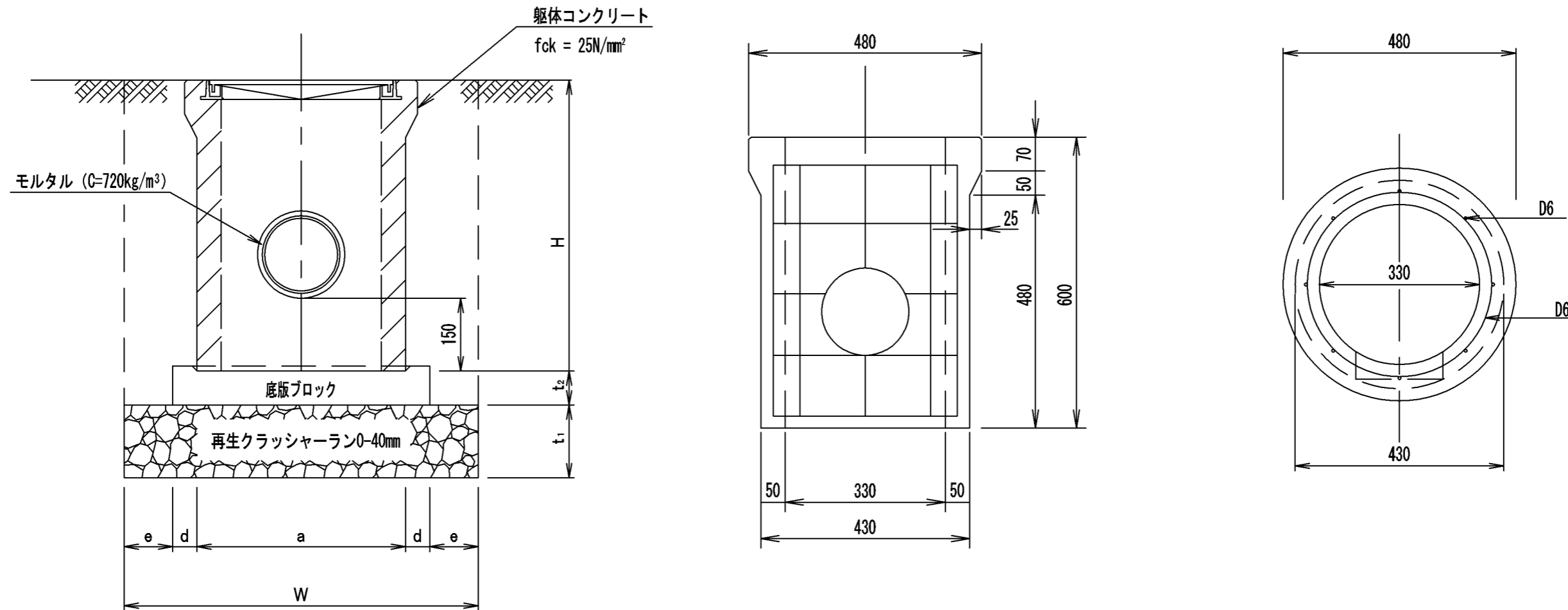
内 径	T	T <sub>1</sub>	D	A	W	参考市単コード
330	80	70	45	440	530	ZN05780730
400	80	70	45	510	600	ZN05780740
450	80	70	45	560	650	ZN05780750
600	110	100	55	730	840	ZN05780760
許容差	±5	±5	±3	±5	±5	

- 1 コンクリートの圧縮強度は、28N/mm<sup>2</sup> 以上とすること。
- 2 底版に用心鉄筋を使用してもよい。

仙台市建設局

# 公共雨水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図 φ330型

単位 mm



注) 底版部と最下段ブロックの接合部は、接合材またはモルタル等で止水を行うこと。

## ますの設置基準と各部寸法

深さ (cm)	H	内径または内のり幅	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	d	e	a	W
30 以上	60 未満	330	150	70	50	100	430	730
60 以上	90 未満	400	150	70	50	100	500	800
90 以上	120 未満	450	150	70	50	100	550	850
120 以上	150 未満	600	150	100	60	200	720	1,240
許容差		±5	-	±5	±3	-	±3	-

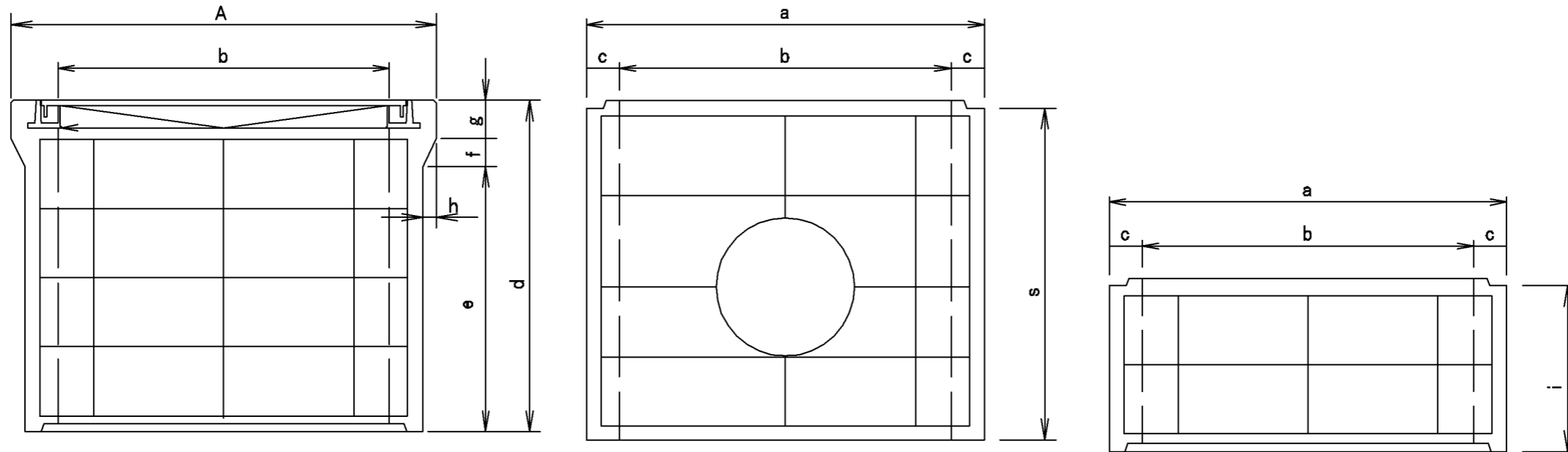
名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水樹ブロック φ330 × 600 (S-1蓋付)	ZN05780620
汚水・雨水樹ブロック φ330 × 600 (S-2蓋付)	ZN05780650
汚水・雨水樹用底版ブロック φ330用	ZN05780730

1 雨水ます蓋は、汚水ます蓋と同規格とし、「汚水専用」を「雨水専用」に表示すること。

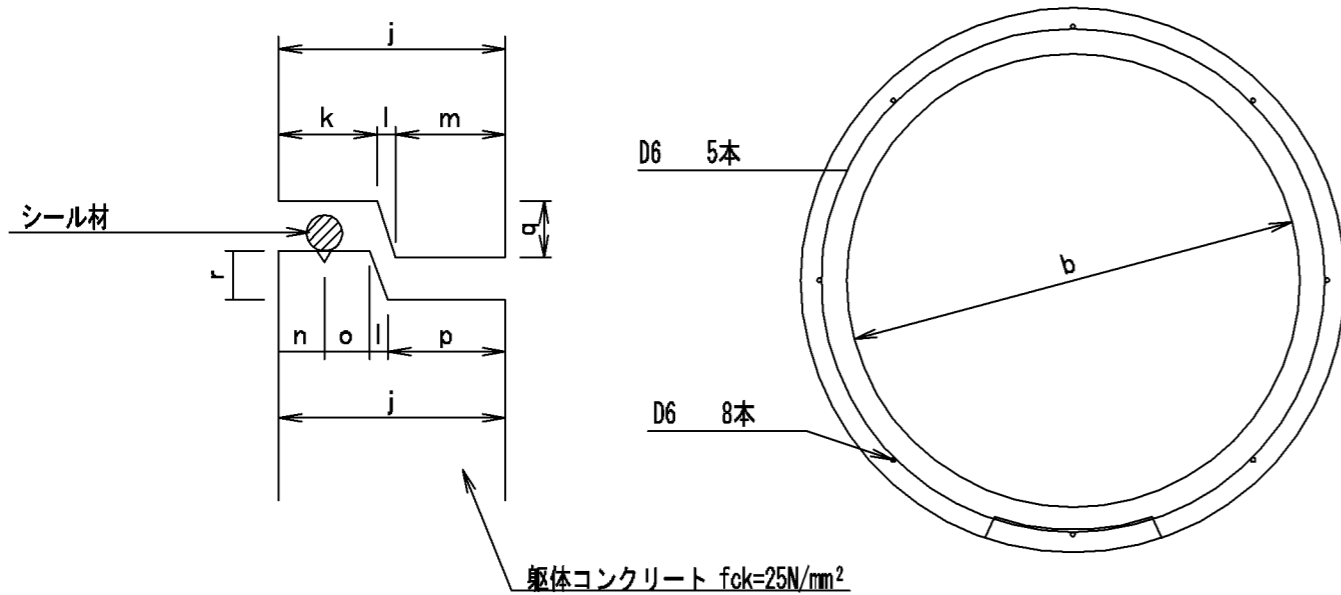
仙台市建設局

公共雨水ます（丸型密閉防臭蓋付）構造図  
φ400～φ600型

単位 mm



継手詳細図



雨水ます寸法表

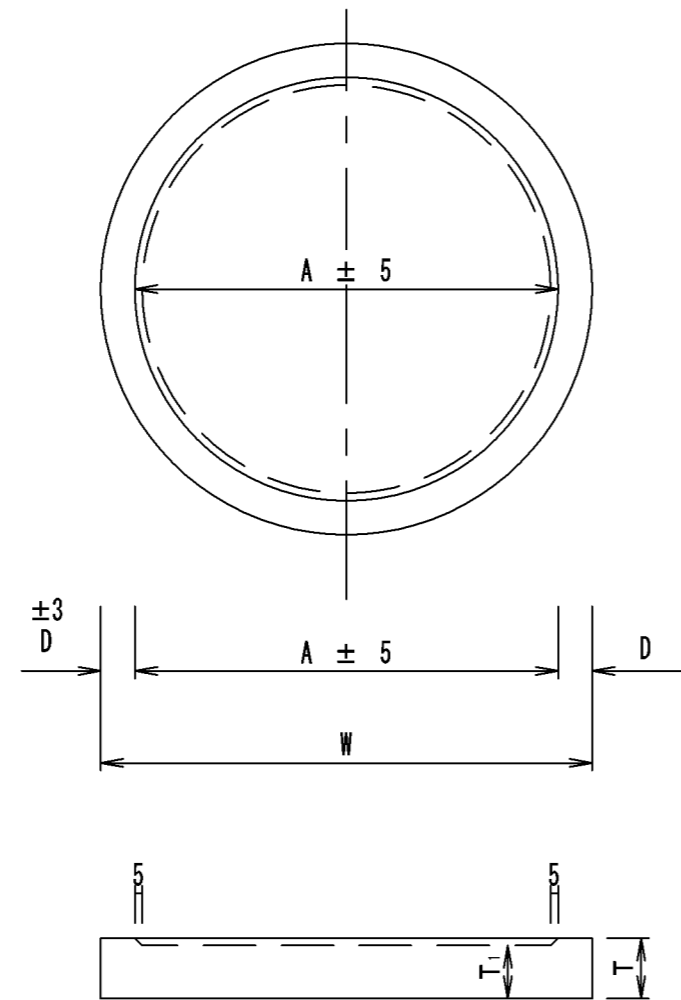
	A	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s
400 × 900	550	500	400	50	300	180	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
450 × 1,200	600	550	450	50	600	480	50	70	25	-	50	21	5	24	9.5	9.5	26	15	13	600
600 × 1,500	770	720	600	60	600	480	50	70	25	300	60	26	5	29	12	12	31	15	13	600
許容差	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±5	±3	±5	±5	±5	±5	±5	±3	±3	±5	±5	±5	±5

1 雨水ます蓋は、汚水ます蓋と同規格とし、「汚水専用」を「雨水専用」に表示すること。

名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透柵ブロック φ400 × 300上段 (S-1蓋付)	ZN05780630
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600上段 (S-1蓋付)	ZN05780640
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 600上段 (S-1蓋付)	ZN20160001
汚水・雨水・雨水浸透柵ブロック φ400 × 300上段 (S-2蓋付)	ZN05780660
汚水柵ブロック φ450 × 600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780670
汚水柵ブロック φ600 × 600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780680
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600上段 (S-2蓋付)	ZN05780690
汚水・雨水柵ブロック φ450 × 600下段	ZN05780700
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 300中段	ZN05780710
汚水・雨水柵ブロック φ600 × 600下段	ZN05780720

仙台市建設局

## 公共雨水ます用底版ブロック構造図

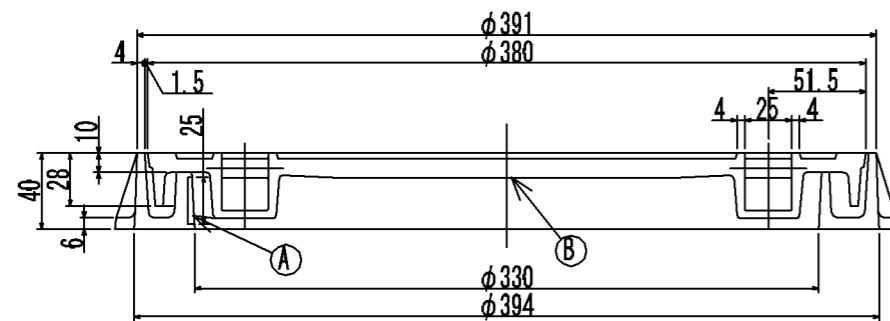
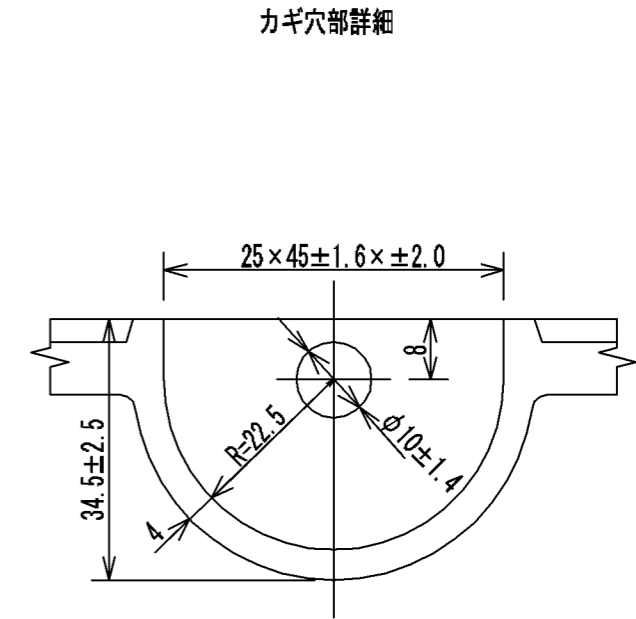
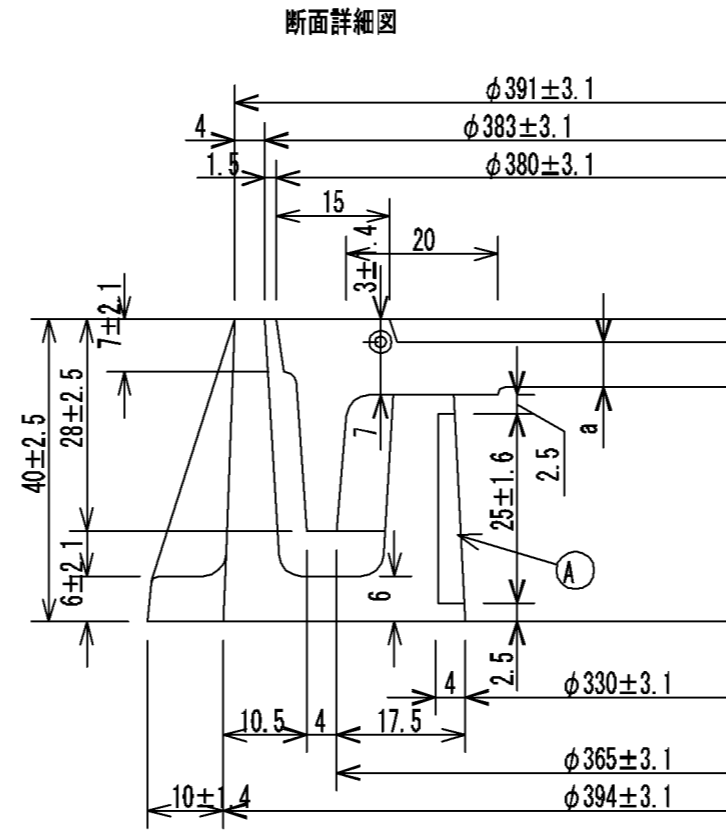
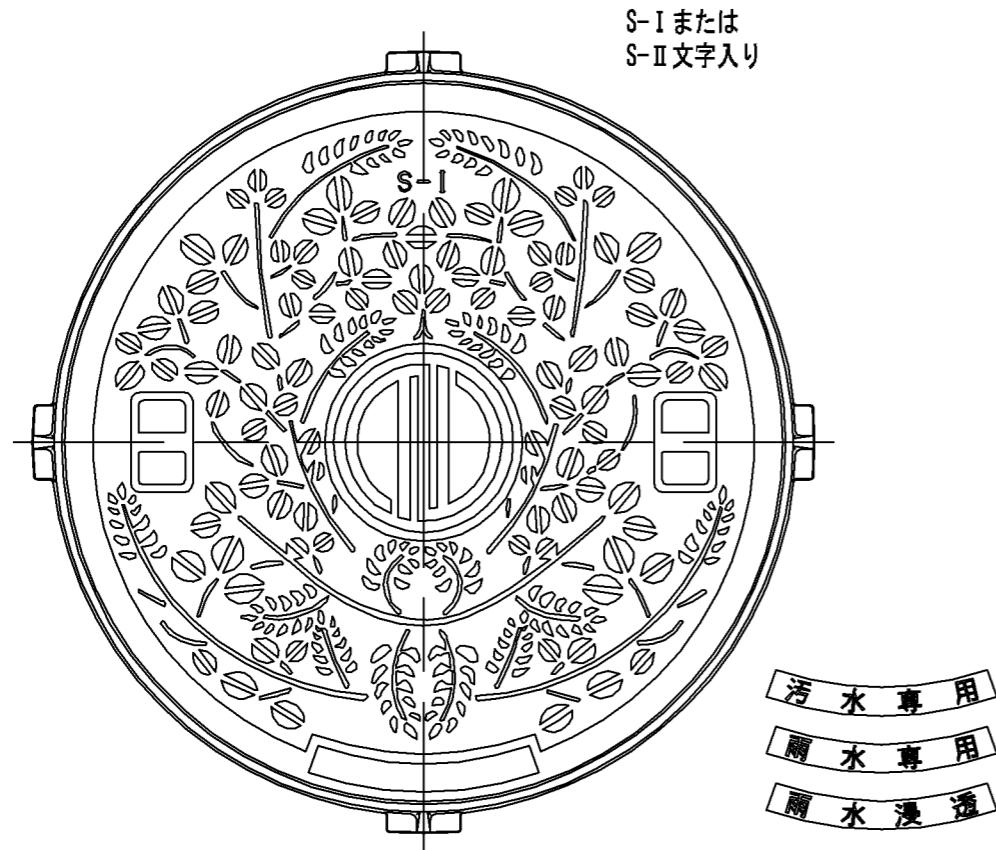


内 径	T	T <sub>1</sub>	D	A	W	参考市単コード
330	80	70	45	440	530	ZN05780730
400	80	70	45	510	600	ZN05780740
450	80	70	45	560	650	ZN05780750
600	110	100	55	730	840	ZN05780760
許容差	±5	±5	±3	±5	±5	

- 1 コンクリートの圧縮強度は、28N/mm 以上とすること。
- 2 底版に用心鉄筋を使用してもよい。



# 公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図 φ330型

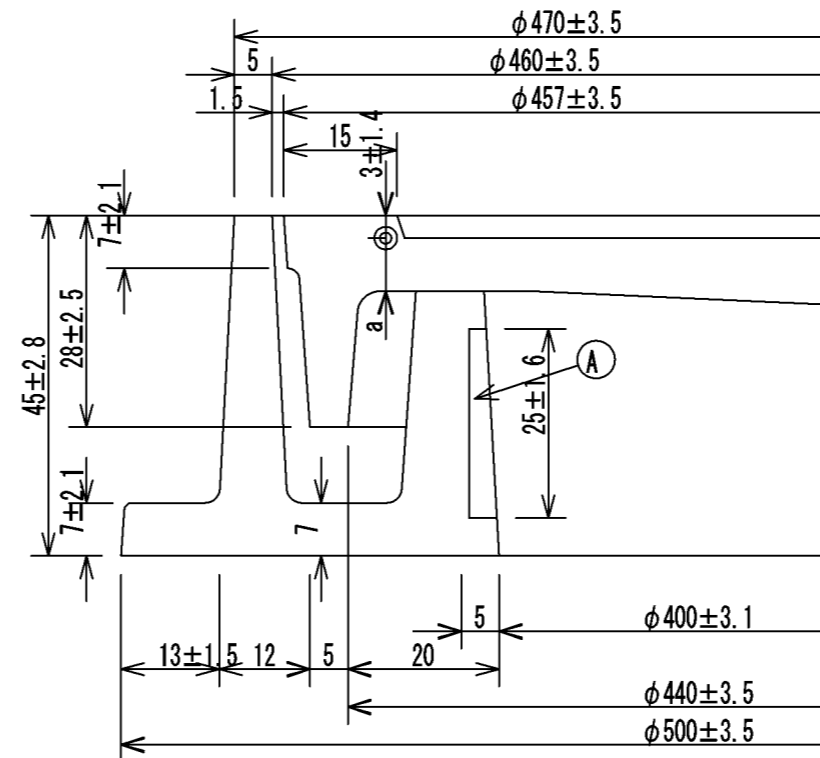


1. 受枠内面(A)部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鑄出する。
2. 蓋裏面中央(B)部に社章又は社名及び鑄造年(西暦)材質を鑄出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Iで6m/m以上、S-IIで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鑄鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Iはt-6、S-IIはt-2とする。
6. 各寸法に並記している数値は、寸法の許容差を示す。
7. 寸法許容差はS-I、S-IIで同じ値とする。

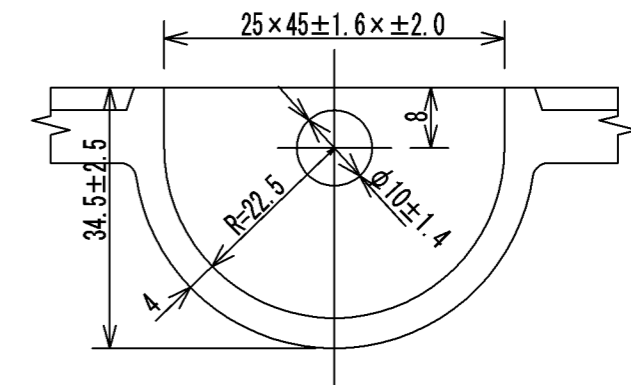
名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透柵用鉄蓋 φ330用 (S-1)	ZN05790110
汚水・雨水・雨水浸透柵用鉄蓋 φ330用 (S-2)	ZN05790150

# 公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図 φ400型

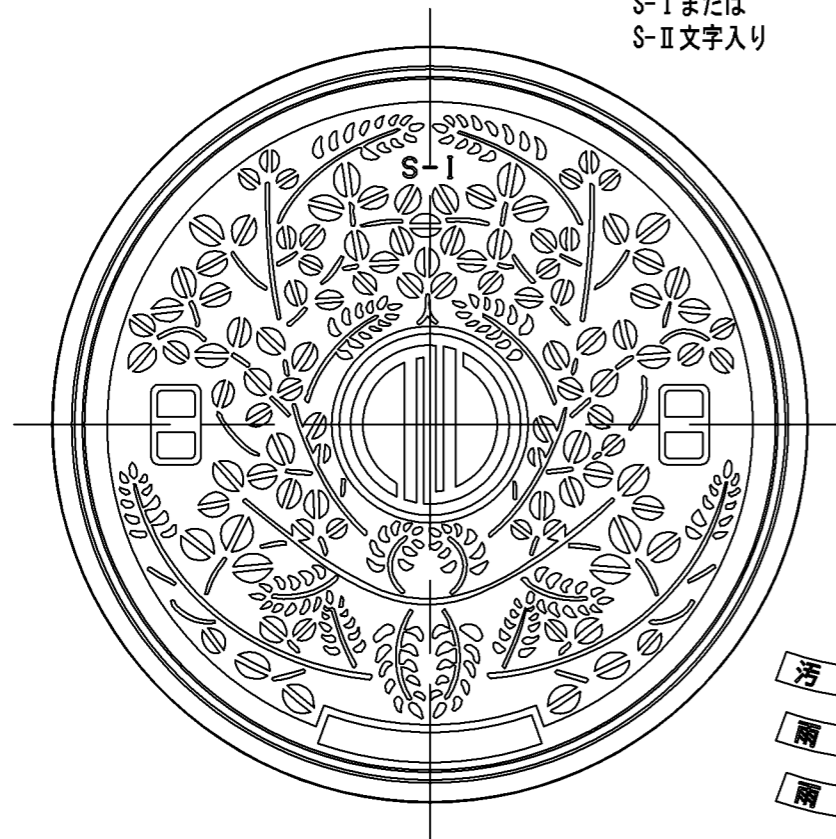
断面詳細図



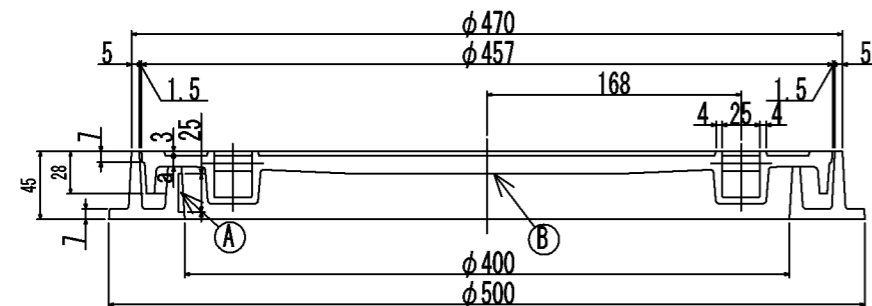
カギ穴部詳細



S-I または  
S-II 文字入り



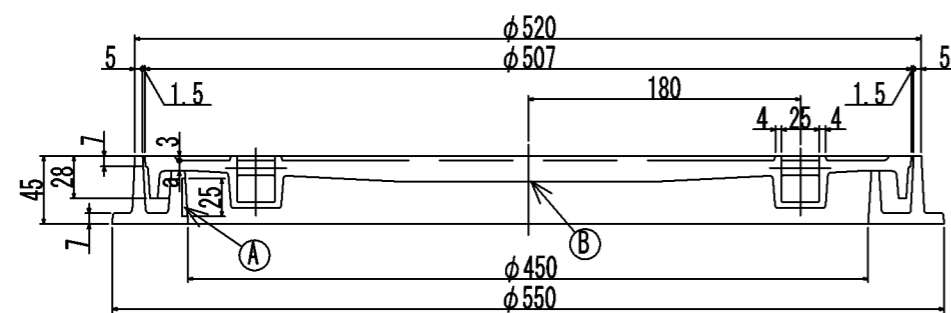
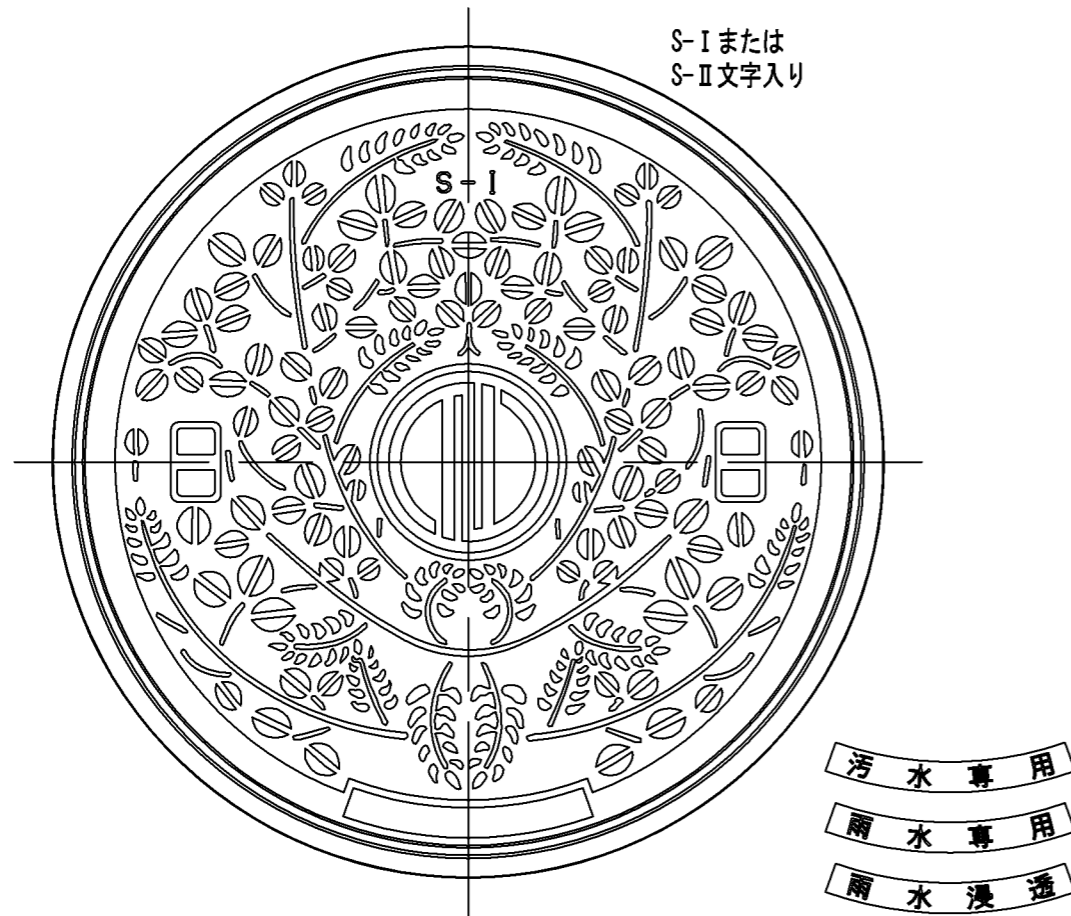
汚水専用  
雨水専用  
雨水浸透



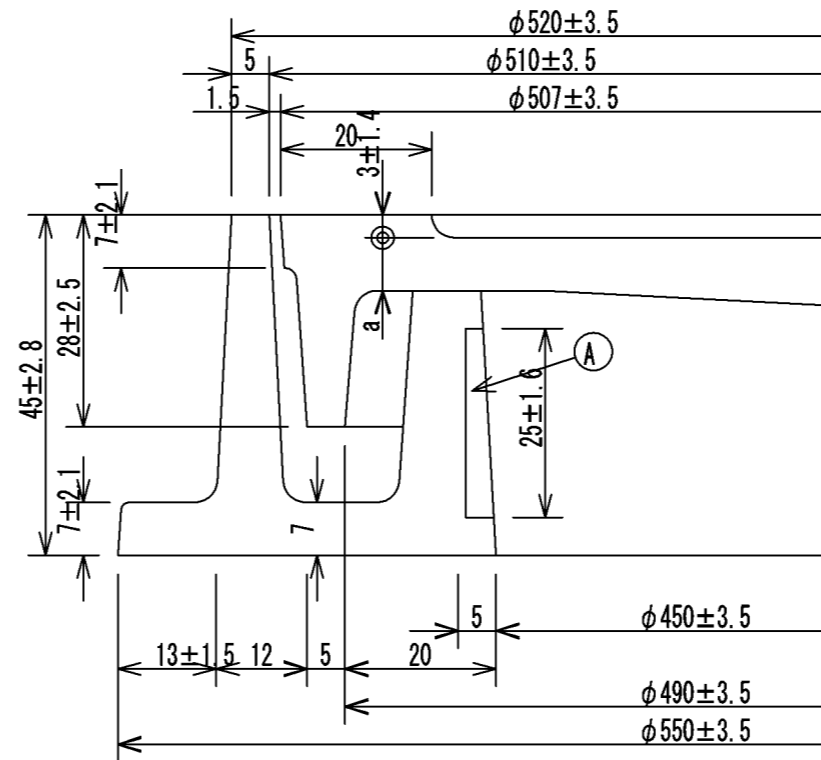
1. 受枠内面(A)部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鑄出する。
2. 蓋裏面中央(B)部に社章又は社名及び鑄造年(西暦)材質を鑄出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Iで7m/m以上、S-IIで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鑄鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Iはt-6、S-IIはt-2とする。
6. 各寸法に並記している数値は、寸法の許容差を示す。
7. 寸法許容差はS-I、S-IIで同じ値とする。

名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透樹用鉄蓋 φ400用 (S-1)	ZN05790120
汚水・雨水・雨水浸透樹用鉄蓋 φ400用 (S-2)	ZN05790160

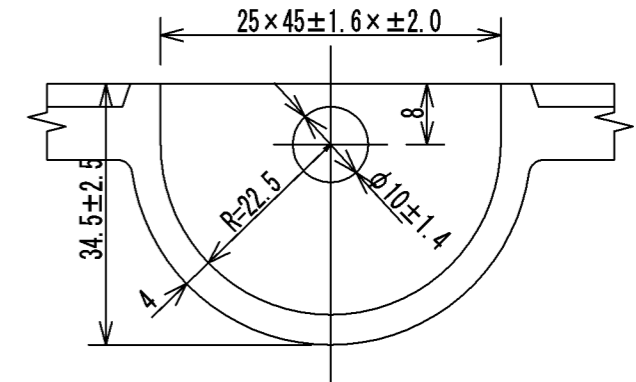
# 公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図 φ450型



断面詳細図



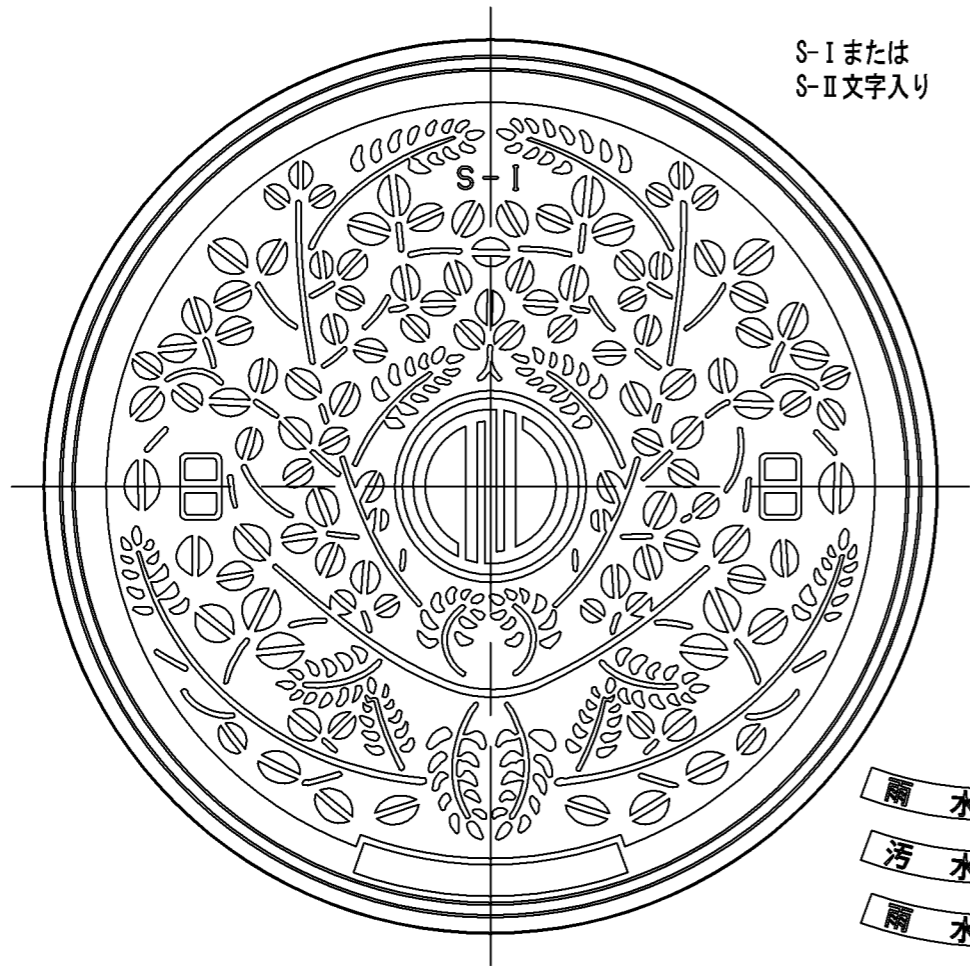
カギ穴部詳細



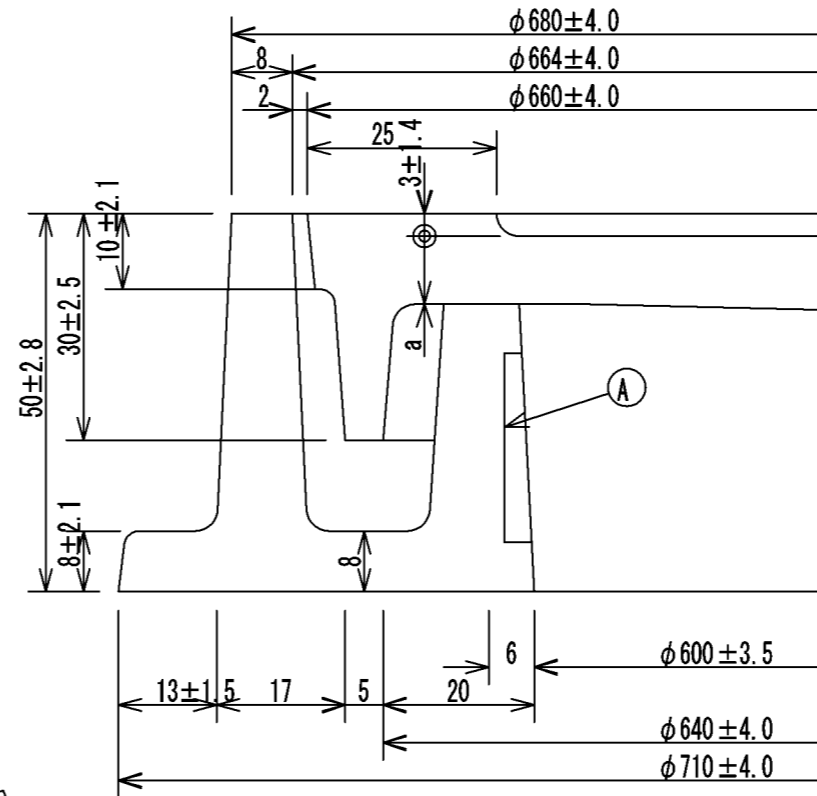
1. 受枠内面(A)部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鑄出する。
2. 蓋裏面中央(B)部に社章又は社名及び鑄造年(西暦)材質を鑄出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Iで7m/m以上、S-IIで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鑄鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Iはt-6、S-IIはt-2とする。
6. 各寸法に並記している数値は、寸法の許容差を示す。
7. 寸法許容差はS-I、S-IIで同じ値とする。

名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透用鉄蓋 φ450用 (S-1)	ZN05790130
汚水・雨水・雨水浸透用鉄蓋 φ450用 (S-2)	ZN05790170

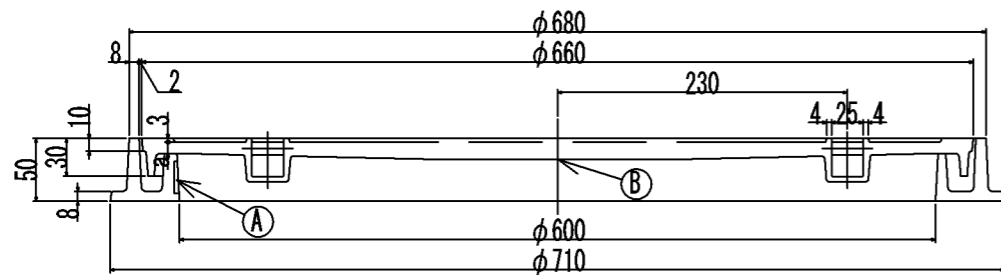
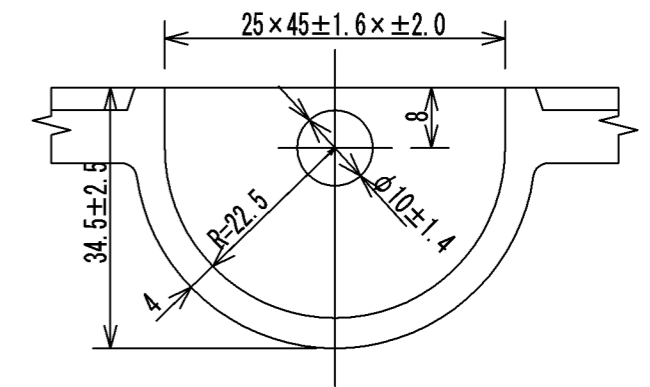
# 公共ます蓋（丸型密閉防臭蓋）構造図 φ600型



断面詳細図



カギ穴部詳細

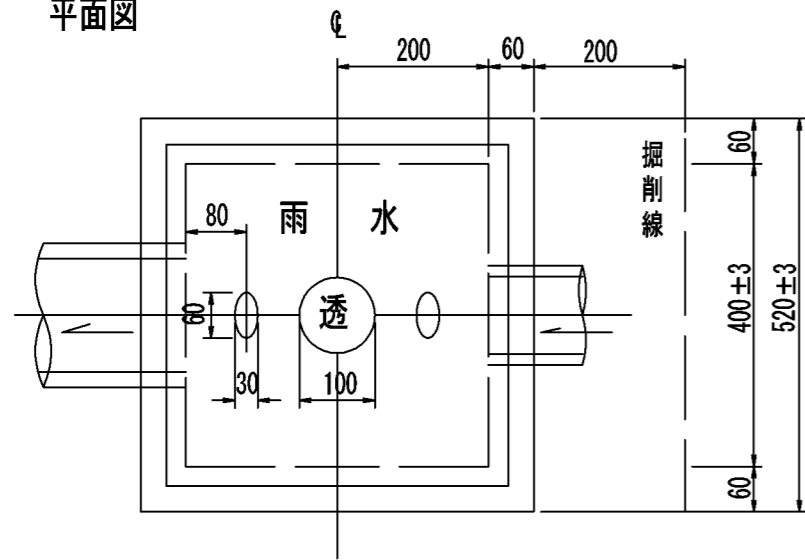


1. 受枠内面(A)部に上記寸法(25×50)凹部を付け社章又は社名を鑄出する。
2. 蓋裏面中央(B)部に社章又は社名及び鑄造年(西暦)材質を鑄出する。
3. 蓋の内厚(a)はS-Iで9m/m以上、S-IIで5m/m以上とする。
4. 材質はJIS5501のねずみ鑄鉄品2種の材質とする。
5. 規格S-Iはt-6、S-IIはt-2とする。
6. 各寸法に並記している数値は、寸法の許容差を示す。
7. 寸法許容差はS-I、S-IIで同じ値とする。

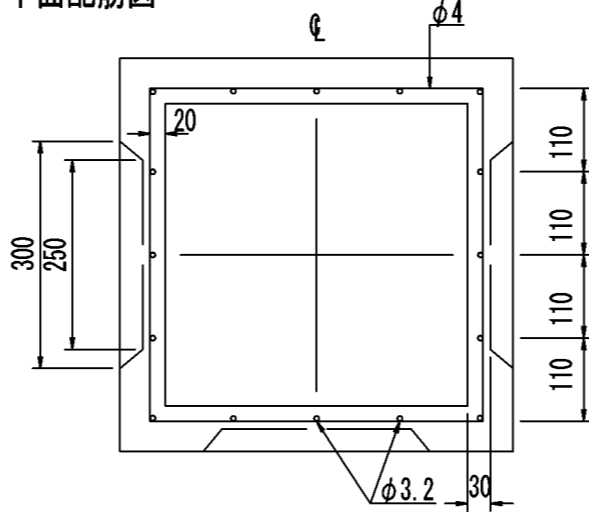
名称・規格	参考市単コード
汚水・雨水・雨水浸透樹用鉄蓋 φ600用 (S-1)	ZN05790140
汚水・雨水・雨水浸透樹用鉄蓋 φ600用 (S-2)	ZN05790180

透水性公共雨水ます (内法400×400) 構造標準図  
S=1/10 単位 mm

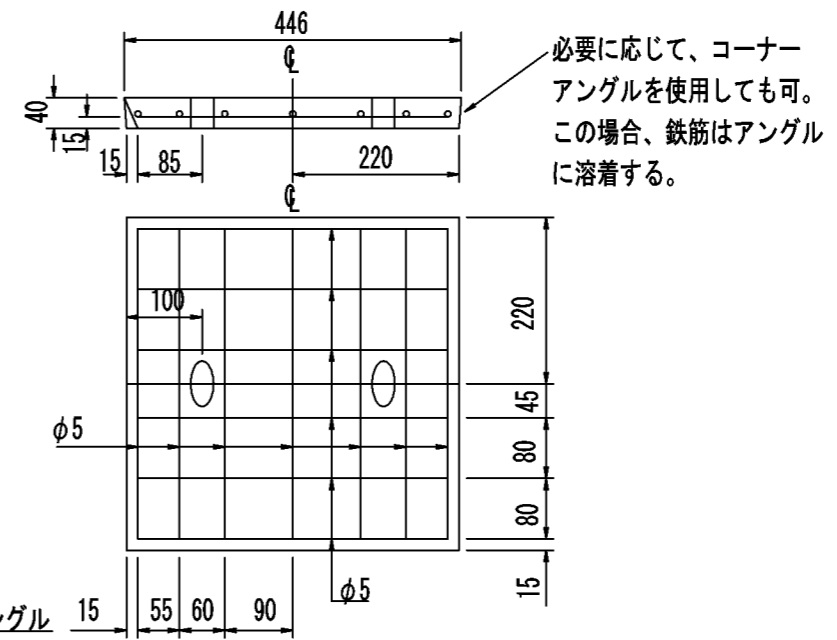
平面図



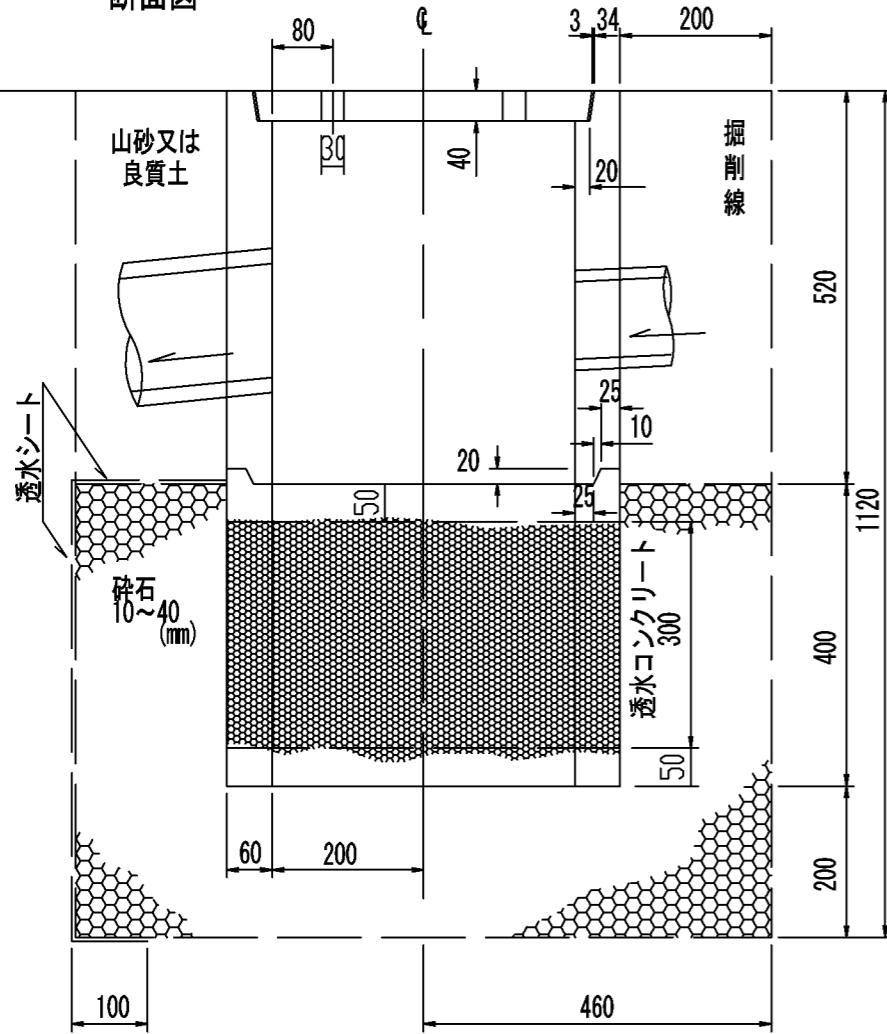
平面配筋図



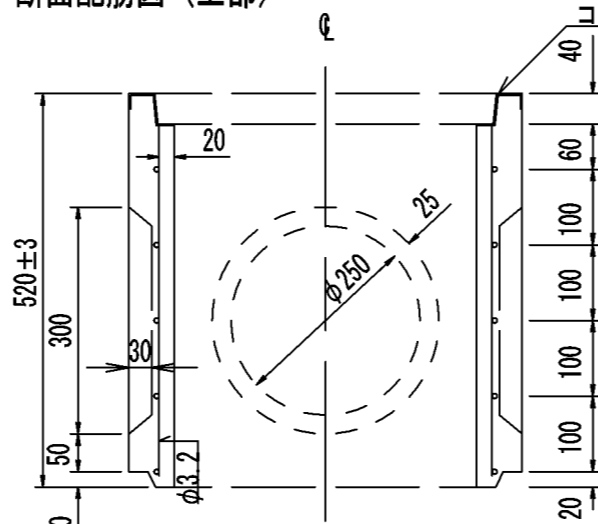
蓋形状・配筋図



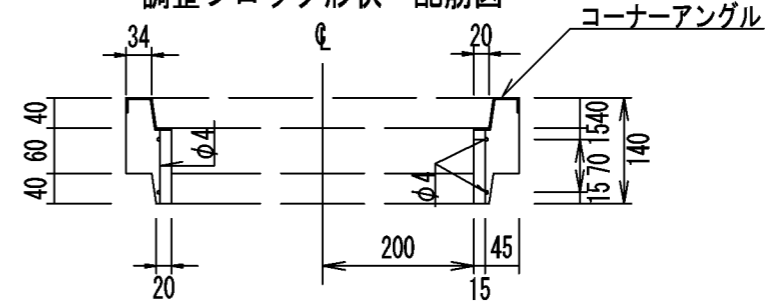
断面図



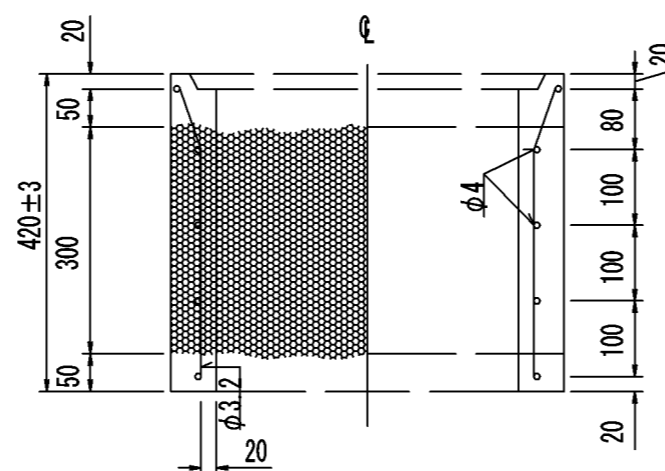
断面配筋図 (上部)



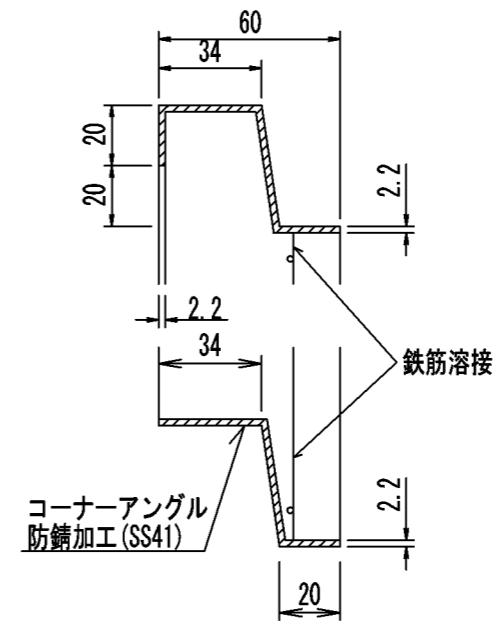
調整ブロック形状・配筋図



断面配筋図 (下部)



接続部詳細図 S=1/2.5



※ 使用材料の基準

- (1) コンクリート  
fck = 25N/mm<sup>2</sup>
- (2) 透水コンクリート  
fck = 15N/mm<sup>2</sup>  
砕石 10mm < ϕ < 13mm  
空隙率 15% < n < 25%
- (3) 鉄筋  
JIS. G. 3532による普通鉄線、透水部分は、防錆加工をしたものを使用する。

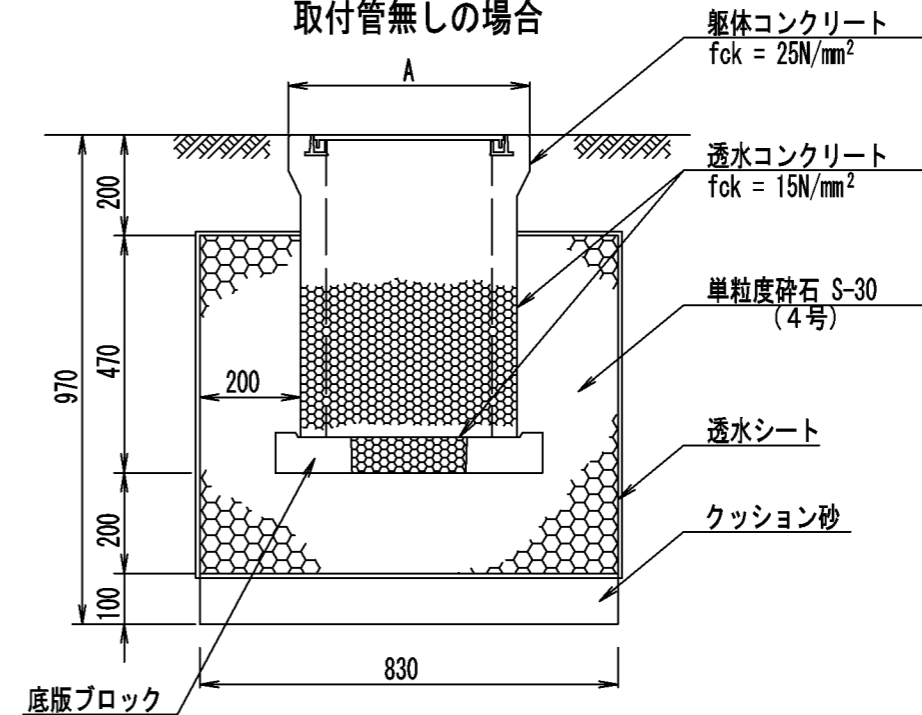
※各寸法に並記している数値は、寸法の許容差を示す。

仙台市建設局

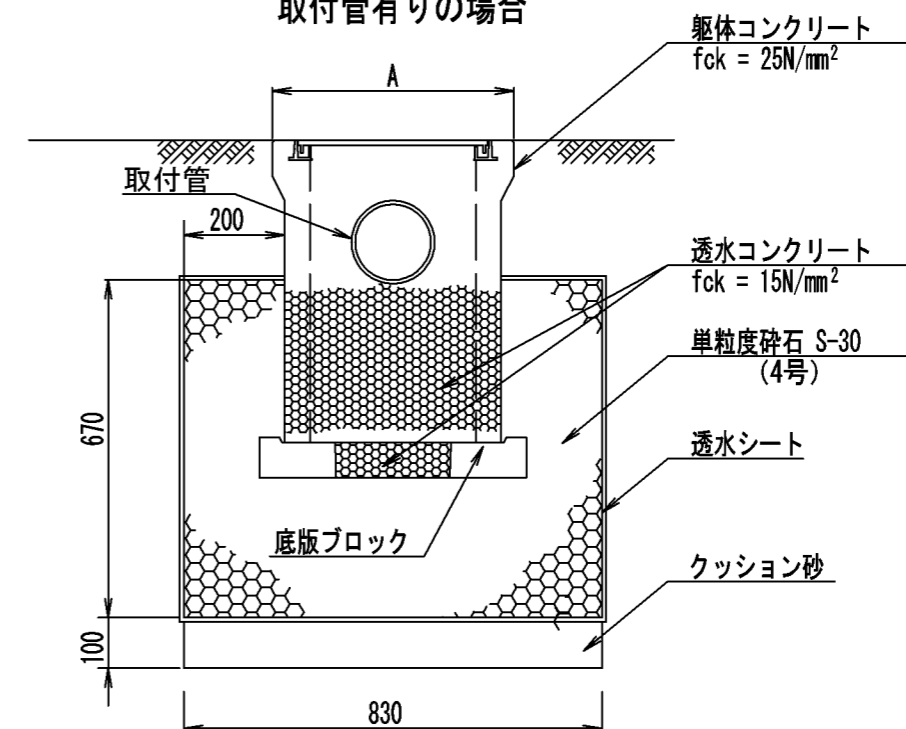
雨水浸透ます φ330 (丸型密閉防臭蓋付) 構造図 縮尺 S=1/15 単位: mm

組立図

取付管無しの場合

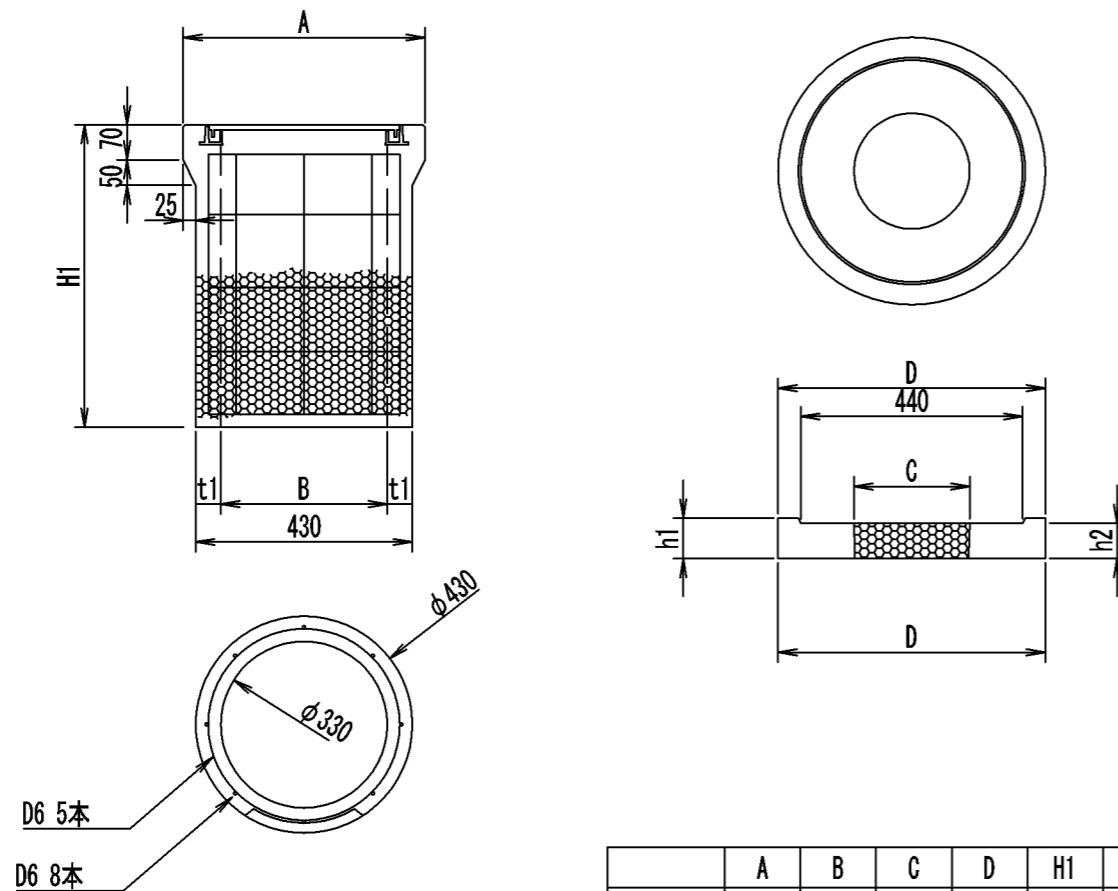


取付管有りの場合



※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせることを。

底版ブロック



	A	B	C	D	H1	t1	h1	h2
φ330	480	330	230	530	600	50	80	70
許容差	±5	±5	±20	±5	±5	±3	±3	±3

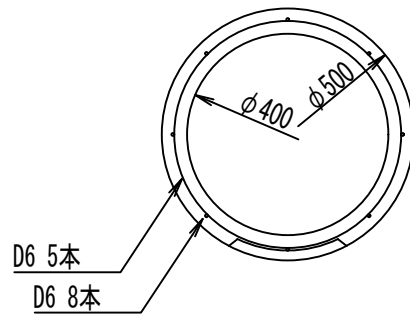
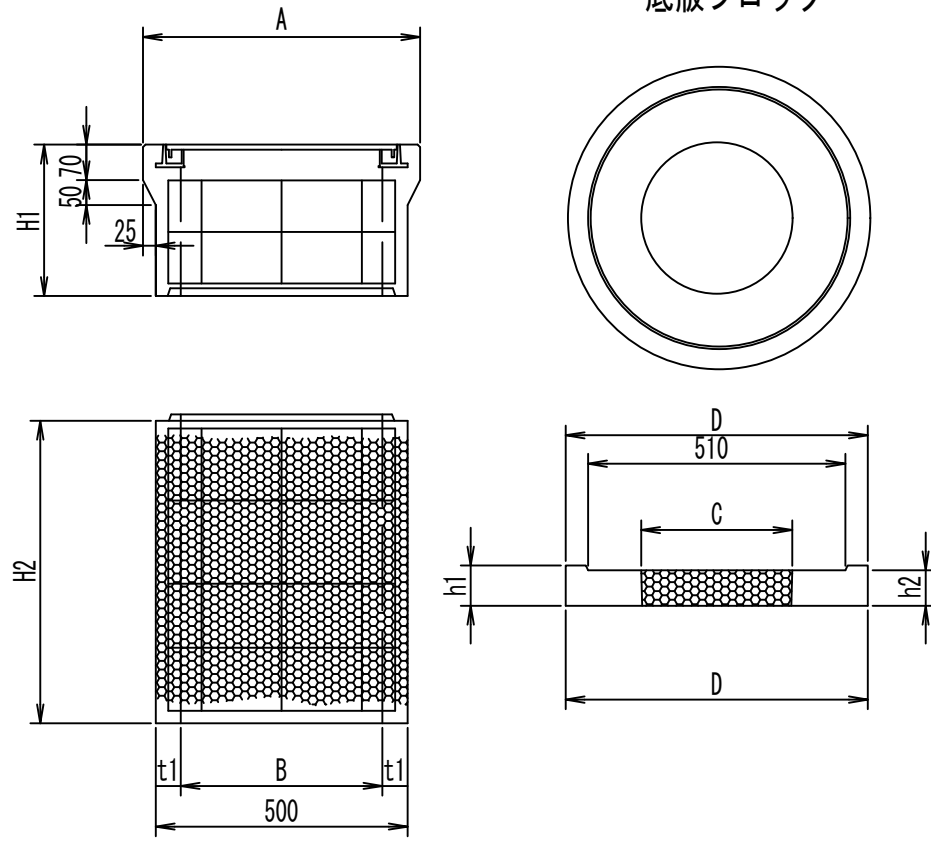
名称・規格	参考市単コード
雨水浸透柵ブロック φ330×600 (S-1蓋付)	ZN05780210
雨水浸透柵ブロック φ330×600 (S-2蓋付)	ZN05780240
雨水浸透用底版柵ブロック φ330用	ZN05780410

使用材料の基準

- (1) コンクリート  
fck = 25N/mm<sup>2</sup>
- (2) 透水シート  
透水係数 1×10<sup>-1</sup> ~ 10<sup>-2</sup> cm/sec 以上  
厚さ 0.2mm 以上
- (3) 透水コンクリート (透水コンクリート製品の場合)  
fck = 15N/mm<sup>2</sup>  
透水係数 3×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上
- (4) 鉄筋 (透水コンクリート製品の場合)  
防錆加工したものをを使用すること
- (5) 有孔径 (有孔製品の場合)  
有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

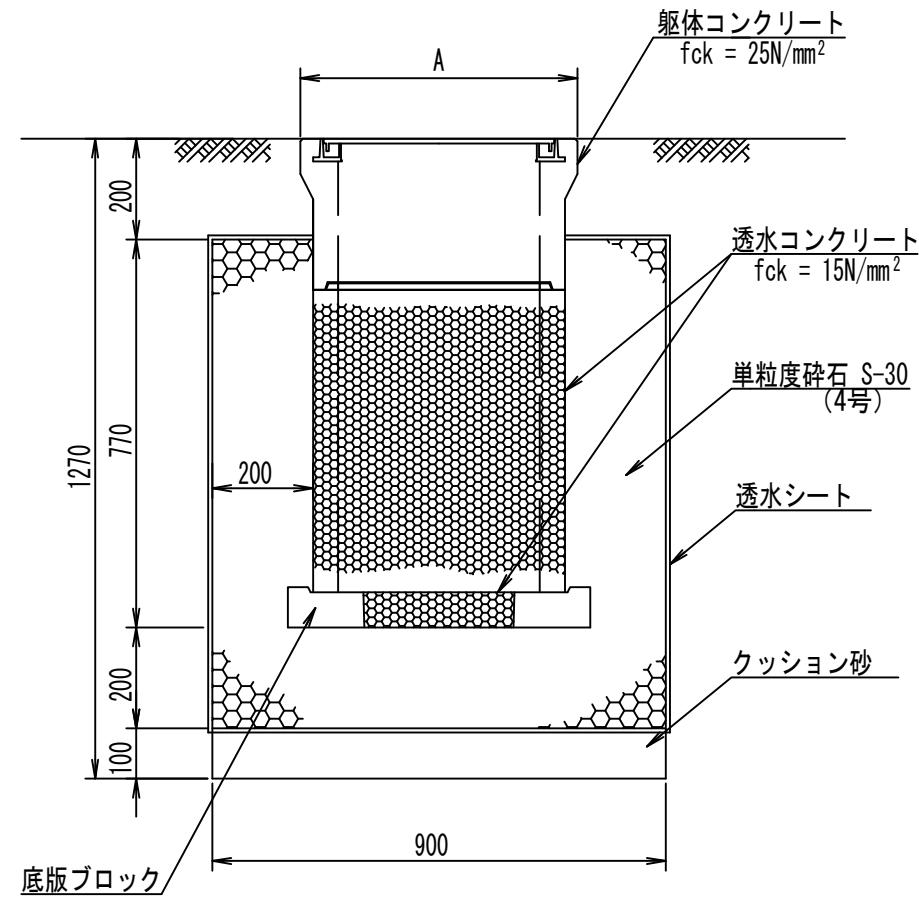
組立図

底板ブロック

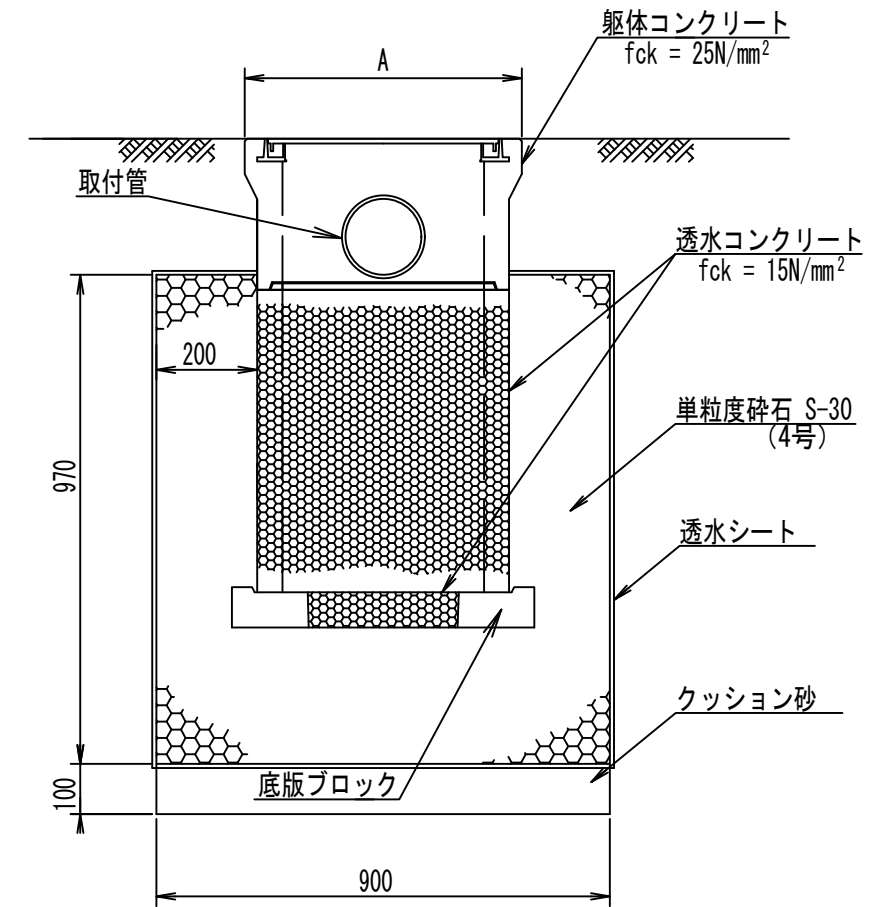


	A	B	C	D	H1	H2	t1	h1	h2
φ400	550	400	300	600	300	600	50	80	70
許容差	±5	±5	±20	±5	±5	±5	±3	±3	±3

取付管無しの場合



取付管有りの場合



使用材料の基準

- コンクリート  
fck = 25N/mm<sup>2</sup>
- 透水シート  
透水係数 1×10<sup>-1</sup> ~ 10<sup>-2</sup> cm/sec 以上  
厚さ 0.2mm以上
- 透水コンクリート (透水コンクリート製品の場合)  
fck = 15N/mm<sup>2</sup>  
透水係数 3×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上
- 鉄筋 (透水コンクリート製品の場合)  
防錆加工したものをを使用すること
- 有孔径 (有孔製品の場合)  
有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

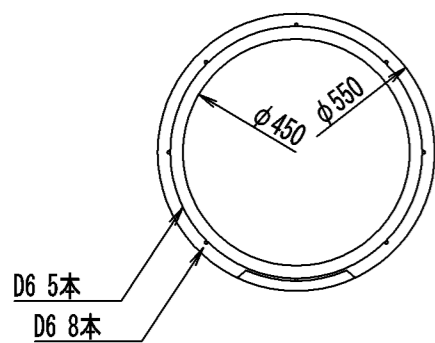
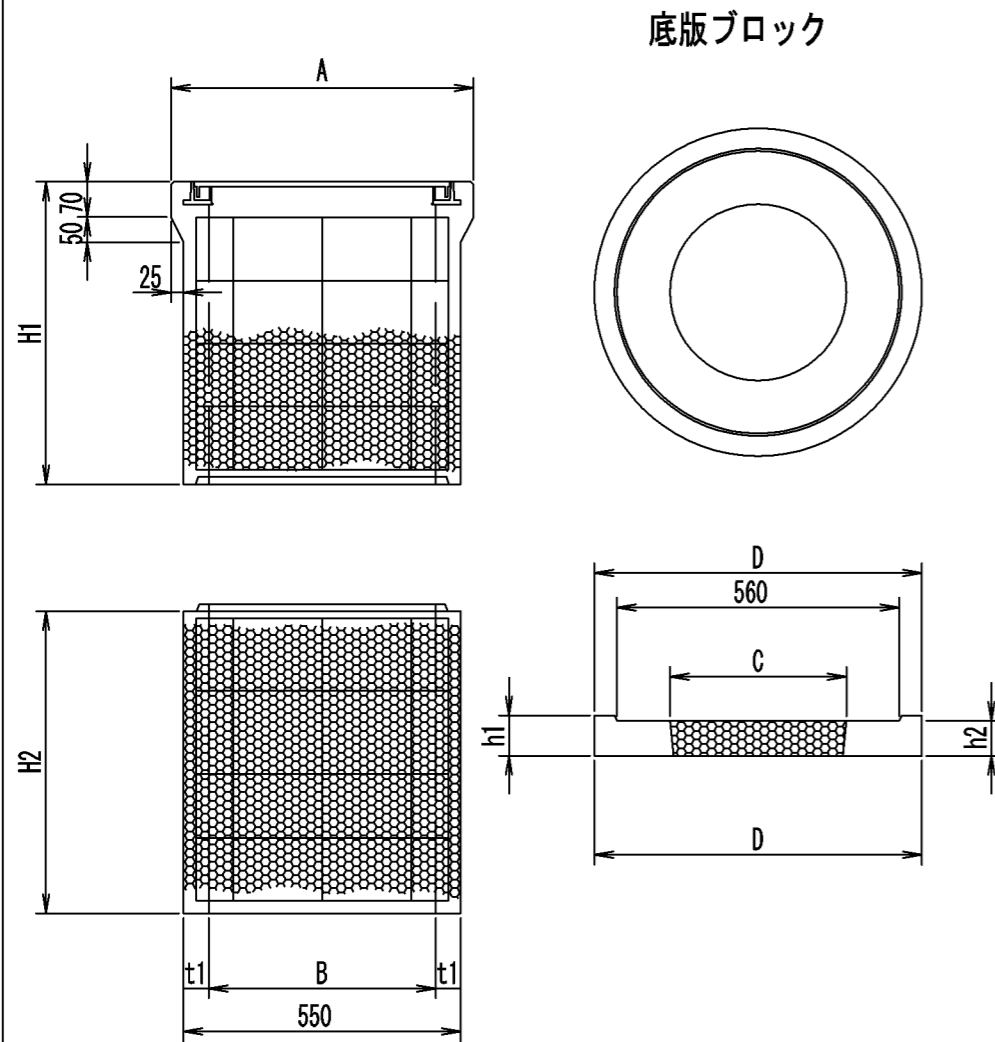
※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

名称・規格	参考市単コード
雨水浸透柵ブロック φ400×300 上段 (S-1蓋付)	ZN05780630
雨水浸透柵ブロック φ400×300 上段 (S-2蓋付)	ZN05780660
雨水浸透柵ブロック φ400×600 下段	ZN05780270
雨水浸透用底板柵ブロック φ400用	ZN05780420

雨水浸透ます φ450 (丸型密閉防臭蓋付) 構造図 縮尺 S=1/15

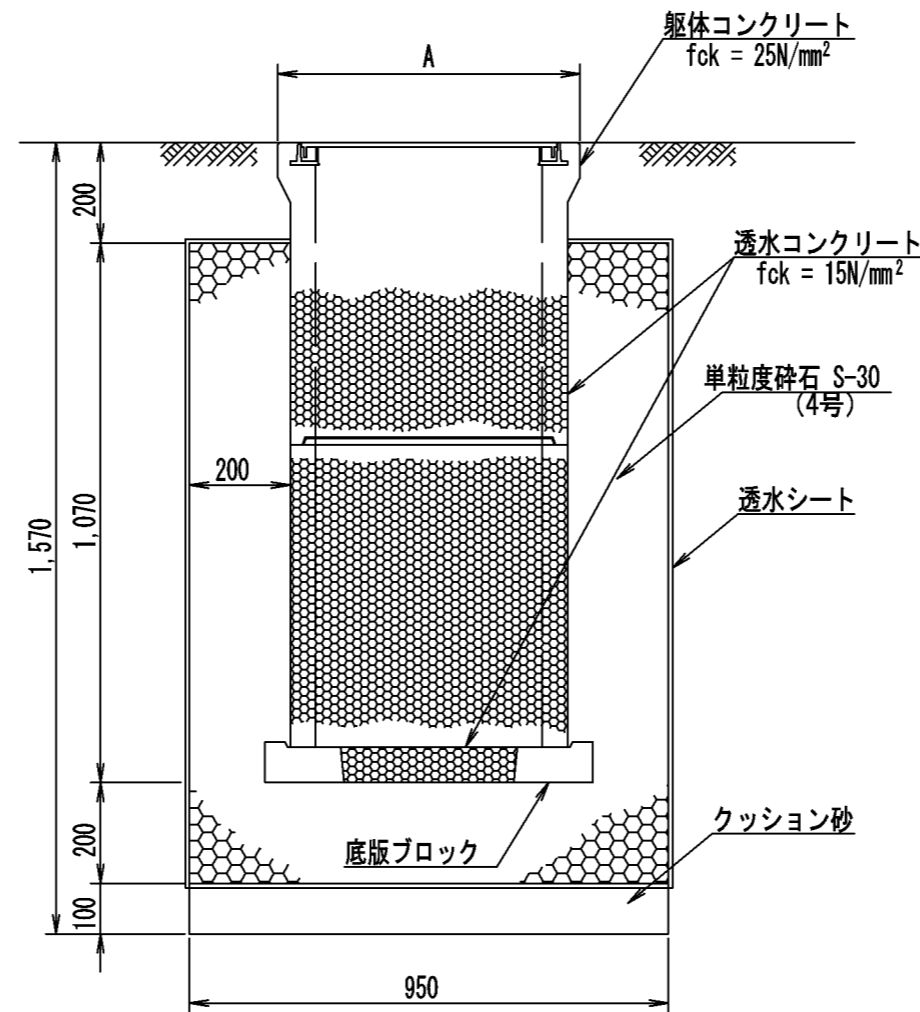
単位: mm

組立図

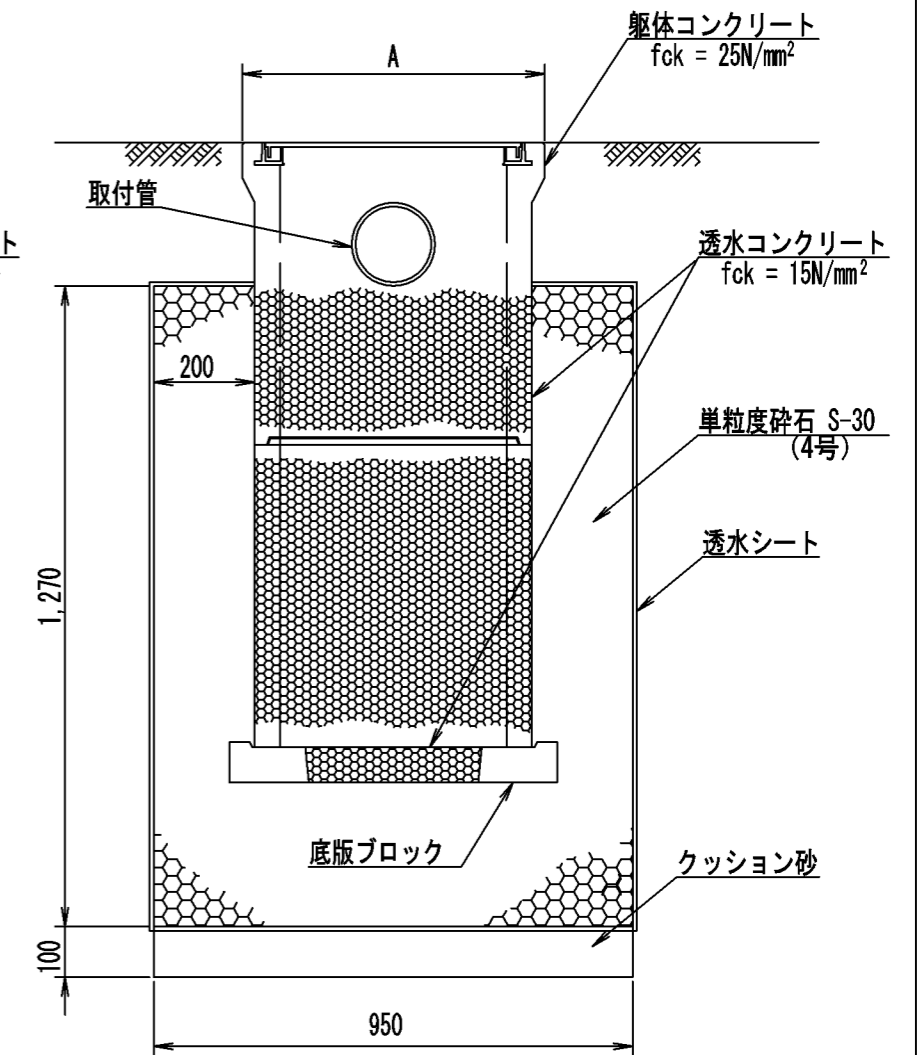


	A	B	C	D	H1	H2	t1	h1	h2
φ450	600	450	350	650	600	600	50	80	70
許容差	±5	±5	±20	±5	±5	±5	±3	±3	±3

取付管無しの場合



取付管有りの場合



※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

使用材料の基準

- (1) コンクリート  
fck = 25N/mm<sup>2</sup>
- (2) 透水シート  
透水係数 1×10<sup>-1</sup> ~ 10<sup>-2</sup> cm/sec 以上  
厚さ 0.2mm以上
- (3) 透水コンクリート (透水コンクリート製品の場合)  
fck = 15N/mm<sup>2</sup>  
透水係数 3×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上
- (4) 鉄筋 (透水コンクリート製品の場合)  
防錆加工したものをを使用すること
- (5) 有孔径 (有孔製品の場合)  
有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

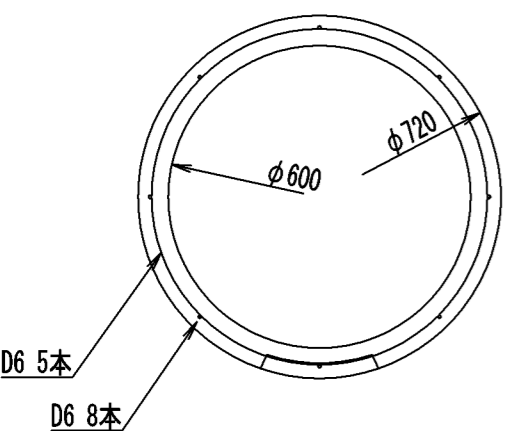
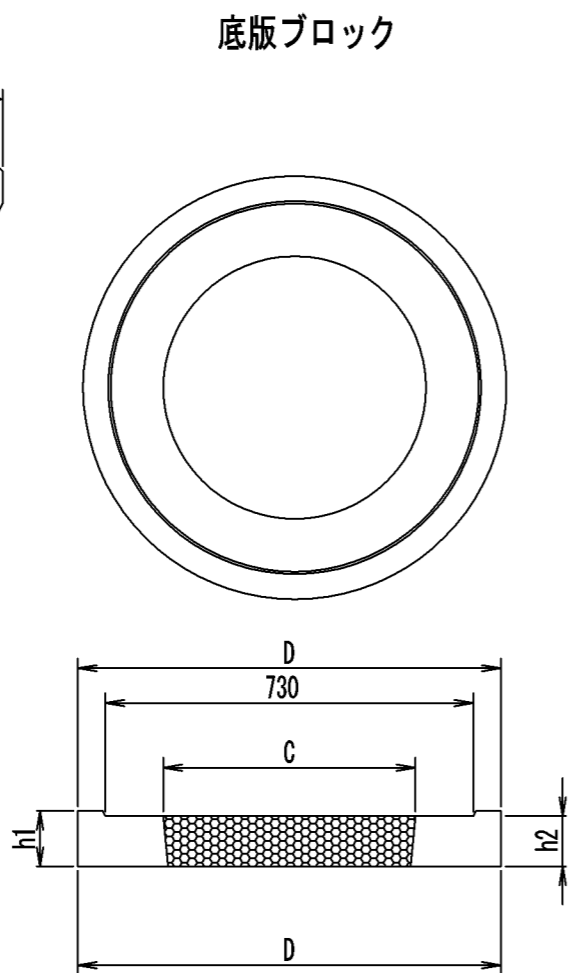
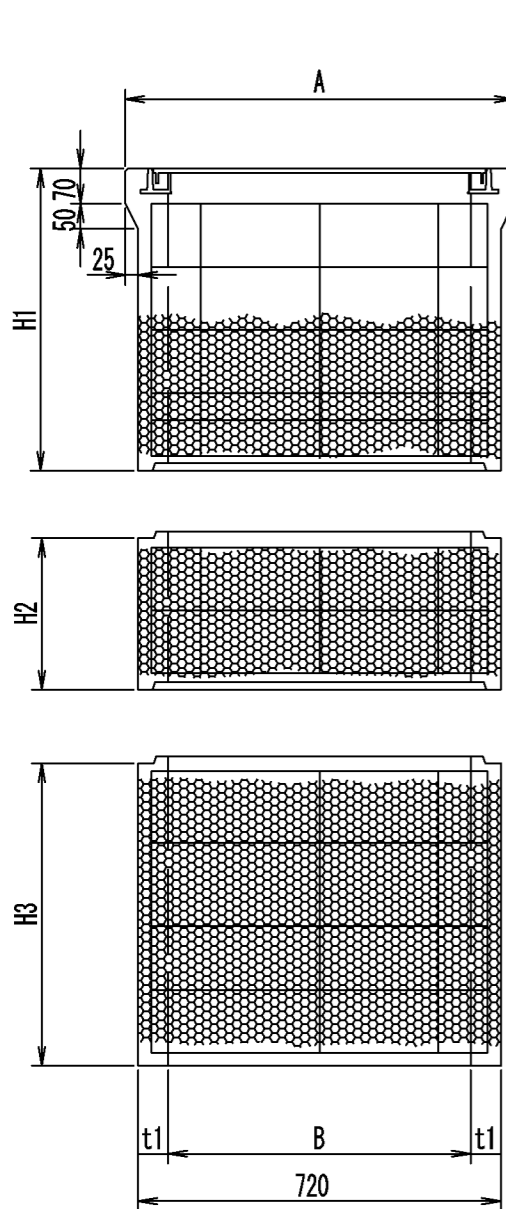
名称・規格	参考市単コード
雨水浸透柵ブロック φ450×600 上段 (S-1蓋付)	ZN05780220
雨水浸透柵ブロック φ450×600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780250
雨水浸透柵ブロック φ450×600 下段	ZN05780280
雨水浸透用底版柵ブロック φ450用	ZN05780430

仙台市建設局



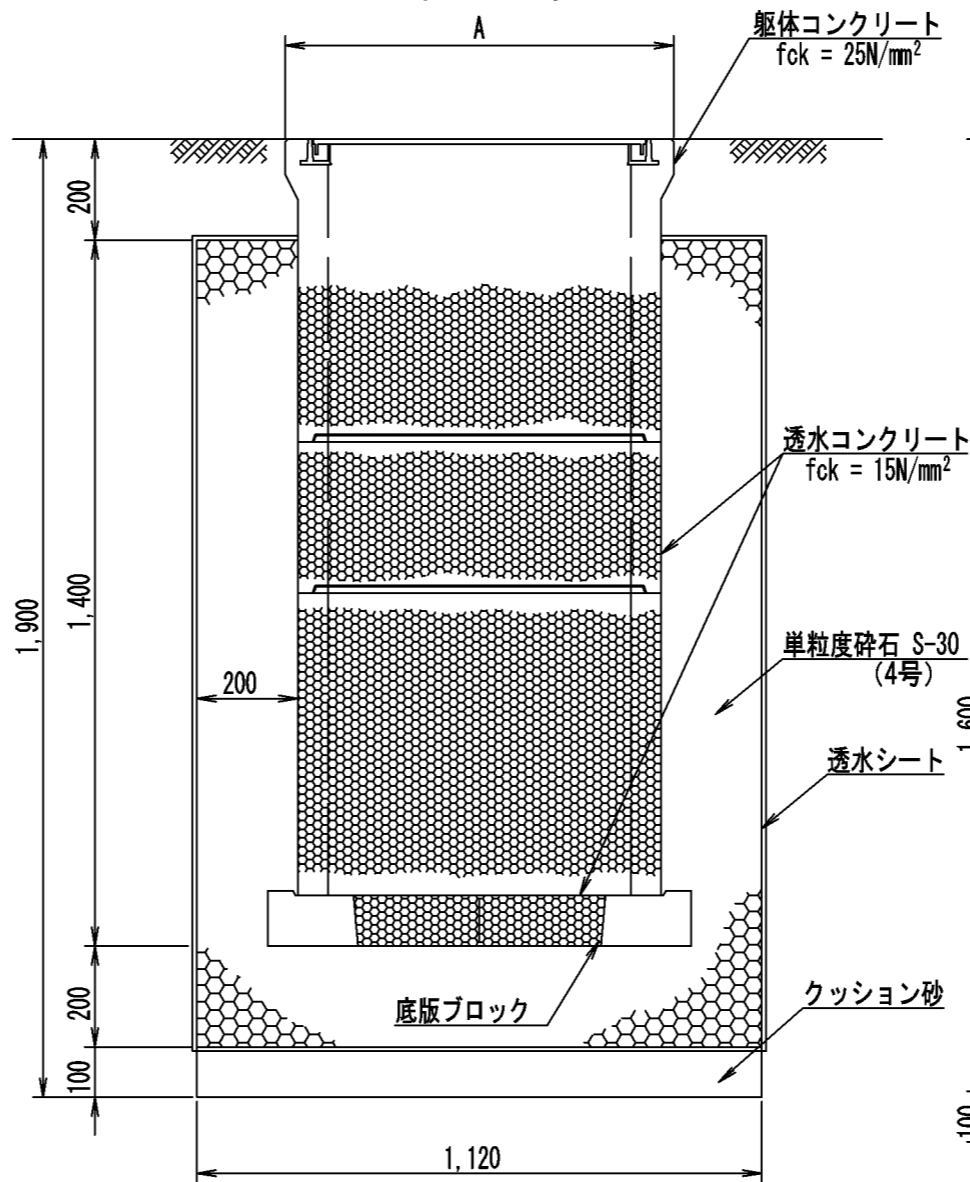
雨水浸透ます φ600 (丸型密閉防臭蓋付) 構造図  
縮尺 S=1/15 単位: mm

組立図

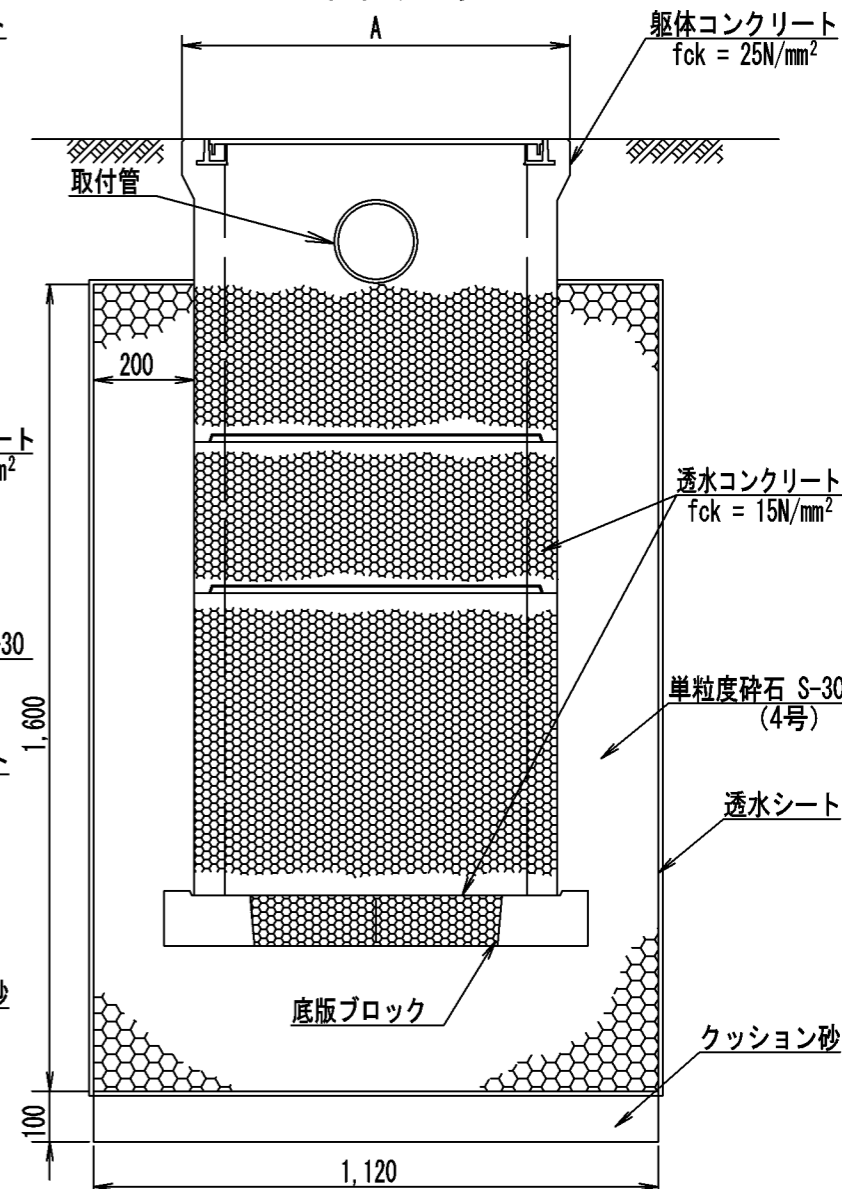


	A	B	C	D	H1	H2	H3	t1	h1	h2
φ600	770	600	500	840	600	300	600	60	110	100
許容差	±5	±5	±20	±5	±5	±5	±5	±3	±3	±3

取付管無しの場合



取付管有りの場合



※浸透層の天端は、取付管の管底高に合わせること。

使用材料の基準

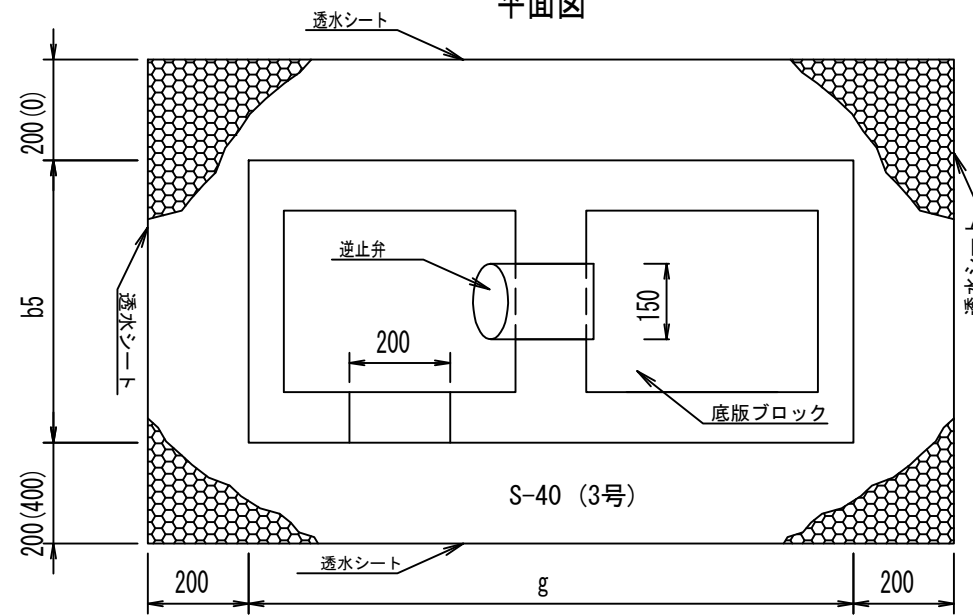
- コンクリート  
fck = 25N/mm<sup>2</sup>
- 透水シート  
透水係数 1×10<sup>-1</sup> ~ 10<sup>-2</sup> cm/sec 以上  
厚さ 0.2mm以上
- 透水コンクリート (透水コンクリート製品の場合)  
fck = 15N/mm<sup>2</sup>  
透水係数 3×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上
- 鉄筋 (透水コンクリート製品の場合)  
防錆加工したものをを使用すること
- 有孔径 (有孔製品の場合)  
有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

名称・規格	参考市単コード
雨水浸透柵ブロック φ600×600 上段 (S-1蓋付)	ZN05780230
雨水浸透柵ブロック φ600×600 上段 (S-2蓋付)	ZN05780260
雨水浸透柵ブロック φ600×300 中段	ZN05780290
雨水浸透柵ブロック φ600×300 下段	ZN05780300
雨水浸透用底版柵ブロック φ600用	ZN05780440

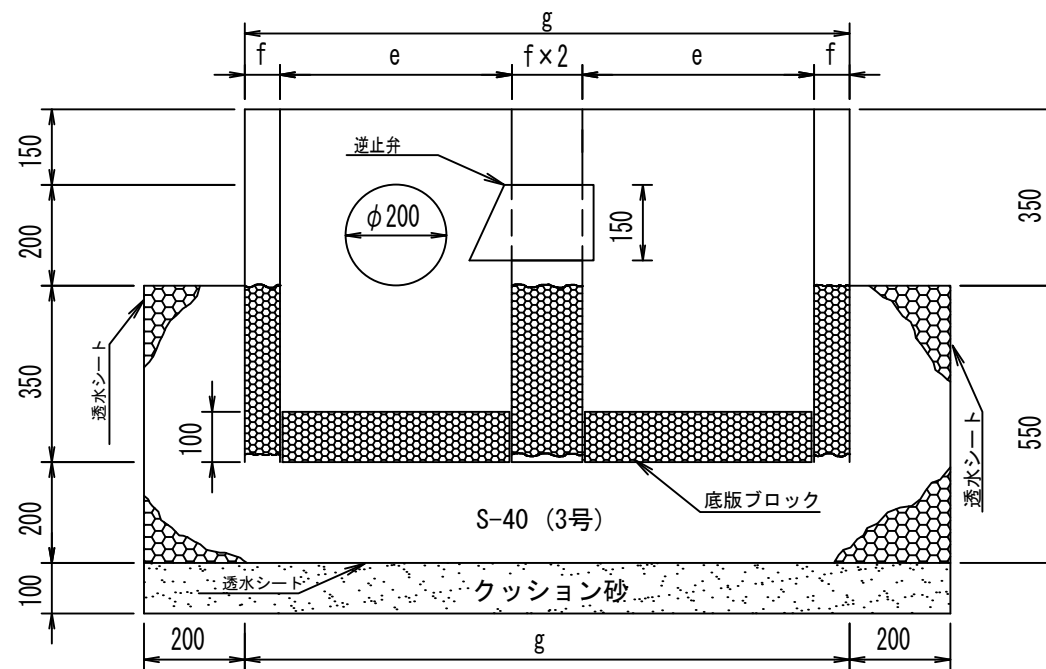
仙台市建設局

# 仙台市型浸透防臭二連ます構造図

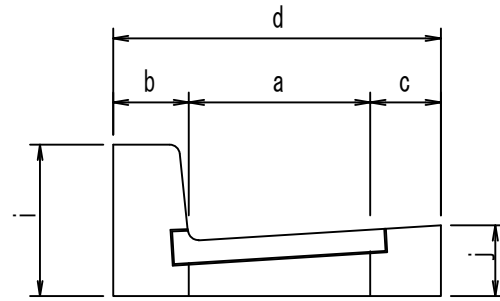
平面図



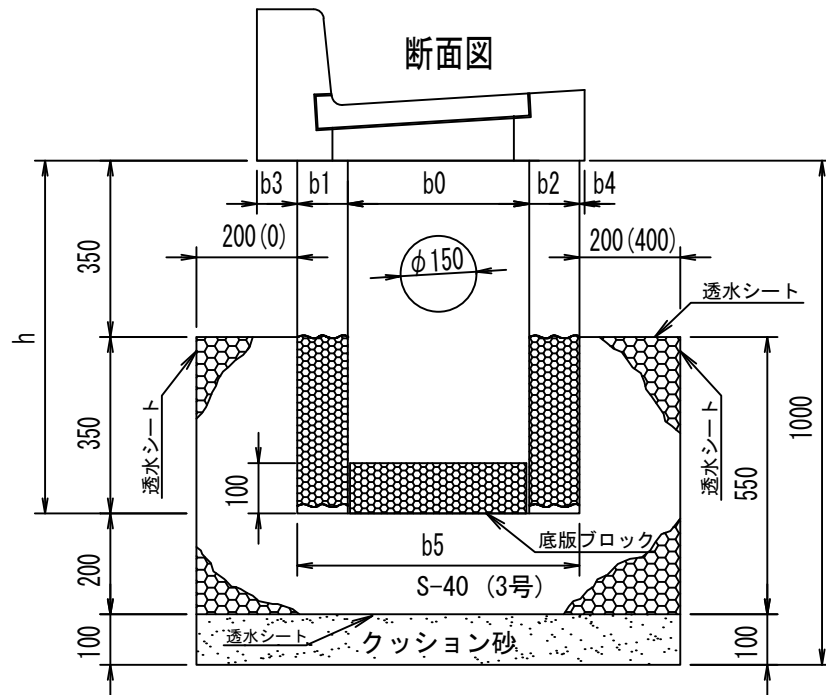
正面図



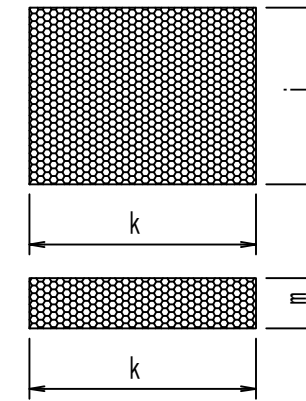
L型縁塊詳細図



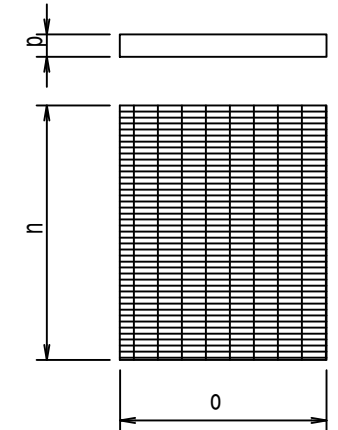
断面図



底版ブロック



グレーチング (参考図)



使用材料の基準

- (1) コンクリート  
f c k = 25N/mm<sup>2</sup>
- (2) 透水シート  
透水係数 1×10<sup>-1</sup> ~ 10<sup>-2</sup> cm/sec 以上  
厚さ 0.2mm以上
- (3) 透水コンクリート (透水コンクリート製品の場合)  
f c k = 15N/mm<sup>2</sup>  
透水係数 3×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上
- (4) 鉄筋 (透水コンクリート製品の場合)  
防錆加工したものを使用すること
- (5) 有孔径 (有孔製品の場合)  
有孔径は20mm以下、表面積に対する開孔率は0.5%以上

※ ( ) 内の寸法は境界に隣接する場合。

番号	記号	本体寸法 (mm)															底版ブロック (mm)			グレーチング (mm)			
		a	b	b0	b1	b2	b3	b4	b5	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
1	L250A	200	100	200	100	50	0	0	350	50	350	400	100	1,200	700	200	125	390	190	100	460	245	44
2	L250B	250	100	250	100	100	0	0	450	100	450	460	70	1,200	700	200	130	450	240	100	505	300	44
3	L300	300	100	300	100	100	0	0	500	100	500	460	70	1,200	700	200	135	450	290	100	505	345	44
4	特L275	360	150	360	100	100	80	10	560	140	650	460	70	1,200	700	300	140	450	350	100	505	410	44
5	特L250A	280	160	280	100	60	60	0	440	60	500	300	100	1,000	700	250	129	290	270	100	360	325	44
	許容差	±2	±2	±5	±5	±5	—	—	±5	±2	±2	±2	±5	±5	±5	±3	±2	±3	±3	±3	±2	±2	±2

仙台市建設局

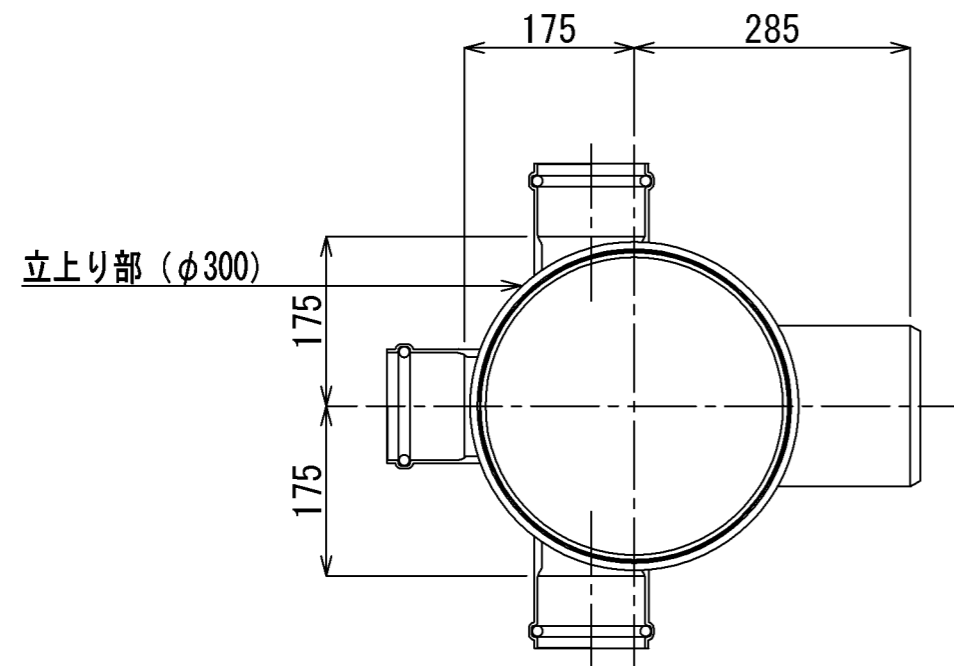
下水道用硬質塩化ビニル製ます 構造図

日本下水道協会規格

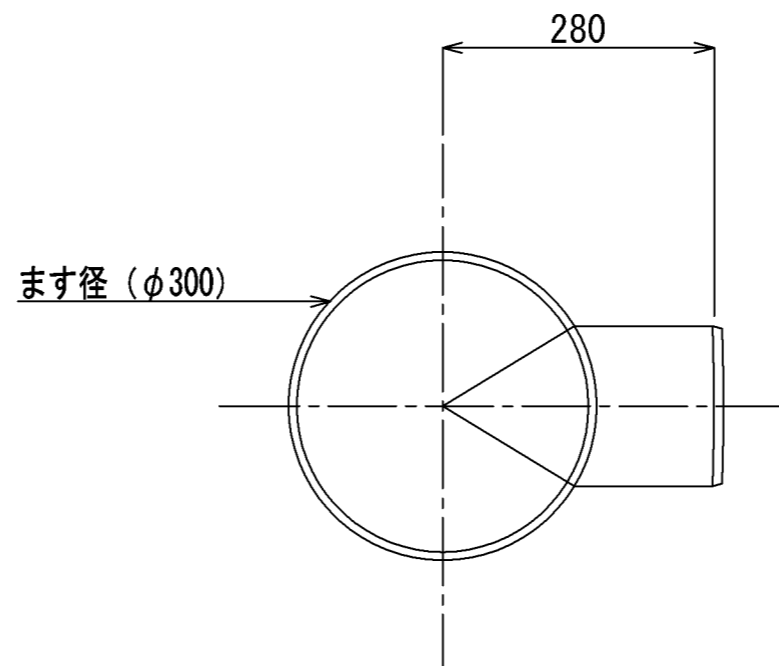
90° 三方向合流形 JSWAS K-7  
平成20年1月1日改正

流入受口取付形 JSWAS K-9  
平成20年1月1日改正

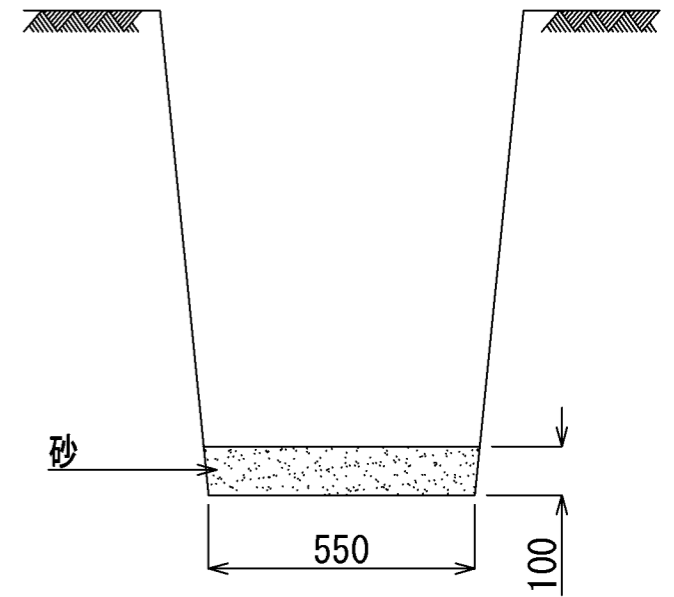
90度三方向合流形  
ゴム輪タイプ (差し口形)



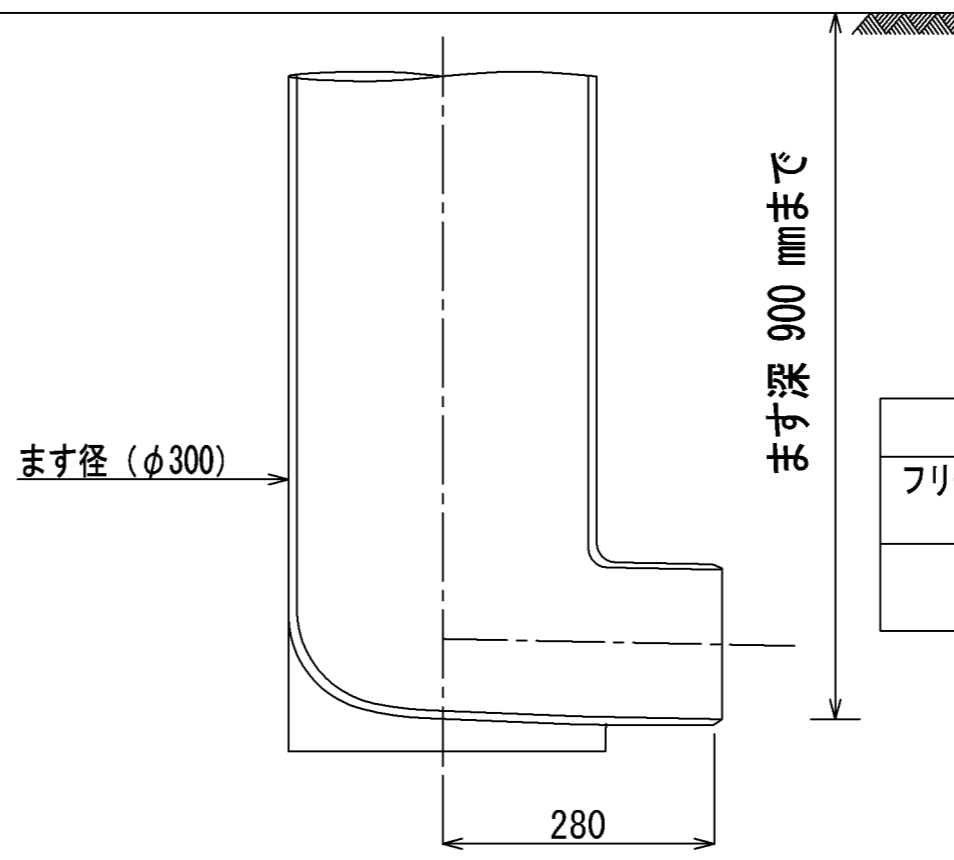
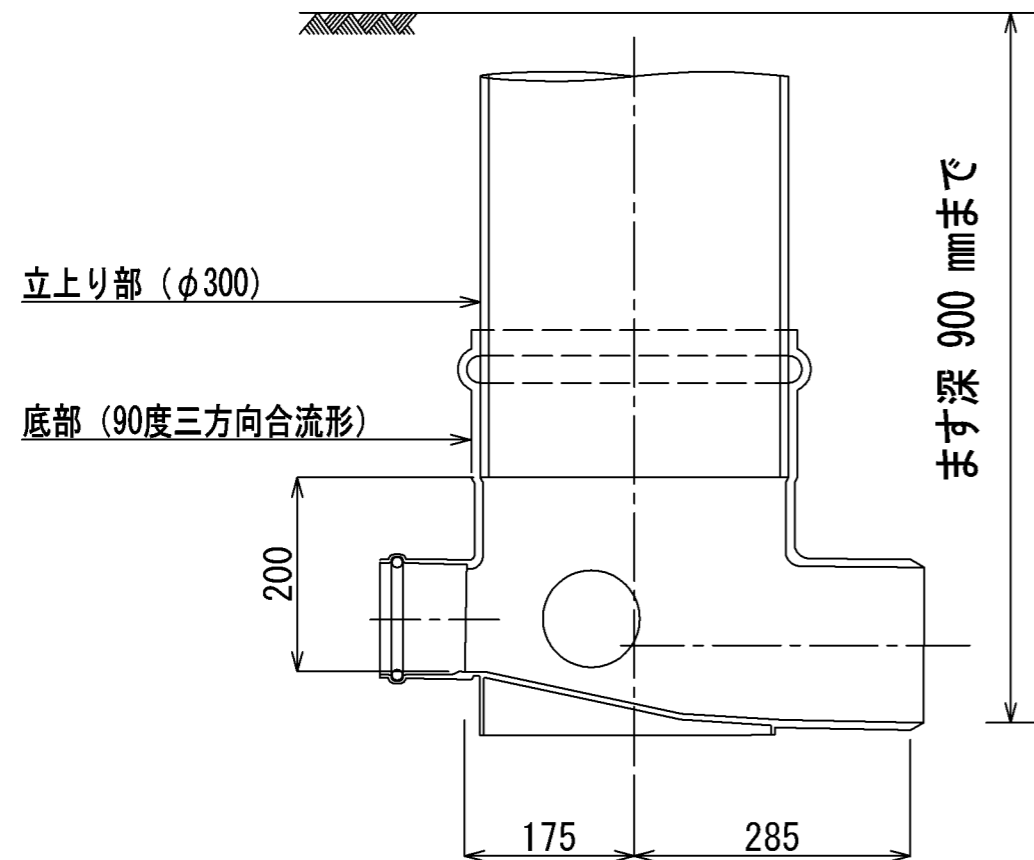
流入受口取付形



基礎図



※ 流入受口取付形のます径 (φ300) は  
下水道協会規格 (JSWAS K-9) の  
起点形ドロップ (KDR) を準用している。



名称・規格	参考市単コード
フリーインパートます (小型マンホール) JSWAS K-9 φ150 - 300 H=900	ZN20210083
90° 三方向合流形 JSWAS K-7 φ300 ゴム輪形	ZN20190049

仙台市建設局

下水道用硬質塩化ビニル製ます 蓋構造図

日本下水道協会規格  
J S W A S K-7  
平成20年1月1日改正

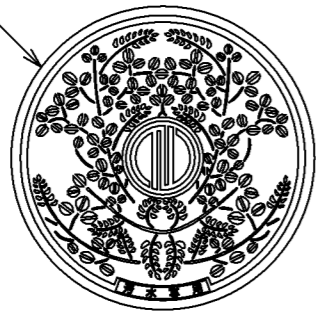
J S W A S G-3  
平成17年7月1日改正

硬質塩化ビニル製蓋(T-2)  
シールリング接合(ワンタッチ)

防護蓋 鑄鉄製防護蓋(T-8)

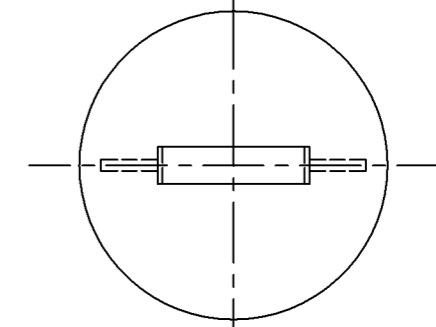
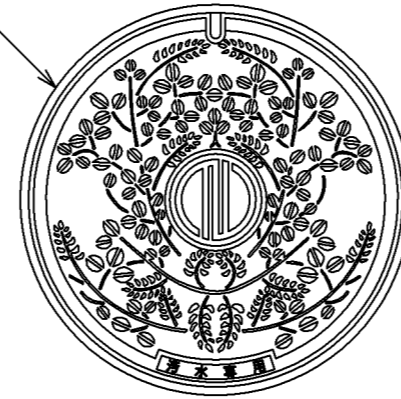
内蓋

硬質塩化ビニル製蓋

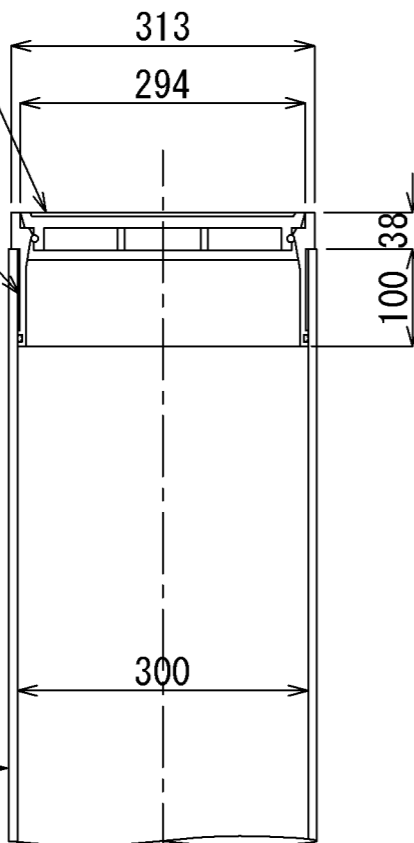


防護蓋

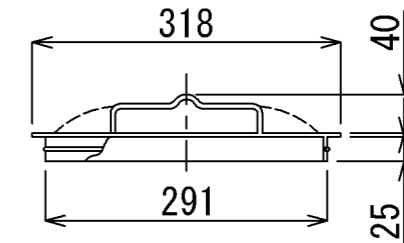
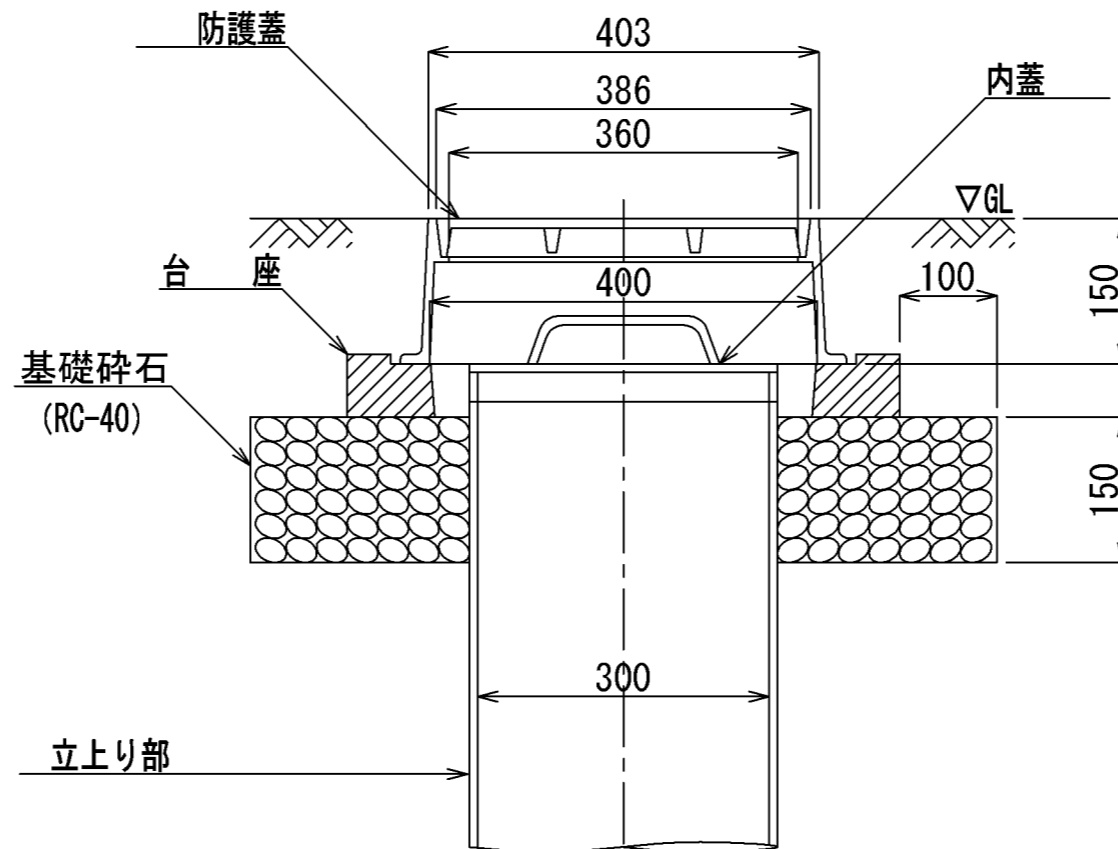
鑄鉄製防護蓋(T-8)



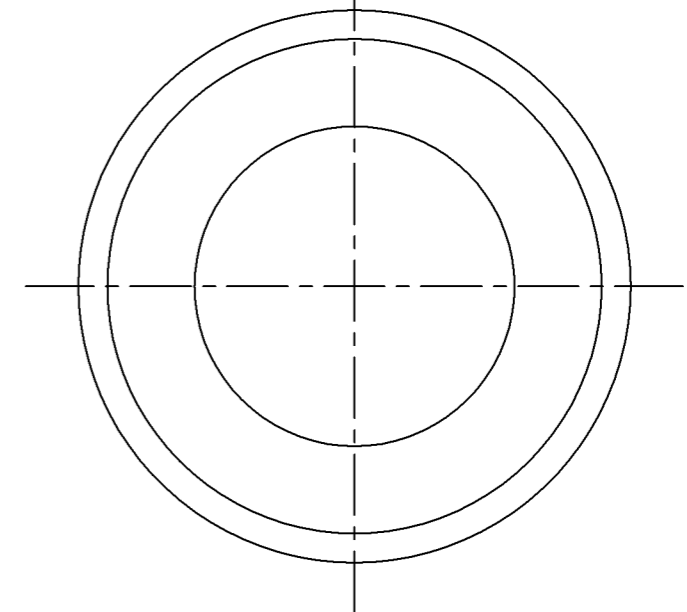
硬質塩化ビニル製蓋



防護蓋



台座



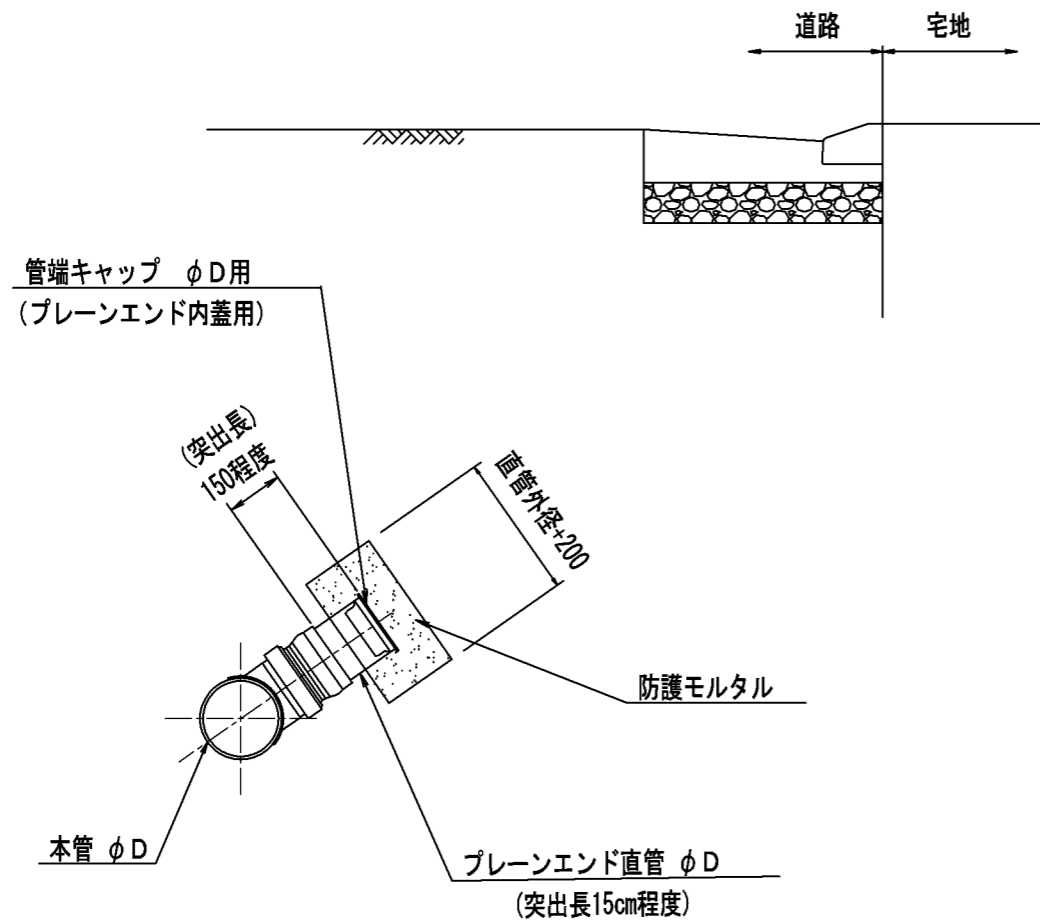
注1. 防護蓋及び台座は、偏りが生じないようにする。

名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード	名称・規格	参考市単コード
硬質塩化ビニル製ます蓋 JASWAS K-7 φ300 T-2 仙台市デザイン	ZN20210082	鑄鉄製防護蓋(台座含む) JASWAS G-3 φ300 T-8 仙台市デザイン	ZN20210081	硬質塩化ビニル製ます用 内蓋 φ300	ZN20210084

仙台市建設局

# 取付管撤去・閉塞工標準図

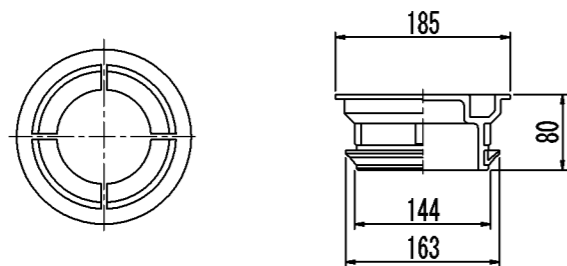
## 閉塞



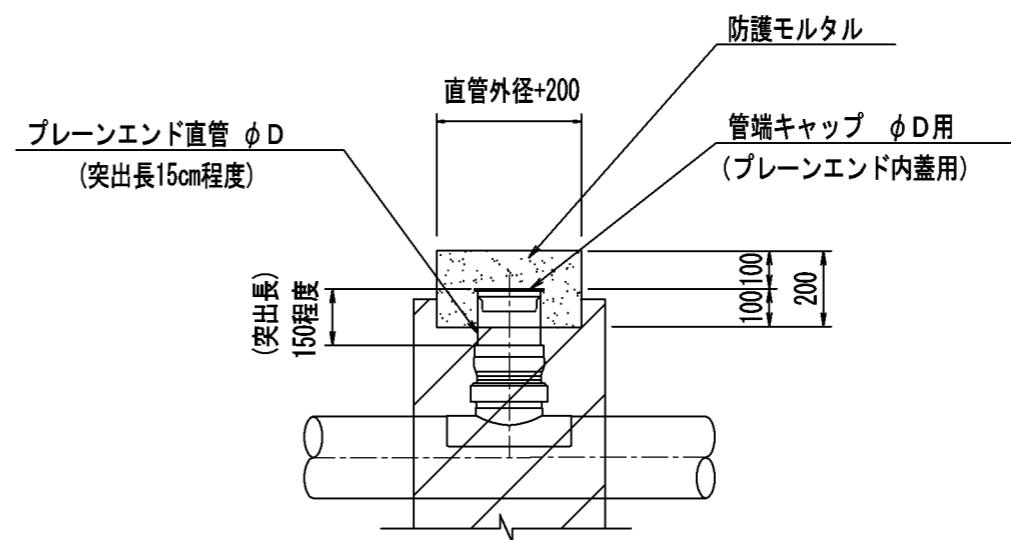
※ 既設取付管が支管から長く存置されるような状況においては、既設取付管を支管から15cm程度で切断し、上記のような構造とする。

## 管端キャップ (ヒューム管・陶管用)

(支管残置の場合)



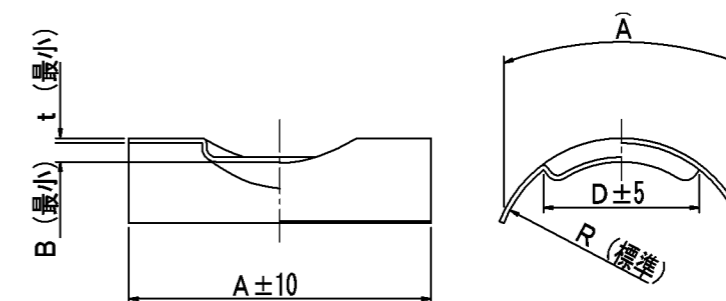
## 支管接合部詳細図



※ 施工に伴い本管周辺（ハッチング部）の砂基礎当を撤去した場合は、同様の材料を用い原型復旧とすること。

## 閉塞キャップ (ヒューム管・陶管用)

(支管撤去の場合)

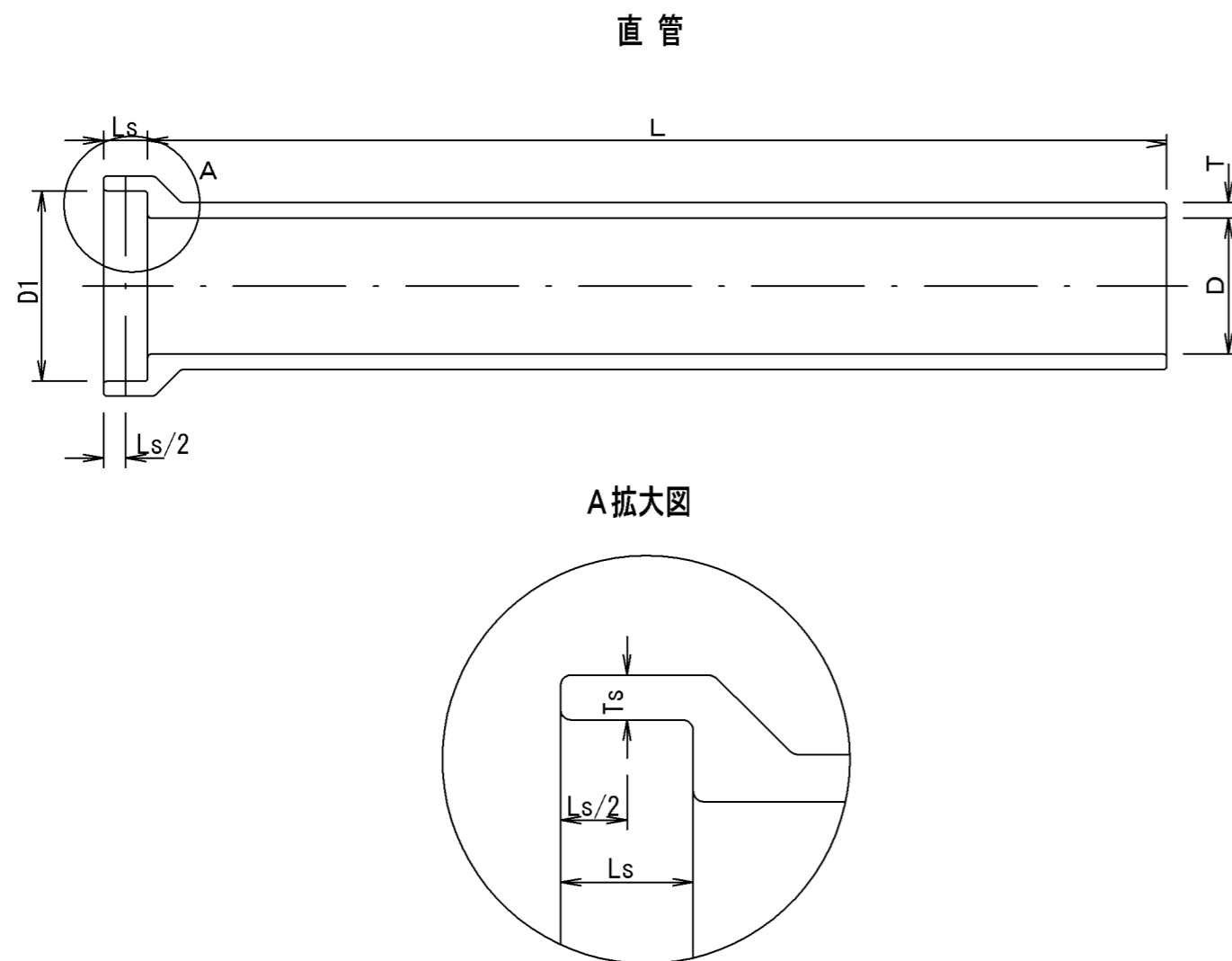


既設取付管径φ150

サイズ	A	B	D	R	t	参考市単コード
200-150	320	20	165	133.5	5	
250-150	320	20	165	159	5	
300-150	320	20	165	185	5	
許容差	±10	(最大)	±5	(標準)	(最小)	

下水道用陶管詳細図(1) (参考図)

日本下水道協会規格  
JSWAS R-2



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	受口内径 D1	受口厚さ Ts	受口深さ Ls	反り (mm/m)
100	100±3	16 <sup>+2</sup> <sub>0</sub>	155±8	15±2	50±5	4以下
125	125±4	18 <sup>+2</sup> <sub>0</sub>	185±10	17±2	55±5	
150	150±4	19 <sup>+2</sup> <sub>0</sub>	215±10	18±2	60±5	
200	200±5	23 <sup>+2</sup> <sub>0</sub>	280±13	22±3	65±5	
250	250±6	26 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	340±15	25±3	70±5	
300	300±7	29 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	400±18	28±3	75±5	
350	350±8	32 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	460±20	32±4		
400	400±9	35 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	520±25	35±4		
450	450±10	38 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	585±30	38±4	85±5	
500	200±5	41 <sup>+5</sup> <sub>0</sub>	650±35	41±5		
600	250±7	44 <sup>+6</sup> <sub>0</sub>	780±40	44±6		

注1 受口内径(D1)及び受口厚さ(Ts)は、受口深さ(Ls)の約1/2の位置の寸法とする。  
注2 反りは有効長比とする。

呼び径	有効長 L				
	660	750	1000	1500	2000
100	○	○	—	—	—
125, 150	○	○	○	—	—
200	○	○	○	○	—
250~600	—	—	○	○	○

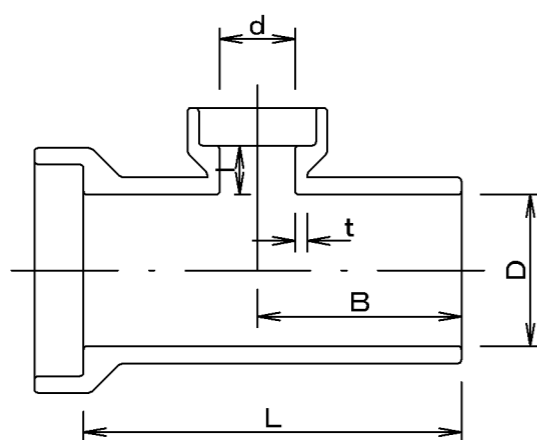
備考 有効長Lの許容差は-1%~+2%とする。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図(2) (参考図)

日本下水道協会規格  
J S W A S R - 2

90度枝付管



(単位: mm)

呼び径	本 管 部			枝 管 部			枝心までの距離 B	角度
	内径 D	有効長 L	反り (mm/m)	内径 d	厚さ t	有効長 l		
150-100	150±4	500 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	6以下	100±4	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	65±10	270±15	90±5度
150-125				125±5	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
200-100	200±5	500 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>		100±4	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
200-125				125±5	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	270±15		
200-150				150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		70±10	
250-100	250±6	1000 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>		100±4	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	65±10	770±35	
250-125				125±5	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
250-150				150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	75±10		
250-200				200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	80±10		
300-150	300±7	1000 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>		150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	75±10	770±35	
300-200				200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
350-150	350±8			150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	85±10		
350-200			200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>				
400-150	400±9		150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	90±10			
400-200			200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>				
450-150	450±10		150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	95±15			
450-200			200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>				
500-150	500±11		150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	110±15			
500-200			200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>				
600-150	600±12		150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	100±15			
600-200			200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		130±15		

注1 本管部の厚さ (T) と本管部及び枝管部の受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

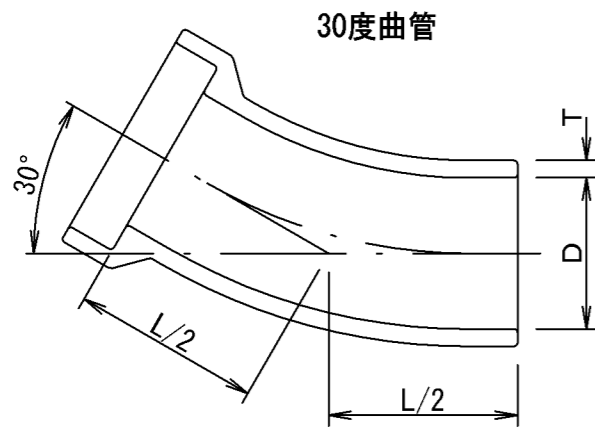
注2 反りは有効長比とする。

注3 枝心までの距離 (B) 270mmは、本管部の有効長 (L) が500mmの管の適用し、枝心までの距離 (B) 770mmは本管部の有効長 (L) が1000mmの管に適用する。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図 (3) (参考図)

日本下水道協会規格  
J SWAS R-2

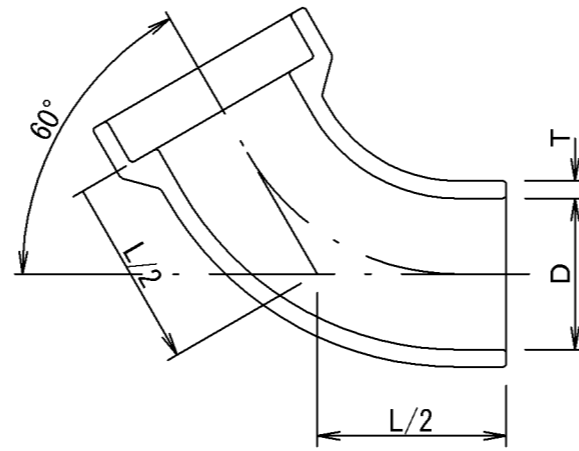


(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	500±15	30±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
250	250±7	26 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>		
300	300±8	29 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>		

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

60度曲管  
(一般的には使用しない)

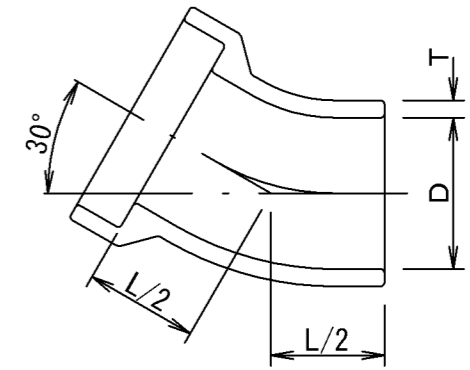


(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	500±15	60±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

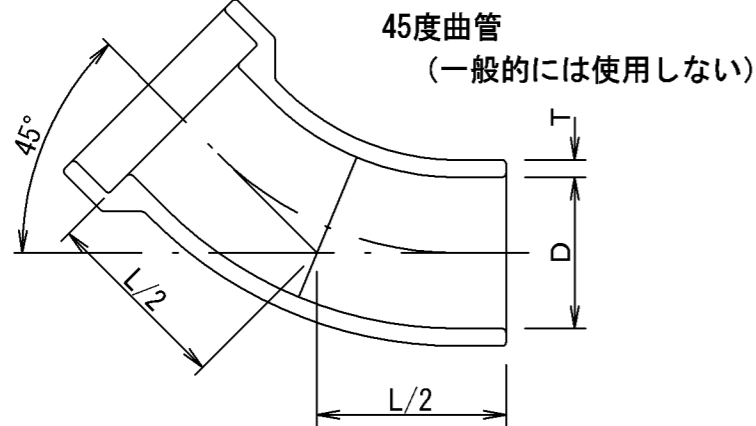
30度短曲管



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	500±15	30±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	500±15	45±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

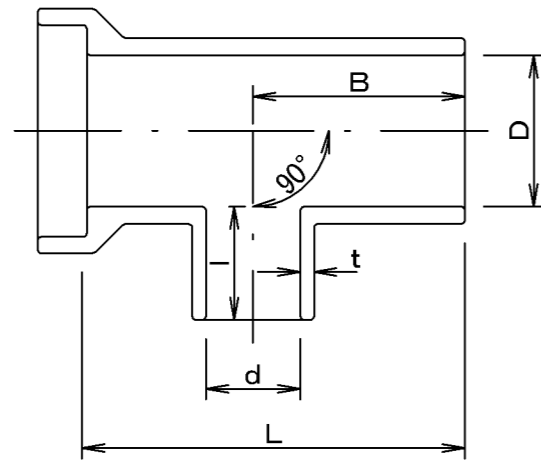
仙台市建設局



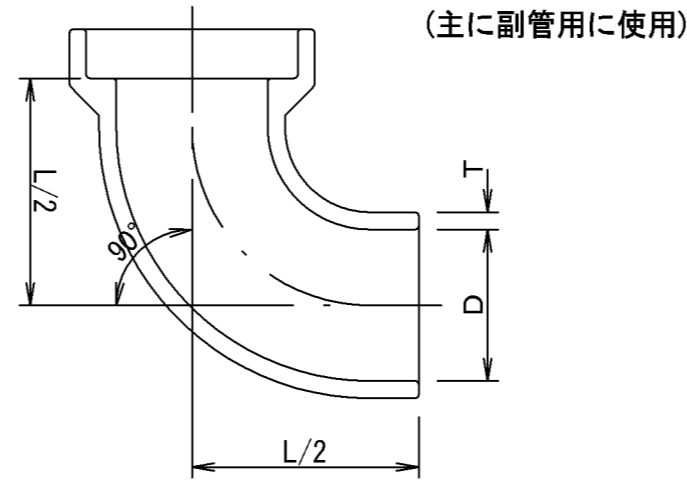
下水道用陶管詳細図（４）（参考図）

日本下水道協会規格  
JSWAS R-2

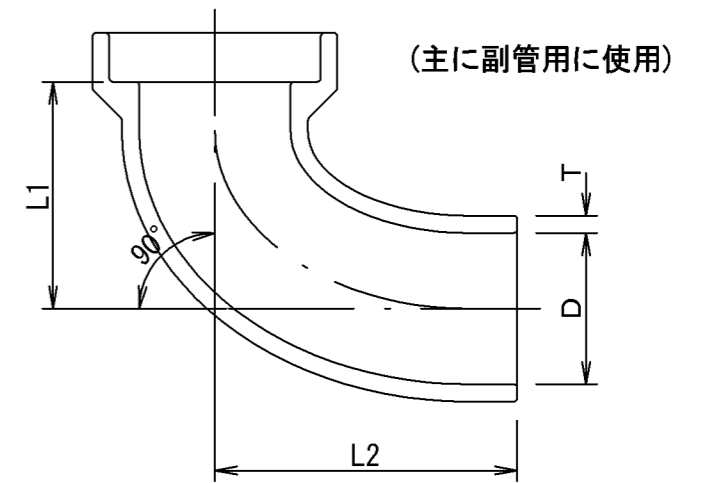
副管用枝付管



90度曲管



90度長曲管



(単位：mm)

呼び径	本管部			枝管部			枝心までの距離 B	角度
	内径 D	有効長 L	反り (mm/m)	内径 d	厚さ t	有効長 l		
150-100	150±4	500 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	6以下	100±4	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	150±10	280±15 400±20	90±5度
200-125	200±5			125±5	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
200-150		150±5		19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>				
250-150	250±6	1000 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>		200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			
250-200								
300-200	300±7							

注1 本管部の厚さ (T)、受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

注2 反りは有効長比とする。

注3 枝心までの距離 (B) 270mmは、本管部の有効長 (L) が500mmの管の適用し、枝心までの距離 (B) 400mmは本管部の有効長 (L) が1000mmの管に適用する。

(単位：mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	長さ L	角度
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	500±15	90±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	550±20	
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	600±20	
250	250±7	26 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	650±20	
300	300±8	29 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	710±25	

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

(単位：mm)

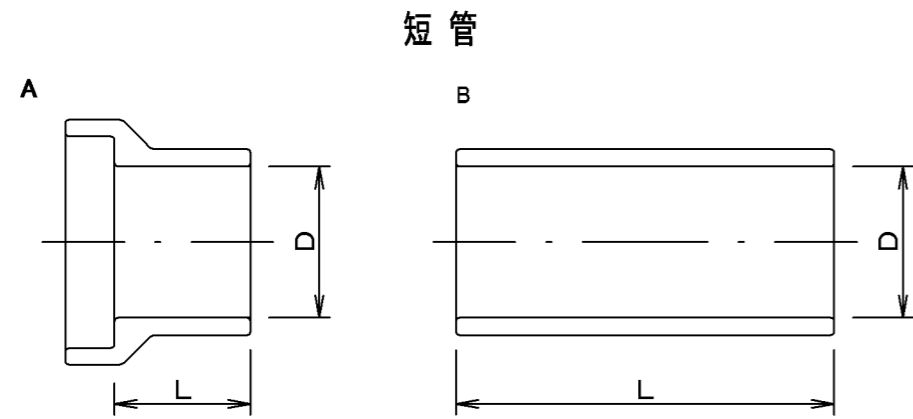
呼び径	内径 D	厚さ T	長さ		角度
			L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	
150	150±5	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	300±11	400±20	90±5度
200	200±6	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			

注1 受口内径 (D1)、受口厚さ (Ts) 及び受口深さ (Ls) は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

仙台市建設局

下水道用陶管詳細図 (5) (参考図)

日本下水道協会規格  
J SWAS R-2

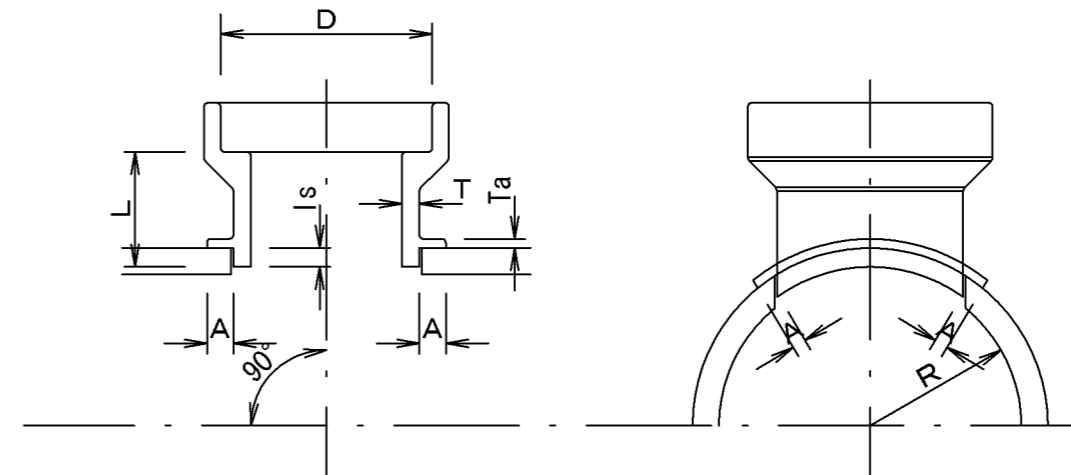


(単位: mm)

種類	呼び径	内径 D	有効長 L
A	100	100±3	180±8
	125	125±4	
	150	150±4	
	200	200±5	500 <sup>+10</sup> <sub>-15</sub>
	250	250±6	
	300	300±7	
B	350	350±8	500 <sup>+10</sup> <sub>-15</sub>
	400	400±9	
	450	450±10	
	500	500±11	
	600	600±12	
	100	100±3	500 <sup>+10</sup> <sub>-15</sub>
	125	125±4	
	150	150±4	
	200	200±5	
	250	250±6	
300	300±7		
350	350±8		
400	400±9		
450	450±10		
500	500±11		
600	600±12		

注1 Aの厚さ(T)、受口内径(D1) 受口の厚さ(Ts) 及び受口深さ(Ls)は直管の同じ呼び径の寸法とする。  
注2 Bの厚さ(T)は、直管の同じ呼び径の寸法とする。

90度支管



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	差入れ長さ ls	つば		R	角度
					幅 A	厚さ ta		
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	110±8	25±5	25以上	9以上	150	90±5度
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	120±9		30以上	10以上	200	
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			35以上	12以上		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	150±12	35±5	40以上	13以上	300	
250	250±7	26 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	190±15		45以上	14以上		
300	300±8	29 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	210±16		25以上	9以上		
100	100±3	16 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	120±9	25±5	30以上	10以上		
125	125±4	18 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	130±10		35以上	12以上		
150	150±4	19 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>			40以上	13以上		
200	200±5	23 <sup>+3</sup> <sub>0</sub>	160±12	35±5	45以上	14以上		
250	250±7	26 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	200±15		45±6	45以上	14以上	
300	300±8	29 <sup>+4</sup> <sub>0</sub>	220±17					

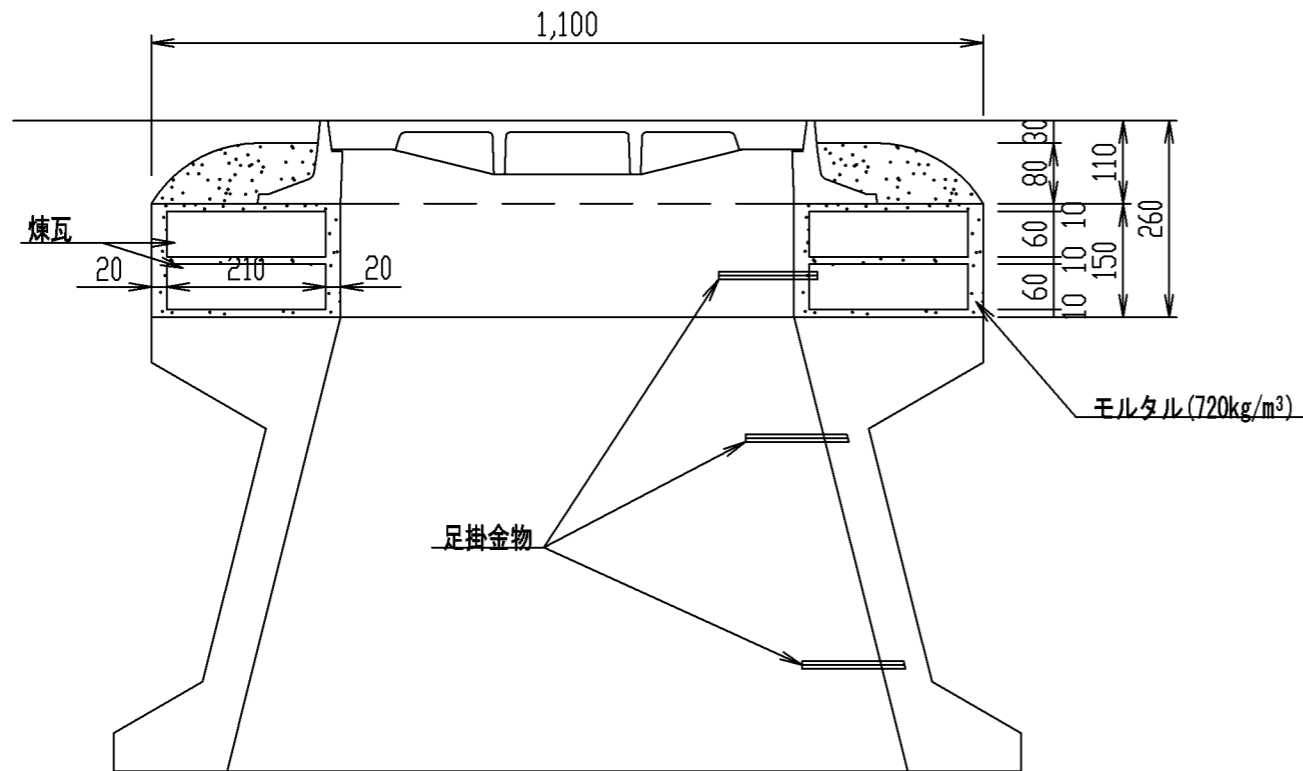
注1 受口内径(D1)、受口厚さ(Ts)及び受口深さ(Ls)は、直管の同じ呼び径の寸法とする。  
注2 Rは標準寸法である。

仙台市建設局

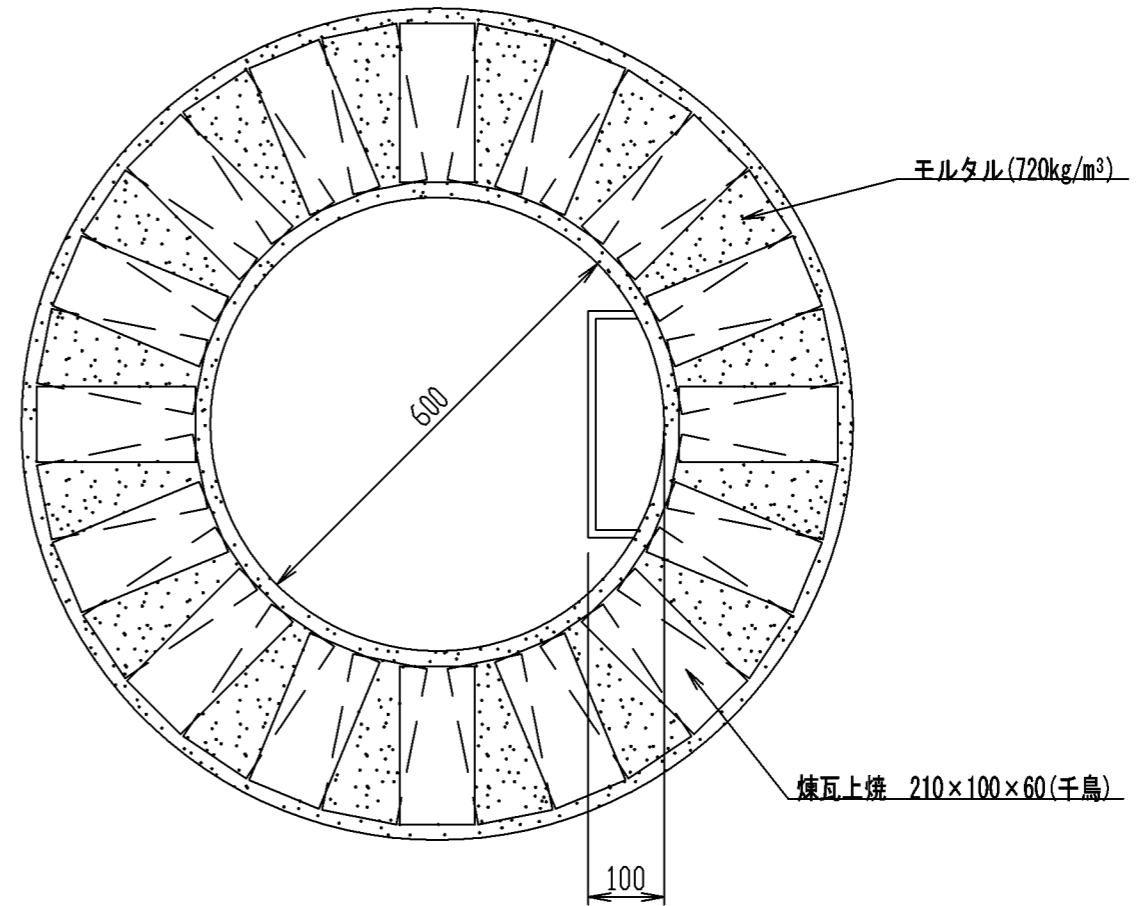
わく据付図（調整用レンガ付）（参考図） S=1/10

単位 mm

断面図



平面図

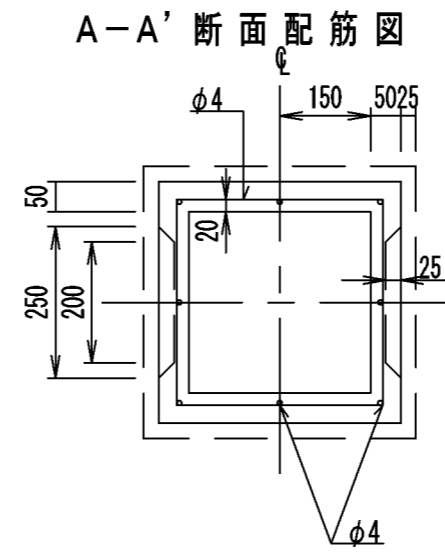
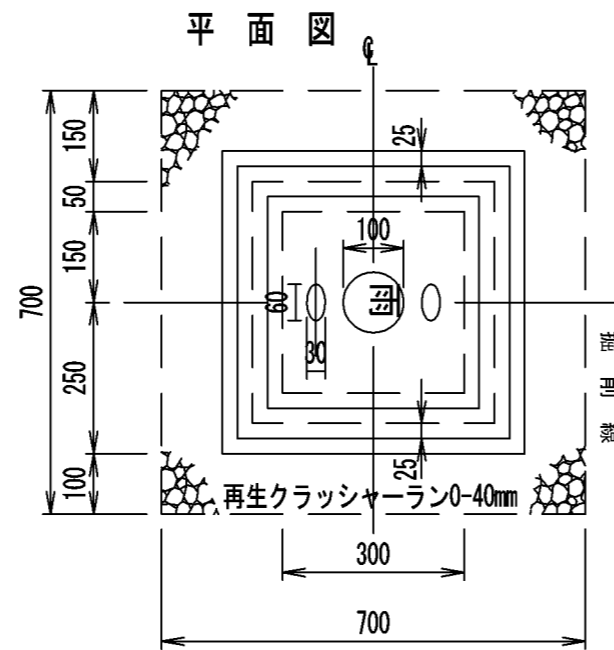
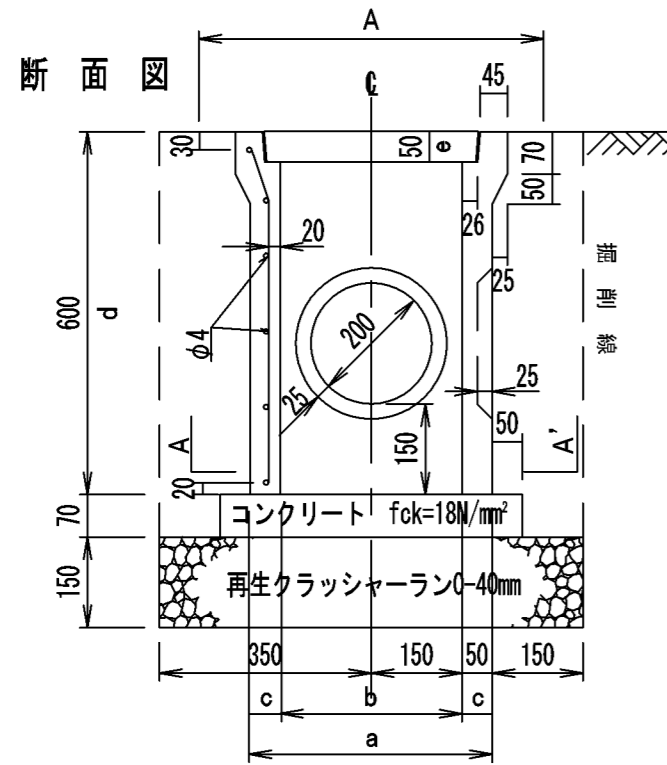


注 この標準図は、急傾斜の道路に設置する場合に適用すること。

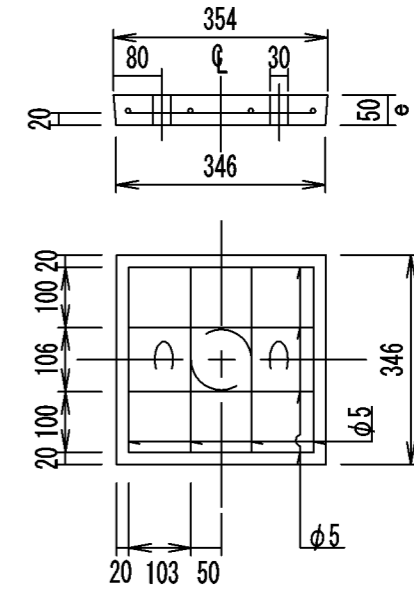
○ 内法 300×300形(取付管、 $\phi \leq 200$ )

公共雨水ます(角形、コンクリート蓋付)構造図(参考図)

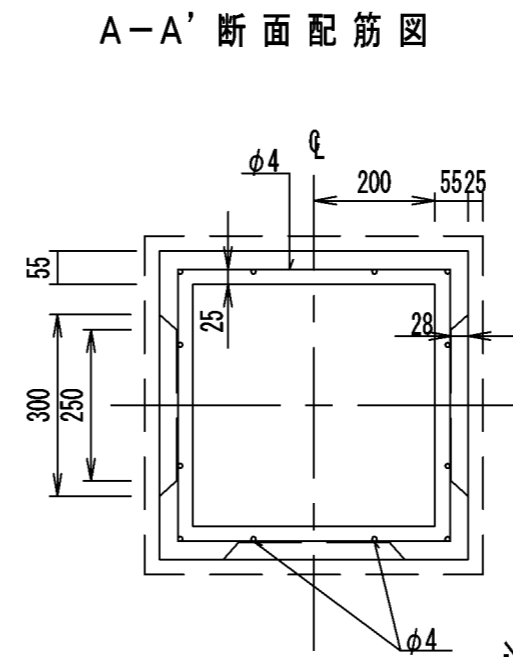
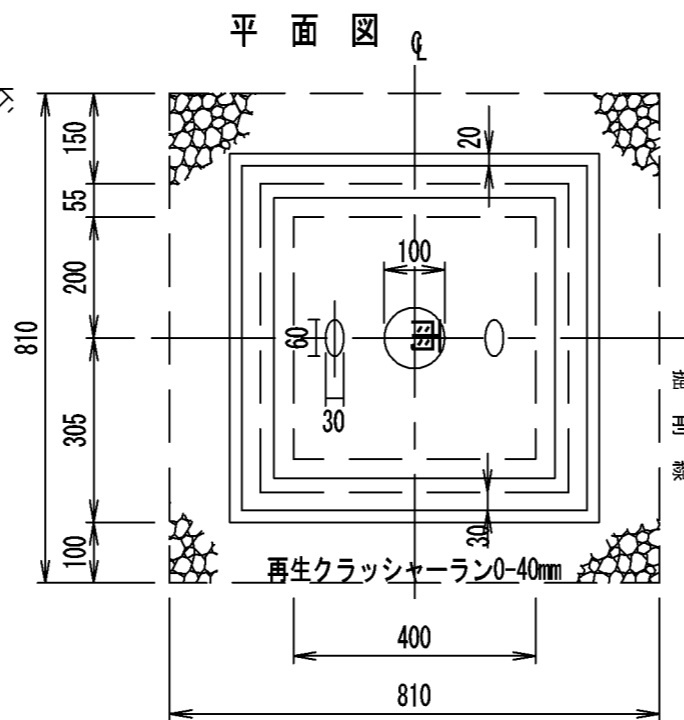
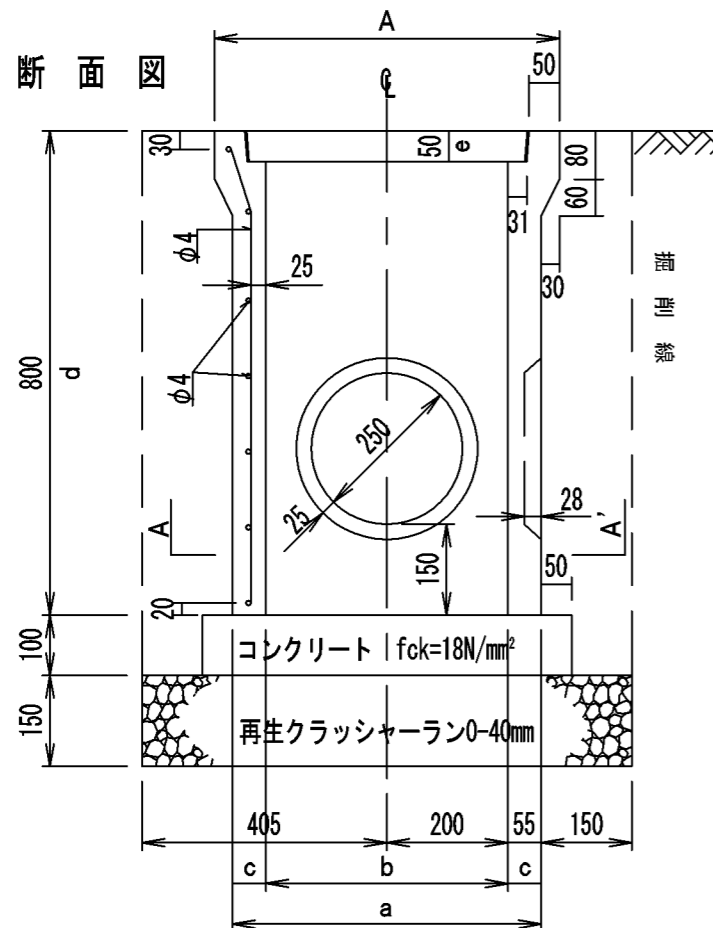
S=1/12.5 単位 mm



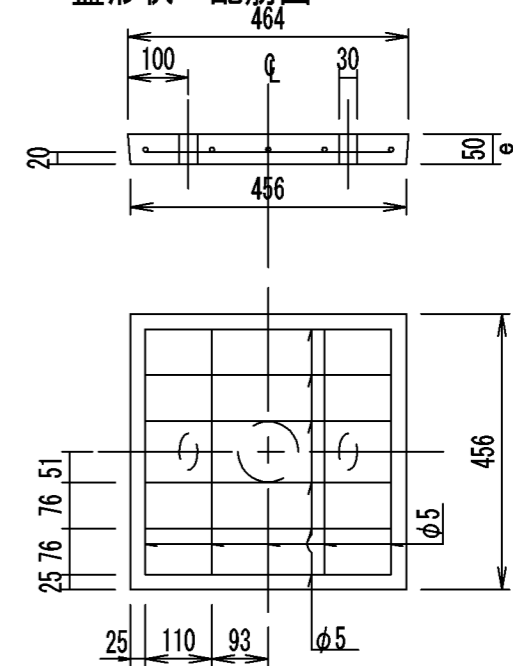
蓋形状・配筋図



○ 内法 400×400形(取付管、 $\phi \leq 250$ )



蓋形状・配筋図



※使用材料の基準

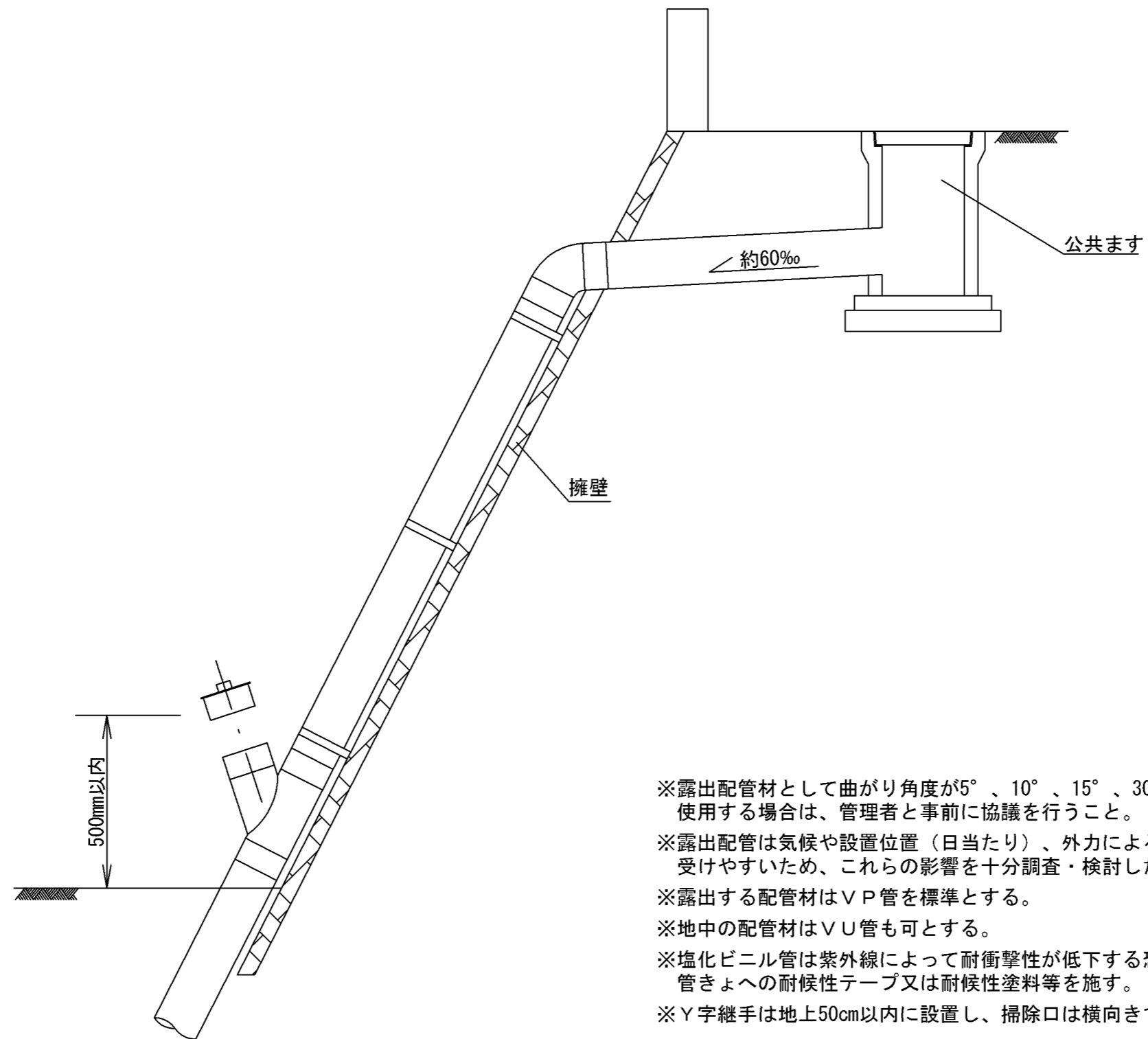
(1) コンクリート 躯体:  $f_{ck}=25N/mm^2$  基礎:  $f_{ck}=18N/mm^2$

(2) 鉄筋、JIS. G. 3532による普通鉄線を使用

	A	a	b	c	d	e
300×300形	450	400	300	50	600	50
400×400形	570	510	400	55	800	50
許容差	±4	±3	±4	±2	±3	±2

仙台市建設局

### 露出配管設置例（参考図）



- ※露出配管材として曲がり角度が5°、10°、15°、30°以外の曲管を使用する場合は、管理者と事前に協議を行うこと。
- ※露出配管は気候や設置位置（日当たり）、外力による影響を受けやすいため、これらの影響を十分調査・検討した上で導入する。
- ※露出する配管材はVP管を標準とする。
- ※地中の配管材はVU管も可とする。
- ※塩化ビニル管は紫外線によって耐衝撃性が低下する恐れがあるため、管きょへの耐候性テープ又は耐候性塗料等を施す。
- ※Y字継手は地上50cm以内に設置し、掃除口は横向きで塀に添わせる。

十字型内副管取付構造図 (参考図)

単位 : mm

